文部科学省認可通信教育

放送大学

授業科目案内

2027年度 第1学期

[教養学部]

（放送授業・オンライン授業）

本冊子は、放送授業・オンライン授業の科目案内のみ掲載しています。面接授業・ライブWeb授業の授業科目・シラバス等については以下からご覧ください。

○面接授業

https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/syllabus/

○ライブWeb授業

https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/

また、放送大学公式ウェブサイトのシラバス検索では、科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。

○シラバス検索

https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

科目群履修認証制度

放送大学 エキスパート

1 制度の目的

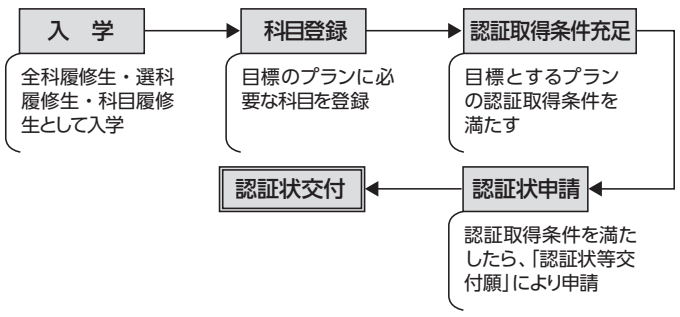
「科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)」は、本学が指定する特定の授業科目群を履修することにより、ある分野に目的・関心を持ち、そのための学習を体系的に行ったことを証明する、本学独自の制度です。

2008年度からは新たに学校教育法に規定された「履修証明制度」にも対応しています。学生の皆さんは、この制度を利用することで、ご自身の学習目標をより明確にすることができ、さらには学習の成果を社会貢献等へ活用するなど、学習および生活の場で認証の成果を役立てることが可能です。

2 エキスパートの活用方法

・卒業への道のりのステップとして
・学習計画を立てる際の履修モデルとして
・学士とは別に特定の専門分野の修得を証明するものとして
・ある専門分野を体系的に学ぶ際の道しるべとして
・認証状取得そのものを目標として

3 認証状を取得するまで



詳しくは『科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)について〜認証取得の手引き〜』を確認してください。▶▶▶

分野別プラン一覧

健康・福祉
- ●健康福祉指導プラン
- ●福祉コーディネータプラン

市民・社会コミュニティー
- ●社会生活企画プラン
- ●地域貢献リーダー人材育成プラン
- ●学校地域連携コーディネータープラン
- ●教育事務専門プラン

国際・文化
- ●異文化コミュニケーションプラン
- ●日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド(基礎力)養成プラン

科学・数学
- ●宇宙・地球科学プラン
- ●環境科学プラン
- ●データサイエンスリテラシープラン
- ●データサイエンスアドバンスプラン

心理学
- ●心理学基礎プラン
- ●臨床心理学基礎プラン

芸術・博物館
- ●芸術系博物館プラン
- ●歴史系博物館プラン
- ●自然系博物館プラン

講　義　概　要　の　見　方

「講義概要」のそれぞれのページに記載されている事項は、次の項目から構成されています。

生活と福祉コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1111111 〇〇経済学 ('21) 〈210〉 放送　若葉 （放送大学客員教授 △△大学教授） ※この科目は「〇〇経済学 ('16)」の改訂科目です。 「〇〇経済学 ('16)」の単位修得者は履修不可 ③ 2021年度開設科目	2	ラジオ (日)6:00～6:45 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　◇月◇日(◇)1時限 2025年度2学期　XX.X点 2026年度1学期　XX.X点	〇〇〇

教養学部授業科目案内の利用にあたって

この冊子は、2027 年度第 1 学期に放送大学教養学部で開設される放送授業・オンライン授業科目の概要などを記載しています。科目の詳細な情報については、本学ウェブサイトのシラバスを参照してください。

1. 科目の登録は、この『**授業科目案内**』と『**学生募集要項**』（在学生は『科目登録申請要項』）の両方を必ずご覧になり、注意事項および記入方法を確認のうえ、行ってください。

2.「講義概要」は、基盤科目〔外国語科目〕、導入科目、専門科目、総合科目、看護師資格取得に資する科目、卒業研究で構成されています。このうち卒業研究は、**全科履修生のみ**が履修対象となっていますので注意してください。

3.「講義概要」のそれぞれのページに記載されている事項は、巻頭の「講義概要の見方」を参照してください。

＜放送授業は次の方法、チャンネルで行っています。＞

○テレビ放送

BS 放送 231 チャンネルで放送しています。
※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも視聴できます。
※ BS 放送 232 チャンネルでは、BS 放送 231 チャンネルで放送中の一部のテレビ科目を放送しています。詳しい放送予定は、放送大学ウェブサイトの番組表ページ（https://www.ouj.ac.jp/bangumi/）をご覧ください。

○ラジオ放送

BS 放送 531 チャンネルで放送しています。
テレビでお聴きいただく音声放送で、画面には番組名が静止画で表示されます。
※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも聴取できます。

○インターネット配信

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネット配信しますので、パソコンやスマートフォン等で視聴できます（一部インターネット配信限定で視聴する科目があります）。科目名や視聴に必要な環境については放送大学ウェブサイトの「トピックス」を参照してください。
※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。
※接続の際の通信費やプロバイダ料金などは利用者ご負担となりますので、ご注意ください。

○光回線

光回線サービスを契約している方は「ひかり TV」や「テレビ視聴サービス（オプション）」で視聴できる場合があります。追加料金が必要ですが、BS アンテナがなくてもテレビ番組を楽しめます。詳細は、契約中の光回線サービス事業者にご確認ください。
〈ひかり TV の詳細〉https://www.hikaritv.net/entry/lineup/tv/digital/#tab2

○学習センター等における視聴

各学習センターに設置されているインターネット視聴用のパソコンをご利用いただき、インターネット配信でご視聴ください。
DVD・CD での視聴を希望する場合は、放送教材 DVD・CD の郵送貸出しをご利用ください。

○字幕

テレビ科目については、基本的にすべて字幕表示が可能です。ただし、一部の外国語科目では字幕表示に対応していません。また、新規開設されたテレビ科目については、字幕対応が開設年度の 2 学期又は翌年度からとなりますので、ご注意ください。字幕対応状況は、各科目のメディア欄をご参照ください。

＜オンライン授業は、次の方法で行っています（p.14 もご確認ください）。＞

受講にはインターネット接続されたパソコンとブラウザー、PDF ファイルが閲覧できるソフトウエアが必要です。科目登録前に、必ずオンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）で、ご自分のパソコンスキル、パソコン環境、オンライン授業システムの操作方法を確認してください。

4.「2027 年度第 1 学期学習センター受験者用の単位認定試験時間割・出題形式一覧」には、単位認定試験日・時限がまとめて記載されています。単位認定試験を学習センター等で受験する方のみ、ご確認ください。
※学習センター等での受験については p.13 をご確認ください。

5.「履修科目案内図」は、授業科目を選択する際に参考となるように示したものです。

6. 科目のうち、下表の「（A）2026年度以前の開設科目」の単位を修得している方は、「（B）2027年度開設科目」に示した科目については同一科目とみなさないため登録申請があれば登録決定されますので、履修計画および科目登録申請については注意してください。

（A）2026年度以前の開設科目	（B）2027年度開設科目
科目名	科目名
教養で読む英語（'19）	続・教養で読む英語（'27）
ドイツ語Ⅰ（'23）	ドイツ語Ⅰ（'27）
ドイツ語Ⅱ（'23）	ドイツ語Ⅱ（'27）
中国語Ⅰ（'23）	中国語Ⅰ（'27）
中国語Ⅱ（'23）	中国語Ⅱ（'27）
高齢期を支える（'23）	超高齢社会を生きる（'27）
今日のメンタルヘルス（'23）	今日のメンタルヘルス（'27）
認知症と生きる（'21）	認知症と生きる（'27）
感情・人格心理学（'21）	感情・人格心理学（'27）
障害者・障害児心理学（'21）	障害者・障害児心理学（'27）
都市から見るヨーロッパ史（'21）	中近世ヨーロッパの歴史（'27）
文学批評への招待（'18）	文学批評の現在（'27）
身近なネットワークサービス（'20）	ネットワークとスマート社会（'27）
問題解決の数理（'21）	問題解決の数理（'27）
日本近現代史（'21）	日本の近現代（'27）
情報と法（'23）	情報法入門（'27）
エネルギーと社会（'19）	モビリティとまちづくり（'27）
情報技術が拓く人間理解（'20）	情報技術が拓く人間理解（'27）
日本語リテラシー演習（'18）	日本語リテラシー演習（'27）
生活環境情報の表現−GIS入門（'20）	GISで理解する自然とくらし（'27）
生命分子と細胞の科学（'19）	分子と細胞の生物学（'27）
AIシステムと人・社会との関係（'20）	AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）
地理空間情報の基礎と活用（'22）	地理空間情報の基礎と活用（'27）
日常生活のデジタルメディア（'22）	デジタル時代の学びの技法（'27）
持続可能な社会と生活（'23）	持続可能な社会へのシステム思考（'27）
教育の行政・政治・経営（'23）	教育政策と行財政（'27）
コンピュータとソフトウェア（'18）	ソフトウェア開発入門（'27）

7. 面接授業およびライブWeb授業の科目登録については、別冊の『学生募集要項』（在学生は『科目登録申請要項』）をご覧ください。
面接授業・ライブWeb授業の授業科目・シラバス等については、以下からご覧ください。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/syllabus/

8. システムWAKABAから、公表期間中の単位認定試験の問題・解答・解説などが閲覧できます。詳しくは、システムWAKABAをご覧ください。

9. 資格取得を目的とする場合には、必ず事前に学習センター等で配布している『教員免許状及び各種資格について』等の冊子または本学ウェブサイトをご覧いただき、内容を確認した上で登録してください。なお、冊子の内容は毎年度更新しますので、必ず最新年度の冊子を確認してください。

2027年度新規開設科目（基盤科目）

科目区分	科目コード	科目名	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	履修制限科目
					講師氏名	所属機関	有無	対象科目
基盤科目	1170074	地理空間情報の基礎と活用（'27）	2	TV	山田 育穂 瀬戸 寿一	東京大学教授 駒澤大学准教授	無	
	1170082	デジタル時代の学びの技法（'27）	2	TV	登本 洋子	東京学芸大学准教授	無	
	5150027	日本語リテラシー演習（'27）	1	OL	滝浦 真人	放送大学教授	無	
	5170044	GISで理解する自然とくらし（'27）	2	OL	小倉 拓郎 山内 啓之 高橋 尚志※ 太田 凌嘉※	一橋大学講師 立命館大学准教授 東北大学助教 新潟大学助教	無	
基盤科目（外国語）	1420178	続・教養で読む英語（'27）	2	R	大橋 理枝	放送大学教授	無	
	1430050	ドイツ語I（'27）	2	TV	佐藤 恵	慶應義塾大学准教授	無	
	1430068	ドイツ語II（'27）	2	R	佐藤 恵	慶應義塾大学准教授	無	
	1460056	中国語I（'27）	2	TV	宮本 徹	放送大学教授	無	
	1460064	中国語II（'27）	2	R	宮本 徹	放送大学教授	無	

2027年度新規開設科目（コース科目）

科目区分		科目コード	科目名	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	履修制限科目
						講師氏名	所属機関	有無	対象科目
生活と福祉	導入科目	1710320	健康への力の探究（'27）	2	R	戸ヶ里 泰典 中山 和弘	放送大学教授 聖路加国際大学教授	有	健康への力の探究（'19）
		1730240	社会調査の基礎（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	TV	北川 由紀彦 玉野 和志	放送大学教授 放送大学教授	有	社会調査の基礎（'15） 社会調査の基礎（'19）
		5750091	Rで学ぶ確率統計（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	OL	秋光 淳生	放送大学准教授	有	Rで学ぶ確率統計（'21）
	専門科目	1519603	超高齢社会を生きる（'27）	2	R	大和 三重 澤田 有希子	関西学院大学名誉教授 関西学院大学教授	無	
		1519611	今日のメンタルヘルス（'27）	2	TV	糸川 昌成	放送大学教授	無	
		1519620	高等教育と障害（'27）	2	R	川島 聡	放送大学教授	無	
		1519638	持続可能な社会へのシステム思考（'27）	2	TV	高橋 真吾 喜多 一	早稲田大学教授 京都大学名誉教授	無	
		1519646	認知症と生きる（'27）	2	TV	井出 訓 矢吹 知之	放送大学教授 高知県立大学教授	無	
		1529919	家族と教育（'27） 【心理と教育コースとの共用科目】	2	R	小玉 亮子	大阪信愛学院大学教授	無	
	総合科目	1930133	モビリティとまちづくり（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	TV	中村 文彦	放送大学教授	無	
心理と教育	導入科目	1720139	発達心理学概論（'27）	2	R	向田 久美子	放送大学教授	有	発達心理学概論（'17）
		1730240	社会調査の基礎（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	TV	北川 由紀彦 玉野 和志	放送大学教授 放送大学教授	有	社会調査の基礎（'15） 社会調査の基礎（'19）
		1710320	健康への力の探究（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	R	戸ヶ里 泰典 中山 和弘	放送大学教授 聖路加国際大学教授	有	健康への力の探究（'19）
		1740253	日本の近現代（'27） 【人間と文化コースとの共用科目】	2	R	土田 宏成	聖心女子大学教授	無	
		5750091	Rで学ぶ確率統計（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	OL	秋光 淳生	放送大学准教授	有	Rで学ぶ確率統計（'21）
		5750105	表計算プログラミング基礎AI版（'27） 【情報コースとの共用科目】	1	OL	辻 靖彦	放送大学教授	有	表計算プログラミングの基礎（'21）
	専門科目	1529919	家族と教育（'27）	2	R	小玉 亮子	大阪信愛学院大学教授	無	
		1529927	感情・人格心理学（'27）	2	R	小塩 真司	早稲田大学教授	無	
		1529935	教育政策と行財政（'27）	2	R	櫻井 直輝 植竹 丘	放送大学准教授 埼玉県立大学准教授	無	
		1529943	これからの生徒指導を考える（'27）	2	TV	東 宏行 伊東 毅	獨協医科大学特任教授 武蔵野美術大学教授	無	
		1529951	障害者・障害児心理学（'27）	2	R	古賀 精治	大分大学特任教授	無	
		1529960	心理臨床における法・倫理・制度（'27）	2	R	津川 律子 元永 拓郎	日本大学特任教授 帝京大学教授	有	心理臨床における法・倫理・制度（'21）
		1529978	多様な子どもの学びと公教育（'27）	2	TV	柏木 智子 浅井 幸子	立命館大学教授 東京大学教授	無	
		5520088	持続可能な社会と教育（ESD）（'27）	2	OL	及川 幸彦	奈良教育大学教授	有	SDGsと教育（'22）
		5520096	生涯学習を考える（'27）	2	OL	岩崎 久美子 金藤 ふゆ子	放送大学名誉教授 文教大学教授	有	生涯学習を考える（'17）
		1519611	今日のメンタルヘルス（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	TV	糸川 昌成	放送大学教授	無	

2027年度新規開設科目（コース科目）

科目区分		科目コード	科目名	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	履修制限科目
						講師氏名	所属機関	有無	対象科目
心理と教育	専門科目	1519638	持続可能な社会へのシステム思考（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	TV	高橋 真吾 喜多 一	早稲田大学教授 京都大学名誉教授	無	
		1519646	認知症と生きる（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	TV	井出 訓 矢吹 知之	放送大学教授 高知県立大学教授	無	
		1519603	超高齢社会を生きる（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	R	大和 三重 澤田 有希子	関西学院大学名誉教授 関西学院大学教授	無	
		1519620	高等教育と障害（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	R	川島 聡	放送大学教授	無	
		1539779	イノベーション・マネジメント（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	R	伊藤 宗彦	神戸大学名誉教授	有	イノベーション・マネジメント（'23）
		1539787	サービスサイエンス（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	R	岡田 幸彦 原 辰徳	筑波大学教授 東京大学准教授	有	サービスサイエンス（'23）
		1579550	問題解決の数理（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	R	大西 仁	放送大学教授	無	
	総合科目	1950053	情報技術が拓く人間理解（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	TV	仁科 エミ 芝崎 順司	放送大学教授 放送大学教授	無	
		5950015	AI技術を人と社会へとつなぐ（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	OL	浅井 紀久夫 岡崎 浩二※	放送大学教授 東京都立産業技術大学院大学特任教授	無	
社会と産業	導入科目	1730231	会社法入門（'27）	2	TV	高田 晴仁	慶應義塾大学教授	無	
		1730240	社会調査の基礎（'27）	2	TV	北川 由紀彦 玉野 和志	放送大学教授 放送大学教授	有	社会調査の基礎（'15） 社会調査の基礎（'19）
		1710320	健康への力の探究（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	R	戸ヶ里 泰典 中山 和弘	放送大学教授 聖路加国際大学教授	有	健康への力の探究（'19）
		1750089	情報法入門（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	R	橘 雄介	九州大学准教授	無	
	専門科目	1539779	イノベーション・マネジメント（'27）	2	R	伊藤 宗彦	神戸大学名誉教授	有	イノベーション・マネジメント（'23）
		1539787	サービスサイエンス（'27）	2	R	岡田 幸彦 原 辰徳	筑波大学教授 東京大学准教授	有	サービスサイエンス（'23）
		1519603	超高齢社会を生きる（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	R	大和 三重 澤田 有希子	関西学院大学名誉教授 関西学院大学教授	無	
		1519638	持続可能な社会へのシステム思考（'27） 【生活と福祉コースとの共用科目】	2	TV	高橋 真吾 喜多 一	早稲田大学教授 京都大学名誉教授	無	
		1529919	家族と教育（'27） 【心理と教育コースとの共用科目】	2	R	小玉 亮子	大阪信愛学院大学教授	無	
		1529960	心理臨床における法・倫理・制度（'27） 【心理と教育コースとの共用科目】	2	R	津川 律子 元永 拓郎	日本大学特任教授 帝京大学教授	有	心理臨床における法・倫理・制度（'21）
		1579541	ネットワークとスマート社会（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	TV	葉田 善章	放送大学准教授	無	
		1579550	問題解決の数理（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	R	大西 仁	放送大学教授	無	
	総合科目	1930125	平和学（'27）	2	TV	川出 良枝	放送大学教授	無	
		1930133	モビリティとまちづくり（'27）	2	TV	中村 文彦	放送大学教授	無	
		1950053	情報技術が拓く人間理解（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	TV	仁科 エミ 芝崎 順司	放送大学教授 放送大学教授	無	
		5950015	AI技術を人と社会へとつなぐ（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	OL	浅井 紀久夫 岡崎 浩二※	放送大学教授 東京都立産業技術大学院大学特任教授	無	
人間と文化	導入科目	1740253	日本の近現代（'27）	2	R	土田 宏成	聖心女子大学教授	無	
	専門科目	1559478	史書から見る中国史（'27）	2	R	小二田 章	放送大学准教授	無	
		1559486	時間と存在（'27）	2	R	森 一郎	放送大学教授	無	
		1559494	中近世ヨーロッパの歴史（'27）	2	TV	加藤 玄 後藤 はる美	日本女子大学教授 東京大学教授	無	
		1559508	文学批評の現在（'27）	2	R	中井 亜佐子 河野 真太郎	一橋大学教授 専修大学教授	無	
	総合科目	1930125	平和学（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	TV	川出 良枝	放送大学教授	無	
情報	導入科目	1750070	英語で学ぶ情報学の歩み（'27）	2	TV	青木 久美子 マッキン ケネス ジェームス	放送大学教授 東京情報大学教授	無	
		1750089	情報法入門（'27）	2	R	橘 雄介	九州大学准教授	無	
		5750091	Rで学ぶ確率統計（'27）	2	OL	秋光 淳生	放送大学准教授	有	Rで学ぶ確率統計（'21）
		5750105	表計算プログラミング基礎AI版（'27）	1	OL	辻 靖彦	放送大学教授	有	表計算プログラミングの基礎（'21）
		1730240	社会調査の基礎（'27） 【社会と産業コースとの共用科目】	2	TV	北川 由紀彦 玉野 和志	放送大学教授 放送大学教授	有	社会調査の基礎（'15） 社会調査の基礎（'19）
	専門科目	1579533	ソフトウェア開発入門（'27）	2	TV	阿萬 裕久 小笠原 秀人	愛媛大学教授 千葉工業大学教授	無	
		1579541	ネットワークとスマート社会（'27）	2	TV	葉田 善章	放送大学准教授	無	
		1579550	問題解決の数理（'27）	2	R	大西 仁	放送大学教授	無	
		1569473	線型代数学（'27） 【自然と環境コースとの共用科目】	2	R	隈部 正博	放送大学教授	有	線型代数学（'17）

科目区分		科目コード	科目名	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	履修制限科目
						講師氏名	所属機関	有無	対象科目
情報	総合科目	1950053	情報技術が拓く人間理解（'27）	2	TV	仁科　エミ 芝崎　順司	放送大学教授 放送大学教授	無	
		5950015	AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）	2	OL	浅井　紀久夫 岡崎　浩二※	放送大学教授 東京都立産業技術大学院大学特任教授	無	
自然と環境	導入科目	5760038	物理と化学のための数学（'27）	1	OL	橋本　健朗 岸根　順一郎※ 安池　智一※ 飯田　圭※	放送大学教授 放送大学教授 放送大学教授 放送大学教授	有	物理と化学のための数学（'21）
	専門科目	1569465	初歩からの気象学（'27）	2	TV	伊賀　啓太 吉森　正和	東京大学准教授 東京大学准教授	有	はじめての気象学（'21）
		1569473	線型代数学（'27）	2	R	隈部　正博	放送大学教授	有	線型代数学（'17）
		1569481	力と運動の物理（'27）	2	TV	岸根　順一郎 飯田　圭	放送大学教授 放送大学教授	有	力と運動の物理（'19）
		1569490	量子の物理（'27）	2	TV	岸根　順一郎 飯田　圭	放送大学教授 放送大学教授	有	量子物理学（'21）
		5560071	分子と細胞の生物学（'27）	2	OL	二河　成男	放送大学教授	無	
	総合科目	1960032	暮らしに役立つバイオサイエンス（'27）	2	TV	岩橋　均 重松　亨	岐阜大学名誉教授 新潟薬科大学教授	有	暮らしに役立つバイオサイエンス（'21）
		1950053	情報技術が拓く人間理解（'27） 【情報コースとの共用科目】	2	TV	仁科　エミ 芝崎　順司	放送大学教授 放送大学教授	無	

履　修　案　内

この履修案内は、カリキュラムを中心にして、放送大学の教育についての考え方をわかりやすく解説するものです。生涯学習機関である放送大学が、どのような考え方で教養教育のカリキュラムを定めているかを理解してもらうことによって、放送大学での効率的な学習につなげることを意図しています。全科履修生にとってはこの履修案内全体が大事な情報です。選科履修生や科目履修生にとっても、「放送大学の教育理念の卒業要件への具体化」以外の部分には、皆さんが取ろうとする科目の履修に有益な情報が満載されていますので、これをよく読んで科目選択に役立てることを期待します。

放送大学の授業科目の種類と特性

授業科目の種類	媒体（受講方法）	テキスト	単位の認定方法
放送授業	BSテレビ、BSラジオ （インターネット配信※）	印刷教材	通信指導・単位認定試験
面接授業	学習センター等で対面	当日配付資料 （一部教科書指定）	学習状況および試験・レポート等
オンライン授業	インターネット	視聴メモ等を LMS上で提供	選択式問題、レポート等 （一部Web通信指導、単位認定試験を実施）
ライブWeb授業	自宅等で受講	LMS上で資料配付 （一部教科書指定）	学習状況および試験・レポート等

※開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネット配信します（一部の科目は、インターネット配信限定での受講となります）。

放送大学が科目を提供する期間

放送授業とオンライン授業は、原則４年から６年、同一科目を提供します。それぞれ科目名の後ろに、カッコ書きで開設年度を示しています。

面接授業は、学期ごとに授業を企画することを原則としていますが、科目の特性により同一科目を複数学期にわたって提供することもあります。

放送大学における教養教育の理念

放送大学における教育の理念は、「生涯学習としての教養教育」の提供です。「生涯学習としての教養教育」は、人生のさまざまな局面で、人々が直面するさまざまな問題をより良く考え、より良く理解し、より良く生きる能力の形成を目的とするものです。

このような目的を実現するために、放送大学のカリキュラムは、相矛盾する二つの構成要素、すなわち特定の学問分野においてその学問固有の視点や分析能力を養う知識の「縦の深化」を求める要素と、複数の学問領域を横断する知識の「横への広がり」を求める要素を、ともに重視しながら学生の学習目的に応じた柔軟な学習方法を提供するものになっています。

縦の要素は、各コースの中でさらに細分化されたグループとして、履修科目案内図上で「系」の軸に沿って体系的に示されます。

横の要素は、同一コース内の他系の授業や、他コースの各系の授業によって示され、学生の皆さんが自らの問題意識、関心に沿って科目を選択することや、「科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）」をガイドに科目選択をすることで修得できます。

放送大学の教育理念の卒業要件への具体化

①　放送大学の科目区分とナンバリング

放送大学の科目は全てのコースにおいて、基盤科目、導入科目、専門科目、総合科目に分類され、それぞれ100番台～400番台のナンバリングで、履修科目案内図に表示されています。それぞれの科目区分の目標は次のように定義されます。

区　分		目　　標
基盤科目 （100 番台）		放送大学の全てのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身につけること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目 （200 番台）	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識およびそこで求められる基礎的な能力を身につけること。
	専門科目 （300 番台）	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身につけること。
	総合科目 （400 番台）	学際的な知識、分析手法を身につけ、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

ナンバリングの小さい方がより基礎的で、大きくなるにつれて専門性が高まり、総合科目は複数の専門の総合という意味で応用性が高くなるという構成になっています。

基盤科目については、皆さんがどのコースに所属するかにかかわらず、14 単位以上の修得を卒業要件としています。皆さんのこれまでの学習の経験や、放送大学での学習への興味・関心に従って、基盤科目から必要な科目を選択してください。

②　放送大学における専門性にかかわる教育

ア）　所属コース開設科目

放送大学における専門的な知識の体系的な教育は、特定の学問体系の専門的な知識を十分に獲得する「基礎を形成する」知識と考え方の教育です。

その対象となるのが、皆さんが所属する各コースで開設される科目の学習です。コース開設科目は導入科目、専門科目、総合科目の 3 種の科目区分からなります。卒業要件の一つは、自らが所属するコースの科目（自コース開設科目）を 34 単位以上修得することです。

各コースの履修科目案内図には、各コースを構成するより基本的な学問領域に対応する「系」ごとに科目が表示されています。

イ）　共用科目

各コースが、他のコースで開設する科目（他コース開設科目）について、それぞれのコースの体系的な学習にとって重要な科目であると判断した場合には、各コースでそれを「共用科目」とします。**共用科目は卒業要件上、自コース開設科目の単位として取り扱うものですので、卒業要件上の他コース開設科目の単位とすることはできません。**

③　放送大学における学習の学際性、複眼性という軸

全科履修生は、卒業要件として、コース科目である導入科目、専門科目、総合科目から合計 76 単位以上修得することとなっています。そのうち自コース開設科目から 34 単位以上、他コース開設科目から 4 単位以上修得することが必要です。この要件を満たしたうえで、自コース開設科目、他コース開設科目をそれぞれどの程度取るかは皆さんの学習目的によって変わります。縦の深化を強める学習を目的とする方は、1 つの系を中心に同一コースの科目を多く履修してください。横の広がりを強める学習を目的とする方は、コース横断的な学習をするようにしてください。横断的な学習の際に、特定のテーマに即して、科目を系横断的ないしはコース横断的にグルーピングしてリスト化し、その中に示されている科目を一定単位以上修得した場合に、特定課題の学習を行ったことを大学が認証し、認証状を出す「科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）」を活用することもできます。

放送大学のカリキュラムは生涯学習としての教養教育という視点で、学生の皆さんが特定の学問領域の知識を深めることと、幅の広さを獲得することの双方を目的としており、それぞれの学習目的に応じてどちらにウェイトを置く学習も可能にする弾力性を持つものなので、皆さんの学習目的に沿った自主的選択が大切になります。

1学期間に履修する科目数について

各学期で履修する授業科目数、単位数は各自の学習計画や生活のペースに合わせて選択してください。
あまり多く登録しすぎると、学習の継続が困難になる場合があります。

（参考）

履修時間の基準

○放送授業　全15回2単位

・印刷教材による授業：45時間の学修

・放送授業：45時間の学修（1時間の放送授業に対して2時間の事前学習及び事後学習）

○面接授業　全8回1単位

45時間の学修（1時間の面接授業に対して2時間の事前学習及び事後学習）

○オンライン授業・ライブWeb授業　全8回1単位もしくは全15回2単位

45時間もしくは90時間の学修

（1時間のオンライン授業・ライブWeb授業に対して2時間の事前学習及び事後学習）

事前学修及び事後学修について

事前学修とは、授業科目への理解を深めるために受講する前に行うものです。一方、事後学修とは、授業を通じて学んだ知識や技術、考え方などを定着させ身につけることを目的として授業科目の受講後に行うものです。

放送授業、オンライン授業の科目ごとの事前学修・事後学修については、2025年度新規開設科目から、シラバス内「履修上の留意点」に記載しています。2024年度以前の開設科目については、以下を参考に事前・事後の学習を進めてください。

［放送授業科目］

放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行ってください。事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するよう努めてください。事後学修としては、一般的な復習に加えて、印刷教材で指定された課題等に取り組んでください。

［オンライン授業科目］

オンライン授業科目を学習する際は、まずシラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。

面接授業・ライブWeb授業科目の事前学修・事後学修については各科目のシラバスをご確認ください。

全科履修生卒業要件

卒業するには、科目区分による要件と授業形態による要件の両方を満たし、124単位以上修得する必要があります。

科目区分による要件

（注）「資格取得等に資する科目」のうち、看護師資格取得に資する科目（2009年度以降開設科目）の単位は、コース科目（うち他コース開設）の単位数として卒業要件に算入されます。

・2016年度以降のカリキュラムの方

科目区分		修得すべき最低単位数（計124単位）		科目区分を問わない単位数	単位の認定方法
基盤科目		14単位	うち外国語 2単位	34単位	●基盤科目のうち、外国語科目から2単位以上
コース科目	導入科目	76単位	うち自コース開設 34単位 うち他コース開設 4単位		●コース科目（導入科目・専門科目・総合科目）のうち所属するコース開設科目から34単位以上、所属コース以外の開設科目から4単位以上 ●卒業研究6単位を修得した場合、所属するコースの専門科目として認定します。（卒業研究は必修ではありません）
	専門科目				
	総合科目				

＊全科履修生として本学を卒業後、再入学（3年次学士入学）された方は、上記の要件に加え、再入学したコースのコース科目（導入科目、専門科目、総合科目）から、新たに16単位以上（既修得単位を含まない）修得する必要があります。

・2013～2015年度のカリキュラムの方

科目区分		修得すべき最低単位数（計124単位）			単位修得上の条件
基礎科目		8単位以上	30単位	34単位	●基礎・共通科目それぞれ8単位以上 ●基礎・共通科目を問わず、外国語科目から6単位以上
外国語科目		6単位以上			
共通科目		8単位以上			
専門科目	所属コース	30単位以上	60単位		●専門科目は、所属するコースから30単位以上 ●卒業研究6単位を修得した場合、所属するコースの専門科目として認定します。（卒業研究は必修ではありません）
	他コース				
総合科目		4単位以上			●総合科目は、4単位以上

授業形態による要件

・2024年度以降のカリキュラムの方

授業形態	修得すべき最低単位数（計124単位）		単位の取扱いについて
放送授業	74単位	30単位	※卒業研究6単位を修得した場合、放送・面接授業それぞれ3単位として認定します。（卒業研究は必修ではありません）
面接授業またはオンライン授業	20単位		

※「教育課程の意義及び編成の方法（'15）」および閉講科目「幼児理解の理論及び方法（'15）」「小学校外国語教育教授基礎論（'17）」については、卒業要件上は「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。
※ライブWeb授業科目は、卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業」として取り扱います。
（注）成績評価は、ⒶからＥの6区分で行い、Ｃ以上が合格です。

・2013～2023年度のカリキュラムの方

授業形態	修得すべき最低単位数（計124単位）		単位の取扱いについて
放送授業	94単位	10単位	※卒業研究6単位を修得した場合、放送・面接授業それぞれ3単位として認定します。（卒業研究は必修ではありません）
面接授業またはオンライン授業	20単位		

※「教育課程の意義及び編成の方法（'15）」および閉講科目「幼児理解の理論及び方法（'15）」「小学校外国語教育教授基礎論（'17）」については、卒業要件上は「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。
※ライブWeb授業科目は、卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業」として取り扱います。
（注）成績評価は、ⒶからＥの6区分で行い、Ｃ以上が合格です。

2023年度以前より継続して在籍している全科履修生が、2024年度以降の授業形態による要件の適用を受ける場合は、システムWAKABAからのカリキュラム移行手続きが必要です。ご注意ください。

通信指導・単位認定試験について

○通 信 指 導

1. 実施方法

「Web通信指導による提出及び添削結果の確認」を基本とし、郵送提出科目のみ「郵送」により実施します。

各科目の出題形式（択一式・記述式・併用式）については、『授業科目案内』の授業科目講義概要に記載していますので、出題形式も考慮の上、科目登録してください。

なお、履修科目の通信指導問題は4月上旬にシステムWAKABA「授業共有ファイル」（システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル）にアップロードします。また、システムWAKABA「教材発送情報」の「通信発送状態」欄（システムWAKABA →教務情報→学生カルテ→教材発送情報）は空欄となります。

◆Web通信指導による提出

・科目ごとに「択一式（選択肢をクリックし解答）」「記述式（オンラインテキスト（解答記入欄に文字入力）形式、またはファイル添付（解答を記載したファイルを添付）形式で解答）」のいずれかの形式で出題され、自宅等からインターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います（評価対象となる解答は一回目の提出のみです）。

※Web提出が困難な方は、「○自宅等での提出・受験が困難な方へ（p.13）」、ウェブサイトまたは印刷教材に同梱するチラシ「通信指導の提出について」をご確認ください。

◆郵送による提出（郵送提出科目のみ）

・以下の科目は4月下旬に大学本部から送付される通信指導問題冊子・マークシート・返送用封筒を用いて、郵送で解答を提出します（提出方法の詳細は問題冊子等に同封します）。

1140086　市民自治の知識と実践（'21）	1555022　日本美術史の近代とその外部（'18）
1555006　文学批評への招待（'18）（再）	1930095　空間と政治（'22）

※「文学批評への招待（'18）」は、2026年度第2学期に新規科目登録された方で、通信指導が未提出または不合格かつ2027年度第1学期に学籍がある方のみ（休学中を除く）へ送付します。

2. 提出期間

提出方法	提　出　期　間
Web通信指導	2027年5月7日（金）10：00 ～ 5月27日（木）17：00
郵　送※	2027年5月13日（木）～ 5月27日（木）《必着》

※郵送提出科目、Web通信指導による提出が困難な方に限ります。

○単 位 認 定 試 験

1. 実施方法概要（Web試験）

・インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスして受験します。

・試験期間中は自宅等からいつでも受験できます。制限時間は1科目50分です（一時停止不可、1回のみ受験可能）。

・出題形式には「択一式」（選択肢をクリックし解答）「記述式」（解答記入欄に文字入力し解答）「（択一式と記述式の）併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目講義概要」（p.34 ～ p.161）に掲載しています。

・今後、Web単位認定試験において、Webカメラによる本人確認を実施する予定です（導入時期未定。2027年度第1学期は実施いたしません）。導入時期が決まり次第、システムWAKABAやキャンパスメール等でお知らせいたします。

2. 郵送試験を実施する科目について

・以下の科目は7月上旬頃に大学本部から送付される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します（提出方法の詳細は問題冊子等に同封します）。

1539582　行政学講説（'24）	1569368　正多面体と素数（'21）
1555022　日本美術史の近代とその外部（'18）	1562916　量子化学（'19）

・試験時間の制限は行いません。提出期間内に解答を作成し、提出してください。

3. 試験日程

実施方法	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web試験	択一式科目	2027年7月14日（水）9:00 ～ 7月22日（木）17:00
	記述式・併用式科目	2027年7月14日（水）9:00 ～ 7月18日（日）17:00
郵送試験	すべての出題形式	2027年7月14日（水） ～ 7月18日（日）《必着》

○自宅等での提出・受験が困難な方へ

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、Web上での提出・受験が困難な方は、所定の手続きを行うことで、通信指導は郵送で提出、単位認定試験は受験場所を学習センター等に変更することが可能です。

○2027年度第1学期に入学する方（継続入学の場合を含みます）

出願票の「単位認定試験受験場所」に記入してください。未記入の場合は「全て自宅受験」となります。

○2026年度第2学期から引き続き在学している方

受験場所の変更を希望する場合は、システムWAKABA「教務情報→変更･異動手続→単位認定試験受験場所変更」により申請してください。

＜単位認定試験を学習センターで受験する場合の注意事項＞

◆学習センター等で受験する場合、「学習センター受験者用の単位認定試験時間割一覧」（p.164 ～ p.166）に記載の試験日・時限に受験する必要があります。

◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます（記述式の解答のみ、解答用紙で行います）。

◆学習センターで行う操作体験会に、ご参加ください。各学習センターの体験会実施日時等の詳細については、各学習センターから対象者へ、随時ご案内を送付します。

○Web通信指導・Web単位認定試験の操作体験について

実際に提出・受験で使用するシステムの操作を体験していただけるシステムを用意しております。

・在籍中の方：システムWAKABAのトップ画面右側、「学内リンク」から、「Web通信指導」または「Web単位認定試験」をクリックして各システムにアクセス

・入学前の方：放送大学ウェブサイトトップ画面から「通信指導についてのご案内」→Web通信指導お試し版（ゲスト用）、または「単位認定試験についてのご案内」→Web単位認定試験体験版（ゲスト用）をクリックしてアクセス
Web通信指導お試し版・Web単位認定試験体験版（ゲスト用）（https://shiken-open.ouj.ac.jp/）
なお、ゲスト用と在学生用ではページの見え方が異なる箇所があります。

○障がいのある方で、パソコン操作が困難な方への配慮について

障がいのある方で、自宅等でのWeb での提出や受験が困難な方につきましては、障がいの特性に応じた配慮を行っております（本学では、修学上の合理的配慮と言います）。

修学上の合理的配慮は、希望される方ご自身と本学（所属学習センター）とが相談・協議のうえ、決定されるものになります。詳細は大学ウェブサイト（https:/www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/accessibility/support/）をご参照いただくか、所属学習センターまでご相談ください。

すでに修学上の合理的配慮を受けている方でも、自宅等でのWeb受験において不安に感じることや配慮して欲しいことなどがございましたら、早めに所属学習センターまでご相談ください。

オンライン授業について

全ての学習をインターネット上で行います。科目ごとに決められた期間に課題を提出することで成績評価を行います。通信指導や単位認定試験はありません（一部科目を除く）。オンライン授業の学習方法・操作方法は、「オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）」をご確認ください。

［配信期間］

配信期間は 2027 年 4 月 5 日（月）10 時から 2027 年 8 月 31 日（火）17 時を予定しています。
※配信終了後は、講師からのお知らせ・各課題の採点結果などの確認はできません。ご注意ください。

［履修上の注意］

1. オンライン授業には 1 単位科目（8 コマ）と 2 単位科目（15 コマ）があります。
2. オンライン授業は科目によって課題の提出期限が異なります。配信開始後は必ずオンライン授業システムにアクセスし課題締切をご確認ください。課題締切の目安は、オンライン授業体験版で確認できます。
3. オンライン授業のすべての教材はインターネット上で配信します（印刷教材はありません）。一部の科目については指定教材があります。シラバスをご確認ください。
4. オンライン授業科目の単位修得後、放送大学に学籍があり、かつ当該科目の開設期間中は、復習用に講義映像や資料などの一部を閲覧することができます。配信は学期開始 1 ヶ月後ごろ開始いたします。
5. オンライン授業は通信指導、単位認定試験を行わないため再試験はありません。（一部科目を除く）単位を修得できなかった科目を、次学期以降に再受講する場合は、再度科目登録申請と授業料の納入が必要です。
6. 受講にはインターネット接続されたパソコンが必要です。詳細はオンライン授業体験版をご確認ください。学習できる環境をご自身で整えた上、科目登録をお願いします。学習センターなどのパソコンは、原則利用できません。

［単位認定試験を実施するオンライン授業科目について］

「教育課程の意義及び編成の方法（'15）」は Web 通信指導、単位認定試験を実施します。通信指導に合格した上で、単位認定試験を受験する必要があります。新規に科目登録した学期に単位修得できなかった場合、次の学期に学籍がある場合に限り、科目登録を行わなくても再試験を受けられます。

［学習履歴データの利用・提供について］

放送大学では、オンライン授業の改善・発展、教育の質向上及び学術研究を目的として、授業の実施過程で蓄積される学習履歴データを学内で利用することがあります。また、これらの目的のため、国立情報学研究所（NII）と締結した協定に基づき、学習履歴データについて、氏名・学生番号等の直接的な識別子を削除するなど、学生個人が識別される可能性をできる限り低減した上で同研究所に提供し、共同研究を行う場合があります。

現在実施中の研究の概要は下記のページに掲載しています。研究ごとに、対象となるデータ、対象期間、研究目的等をお知らせするとともに、研究への利用を希望されない場合に申し出ることができるオプトアウトの手続についてもご案内しています。

オンライン授業を受講される際には、上記の点についてご理解いただきますようお願いします。

・学習履歴データを利用した研究の概要、研究への利用を希望されない場合の手続（オプトアウト）
https://www.ouj.ac.jp/gakuin/about/irb/
※「放送大学の学生・元学生の皆様へ」＞「研究の情報公開」をご参照ください。

ライブ Web 授業について

ライブ Web 授業は、ご自宅のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配付、出席登録、講義用 Zoom への入室、課題提出等はすべて専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用 Zoom に入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。科目登録の前には、必ず「ライブ Web 授業体験版」で Zoom 接続テスト、課題提出操作の確認等を行ってください。

＜ライブ Web 授業＞
シラバス及び科目登録の方法等は本学ウェブサイトで公開しています。
https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/

＜ライブ Web 授業体験版＞
「オンライン授業体験版」の中に設置しています。以下のページよりアクセスしてください。
https://online-open.ouj.ac.jp/

履修科目案内図

履修科目案内図の見方

ナンバリングはカリキュラムを体系的に示すために用いているもので、数字の小さい方がより基礎的で、大きくなるにつれて専門性が高まるものです。

他コース開設科目のうち、自コースの科目として取り扱うものです。選科履修生と科目履修生の方は、【 】内のコース科目として表示されます。

ナンバリング
（科目名の前の３桁の数字）
※ 科目コードではありません。

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級（10）	中級（20）	上級（30）
総合科目（400）	410	420	430
専門科目（300）	310	320	330
導入科目（200）	210	220	230
基盤科目（100）	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することになります。

科目区分		○○系	○○系	○○系	共用科目
コース科目	400 総合科目	430 ■■■■■（'23）			420 ＊＊＊＊（'23）【◇◇◇◇コース】
		420 ▲▲▲▲▲（'23）			
		410 ●●●●●（'22）			
	300 専門科目	330 □□□□□（'21）			320 ※※※※（'23）【◇◇◇◇コース】
		320 △△△△△（'23）			
		320 ＃＃＃＃＃（'20）			
		310 ○○○○○（'21）			
	200 導入科目	230 ＠＠＠＠＠（'22）			
		220 ▽▽▽▽▽（'23）			
		210 ◎◎◎◎◎（'23）			
	100 基盤科目	110 ★★★★★（'21） 110 ☆☆☆☆☆（'23） 110 ◆◆◆◆◆（'22） ＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲			

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

○生活と福祉コース　p.16
○心理と教育コース　p.17
○社会と産業コース　p.18
○人間と文化コース　p.19
○情報コース　p.20
○自然と環境コース　p.21
○外国語科目の履修について　p.22

【生活と福祉コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

コース科目

400 総合科目

福祉系

- 420 グリーフサポートと死生学(' 24)
- 420 レジリエンスの科学(' 24)
- 410 地域生活を支える社会福祉と法(' 24)
- 410 地域包括ケアシステムと在宅医療(' 18)

共用科目

- 420 住まいの環境論(' 23) 【社会と産業】
- 410 モビリティとまちづくり(' 27) 【社会と産業】

300 専門科目

福祉系

- 330 高等教育と障害(' 27)
- 330 支える社会保障(' 26)
- 330 社会政策の国際動向と日本の位置(' 23)
- 320 地域福祉の課題と展望(' 22)
- 320 地域・在宅看護論(' 23)
- 320 災害看護学・国際看護学(' 26)
- 310 子どもの人権をどうまもるのか(' 21)
- 310 超高齢社会を生きる(' 27)
- 310 社会福祉実践とは何か(' 22)
- 310 障害者の自立と制度(' 24)
- 310 今日のメンタルヘルス(' 27)
- 310 看護学概説(' 22)
- 310 災害を乗り越える防災基礎力入門(' 26)

健康系

- 330 リハビリテーション(' 25)
- 330 精神疾患とその治療(' 26)
- 320 人間・環境情報とDX (' 25)
- 320 食の安全(' 25)
- 310 公衆衛生(' 24)
- 310 認知症と生きる(' 27)
- 310 食と健康(' 24)
- 320 看護管理と医療安全(' 24)
- 310 基礎看護学(' 24)
- 310 持続可能な社会へのシステム思考(' 27)

生活系

- 320 ソーシャルシティ (' 23)
- 320 リスクコミュニケーションの探究(' 23)
- 320 現代社会のなかの家族(' 26)
- 320 日本の家族問題を考える(' 26)

共用科目

- 330 環境を可視化する技術と応用(' 23) 【社会と産業】
- 330 感覚と応答の生物学(' 23) 【自然と環境】
- 320 生物の進化と多様化(' 26) 【自然と環境】
- 320 ヒューマンインタフェース(' 23) 【情報】
- 320 都市と地域の社会学(' 24) 【社会と産業】
- 320 家族と教育(' 27) 【心理と教育】

200 導入科目

福祉系

- 230 がんとともに生きる(' 18)
- 220 貧困の諸相(' 23)
- 220 社会福祉ー新しい地平を拓く(' 22)
- 220 疾病の回復を促進する薬(' 25)
- 210 生活経済学(' 25)

健康系

- 220 疾病の成立と回復促進(' 25)
- 220 睡眠と健康(' 25)
- 210 人体の構造と機能(' 26)
- 210 がんを知る(' 26)
- 210 循環器の健康科学(' 20)
- 210 感染症と生体防御(' 24)
- 210 健康長寿のためのスポートロジー (' 24)
- 210 健康と社会(' 23)

生活系

- 220 豊かに暮らすための不動産学(' 26)
- 210 健康への力の探究(' 27)

共用科目

- 230 分子の変化からみた世界(' 23) 【自然と環境】
- 230 かたちの化学ー化学の考え方入門(' 23) 【自然と環境】
- 220 社会統計学入門('24) 【社会と産業】
- 220 初歩からの情報科学(' 25) 【情報】
- 220 Rで学ぶ確率統計(' 27) 【情報】
- 210 社会調査の基礎(' 27) 【社会と産業】

100 基盤科目

- 110 運動と健康(' 22)
- 110 市民自治の知識と実践(' 21)
- 110 平和と安全保障(' 26)
- 110 社会と産業の倫理(' 21)
- 110 問題解決の進め方(' 25)
- 110 自然科学はじめの一歩(' 22)
- 110 少子化時代の子育て―法と政策(' 25)
- 110 より良い思考の技法(' 23)
- 110 心理と教育へのいざない(' 24)
- 110 日本語リテラシー (' 26)
- 110 日本語リテラシー演習(' 27)
- 110 日本語アカデミックライティング(' 22)
- 110 GISで理解する自然とくらし(' 27)
- 110 デジタル時代の学びの技法(' 27)
- 110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)
- 110 地理空間情報の基礎と活用(' 27)
- 110 情報学へのとびら(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22)
- 110 初歩からの数学(' 18)
- 110 身近な統計(' 24)
- 110 演習初歩からの数学(' 20)

＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

【心理と教育コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

コース科目

400 総合科目

410 色を探究する(' 23)

300 専門科目

330 学校と法(' 24)
330 教育政策と行財政(' 27)

320 多様な子どもの学びと公教育(' 27)
320 これからの生徒指導を考える(' 27)
320 日本の文化と教育(' 23)
320 コミュニティと教育(' 24)
320 教育課程の意義及び編成の方法(' 15)
320 幼児理解の理論及び方法(' 26)
320 特別支援教育基礎論(' 24)
320 肢体不自由児の教育(' 26)
320 知的障害教育総論(' 25)
320 学校図書館サービス論(' 26)
320 学校リスク論(' 22)
320 世界の学校(' 24)
320 社会教育経営実践論(' 22)
320 生涯学習支援の理論と実践(' 22)
320 日本の教職論(' 22)
320 幼児教育の指導法(' 22)
320 持続可能な社会と教育(ESD) (' 27)
320 家族と教育(' 27)

320 感情・人格心理学(' 27)
320 社会・集団・家族心理学(' 26)
320 産業・組織心理学(' 26)
320 進化心理学(' 23)
320 神経・生理心理学(' 26)
320 学習・言語心理学(' 25)
320 知覚・認知心理学(' 23)
320 錯覚の科学(' 20)
320 心理学統計法(' 21)
320 心理学研究法(' 20)

320 イメージの力(' 24)
320 ライフサイクルの心理臨床(' 26)
320 心理臨床における法・倫理・制度(' 27)
320 心理職の専門性(' 26)
320 司法・犯罪心理学(' 26)
320 障害者・障害児心理学(' 27)
320 福祉心理学(' 21)
320 認知行動療法(' 26)
320 精神分析とユング心理学(' 23)
320 心理カウンセリング序説(' 21)
320 心理的アセスメント(' 26)
320 臨床心理学概論(' 20)

320 特別支援教育総論(' 25)

310 生涯学習を考える(' 27)
310 乳幼児の保育・教育(' 21)
310 現代のキャリアコンサルティング(' 25)
310 今求められる学力と学び(' 26)
310 学校事務の新潮流(' 26)

200 導入科目

230 教育・学校心理学(' 20)　230 発達心理学概論(' 27)

230 教育の社会学(' 25)
230 教育政策のデザイン(' 25)

220 テーマで学ぶ日本教育史(' 24)
220 現代教育入門(' 21)

220 心理学概論(' 24)

100 基盤科目

110 運動と健康(' 22)
110 市民自治の知識と実践(' 21)
110 平和と安全保障(' 26)
110 社会と産業の倫理(' 21)
110 問題解決の進め方(' 25)
110 自然科学はじめの一歩(' 22)
110 少子化時代の子育て一法と政策(' 25)
*基盤科目のうち、外国語科目については別掲

110 より良い思考の技法(' 23)
110 心理と教育へのいざない(' 24)
110 日本語リテラシー (' 26)
110 日本語リテラシー演習(' 27)
110 日本語アカデミックライティング(' 22)
110 GISで理解する自然とくらし(' 27)
110 デジタル時代の学びの技法(' 27)
110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)

110 地理空間情報の基礎と活用(' 27)
110 情報学へのとびら(' 22)
110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22)
110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22)
110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22)
110 初歩からの数学(' 18)
110 身近な統計(' 24)
110 演習初歩からの数学(' 20)

共用科目

420 グリーフサポートと死生学(' 24)【生活と福祉】
420 情報技術が拓く人間理解(' 27)【情報】
420 AI技術を人と社会へとつなぐ(' 27)【情報】
420 レジリエンスの科学(' 24)【生活と福祉】
410 時間を究める(' 23)【人間と文化】
410 空間を考究する(' 26)【人間と文化】

330 リハビリテーション(' 25)【生活と福祉】
330 精神疾患とその治療(' 26)【生活と福祉】
330 支える社会保障(' 26) 【生活と福祉】
330 高等教育と障害(' 27) 【生活と福祉】
330 問題解決の数理(' 27) 【情報】
320 統計学(' 19) 【自然と環境】
320 ユーザ調査法(' 20) 【情報】
320 博物館教育論(' 22) 【人間と文化】
320 メディア論(' 22) 【情報】
320 リスクコミュニケーションの探究(' 23) 【生活と福祉】
320 ソーシャルシティ (' 23) 【生活と福祉】
320 現代に生きる現象学('23)【人間と文化】
320 博物館経営論(' 23) 【人間と文化】
320 ヒューマンインタフェース(' 23) 【情報】
320 情報セキュリティの現状と展望('23) 【情報】
320 情報セキュリティの理論と基盤('23) 【情報】
320 行政学講説(' 24) 【社会と産業】
320 フィールドワークと民族誌(' 24) 【人間と文化】
320 情報化社会におけるメディア教育('24)【情報】
320 データの分析と知識発見('24)【情報】
320 人間・環境情報とDX('25)【生活と福祉】
320 西洋政治思想の文脈(' 25)社会と産業】
320 社会科学で綴る伝記('25)【社会と産業】
320 「日本語らしさ」とは何か(' 25) 【人間と文化】
320 生活を支えるコンピュータ技術('25)【情報】
320 生物の進化と多様化('26)【自然と環境】
320 日本の家族問題を考える(' 26) 【生活と福祉】
320 現代社会のなかの家族(' 26) 【生活と福祉】
310 博物館資料保存論(' 25)【人間と文化】
310 博物館資料論(' 25)【人間と文化】
310 博物館情報・メディア論(' 25) 【人間と文化】
310 今日のメンタルヘルス(' 27)【生活と福祉】
310 持続可能な社会へのシステム思考(' 27) 【生活と福祉】
310 認知症と生きる(' 27) 【生活と福祉】
310 超高齢社会を生きる(' 27)【生活と福祉】
310 イノベーション・マネジメント(' 27) 【社会と産業】
310 サービスサイエンス(' 27) 【社会と産業】
310 博物館展示論(' 25) 【人間と文化】
310 マーケティング(' 25) 【社会と産業】
310 NPO・NGOの世界('25)【社会と産業】
310 情報社会のユニバーサルデザイン('19)【情報】
310 子どもの人権をどうまもるのか(' 21) 【生活と福祉】
310 小学校プログラミング教育概論(' 21)【情報】
310 教育のためのICT活用(' 22) 【情報】
310 障害者の自立と制度('24)【生活と福祉】
310 情報デザイン(' 26)【情報】
310 持続可能な社会のための財政学(' 26) 【社会と産業】
310 市民生活と裁判(' 26)【社会と産業】

230 表計算プログラミングの活用(' 25) 【情報】
230 情報セキュリティと倫理・心得(' 26) 【情報】
220 社会福祉ー新しい地平を拓く(' 22) 【生活と福祉】
220 貧困の諸相(' 23) 【生活と福祉】
220 社会統計学入門(' 24) 【社会と産業】
220 ゲーム理論入門(' 25) 【情報】
220 疾病の回復を促進する薬('25)【生活と福祉】
220 疾病の成立と回復促進('25)【生活と福祉】
220 睡眠と健康(' 25) 【生活と福祉】
220 日本の近現代(' 27) 【人間と文化】
220 Rで学ぶ確率統計(' 27) 【情報】
220 表計算プログラミング基礎AI版('27)【情報】
210 総合人類学としてのヒト学(' 18) 【人間と文化】
210 社会調査の基礎(' 27) 【社会と産業】
210 健康への力の探究(' 27) 【生活と福祉】
210 博物館概論(' 23) 【人間と文化】
210 経営学入門(' 24) 【社会と産業】
210 共生のための技術者倫理('24)【社会と産業】
210 多文化共生のコミュニケーション(' 24) 【人間と文化】
210 日本語教育学入門(' 24) 【人間と文化】
210 社会学概論(' 25) 【社会と産業】
210 人体の構造と機能(' 26) 【生活と福祉】
210 政治学入門(' 26) 【社会と産業】
210 社会科学の研究計画作成法(' 26) 【社会と産業】

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

【社会と産業コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

科目区分	社会学系	法学系	政治学系	経済学系	産業・経営系	社会技術系	共用科目
コース科目 400 総合科目				420開発経済学：アジア社会の変容(' 24)	420 環境と社会(' 21)	420 住まいの環境論(' 23) 410 モビリティとまちづくり(' 27)	420 情報技術が拓く人間理解(' 27)【情報】 420 AI技術を人と社会へとつなぐ(' 27)【情報】 420 レジリエンスの科学(' 24)【生活と福祉】 410 地域生活を支える社会福祉と法(' 24)【生活と福祉】 410 情報社会と国際ボランティア活動(' 24)【情報】 410 時間を究める('23)【人間と文化】 410 空間を考究する(' 26)【人間と文化】 410 中国からジェンダー史を考える(' 26)【人間と文化】
		410 平和学(' 27)					
			410 空間と政治(' 22)	410 海からみた産業と日本(' 22)			
300 専門科目		330 国際法('25)				330 環境を可視化する技術と応用(' 23)	330 社会政策の国際動向と日本の位置(' 23)【生活と福祉】 330 学校と法(' 24)【心理と教育】 330 支える社会保障(' 26)【生活と福祉】 320 近現代ヨーロッパの歴史(' 22)【人間と文化】 320 メディア論(' 22)【情報】 320 ソーシャルシティ(' 23)【生活と福祉】 320 コミュニティと教育(' 24)【心理と教育】 320 アメリカ史：世界史の中で考える(' 24)【人間と文化】 320 原典で読む日本の思想(' 24)【人間と文化】 320 西アジアの歴史(' 24)【人間と文化】 320 フィールドワークと民族誌(' 24)【人間と文化】 320 データの分析と知識発見(' 24)【情報】 320 食の安全(' 25)【生活と福祉】 320 人間・環境情報とDX(' 25)【生活と福祉】 320 現代社会のなかの家族(' 26)【生活と福祉】 320 産業・組織心理学(' 26)【心理と教育】 320 近世の日本と世界(' 26)【人間と文化】 320 日本の家族問題を考える(' 26)【生活と福祉】 320 家族と教育(' 27)【心理と教育】 320 心理臨床における法・倫理・制度(' 27)【心理と教育】 320 ネットワークとスマート社会(' 27)【情報】 330 問題解決の数理(' 27)【情報】 320 司法・犯罪心理学(' 26)【心理と教育】 320 ユーラシアのなかの中国史(' 26)【人間と文化】 310 現代のキャリアコンサルティング(' 25)【心理と教育】 310 障害者の自立と制度(' 24)【生活と福祉】 310 食と健康(' 24)【生活と福祉】 310 災害を乗り越える防災基礎力入門(' 26)【生活と福祉】 310 超高齢社会を生きる(' 27)【生活と福祉】 310 持続可能な社会へのシステム思考(' 27)【生活と福祉】
	320 都市と地域の社会学(' 24) 320 災害社会学(' 20)	320 刑法と生命(' 21) 320 人生100年時代の家族と法(' 23) 320 行政法(' 22) 320 著作権法(' 22) 320 民法(' 22)	320 全体主義と新自由主義のあいだ(' 23) 320 日本政治外交史(' 25) 320 現代の国際政治(' 26) 320 西洋政治思想の文脈(' 25) 320 ヨーロッパ政治史(' 24) 320 現代アメリカの政治と社会(' 24) 320 行政学講説(' 24) 320 新興アジアの政治と経済(' 24)	320 現代国際社会と有機農業(' 23) 320 日本経済の比較史(' 24) 320 社会科学で綴る伝記(' 25) 320 環境と持続可能な経済発展(' 24)	320 ファイナンス入門(' 23) 320 企業経営の国際展開(' 25) 320 管理会計(' 22) 320 経営情報学入門(' 23) 320 現代のフードシステム(' 26)	320 これからの住まいと建築(' 25)	
		310 雇用社会と法(' 21) 310 市民生活と裁判(' 26)		310 持続可能な社会のための財政学(' 26) 310 現代経済理論(' 26) 310 金融と社会(' 26)	310 会計学(' 24) 310 官民の人的資源論(' 24) 310 簿記入門(' 22) 310 SDGs下のアジア産業論(' 23) 310 NPO・NGOの世界(' 25) 310 現代の内部監査(' 22) 310 マーケティング(' 25) 310 サプライチェーン・マネジメント(' 25) 310 オペレーションズ・マネジメント(' 26)		
					310 サービスサイエンス(' 27) 310 イノベーション・マネジメント(' 27)		
200 導入科目	220 社会統計学入門(' 24)						230 教育の社会学('25)【心理と教育】 230 教育政策のデザイン(' 25)【心理と教育】 220 情報法入門(' 27)【情報】 220 ゲーム理論入門(' 25)【情報】 220 西洋哲学の根源(' 22)【人間と文化】 220 貧困の諸相('23)【生活と福祉】 220 哲学・思想を今考える(' 23)【人間と文化】 210 生活経済学(' 25)【生活と福祉】 210 健康と社会(' 23)【生活と福祉】 210 健康への力の探究(' 27)【生活と福祉】
	210 社会調査の基礎(' 27) 210 社会学概論(' 25)	210 日本国憲法(' 26) 210 一般市民のための法学入門(' 23) 210 会社法入門(' 27)	210 政治学入門(' 26)	210 社会経済の基礎(' 25)	210 経営学入門(' 24)	210 共生のための技術者倫理(' 24)	
			210 社会科学の研究計画作成法(' 26)				
100 基盤科目	110 運動と健康(' 22) 110 市民自治の知識と実践(' 21) 110 平和と安全保障(' 26) 110 社会と産業の倫理(' 21) 110 問題解決の進め方(' 25) 110 自然科学はじめの一歩(' 22) 110 少子化時代の子育て―法と政策(' 25) ＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲		110 より良い思考の技法(' 23) 110 心理と教育へのいざない(' 24) 110 日本語リテラシー(' 26) 110 日本語リテラシー演習(' 27) 110 日本語アカデミックライティング(' 22) 110 GISで理解する自然とくらし(' 27) 110 デジタル時代の学びの技法(' 27) 110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)		110 地理空間情報の基礎と活用(' 27) 110 情報学へのとびら(' 22) 110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22) 110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22) 110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22) 110 初歩からの数学(' 18) 110 身近な統計(' 24) 110 演習初歩からの数学(' 20)		

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

【人間と文化コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

コース科目

400 総合科目

哲学・芸術系	歴史学・地域文化系	文学・言語文化系	人類学・比較文化系	共用科目
		410 空間を考究する(' 26)		410 平和学(' 27)【社会と産業】 410 色を探究する(' 23)【心理と教育】
410 時間を究める(' 23)	410 中国からジェンダー史を考える(' 26)	410 時間を究める(' 23)		

300 専門科目

哲学・芸術系	歴史学・地域文化系	文学・言語文化系	人類学・比較文化系	共用科目
330 西洋の美学・美術史(' 24) 330 日本美術史の近代とその外部(' 18) 330 英米哲学の挑戦(' 23)		330 世界文学の古典を読む(' 20) 330 ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇(' 19)		320 西洋政治思想の文脈(' 25)【社会と産業】 320 日本政治外交史(' 25)【社会と産業】 320 社会科学で綴る伝記(' 25)【社会と産業】 320 数学の歴史('25)【自然と環境】 320 日本の文化と教育(' 23)【心理と教育】 320 全体主義と新自由主義のあいだ(' 23)【社会と産業】 320 メディア論(' 22)【情報】 320 世界の学校(' 24)【心理と教育】 320 現代アメリカの政治と社会(' 24)【社会と産業】 320 新興アジアの政治と経済(' 24)【社会と産業】 320 ヨーロッパ政治史(' 24)【社会と産業】 320 現代の国際政治(' 26)【社会と産業】
320 西洋音楽史(' 21) 320 舞台芸術の世界(' 26) 320 現代に生きる現象学(' 23) 320 時間と存在(' 27) 320 原典で読む日本の思想(' 24)	320 古代中世の日本(' 23) 320 近世の日本と世界(' 26) 320 史書からみる中国史(' 27) 320 ユーラシアのなかの中国史(' 26) 320 西アジアの歴史(' 24) 320 中近世ヨーロッパの歴史(' 27) 320 近現代ヨーロッパの歴史(' 22) 320 アメリカ史:世界史の中で考える(' 24)	320 樋口一葉の世界(' 23) 320 『方丈記』と『徒然草』(' 18) 320 文学批評の現在(' 27)	320 「人新世」時代の文化人類学(' 20) 320 フィールドワークと民族誌(' 24) 320 博物館経営論(' 23) 320 博物館教育論(' 22)	
320 映画芸術への招待(' 25)		320 映画芸術への招待(' 25)		310 記号論理学(' 24)【情報】
	320 文学・芸術・武道にみる日本文化(' 19)			
		320 「日本語らしさ」とは何か(' 25)		
		310 言語研究法(' 19)	310 博物館展示論(' 25) 310 博物館資料保存論(' 25) 310 博物館情報・メディア論(' 25) 310 博物館資料論(' 25)	

200 導入科目

哲学・芸術系	歴史学・地域文化系	文学・言語文化系	人類学・比較文化系	共用科目
			230 人文地理学からみる世界(' 22)	230 情報セキュリティと倫理・心得(' 26)【情報】
220 西洋哲学の根源(' 22) 220 哲学・思想を今考える(' 23)	220 日本の近現代(' 27)	220 世界文学への招待(' 22)		220 心理学概論(' 24)【心理と教育】 220 宮沢賢治と宇宙(' 24)【自然と環境】
	220 歴史のなかの人間(' 22)			
		210 『枕草子』の世界(' 24) 210 日本語学入門(' 20) 210 日本語教育学入門(' 24)	210 総合人類学としてのヒト学(' 18)	210 政治学入門(' 26)【社会と産業】
210 博物館概論(' 23) 210 多文化共生のコミュニケーション(' 24)				

100 基盤科目

110 運動と健康(' 22)	110 より良い思考の技法(' 23)	110 地理空間情報の基礎と活用(' 27)
110 市民自治の知識と実践(' 21)	110 心理と教育へのいざない(' 24)	110 情報学へのとびら(' 22)
110 平和と安全保障(' 26)	110 日本語リテラシー (' 26)	110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22)
110 社会と産業の倫理(' 21)	110 日本語リテラシー演習(' 27)	110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22)
110 問題解決の進め方(' 25)	110 日本語アカデミックライティング(' 22)	110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22)
110 自然科学はじめの一歩(' 22)	110 GISで理解する自然とくらし(' 27)	110 初歩からの数学(' 18)
110 少子化時代の子育て―法と政策(' 25)	110 デジタル時代の学びの技法(' 27)	110 身近な統計(' 24)
＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲	110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)	110 演習初歩からの数学(' 20)

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

【情報コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

コース科目

400 総合科目

- 420 AI技術を人と社会へとつなぐ(' 27)
- 420 情報技術が拓く人間理解(' 27)
- 410 情報社会と国際ボランティア活動(' 24)

300 専門科目

ソフトウェア系
- 330 ソフトウェア開発のデータ分析(' 26)
- 320 コンピュータ通信概論(' 24)
- 320 データ構造の基礎(' 24)
- 320 情報セキュリティの現状と展望(' 23)
- 320 情報セキュリティの理論と基盤(' 23)
- 320 生活を支えるコンピュータ技術(' 25)
- 320 データの分析と知識発見(' 24)
- 320 続・C言語基礎演習(' 23)
- 310 ソフトウェア開発入門(' 27)
- 310 プログラムとアルゴリズムの基礎(' 26)
- 310 記号論理学(' 24)
- 310 C言語基礎演習(' 20)

情報数理系
- 330 問題解決の数理(' 27)
- 330 数値の処理と数値解析(' 22)
- 320 ゲーム理論の基本と演習【LW】(1学期のみ開講)
- 320 数理最適化法演習(' 20)
- 320 自然言語処理(' 23)

マルチメディア系
- 330 コンピュータビジョン(' 22)
- 320 コンピュータグラフィックス(' 22)
- 320 画像処理(' 24)
- 320 メディア論(' 22)
- 310 映像コンテンツの制作技術(' 25)
- 310 デジタル情報の処理と認識(' 22)
- 310 情報デザイン(' 26)

ヒューマン系
- 320 ゲーム理論の基本と演習【LW】(1学期のみ開講)
- 320 ヒューマンインタフェース(' 23)
- 320 ユーザ調査法(' 20)
- 320 情報化社会におけるメディア教育(' 24)
- 310 教育のためのICT活用(' 22)
- 310 情報社会のユニバーサルデザイン(' 19)
- 310 小学校プログラミング教育概論(' 21)

情報基盤系
- 320 コンピュータ通信概論(' 24)
- 320 データ構造の基礎(' 24)
- 320 情報セキュリティの現状と展望(' 23)
- 320 情報セキュリティの理論と基盤(' 23)
- 320 ネットワークとスマート社会(' 27)
- 320 Webのしくみと応用(' 25)
- 320 データベース(' 23)
- 310 ソフトウェア開発入門(' 27)
- 310 プログラムとアルゴリズムの基礎(' 26)

共用科目
- 330 環境を可視化する技術と応用(' 23)【社会と産業】
- 320 線型代数学(' 27)【自然と環境】
- 320 経営情報学入門(' 23)【社会と産業】
- 320 統計学(' 19)【自然と環境】
- 320 心理学統計法(' 21)【心理と教育】
- 320 著作権法(' 22)【社会と産業】
- 320 ソーシャルシティ(' 23)【生活と福祉】
- 320 解析入門(' 24)【自然と環境】
- 320 人間・環境情報とDX(' 25)【生活と福祉】
- 310 サプライチェーン・マネジメント(' 25)【社会と産業】
- 310 博物館情報・メディア論(' 25)【人間と文化】
- 310 オペレーションズ・マネジメント(' 26)【社会と産業】

200 導入科目

ソフトウェア系
- 230 表計算プログラミングの活用(' 25)
- 230 情報セキュリティと倫理・心得(' 26)
- 220 情報法入門(' 27)
- 220 初歩からの情報科学(' 25)
- 220 Rで学ぶ確率統計(' 27)
- 220 表計算プログラミング基礎AI版(' 27)
- 220 プログラミング入門Python(' 24)
- 220 ゲーム理論入門(' 25)

情報数理系
- 230 情報理論とデジタル表現(' 19)

マルチメディア系
- 230 表計算プログラミングの活用(' 25)
- 220 表計算プログラミング基礎AI版(' 27)

ヒューマン系
- 220 ゲーム理論入門(' 25)
- 210 英語で学ぶ情報学の歩み(' 27)
- 210 オンライン調査の実施演習【LW】(2学期のみ開講)

情報基盤系
- 230 情報セキュリティと倫理・心得(' 26)
- 220 情報法入門(' 27)
- 220 情報ネットワーク(' 26)

共用科目
- 220 社会統計学入門(' 24)【社会と産業】
- 220 入門微分積分(' 22)【自然と環境】
- 210 共生のための技術者倫理(' 24)【社会と産業】
- 210 社会科学の研究計画作成法(' 26)【社会と産業】
- 210 社会調査の基礎(' 27)【社会と産業】

100 基盤科目

- 110 運動と健康(' 22)
- 110 市民自治の知識と実践(' 21)
- 110 平和と安全保障(' 26)
- 110 社会と産業の倫理(' 21)
- 110 問題解決の進め方(' 25)
- 110 自然科学はじめの一歩(' 22)
- 110 少子化時代の子育て―法と政策(' 25)
- 110 より良い思考の技法(' 23)
- 110 心理と教育へのいざない(' 24)
- 110 日本語リテラシー(' 26)
- 110 日本語リテラシー演習(' 27)
- 110 日本語アカデミックライティング(' 22)
- 110 GISで理解する自然とくらし(' 27)
- 110 デジタル時代の学びの技法(' 27)
- 110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)
- 110 地理空間情報の基礎と活用(' 27)
- 110 情報学へのとびら(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22)
- 110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22)
- 110 初歩からの数学(' 18)
- 110 身近な統計(' 24)
- 110 演習初歩からの数学(' 20)

＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲

この履修科目案内図には、放送授業、オンライン授業と、一部のライブWeb授業（【LW】と記載のある科目）を掲載しています。この他にも、面接授業、ライブWeb授業が開設されています。なお、ライブWeb授業は実施日・受講定員が決まっており、定員を超える申請があった場合は抽選を行います。また、科目詳細は本冊子に掲載していませんので、ウェブサイトをご覧ください。放送大学ウェブサイト＞選ばれる理由＞いつでも、だれでも、自由な学び方を＞ライブWeb授業

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

【自然と環境コース】

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110		

学習の流れとして、下から上へ積み重ねる形で、原則として**基盤科目→導入科目→専門科目→総合科目**の順に履修することとなります。

コース科目

400 総合科目

宇宙・地球系	物質・エネルギー系	生命・生態系	数理系	共用科目
420 暮らしに役立つバイオサイエンス(' 27)				420 レジリエンスの科学(' 24)【生活と福祉】 420 情報技術が拓く人間理解(' 27)【情報】
410 ジオストーリー (' 25)				410 色を探究する(' 23)【心理と教育】 410 時間を究める(' 23)【人間と文化】 410 空間を考究する(' 26)【人間と文化】

300 専門科目

宇宙・地球系	物質・エネルギー系	生命・生態系	数理系	共用科目
	330 量子化学(' 19) 330 電気と磁気の物理(' 26) 330 量子の物理(' 27) 330 量子物理演習(' 24)	330 感覚と応答の生物学(' 23) 330 植物の科学(' 21)		330 数値の処理と数値解析(' 22)【情報】 330 環境を可視化する技術と応用(' 23)【社会と産業】
330 地球と環境の探究(' 25)				320 錯覚の科学('20)【心理と教育】 320 データベース(' 23)【情報】 320 環境と持続可能な経済発展(' 24)【社会と産業】
320 宇宙の誕生と進化(' 19) 320 太陽と太陽系の科学(' 18)	320 力と運動の物理(' 27) 320 ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学(' 26)	320 生物の進化と多様化(' 26)	320 微分方程式(' 23) 320 統計学(' 19) 320 数学の歴史(' 25) 320 線型代数学(' 27) 320 解析入門(' 24) 320 正多面体と素数(' 21)	320 画像処理(' 24)【情報】 320 データ構造の基礎('24)【情報】 320 データの分析と知識発見(' 24)【情報】 320 食の安全(' 25)【生活と福祉】 310 博物館資料保存論(' 25)【人間と文化】 310 博物館資料論(' 25)【人間と文化】 310 博物館情報・メディア論(' 25)【人間と文化】 310 博物館展示論(' 25)【人間と文化】 310 食と健康(' 24)【生活と福祉】 310 記号論理学(' 24)【情報】 310 プログラムとアルゴリズムの基礎(' 26)【情報】
310 初歩からの気象学(' 27)		310 分子と細胞の生物学(' 27)		

200 導入科目

宇宙・地球系	物質・エネルギー系	生命・生態系	数理系	共用科目
	230 分子の変化からみた世界(' 23) 230 かたちの化学ー化学の考え方入門(' 23)			230 表計算プログラミングの活用(' 25)【情報】
220 宮沢賢治と宇宙(' 24)	220 物理の世界(' 24) 220 物理と化学のための数学(' 27) 220 現代を生きるための化学(' 22)	220 生物環境の科学(' 25)	220 演習微分積分(' 19) 220 入門微分積分(' 22) 220 入門線型代数(' 19)	220 疾病の回復を促進する薬(' 25)【生活と福祉】 220 ゲーム理論入門(' 25)【情報】 220 プログラミング入門Python(' 24)【情報】
210 ダイナミックな地球(' 21)	210 初歩からの化学(' 18) 210 初歩からの物理(' 22)	210 初歩からの生物学(' 24)		210 博物館概論(' 23)【人間と文化】 210 感染症と生体防御(' 24)【生活と福祉】 210 人体の構造と機能(' 26)【生活と福祉】

100 基盤科目

110 運動と健康(' 22)	110 より良い思考の技法(' 23)	110 地理空間情報の基礎と活用(' 27)
110 市民自治の知識と実践(' 21)	110 心理と教育へのいざない(' 24)	110 情報学へのとびら(' 22)
110 平和と安全保障(' 26)	110 日本語リテラシー (' 26)	110 データサイエンス・リテラシ導入(' 22)
110 社会と産業の倫理(' 21)	110 日本語リテラシー演習(' 27)	110 データサイエンス・リテラシ基礎(' 22)
110 問題解決の進め方(' 25)	110 日本語アカデミックライティング(' 22)	110 データサイエンス・リテラシ心得(' 22)
110 自然科学はじめの一歩(' 22)	110 GISで理解する自然とくらし(' 27)	110 初歩からの数学(' 18)
110 少子化時代の子育て一法と政策(' 25)	110 デジタル時代の学びの技法(' 27)	110 身近な統計(' 24)
＊基盤科目のうち、外国語科目については別掲	110 遠隔学習のためのパソコン活用(' 25)	110 演習初歩からの数学(' 20)

※共用科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上本コースの開設科目として取り扱います。

外国語科目の履修について

履修目標：外国語を学ぶことで、言葉への意識を高め、コミュニケーション能力を身につけると同時に、積極的な異文化理解に努め、国際的な視野を養うこと。

留意事項：卒業を目指す全科履修生は、2単位以上の外国語科目を修得する必要があります。

ナンバリングレベル表示

科目区分	初級	中級	上級
基盤科目	110	120	130



印刷教材に添付されている補助教材について

一部の科目には、CD、DVD－ROM等の補助教材を添付しています。これらの補助教材は、効果的に学習を進めるために添付するもので、単位修得のために必ず利用しなければならないものではありません。

補助教材の概要は以下のとおりです。科目登録を行う前に必ず確認してください。

開設中科目の印刷教材補助教材一覧（2027年度現在）

No.	科目コード	科　目　名　称	科目区分	主　任　講　師	媒体
1	1420160	英語で発信する日本文化（’26）	基盤	大橋　理枝 斎藤　兆史	CD
2	1420178	続・教養で読む英語（’27）	基盤	大橋　理枝	CD
3	1460056	中国語Ⅰ（’27）	基盤	宮本　徹	CD
4	1460064	中国語Ⅱ（’27）	基盤	宮本　徹	CD
5	1480057	韓国語Ⅰ（’25）	基盤	新井　保裕	CD

2027年度第1学期教養学部授業科目講義概要目次

― 2016 年度以降のカリキュラムの方はこちらをご覧ください ―

基盤科目

〔教養としての学問〕
運動と健康 (’22) …… 34
市民自治の知識と実践 (’21) …… 34
平和と安全保障 (’26) …… 34
社会と産業の倫理 (’21) …… 34
問題解決の進め方 (’25) …… 34
自然科学はじめの一歩 (’22) …… 35
少子化時代の子育て―法と政策 (’25) … 35
より良い思考の技法 (’23) …… 35
ークリティカル・シンキングへの招待ー
心理と教育へのいざない (’24) …… 35
〔日本語リテラシー〕
日本語リテラシー (’26) …… 36
日本語リテラシー演習 (’27) …… 36
日本語アカデミックライティング (’22) … 36
〔情報リテラシー〕
GIS で理解する自然とくらし (’27) …… 36
デジタル時代の学びの技法 (’27) …… 37
遠隔学習のためのパソコン活用 (’25) … 37
地理空間情報の基礎と活用 (’27) …… 37
情報学へのとびら (’22) …… 37
データサイエンス・リテラシ導入 (’22) … 38
データサイエンス・リテラシ基礎 (’22) … 38
データサイエンス・リテラシ心得 (’22) … 38
〔数学・統計リテラシー〕
初歩からの数学 (’18) …… 38
身近な統計 (’24) …… 39
演習初歩からの数学 (’20) …… 39

基盤科目（外国語）

シン・ビートルズ de 英文法 (’25) …… 40
英語で発信する日本文化 (’26) …… 40
グローバル時代の英語 (’22) …… 40
英語で読む大統領演説 (’20) …… 40
続・教養で読む英語 (’27) …… 40
看護・医療の英語 (’19) …… 40
ドイツ語Ⅰ (’27) …… 41
ドイツ語Ⅱ (’27) …… 41
フランス語Ⅰ (’24) …… 41
フランス語Ⅱ (’24) …… 41
中国語Ⅰ (’27) …… 42
ー尋根 (ルーツを探して) ー
中国語Ⅱ (’27) …… 42
ー胡安焉「我在物流公司上夜班的一年」他ー
韓国語Ⅰ (’25) …… 42
韓国語Ⅱ (’25) …… 42
初歩のトルコ語 (’26) …… 43
初歩のスペイン語 (’25) …… 43

生活と福祉コース導入科目

生活経済学 (’25) …… 44
豊かに暮らすための不動産学 (’26) …… 44
健康と社会 (’23) …… 44
健康への力の探究 (’27) …… 44
疾病の成立と回復促進 (’25) …… 44
ー人体の構造と機能及び疾病Bー
疾病の回復を促進する薬 (’25) …… 45
人体の構造と機能 (’26) …… 45
ー人体の構造と機能及び疾病Aー
睡眠と健康 (’25) …… 45
がんを知る (’26) …… 45
感染症と生体防御 (’24) …… 46
がんとともに生きる (’18) …… 46
健康長寿のためのスポートロジー (’24) 46
循環器の健康科学 (’20) …… 47
社会福祉ー新しい地平を拓く (’22) …… 47
貧困の諸相 (’23) …… 47
社会統計学入門 (’24) …… 47
※社会と産業コースと共用
社会調査の基礎 (’27) …… 47
※社会と産業コースと共用
かたちの化学ー化学の考え方入門 (’23) … 47
※自然と環境コースと共用
分子の変化からみた世界 (’23) …… 48
※自然と環境コースと共用
初歩からの情報科学 (’25) …… 48
※情報コースと共用
R で学ぶ確率統計 (’27) …… 48
※情報コースと共用

専門科目

人間・環境情報と DX (’25) …… 48
持続可能な社会へのシステム思考 (’27) 49
ソーシャルシティ (’23) …… 49
食と健康 (’24) …… 49
リスクコミュニケーションの探究 (’23) … 49
災害を乗り越える防災基礎力入門 (’26) … 49
現代社会のなかの家族 (’26) …… 50
日本の家族問題を考える (’26) …… 50
食の安全 (’25) …… 50
公衆衛生 (’24) …… 50
認知症と生きる (’27) …… 51
リハビリテーション (’25) …… 51
今日のメンタルヘルス (’27) …… 51
ー健康・医療心理学の実践的展開ー
看護学概説 (’22) …… 51
基礎看護学 (’24) …… 52
地域・在宅看護論 (’23) …… 52
災害看護学・国際看護学 (’26) …… 52
看護管理と医療安全 (’24) …… 52
精神疾患とその治療 (’26) …… 53
超高齢社会を生きる (’27) …… 53
ー人生 100 年時代に求められるものは何かー
地域福祉の課題と展望 (’22) …… 53
社会福祉実践とは何か (’22) …… 53
社会政策の国際動向と日本の位置 (’23) … 53
支える社会保障 (’26) …… 54
子どもの人権をどうまもるのか (’21) … 54
ー福祉施策と実践を学ぶー
障害者の自立と制度 (’24) …… 54
高等教育と障害 (’27) …… 54
ー障害法からのメッセージー
生物の進化と多様化 (’26) …… 54
※自然と環境コースと共用
環境を可視化する技術と応用 (’23) …… 55
※社会と産業コースと共用
ヒューマンインタフェース (’23) …… 55
※情報コースと共用
感覚と応答の生物学 (’23) …… 55
※自然と環境コースと共用
都市と地域の社会学 (’24) …… 55
※社会と産業コースと共用
家族と教育 (’27) …… 55
※心理と教育コースと共用

総合科目

地域生活を支える社会福祉と法 (’24) … 56
レジリエンスの科学 (’24) …… 56
グリーフサポートと死生学 (’24) …… 56
地域包括ケアシステムと在宅医療 (’18) 56
住まいの環境論 (’23) …… 56
※社会と産業コースと共用
モビリティとまちづくり (’27) …… 57
※社会と産業コースと共用

心理と教育コース導入科目

教育の社会学 (’25) …… 58
現代教育入門 (’21) …… 58
テーマで学ぶ日本教育史 (’24) …… 58
教育政策のデザイン (’25) …… 58
教育・学校心理学 (’20) …… 58
心理学概論 (’24) …… 59
発達心理学概論 (’27) …… 59
社会福祉ー新しい地平を拓く (’22) …… 59
※生活と福祉コースと共用
博物館概論 (’23) …… 59
※人間と文化コースと共用
疾病の成立と回復促進 (’25) …… 59
ー人体の構造と機能及び疾病Bー
※生活と福祉コースと共用
疾病の回復を促進する薬 (’25) …… 60
※生活と福祉コースと共用
社会学概論 (’25) …… 60
※社会と産業コースと共用
人体の構造と機能 (’26) …… 60
ー人体の構造と機能及び疾病Aー
※生活と福祉コースと共用

情報セキュリティと倫理・心得（'26）… 60
※情報コースと共用
社会調査の基礎（'27）…… 61
※社会と産業コースと共用
総合人類学としてのヒト学（'18）…… 61
※人間と文化コースと共用
貧困の諸相（'23）…… 61
※生活と福祉コースと共用
経営学入門（'24）…… 61
※社会と産業コースと共用
社会統計学入門（'24）…… 61
※社会と産業コースと共用
多文化共生のコミュニケーション（'24）… 62
※人間と文化コースと共用
睡眠と健康（'25）…… 62
※生活と福祉コースと共用
政治学入門（'26）…… 62
※社会と産業コースと共用
健康への力の探究（'27）…… 62
※生活と福祉コースと共用
日本の近現代（'27）…… 63
※人間と文化コースと共用
共生のための技術者倫理（'24）…… 63
※社会と産業コースと共用
表計算プログラミングの活用（'25）…… 63
ー体系的・実践的な理解へー
※情報コースと共用
ゲーム理論入門（'25）…… 63
※情報コースと共用
社会科学の研究計画作成法（'26）…… 64
※社会と産業コースと共用
Rで学ぶ確率統計（'27）…… 64
※情報コースと共用
表計算プログラミング基礎AI版（'27）… 65
※情報コースと共用
日本語教育学入門（'24）…… 65
※人間と文化コースと共用

専門科目

学校リスク論（'22）…… 66
コミュニティと教育（'24）…… 66
肢体不自由児の教育（'26）…… 66
今求められる学力と学び（'26）…… 66
これからの生徒指導を考える（'27）…… 66
多様な子どもの学びと公教育（'27）…… 67
乳幼児の保育・教育（'21）…… 67
幼児教育の指導法（'22）…… 67
日本の文化と教育（'23）…… 67
学校と法（'24）…… 67
世界の学校（'24）…… 68
特別支援教育総論（'25）…… 68
知的障害教育総論（'25）…… 68
家族と教育（'27）…… 68
教育政策と行財政（'27）…… 68
教育課程の意義及び編成の方法（'15）… 69
特別支援教育基礎論（'24）…… 69
現代のキャリアコンサルティング（'25） 70
学校事務の新潮流（'26）…… 70
幼児理解の理論及び方法（'26）…… 71
学校図書館サービス論（'26）…… 71
持続可能な社会と教育（ESD）（'27）…… 72
生涯学習を考える（'27）…… 72
社会教育経営実践論（'22）…… 72
生涯学習支援の理論と実践（'22）…… 72
日本の教職論（'22）…… 73
心理学研究法（'20）…… 73
錯覚の科学（'20）…… 73
心理学統計法（'21）…… 73
知覚・認知心理学（'23）…… 73
進化心理学（'23）…… 74
学習・言語心理学（'25）…… 74
神経・生理心理学（'26）…… 74
社会・集団・家族心理学（'26）…… 74
産業・組織心理学（'26）…… 74
感情・人格心理学（'27）…… 74
心理カウンセリング序説（'21）…… 75
ー心理学的支援法ー
イメージの力（'24）…… 75
ライフサイクルの心理臨床（'26）…… 75
認知行動療法（'26）…… 75
臨床心理学概論（'20）…… 75
福祉心理学（'21）…… 75
精神分析とユング心理学（'23）…… 76
心理職の専門性（'26）…… 76
ー公認心理師の職責ー
心理的アセスメント（'26）…… 76
司法・犯罪心理学（'26）…… 76
障害者・障害児心理学（'27）…… 76
心理臨床における法・倫理・制度（'27）… 77
ー関係行政論ー
情報社会のユニバーサルデザイン（'19）… 77
※情報コースと共用
ユーザ調査法（'20）…… 77
※情報コースと共用
子どもの人権をどうまもるのか（'21）… 77
ー福祉施策と実践を学ぶー
※生活と福祉コースと共用
教育のためのICT活用（'22）…… 78
※情報コースと共用
メディア論（'22）…… 78
※情報コースと共用
ソーシャルシティ（'23）…… 78
※生活と福祉コースと共用
障害者の自立と制度（'24）…… 78
※生活と福祉コースと共用
フィールドワークと民族誌（'24）…… 78
※人間と文化コースと共用
データの分析と知識発見（'24）…… 79
※情報コースと共用
博物館情報・メディア論（'25）…… 79
※人間と文化コースと共用
博物館展示論（'25）…… 79
※人間と文化コースと共用
人間・環境情報とDX（'25）…… 79
※生活と福祉コースと共用
マーケティング（'25）…… 79
※社会と産業コースと共用
博物館資料保存論（'25）…… 80
※人間と文化コースと共用
生活を支えるコンピュータ技術（'25）… 80
※情報コースと共用
情報デザイン（'26）…… 80
※情報コースと共用
生物の進化と多様化（'26）…… 80
※自然と環境コースと共用
持続可能な社会のための財政学（'26）… 80
※社会と産業コースと共用
今日のメンタルヘルス（'27）…… 81
ー健康・医療心理学の実践的展開ー
※生活と福祉コースと共用
持続可能な社会へのシステム思考（'27）… 81
※生活と福祉コースと共用
認知症と生きる（'27）…… 81
※生活と福祉コースと共用
統計学（'19）…… 81
※自然と環境コースと共用
博物館教育論（'22）…… 81
※人間と文化コースと共用
リスクコミュニケーションの探究（'23）… 82
※生活と福祉コースと共用
現代に生きる現象学（'23）…… 82
ー意味・身体・ケアー
※人間と文化コースと共用
博物館経営論（'23）…… 82
※人間と文化コースと共用
情報化社会におけるメディア教育（'24） 82
※情報コースと共用
行政学講説（'24）…… 82
※社会と産業コースと共用
リハビリテーション（'25）…… 83
※生活と福祉コースと共用
西洋政治思想の文脈（'25）…… 83
※社会と産業コースと共用
NPO・NGOの世界（'25）…… 83
※社会と産業コースと共用
日本の家族問題を考える（'26）…… 83
※生活と福祉コースと共用
精神疾患とその治療（'26）…… 83
※生活と福祉コースと共用
現代社会のなかの家族（'26）…… 84
※生活と福祉コースと共用
支える社会保障（'26）…… 84
※生活と福祉コースと共用
超高齢社会を生きる（'27）…… 84
ー人生100年時代に求められるものは何かー
※生活と福祉コースと共用
高等教育と障害（'27）…… 84
ー障害法からのメッセージー
※生活と福祉コースと共用
イノベーション・マネジメント（'27）… 84
※社会と産業コースと共用
サービスサイエンス（'27）…… 85
※社会と産業コースと共用
問題解決の数理（'27）…… 85
※情報コースと共用
小学校プログラミング教育概論（'21）… 85
※情報コースと共用
情報セキュリティの理論と基盤（'23）… 85
※情報コースと共用
情報セキュリティの現状と展望（'23）… 86
※情報コースと共用
社会科学で綴る伝記（'25）…… 86
※社会と産業コースと共用
「日本語らしさ」とは何か（'25）…… 86
※人間と文化コースと共用
博物館資料論（'25）…… 87
※人間と文化コースと共用
市民生活と裁判（'26）…… 87
※社会と産業コースと共用
ヒューマンインタフェース（'23）…… 87
※情報コースと共用

総合科目

色を探究する（'23）…… 88
レジリエンスの科学（'24）…… 88
※生活と福祉コースと共用
情報技術が拓く人間理解（'27）…… 88
※情報コースと共用
グリーフサポートと死生学（'24）…… 88
※生活と福祉コースと共用
時間を究める（'23）…… 88
※人間と文化コースと共用
空間を考究する（'26）…… 89
※人間と文化コースと共用
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）…… 89
※情報コースと共用

社会と産業コース 導入科目

社会経済の基礎（'25）…… 90
社会調査の基礎（'27）…… 90
社会統計学入門（'24）…… 90
社会学概論（'25）…… 90
社会科学の研究計画作成法（'26）…… 90
一般市民のための法学入門（'23）…… 91
日本国憲法（'26）…… 91
政治学入門（'26）…… 91
会社法入門（'27）…… 91
経営学入門（'24）…… 91
共生のための技術者倫理（'24）…… 92
教育の社会学（'25）…… 92
※心理と教育コースと共用
生活経済学（'25）…… 92
※生活と福祉コースと共用
健康への力の探究（'27）…… 92
※生活と福祉コースと共用
西洋哲学の根源（'22）…… 92
※人間と文化コースと共用
健康と社会（'23）…… 93
※生活と福祉コースと共用
貧困の諸相（'23）…… 93
※生活と福祉コースと共用
哲学・思想を今考える（'23）…… 93
ー歴史の中でー
※人間と文化コースと共用
情報法入門（'27）…… 93
※情報コースと共用
教育政策のデザイン（'25）…… 93
※心理と教育コースと共用
ゲーム理論入門（'25）…… 94
※情報コースと共用

専門科目

都市と地域の社会学（'24）…… 94
災害社会学（'20）…… 94
現代経済理論（'26）…… 94
持続可能な社会のための財政学（'26）… 94
金融と社会（'26）…… 95
日本経済の比較史（'24）…… 95
現代国際社会と有機農業（'23）…… 95
環境と持続可能な経済発展（'24）…… 95
社会科学で綴る伝記（'25）…… 95
市民生活と裁判（'26）…… 96
刑法と生命（'21）…… 96
民法（'22）…… 96
行政法（'22）…… 96
人生100年時代の家族と法（'23）…… 96
国際法（'25）…… 97
著作権法（'22）…… 97
雇用社会と法（'21）…… 97
西洋政治思想の文脈（'25）…… 97
全体主義と新自由主義のあいだ（'23）… 97
行政学講説（'24）…… 98
日本政治外交史（'25）…… 98
現代の国際政治（'26）…… 98
ヨーロッパ政治史（'24）…… 98
新興アジアの政治と経済（'24）…… 99
現代アメリカの政治と社会（'24）…… 99
現代のフードシステム（'26）…… 99
ー食と農の経済を学ぶー
SDGs下のアジア産業論（'23）…… 99
NPO・NGOの世界（'25）…… 99
官民の人的資源論（'24）…… 100
オペレーションズ・マネジメント（'26）100
マーケティング（'25）…… 100
ファイナンス入門（'23）…… 100
経営情報学入門（'23）…… 100
イノベーション・マネジメント（'27）… 101
サービスサイエンス（'27）…… 101
サプライチェーン・マネジメント（'25）101
企業経営の国際展開（'25）…… 101
会計学（'24）…… 102
簿記入門（'22）…… 102
管理会計（'22）…… 102
現代の内部監査（'22）…… 102
これからの住まいと建築（'25）…… 102
環境を可視化する技術と応用（'23）… 103
コミュニティと教育（'24）…… 103
※心理と教育コースと共用
災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）103
※生活と福祉コースと共用
現代社会のなかの家族（'26）…… 103
※生活と福祉コースと共用
支える社会保障（'26）…… 103
※生活と福祉コースと共用
産業・組織心理学（'26）…… 104
※心理と教育コースと共用
近世の日本と世界（'26）…… 104
※人間と文化コースと共用
データの分析と知識発見（'24）…… 104
※情報コースと共用
近現代ヨーロッパの歴史（'22）…… 104
ー人の移動から見るー
※人間と文化コースと共用
メディア論（'22）…… 104
※情報コースと共用
社会政策の国際動向と日本の位置（'23）105
※生活と福祉コースと共用
ソーシャルシティ（'23）…… 105
※生活と福祉コースと共用
障害者の自立と制度（'24）…… 105
※生活と福祉コースと共用
食と健康（'24）…… 105
※生活と福祉コースと共用
学校と法（'24）…… 105
※心理と教育コースと共用
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）105
※人間と文化コースと共用
原典で読む日本の思想（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
西アジアの歴史（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
フィールドワークと民族誌（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
食の安全（'25）…… 106
※生活と福祉コースと共用
人間・環境情報とDX（'25）…… 106
※生活と福祉コースと共用
現代のキャリアコンサルティング（'25）107
※心理と教育コースと共用
日本の家族問題を考える（'26）…… 107
※生活と福祉コースと共用
司法・犯罪心理学（'26）…… 107
※心理と教育コースと共用
ユーラシアのなかの中国史（'26）…… 108
※人間と文化コースと共用
超高齢社会を生きる（'27）…… 108
ー人生100年時代に求められるものは何かー
※生活と福祉コースと共用
持続可能な社会へのシステム思考（'27）108
※生活と福祉コースと共用
家族と教育（'27）…… 108
※心理と教育コースと共用
心理臨床における法・倫理・制度（'27）108
ー関係行政論ー
※心理と教育コースと共用
ネットワークとスマート社会（'27）… 109
※情報コースと共用
問題解決の数理（'27）…… 109
※情報コースと共用

総合科目

海からみた産業と日本（'22）…… 110
モビリティとまちづくり（'27）…… 110
開発経済学：アジア社会の変容（'24）… 110
環境と社会（'21）…… 110
平和学（'27）…… 110
空間と政治（'22）…… 111
住まいの環境論（'23）…… 111
時間を究める（'23）…… 111
※人間と文化コースと共用
地域生活を支える社会福祉と法（'24）… 111
※生活と福祉コースと共用
情報社会と国際ボランティア活動（'24）… 111
※情報コースと共用
レジリエンスの科学（'24）…… 112
※生活と福祉コースと共用
空間を考究する（'26）…… 112
※人間と文化コースと共用
中国からジェンダー史を考える（'26）… 112
※人間と文化コースと共用
情報技術が拓く人間理解（'27）…… 112
※情報コースと共用
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）… 113
※情報コースと共用

人間と文化コース
導入科目

哲学・思想を今考える（'23）…… 114
ー歴史の中でー
西洋哲学の根源（'22）…… 114
歴史のなかの人間（'22）…… 114
日本の近現代（'27）…… 114
『枕草子』の世界（'24）…… 114
世界文学への招待（'22）…… 115
日本語学入門（'20）…… 115
日本語教育学入門（'24）…… 115
多文化共生のコミュニケーション（'24）… 115
人文地理学からみる世界（'22）…… 115
総合人類学としてのヒト学（'18）…… 116
博物館概論（'23）…… 116
政治学入門（'26）…… 116
※社会と産業コースと共用
心理学概論（'24）…… 116
※心理と教育コースと共用
宮沢賢治と宇宙（'24）…… 116
※自然と環境コースと共用
情報セキュリティと倫理・心得（'26）… 117
※情報コースと共用

専門科目

文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）117
原典で読む日本の思想（'24）…… 117
時間と存在（'27）…… 117
ーハイデガーからアーレントへー
現代に生きる現象学（'23）…… 118
ー意味・身体・ケアー
英米哲学の挑戦（'23）…… 118
ー文学と懐疑ー
西洋の美学・美術史（'24）…… 118
日本美術史の近代とその外部（'18）… 118
西洋音楽史（'21）…… 118
舞台芸術の世界（'26）…… 119
映画芸術への招待（'25）…… 119
古代中世の日本（'23）…… 119
近世の日本と世界（'26）…… 119
史書から見る中国史（'27）…… 119
ユーラシアのなかの中国史（'26）…… 120
西アジアの歴史（'24）…… 120
中近世ヨーロッパの歴史（'27）…… 120
ー戦争と平和から見るー
近現代ヨーロッパの歴史（'22）…… 120
ー人の移動から見るー
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）120
樋口一葉の世界（'23）…… 121
『方丈記』と『徒然草』（'18）…… 121
文学批評の現在（'27）…… 121
世界文学の古典を読む（'20）…… 121
ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇（'19）121
「日本語らしさ」とは何か（'25）…… 122
言語研究法（'19）…… 122
フィールドワークと民族誌（'24）…… 122
「人新世」時代の文化人類学（'20）…… 122
博物館教育論（'22）…… 123
博物館資料論（'25）…… 123
博物館資料保存論（'25）…… 123
博物館展示論（'25）…… 123
博物館情報・メディア論（'25）…… 123
博物館経営論（'23）…… 124
日本の文化と教育（'23）…… 124
※心理と教育コースと共用
全体主義と新自由主義のあいだ（'23） 124
※社会と産業コースと共用
西洋政治思想の文脈（'25）…… 124
※社会と産業コースと共用
日本政治外交史（'25）…… 124
※社会と産業コースと共用
新興アジアの政治と経済（'24）…… 125
※社会と産業コースと共用
ヨーロッパ政治史（'24）…… 125
※社会と産業コースと共用
現代の国際政治（'26）…… 125
※社会と産業コースと共用
メディア論（'22）…… 125
※情報コースと共用
世界の学校（'24）…… 125
※心理と教育コースと共用
現代アメリカの政治と社会（'24）…… 126
※社会と産業コースと共用
記号論理学（'24）…… 126
※情報コースと共用
社会科学で綴る伝記（'25）…… 126
※社会と産業コースと共用
数学の歴史（'25）…… 126
※自然と環境コースと共用

総合科目

中国からジェンダー史を考える（'26）… 127
時間を究める（'23）…… 127
空間を考究する（'26）…… 127
色を探究する（'23）…… 127
※心理と教育コースと共用
平和学（'27）…… 128
※社会と産業コースと共用

情報コース
導入科目

初歩からの情報科学（'25）…… 129
プログラミング入門Python（'24）…… 129
表計算プログラミングの活用（'25）… 129
ー体系的・実践的な理解へー
表計算プログラミング基礎AI版（'27） 130
情報ネットワーク（'26）…… 130
情報セキュリティと倫理・心得（'26） 130
情報法入門（'27）…… 131
英語で学ぶ情報学の歩み（'27）…… 131
情報理論とデジタル表現（'19）…… 131
Rで学ぶ確率統計（'27）…… 131
ゲーム理論入門（'25）…… 132
社会統計学入門（'24）…… 132
※社会と産業コースと共用
社会調査の基礎（'27）…… 132
※社会と産業コースと共用
入門微分積分（'22）…… 132
※自然と環境コースと共用
共生のための技術者倫理（'24）…… 133
※社会と産業コースと共用
社会科学の研究計画作成法（'26）…… 133
※社会と産業コースと共用

専門科目

データ構造の基礎（'24）…… 133
生活を支えるコンピュータ技術（'25） 134
ソフトウェア開発入門（'27）…… 134
C言語基礎演習（'20）…… 134
続・C言語基礎演習（'23）…… 134
Webのしくみと応用（'25）…… 135
ソフトウェア開発のデータ分析（'26）… 135
ネットワークとスマート社会（'27）… 135
データベース（'23）…… 135
情報セキュリティの理論と基盤（'23）… 136
情報セキュリティの現状と展望（'23）… 136
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）136
コンピュータ通信概論（'24）…… 136
教育のためのICT活用（'22）…… 137
ユーザ調査法（'20）…… 137
情報社会のユニバーサルデザイン（'19）137
メディア論（'22）…… 137
情報化社会におけるメディア教育（'24）138
小学校プログラミング教育概論（'21） 138
ヒューマンインタフェース（'23）…… 138
コンピュータグラフィックス（'22）… 138
映像コンテンツの制作技術（'25）…… 139
デジタル情報の処理と認識（'22）…… 139
自然言語処理（'23）…… 139
情報デザイン（'26）…… 139
コンピュータビジョン（'22）…… 140
ー画像処理による情報抽出の技法ー
画像処理（'24）…… 140
問題解決の数理（'27）…… 140
データの分析と知識発見（'24）…… 140
記号論理学（'24）…… 141
数値の処理と数値解析（'22）…… 141
数理最適化法演習（'20）…… 141
解析入門（'24）…… 141
※自然と環境コースと共用
統計学（'19）…… 142
※自然と環境コースと共用
心理学統計法（'21）…… 142
※心理と教育コースと共用
著作権法（'22）…… 142
※社会と産業コースと共用
経営情報学入門（'23）…… 142
※社会と産業コースと共用
ソーシャルシティ（'23）…… 142
※生活と福祉コースと共用
環境を可視化する技術と応用（'23）… 143
※社会と産業コースと共用
人間・環境情報とDX（'25） …… 143
※生活と福祉コースと共用
サプライチェーン・マネジメント（'25）143
※社会と産業コースと共用
博物館情報・メディア論（'25）…… 143
※人間と文化コースと共用
オペレーションズ・マネジメント（'26）143
※社会と産業コースと共用
線型代数学（'27）…… 144
※自然と環境コースと共用

総合科目

情報社会と国際ボランティア活動（'24）144
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）… 144
情報技術が拓く人間理解（'27）…… 145

自然と環境コース導入科目

初歩からの生物学（'24）…… 146
生物環境の科学（'25）…… 146
初歩からの物理（'22）…… 146
初歩からの化学（'18）…… 146
物理の世界（'24）…… 146
かたちの化学ー化学の考え方入門（'23）147
現代を生きるための化学（'22）…… 147
物理と化学のための数学（'27）…… 147
分子の変化からみた世界（'23）…… 147
宮沢賢治と宇宙（'24）…… 147
ダイナミックな地球（'21）…… 148
入門線型代数（'19）…… 148
入門微分積分（'22）…… 148
演習微分積分（'19）…… 148
感染症と生体防御（'24）…… 148
※生活と福祉コースと共用
人体の構造と機能（'26）…… 149
ー人体の構造と機能及び疾病Aー
※生活と福祉コースと共用
博物館概論（'23）…… 149
※人間と文化コースと共用
プログラミング入門Python（'24）… 149
※情報コースと共用
疾病の回復を促進する薬（'25）…… 149
※生活と福祉コースと共用
表計算プログラミングの活用（'25）… 150
ー体系的・実践的な理解へー
※情報コースと共用
ゲーム理論入門（'25）…… 150
※情報コースと共用

専門科目

分子と細胞の生物学（'27）…… 150
生物の進化と多様化（'26）…… 150
植物の科学（'21）…… 151
感覚と応答の生物学（'23）…… 151
力と運動の物理（'27）…… 151
電気と磁気の物理（'26）…… 151
量子の物理（'27）…… 151
量子化学（'19）…… 152
ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）152
量子物理演習（'24）…… 152
宇宙の誕生と進化（'19）…… 152
太陽と太陽系の科学（'18）…… 152
地球と環境の探究（'25）…… 153
初歩からの気象学（'27）…… 153
正多面体と素数（'21）…… 153
微分方程式（'23）…… 153
統計学（'19）…… 153
数学の歴史（'25）…… 154
線型代数学（'27）…… 154
解析入門（'24）…… 154
食と健康（'24）…… 154
※生活と福祉コースと共用
データ構造の基礎（'24）…… 155
※情報コースと共用
錯覚の科学（'20）…… 155
※心理と教育コースと共用
数値の処理と数値解析（'22）…… 155
※情報コースと共用
環境を可視化する技術と応用（'23）… 155
※社会と産業コースと共用
データベース（'23）…… 155
※情報コースと共用
環境と持続可能な経済発展（'24）…… 156
※社会と産業コースと共用
記号論理学（'24）…… 156
※情報コースと共用
データの分析と知識発見（'24）…… 156
※情報コースと共用
画像処理（'24）…… 156
※情報コースと共用
食の安全（'25）…… 156
※生活と福祉コースと共用
博物館展示論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館情報・メディア論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館資料保存論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館資料論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）157
※情報コースと共用

総合科目

暮らしに役立つバイオサイエンス（'27）158
ジオストーリー（'25）…… 158
時間を究める（'23）…… 158
※人間と文化コースと共用
色を探究する（'23）…… 158
※心理と教育コースと共用
レジリエンスの科学（'24）…… 158
※生活と福祉コースと共用
空間を考究する（'26）…… 159
※人間と文化コースと共用
情報技術が拓く人間理解（'27）…… 159
※情報コースと共用

看護師資格取得に資する科目

成人看護学（'24）…… 160
老年看護学（'25）…… 160
小児看護学（'22）…… 160
母性看護学（'26）…… 160
ー母性からウィメンズヘルスへ.
生涯にわたる女性への健康支援ー
精神看護学（'25）…… 161

卒業研究（全科履修生のみ）

生活と福祉コース…… 162
心理と教育コース…… 162
社会と産業コース…… 162
人間と文化コース…… 162
情報コース…… 162
自然と環境コース…… 162

2027年度第1学期教養学部授業科目講義概要目次
― 2013 ～ 2015 年度のカリキュラムの方はこちらをご覧ください ―

注1）2016年度以降のカリキュラムにおける基盤科目のうち、外国語科目と保健体育科目は共通科目に、その他の基盤科目は基礎科目（外国語科目ではない）に読み替えることとなります。
注2）2016年度以降のカリキュラムにおける導入科目は、共通科目（一般科目、系の別なし）に読み替えることとなります。

基礎科目

〔教養としての学問〕
運動と健康 (’22) …… 34
市民自治の知識と実践 (’21) …… 34
平和と安全保障 (’26) …… 34
社会と産業の倫理 (’21) …… 34
問題解決の進め方 (’25) …… 34
自然科学はじめの一歩 (’22) …… 35
少子化時代の子育て―法と政策 (’25) … 35
より良い思考の技法 (’23) …… 35
―クリティカル・シンキングへの招待―
心理と教育へのいざない (’24) …… 35
〔日本語リテラシー〕
日本語リテラシー (’26) …… 36
日本語リテラシー演習 (’27) …… 36
日本語アカデミックライティング (’22) 36
〔情報リテラシー〕
GIS で理解する自然とくらし (’27) …… 36
デジタル時代の学びの技法 (’27) …… 37
遠隔学習のためのパソコン活用 (’25) … 37
地理空間情報の基礎と活用 (’27) …… 37
情報学へのとびら (’22) …… 37
データサイエンス・リテラシ導入 (’22) … 38
データサイエンス・リテラシ基礎 (’22) … 38
データサイエンス・リテラシ心得 (’22) … 38
〔数学・統計リテラシー〕
初歩からの数学 (’18) …… 38
身近な統計 (’24) …… 39
演習初歩からの数学 (’20) …… 39

共通科目
一般科目

生活経済学 (’25) …… 44, 92
豊かに暮らすための不動産学 (’26) …… 44
健康と社会 (’23) …… 44, 93
健康への力の探究 (’27) …… 44, 62, 92
疾病の成立と回復促進 (’25) …… 44, 59
―人体の構造と機能及び疾病Ｂ―
疾病の回復を促進する薬 (’25) 45, 60, 149
人体の構造と機能 (’26) …… 45, 60, 149
―人体の構造と機能及び疾病Ａ―
睡眠と健康 (’25) …… 45, 62
がんを知る (’26) …… 45
感染症と生体防御 (’24) ……46, 148
がんとともに生きる (’18) …… 46
健康長寿のためのスポートロジー (’24) 46
循環器の健康科学 (’20) …… 47
社会福祉―新しい地平を拓く (’22) 47, 59
貧困の諸相 (’23) …… 47, 61, 93
教育の社会学 (’25) …… 58, 92
現代教育入門 (’21) …… 58
テーマで学ぶ日本教育史 (’24) …… 58
教育政策のデザイン (’25) …… 58, 93
教育・学校心理学 (’20) …… 58
心理学概論 (’24) ……59, 116
発達心理学概論 (’27) …… 59
社会経済の基礎 (’25) …… 90
社会調査の基礎 (’27) …… 47, 61, 90, 132
社会統計学入門 (’24) …… 47, 61, 90, 132
社会学概論 (’25) …… 60, 90
社会科学の研究計画作成法 (’26)
…… 64, 90, 133
一般市民のための法学入門 (’23) …… 91
日本国憲法 (’26) …… 91
政治学入門 (’26) …… 62, 91, 116
会社法入門 (’27) …… 91
経営学入門 (’24) …… 61, 91
共生のための技術者倫理 (’24) 63, 92, 133
哲学・思想を今考える (’23) ……93, 114
―歴史の中で―
西洋哲学の根源 (’22) ……92, 114
歴史のなかの人間 (’22) …… 114
日本の近現代 (’27) ……63, 114
『枕草子』の世界 (’24) …… 114
世界文学への招待 (’22) …… 115
日本語学入門 (’20) …… 115
日本語教育学入門 (’24) ……65, 115
多文化共生のコミュニケーション (’24)
……62, 115
人文地理学からみる世界 (’22) …… 115
総合人類学としてのヒト学 (’18) …61, 116
博物館概論 (’23) …… 59, 116, 149
初歩からの情報科学 (’25) ……48, 129
プログラミング入門 Python (’24) 129, 149
表計算プログラミングの活用 (’25)
…… 63, 129, 150
―体系的・実践的な理解へ―
表計算プログラミング基礎 AI 版 (’27)
……65, 130
情報ネットワーク (’26) …… 130
情報セキュリティと倫理・心得 (’26)
…… 60, 117, 130
情報法入門 (’27) ……93, 131
英語で学ぶ情報学の歩み (’27) …… 131
情報理論とデジタル表現 (’19) …… 131
R で学ぶ確率統計 (’27) …… 48, 64, 131
ゲーム理論入門 (’25) ……63, 94, 132, 150
初歩からの生物学 (’24) …… 146
生物環境の科学 (’25) …… 146
初歩からの物理 (’22) …… 146
初歩からの化学 (’18) …… 146
物理の世界 (’24) …… 146
かたちの化学―化学の考え方入門 (’23)
……47, 147
現代を生きるための化学 (’22) …… 147
物理と化学のための数学 (’27) …… 147
分子の変化からみた世界 (’23) ……48, 147
宮沢賢治と宇宙 (’24) …… 116, 147
ダイナミックな地球 (’21) …… 148
入門線型代数 (’19) …… 148
入門微分積分 (’22) …… 132, 148
演習微分積分 (’19) …… 148

外国語科目

シン・ビートルズ de 英文法 (’25) …… 40
英語で発信する日本文化 (’26) …… 40
グローバル時代の英語 (’22) …… 40
英語で読む大統領演説 (’20) …… 40
続・教養で読む英語 (’27) …… 40
看護・医療の英語 (’19) …… 40
ドイツ語Ⅰ (’27) …… 41
ドイツ語Ⅱ (’27) …… 41
フランス語Ⅰ (’24) …… 41
フランス語Ⅱ (’24) …… 41
中国語Ⅰ (’27) …… 42
―尋根 (ルーツを探して) ―
中国語Ⅱ (’27) …… 42
―胡安焉「我在物流公司上夜班的一年」他―
韓国語Ⅰ (’25) …… 42
韓国語Ⅱ (’25) …… 42
初歩のトルコ語 (’26) …… 43
初歩のスペイン語 (’25) …… 43

専門科目
生活と福祉コース

人間・環境情報とDX（'25） …… 48
持続可能な社会へのシステム思考（'27） 49
ソーシャルシティ（'23） …… 49
食と健康（'24） …… 49
リスクコミュニケーションの探究（'23） … 49
災害を乗り越える防災基礎力入門（'26） … 49
現代社会のなかの家族（'26） …… 50
日本の家族問題を考える（'26） …… 50
食の安全（'25） …… 50
公衆衛生（'24） …… 50
認知症と生きる（'27） …… 51
リハビリテーション（'25） …… 51
今日のメンタルヘルス（'27） …… 51
ー健康・医療心理学の実践的展開ー
看護学概説（'22） …… 51
基礎看護学（'24） …… 52
地域・在宅看護論（'23） …… 52
災害看護学・国際看護学（'26） …… 52
看護管理と医療安全（'24） …… 52
精神疾患とその治療（'26） …… 53
超高齢社会を生きる（'27） …… 53
ー人生100年時代に求められるものは何かー
地域福祉の課題と展望（'22） …… 53
社会福祉実践とは何か（'22） …… 53
社会政策の国際動向と日本の位置（'23） … 53
支える社会保障（'26） …… 54
子どもの人権をどうまもるのか（'21） … 54
ー福祉施策と実践を学ぶー
障害者の自立と制度（'24） …… 54
高等教育と障害（'27） …… 54
ー障害法からのメッセージー
生物の進化と多様化（'26） …… 54
※自然と環境コースと共用
環境を可視化する技術と応用（'23） …… 55
※社会と産業コースと共用
ヒューマンインタフェース（'23） …… 55
※情報コースと共用
感覚と応答の生物学（'23） …… 55
※自然と環境コースと共用
都市と地域の社会学（'24） …… 55, 94
※社会と産業コースと共用
家族と教育（'27） …… 55
※心理と教育コースと共用

心理と教育コース

学校リスク論（'22） …… 66
コミュニティと教育（'24） …… 66
肢体不自由児の教育（'26） …… 66
今求められる学力と学び（'26） …… 66
これからの生徒指導を考える（'27） …… 66
多様な子どもの学びと公教育（'27） …… 67
乳幼児の保育・教育（'21） …… 67
幼児教育の指導法（'22） …… 67
日本の文化と教育（'23） …… 67
学校と法（'24） …… 67
世界の学校（'24） …… 68
特別支援教育総論（'25） …… 68
知的障害教育総論（'25） …… 68
家族と教育（'27） …… 68
教育政策と行財政（'27） …… 68
教育課程の意義及び編成の方法（'15） … 69
特別支援教育基礎論（'24） …… 69
現代のキャリアコンサルティング（'25） … 70
学校事務の新潮流（'26） …… 70
幼児理解の理論及び方法（'26） …… 71
学校図書館サービス論（'26） …… 71
持続可能な社会と教育（ESD）（'27） …… 72
生涯学習を考える（'27） …… 72
社会教育経営実践論（'22） …… 72
生涯学習支援の理論と実践（'22） …… 72
日本の教職論（'22） …… 73
心理学研究法（'20） …… 73
錯覚の科学（'20） …… 73
心理学統計法（'21） …… 73
知覚・認知心理学（'23） …… 73
進化心理学（'23） …… 74
学習・言語心理学（'25） …… 74
神経・生理心理学（'26） …… 74
社会・集団・家族心理学（'26） …… 74
産業・組織心理学（'26） …… 74
感情・人格心理学（'27） …… 74
心理カウンセリング序説（'21） …… 75
ー心理学的支援法ー
イメージの力（'24） …… 75
ライフサイクルの心理臨床（'26） …… 75
認知行動療法（'26） …… 75
臨床心理学概論（'20） …… 75
福祉心理学（'21） …… 75
精神分析とユング心理学（'23） …… 76
心理職の専門性（'26） …… 76
ー公認心理師の職責ー
心理的アセスメント（'26） …… 76
司法・犯罪心理学（'26） …… 76
障害者・障害児心理学（'27） …… 76
心理臨床における法・倫理・制度（'27） 77
ー関係行政論ー
情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 77
※情報コースと共用
ユーザ調査法（'20） …… 77
※情報コースと共用
子どもの人権をどうまもるのか（'21） … 77
ー福祉施策と実践を学ぶー
※生活と福祉コースと共用
教育のためのICT活用（'22） …… 78
※情報コースと共用
メディア論（'22） …… 78
※情報コースと共用
ソーシャルシティ（'23） …… 78
※生活と福祉コースと共用
障害者の自立と制度（'24） …… 78
※生活と福祉コースと共用
フィールドワークと民族誌（'24） …… 78
※人間と文化コースと共用
データの分析と知識発見（' 24） …… 79
※情報コースと共用
博物館情報・メディア論（'25） …… 79
※人間と文化コースと共用
博物館展示論（'25） …… 79
※人間と文化コースと共用
人間・環境情報とDX（'25） …… 48, 79
※生活と福祉コースと共用
マーケティング（'25） …… 79
※社会と産業コースと共用
博物館資料保存論（'25） …… 80
※人間と文化コースと共用
生活を支えるコンピュータ技術（'25） … 80
※情報コースと共用
情報デザイン（'26） …… 80
※情報コースと共用
生物の進化と多様化（'26） …… 80
※自然と環境コースと共用
持続可能な社会のための財政学（'26） … 80
※社会と産業コースと共用
今日のメンタルヘルス（'27） …… 81
ー健康・医療心理学の実践的展開ー
※生活と福祉コースと共用
持続可能な社会へのシステム思考（'27） 81
※生活と福祉コースと共用
認知症と生きる（'27） …… 81
※生活と福祉コースと共用
統計学（'19） …… 81
※自然と環境コースと共用
博物館教育論（'22） …… 81
※人間と文化コースと共用
リスクコミュニケーションの探究（'23） … 82
※生活と福祉コースと共用
現代に生きる現象学（'23） …… 82
ー意味・身体・ケアー
※人間と文化コースと共用
博物館経営論（'23） …… 82
※人間と文化コースと共用
情報化社会におけるメディア教育（'24） 82
※情報コースと共用
行政学講説（'24） …… 82
※社会と産業コースと共用
リハビリテーション（'25） …… 83
※生活と福祉コースと共用
西洋政治思想の文脈（'25） …… 83
※社会と産業コースと共用
NPO・NGOの世界（'25） …… 83
※社会と産業コースと共用
日本の家族問題を考える（'26） …… 83
※生活と福祉コースと共用
精神疾患とその治療（'26） …… 83
※生活と福祉コースと共用
現代社会のなかの家族（'26） …… 84
※生活と福祉コースと共用
支える社会保障（'26） …… 84
※生活と福祉コースと共用
超高齢社会を生きる（'27） …… 84
ー人生100年時代に求められるものは何かー
※生活と福祉コースと共用
高等教育と障害（'27） …… 84
ー障害法からのメッセージー
※生活と福祉コースと共用
イノベーション・マネジメント（'27） … 84
※社会と産業コースと共用
サービスサイエンス（'27） …… 85
※社会と産業コースと共用
問題解決の数理（'27） …… 85
※情報コースと共用
小学校プログラミング教育概論（'21） … 85
※情報コースと共用
情報セキュリティの理論と基盤（'23） … 85
※情報コースと共用
情報セキュリティの現状と展望（'23） … 86
※情報コースと共用
社会科学で綴る伝記（'25） …… 86
※社会と産業コースと共用
「日本語らしさ」とは何か（'25） …… 86
※人間と文化コースと共用

博物館資料論（'25）…… 87
※人間と文化コースと共用
市民生活と裁判（'26）…… 87
※社会と産業コースと共用
ヒューマンインタフェース（'23）…… 87
※情報コースと共用

社会と産業コース

都市と地域の社会学（'24）…… 94
災害社会学（'20）…… 94
現代経済理論（'26）…… 94
持続可能な社会のための財政学（'26）… 94
金融と社会（'26）…… 95
日本経済の比較史（'24）…… 95
現代国際社会と有機農業（'23）…… 95
環境と持続可能な経済発展（'24）…… 95
社会科学で綴る伝記（'25）…… 95
市民生活と裁判（'26）…… 96
刑法と生命（'21）…… 96
民法（'22）…… 96
行政法（'22）…… 96
人生100年時代の家族と法（'23）…… 96
国際法（'25）…… 97
著作権法（'22）…… 97
雇用社会と法（'21）…… 97
西洋政治思想の文脈（'25）…… 97
全体主義と新自由主義のあいだ（'23）… 97
行政学講説（'24）…… 98
日本政治外交史（'25）…… 98
現代の国際政治（'26）…… 98
ヨーロッパ政治史（'24）…… 98
新興アジアの政治と経済（'24）…… 99
現代アメリカの政治と社会（'24）…… 99
現代のフードシステム（'26）…… 99
ー食と農の経済を学ぶー
SDGs下のアジア産業論（'23）…… 99
NPO・NGOの世界（'25）…… 99
官民の人的資源論（'24）…… 100
オペレーションズ・マネジメント（'26）100
マーケティング（'25）…… 100
ファイナンス入門（'23）…… 100
経営情報学入門（'23）…… 100
イノベーション・マネジメント（'27） 101
サービスサイエンス（'27）…… 101
サプライチェーン・マネジメント（'25）101
企業経営の国際展開（'25）…… 101
会計学（'24）…… 102
簿記入門（'22）…… 102
管理会計（'22）…… 102
現代の内部監査（'22）…… 102
これからの住まいと建築（'25）…… 102
環境を可視化する技術と応用（'23）… 103
コミュニティと教育（'24）…… 103
※心理と教育コースと共用
災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）103
※生活と福祉コースと共用
現代社会のなかの家族（'26）…… 103
※生活と福祉コースと共用
支える社会保障（'26）…… 103
※生活と福祉コースと共用
産業・組織心理学（'26）…… 104
※心理と教育コースと共用
近世の日本と世界（'26）…… 104
※人間と文化コースと共用
データの分析と知識発見（'24）…… 104
※情報コースと共用
近現代ヨーロッパの歴史（'22）…… 104
ー人の移動から見るー
※人間と文化コースと共用
メディア論（'22）…… 104
※情報コースと共用
社会政策の国際動向と日本の位置（'23）105
※生活と福祉コースと共用
ソーシャルシティ（'23）…… 105
※生活と福祉コースと共用
障害者の自立と制度（'24）…… 105
※生活と福祉コースと共用
食と健康（'24）…… 105
※生活と福祉コースと共用
学校と法（'24）…… 105
※心理と教育コースと共用
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）105
※人間と文化コースと共用
原典で読む日本の思想（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
西アジアの歴史（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
フィールドワークと民族誌（'24）…… 106
※人間と文化コースと共用
食の安全（'25）…… 106
※生活と福祉コースと共用
人間・環境情報とDX（'25）…… 106
※生活と福祉コースと共用
現代のキャリアコンサルティング（'25）107
※心理と教育コースと共用
日本の家族問題を考える（'26）…… 107
※生活と福祉コースと共用
司法・犯罪心理学（'26）…… 107
※心理と教育コースと共用
ユーラシアのなかの中国史（'26）…… 108
※人間と文化コースと共用
超高齢社会を生きる（'27）…… 108
ー人生100年時代に求められるものは何かー
※生活と福祉コースと共用
持続可能な社会へのシステム思考（'27）108
※生活と福祉コースと共用
家族と教育（'27）…… 108
※心理と教育コースと共用
心理臨床における法・倫理・制度（'27）108
ー関係行政論ー
※心理と教育コースと共用
ネットワークとスマート社会（'27）… 109
※情報コースと共用
問題解決の数理（'27）…… 109
※情報コースと共用

人間と文化コース

文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）117
原典で読む日本の思想（'24）…… 117
時間と存在（'27）…… 117
ーハイデガーからアーレントへー
現代に生きる現象学（'23）…… 118
ー意味・身体・ケアー
英米哲学の挑戦（'23）…… 118
ー文学と懐疑ー
西洋の美学・美術史（'24）…… 118
日本美術史の近代とその外部（'18）… 118
西洋音楽史（'21）…… 118
舞台芸術の世界（'26）…… 119
映画芸術への招待（'25）…… 119
古代中世の日本（'23）…… 119
近世の日本と世界（'26）…… 119
史書から見る中国史（'27）…… 119
ユーラシアのなかの中国史（'26）…… 120
西アジアの歴史（'24）…… 120
中近世ヨーロッパの歴史（'27）…… 120
ー戦争と平和から見るー
近現代ヨーロッパの歴史（'22）…… 120
ー人の移動から見るー
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）120
樋口一葉の世界（'23）…… 121
『方丈記』と『徒然草』（'18）…… 121
文学批評の現在（'27）…… 121
世界文学の古典を読む（'20）…… 121
ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19）121
「日本語らしさ」とは何か（'25）…… 122
言語研究法（'19）…… 122
フィールドワークと民族誌（'24）…… 122
「人新世」時代の文化人類学（'20）…… 122
博物館教育論（'22）…… 123
博物館資料論（'25）…… 123
博物館資料保存論（'25）…… 123
博物館展示論（'25）…… 123
博物館情報・メディア論（'25）…… 123
博物館経営論（'23）…… 124
日本の文化と教育（'23）…… 124
※心理と教育コースと共用
全体主義と新自由主義のあいだ（'23） 124
※社会と産業コースと共用
西洋政治思想の文脈（'25）…… 124
※社会と産業コースと共用
日本政治外交史（'25）…… 124
※社会と産業コースと共用
新興アジアの政治と経済（'24）…… 125
※社会と産業コースと共用
ヨーロッパ政治史（'24）…… 125
※社会と産業コースと共用
現代の国際政治（'26）…… 125
※社会と産業コースと共用
メディア論（'22）…… 125
※情報コースと共用
世界の学校（'24）…… 125
※心理と教育コースと共用
現代アメリカの政治と社会（'24）…… 126
※社会と産業コースと共用
記号論理学（'24）…… 126
※情報コースと共用
社会科学で綴る伝記（'25）…… 126
※社会と産業コースと共用
数学の歴史（'25）…… 126
※自然と環境コースと共用

情報コース

データ構造の基礎（'24）…… 133
生活を支えるコンピュータ技術（'25） 134
ソフトウェア開発入門（'27）…… 134
C言語基礎演習（'20）…… 134
続・C言語基礎演習（'23）…… 134

Webのしくみと応用（'25）…… 135
ソフトウェア開発のデータ分析（'26） 135
ネットワークとスマート社会（'27）… 135
データベース（'23）…… 135
情報セキュリティの理論と基盤（'23）… 136
情報セキュリティの現状と展望（'23）… 136
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）136
コンピュータ通信概論（'24）…… 136
教育のためのICT活用（'22）…… 137
ユーザ調査法（'20）…… 137
情報社会のユニバーサルデザイン（'19）137
メディア論（'22）…… 137
情報化社会におけるメディア教育（'24）138
小学校プログラミング教育概論（'21） 138
ヒューマンインタフェース（'23）…… 138
コンピュータグラフィックス（'22）… 138
映像コンテンツの制作技術（'25）…… 139
デジタル情報の処理と認識（'22）…… 139
自然言語処理（'23）…… 139
情報デザイン（'26）…… 139
コンピュータビジョン（'22）…… 140
ー画像処理による情報抽出の技法ー
画像処理（'24）…… 140
問題解決の数理（'27）…… 140
データの分析と知識発見（'24）…… 140
記号論理学（'24）…… 141
数値の処理と数値解析（'22）…… 141
数理最適化法演習（'20）…… 141
解析入門（'24）…… 141
※自然と環境コースと共用
統計学（'19）…… 142
※自然と環境コースと共用
心理学統計法（'21）…… 142
※心理と教育コースと共用
著作権法（'22）…… 142
※社会と産業コースと共用
経営情報学入門（'23）…… 142
※社会と産業コースと共用
ソーシャルシティ（'23）…… 142
※生活と福祉コースと共用
環境を可視化する技術と応用（'23）… 143
※社会と産業コースと共用
人間・環境情報とDX（'25） …… 143
※生活と福祉コースと共用
サプライチェーン・マネジメント（'25）143
※社会と産業コースと共用
博物館情報・メディア論（'25）…… 143
※人間と文化コースと共用
オペレーションズ・マネジメント（'26）143
※社会と産業コースと共用
線型代数学（'27）…… 144
※自然と環境コースと共用

自然と環境コース

分子と細胞の生物学（'27）…… 150
生物の進化と多様化（'26）…… 150
植物の科学（'21）…… 151
感覚と応答の生物学（'23）…… 151
力と運動の物理（'27）…… 151
電気と磁気の物理（'26）…… 151
量子の物理（'27）…… 151
量子化学（'19）…… 152
ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）152
量子物理演習（'24）…… 152
宇宙の誕生と進化（'19）…… 152
太陽と太陽系の科学（'18）…… 152
地球と環境の探究（'25）…… 153
初歩からの気象学（'27）…… 153
正多面体と素数（'21）…… 153
微分方程式（'23）…… 153
統計学（'19）…… 153
数学の歴史（'25）…… 154
線型代数学（'27）…… 154
解析入門（'24）…… 154
食と健康（'24）…… 154
※生活と福祉コースと共用
データ構造の基礎（'24）…… 155
※情報コースと共用
錯覚の科学（'20）…… 155
※心理と教育コースと共用
数値の処理と数値解析（'22）…… 155
※情報コースと共用
環境を可視化する技術と応用（'23）… 155
※社会と産業コースと共用
データベース（'23）…… 155
※情報コースと共用
環境と持続可能な経済発展（'24）…… 156
※社会と産業コースと共用
記号論理学（'24）…… 156
※情報コースと共用
データの分析と知識発見（'24）…… 156
※情報コースと共用
画像処理（'24）…… 156
※情報コースと共用
食の安全（'25）…… 156
※生活と福祉コースと共用
博物館展示論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館情報・メディア論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館資料保存論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
博物館資料論（'25）…… 157
※人間と文化コースと共用
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）157
※情報コースと共用

総合科目

地域生活を支える社会福祉と法（'24）
…… 56, 111
レジリエンスの科学（'24）56, 88, 112, 158
グリーフサポートと死生学（'24）… 56, 88
地域包括ケアシステムと在宅医療（'18） 56
色を探究する（'23）…… 88, 127, 158
海からみた産業と日本（'22）…… 110
モビリティとまちづくり（'27）… 57, 110
開発経済学：アジア社会の変容（'24） 110
環境と社会（'21）…… 110
平和学（'27）…… 110, 128
空間と政治（'22）…… 111
住まいの環境論（'23）…… 56, 111
中国からジェンダー史を考える（'26）
…… 112, 127
時間を究める（'23）…… 88, 111, 127, 158
空間を考究する（'26）… 89, 112, 127, 159
情報社会と国際ボランティア活動（'24）
…… 111, 144
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）
…… 89, 113, 144
情報技術が拓く人間理解（'27）
…… 88, 112, 145, 159
暮らしに役立つバイオサイエンス（'27）158
ジオストーリー（'25）…… 158

看護師資格取得に資する科目

成人看護学（'24）…… 160
老年看護学（'25）…… 160
小児看護学（'22）…… 160
母性看護学（'26）…… 160
ー母性からウィメンズヘルスへ.
生涯にわたる女性への健康支援ー
精神看護学（'25）…… 161

卒業研究（全科履修生のみ）

生活と福祉コース…… 162
心理と教育コース…… 162
社会と産業コース…… 162
人間と文化コース…… 162
情報コース…… 162
自然と環境コース…… 162

2027年度第１学期教養学部
授業科目講義概要

基盤科目		放送大学の全てのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身につけること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めることを目標とした科目です。
コース科目＊	**導入科目**	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識およびそこで求められる基礎的な能力を身につけることを目標とした科目です。
	専門科目	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身につけることを目標とした科目です。
	総合科目	学際的な知識、分析手法を身につけ、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うことを目標とした科目です。

＊共用科目：各コースが、他のコースで開設する科目（他コース開設科目）について、それぞれのコースの体系的な学習にとって重要な科目であると判断した場合には、各コースでそれを「共用科目」とします。共用科目は卒業要件上、自コース開設科目の単位として取り扱うものですので、卒業要件上の他コース開設科目の単位とすることはできません。

（注）「メディア・放送時間」欄については巻頭を参照してください（BS放送、学習センター等での視聴についてはp.2で説明しています）。
（注）網掛けの科目はオンライン授業科目です。受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。印刷教材はありません。また、卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います（p.11参照）。オンライン授業の概要はp.14を確認してください。
（注）単位認定試験の平均点については2026年11月1日現在での過去2学期（2025年度第2学期、2026年度第1学期）分を掲載しています。
（注）放送授業科目の放送期間はおおむね4年間です（放送期間は事情により変更することがあります）。
（注）〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

基盤科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1140094 **運動と健康（'22）** 〈１１０〉 **関根　紀子** （放送大学教授） **※この科目は「運動と健康（'18）」の改訂科目です。** **「運動と健康（'18）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　89.0点 2026年度1学期　87.9点	健康の維持・増進や生活習慣病予防の観点から、運動やスポーツへの関心が高まっている。本科目では、ヒトが運動やスポーツを行ったときの身体の応答や適応について運動生理学的視点から解説し、健康づくりのための身体活動・運動の意義に対する理解を深める。 ※全15回を改訂しています。
1140086 **市民自治の知識と実践（'21）** 〈１１０〉 **山岡　龍一** （放送大学教授） **岡﨑　晴輝** （放送大学客員教授 九州大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （水）8:15 ～ 9:00 通信指導問題　記述式（郵送） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　71.3点 2026年度1学期　72.0点	現代の市民社会において、自律的、活動的に生きることの意義を伝え、そのために必要となる基礎的な知識や技術を紹介する。現実社会と大学での学びの関係性を示すことで、社会科学一般を学ぶことへの動機づけを与え、さらには、社会科学の実践的な活用の展望を示す。「市民自治」をキーワードに、学問的な思考法、社会組織の運動の技法、知識の具体的な収集法や活用法の事例などを教える。 **※この科目の通信指導問題の解答および提出は郵送のみとなります。送付する通信指導問題冊子に解答を記入し、提出してください。**
1140140 **平和と安全保障（'26）** 〈１１０〉 **秋山　信将** （放送大学客員教授 一橋大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）8:15 ～ 9:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2026年度1学期　86.8点	グローバル化と分断が進み、対立する国家間の相互依存も常態化した現在、国際社会で生じる様々な出来事は我々の生活にも直結している。この授業は、社会科学系の基盤科目として、主に「平和」と「安全保障」に注目しながら、国際政治学／国際関係論の基本的な知識や概念、視座を知る機会になることを意図している。 学習の前後に印刷教材を丹念に読むことに加え、事前学習として新聞やテレビから平和と安全保障に関する知識を得ること、事後学習として受講によって得た視点を基に報道内容を再検討すること。
1140078 **社会と産業の倫理（'21）** 〈１１０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） **山岡　龍一** （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （月）8:15 ～ 9:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　82.8点 2026年度1学期　87.1点	社会と産業をめぐる諸科学において、倫理の問題がどのように取り上げられているかを検討する。「いかに生きるべきか」「善く生きるとは何か」といった問いをめぐるものである倫理は、あらゆる人間活動において、極めて重要な要素である。しかしながら、科学的方法にとって、倫理の問題の扱いは、けっして容易なものではない。本講義では、倫理の問題がなぜ重要なのか、それを学問的に扱うにはどうしたらよいのか、そして、学問的な営みそのものにとって、どのような倫理的検討が必要なのか、といった問いを、さまざまな領域の専門家が検討するさまを紹介する。
1140132 **問題解決の進め方（'25）** 〈１１０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **※この科目は「問題解決の進め方（'19）」の改訂科目です。** **「問題解決の進め方（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　89.6点 2026年度1学期　88.2点	問題とは何か、どう発見し、どう解決するか、そのために必要な情報をどのように収集・整理し分析するかといった一連の過程を通し解決策を見いだす科学的技法を、様々な分野からの問題発見と解決の具体的な事例とともに紹介する。この考え方を応用し生涯に渡り主体的に学ぶことを、そして、多様な協働して学び活用するスキルを身につけることを目指す。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するとともに、大学ホームページや「学生生活の栞」などで放送大学の在学生向けサービスについて把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むとともに学習した内容を身近な環境で応用できることはないか考えること。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1140108 **自然科学はじめの一歩（'22）** 〈１１０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **大森　聡一** （放送大学教授） **※この科目は「自然科学はじめの一歩（'15）」の改訂科目です。** **「自然科学はじめの一歩（'15）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）14:15 ～ 15:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　81.2点 2026年度1学期　79.0点	本科目は、高等学校の「理科」および「数学」の教科と、自然と環境コースが提供する導入科目をつなぐ役割を期待するものである。自然科学に対する専門的知識を持たない方に、物質・エネルギー、生命・生態、宇宙・地球などの自然科学の諸課題における科学的な考え方と、数理・情報学の方法を解説する。これにより自然科学への興味関心を高め、より具体的な学習への動機付けとなることを期待する。まず、現代の自然観の概要を述べたのち、各領域における学問的なアプローチの仕方を紹介し、最後に、それらと社会との関わりを展望したい。 ※全15回を改訂しています。
5142032 **少子化時代の子育て** **―法と政策（'25）** 〈１１０〉 **倉田　賀世** （放送大学客員教授 熊本大学大学院教授） **常森　裕介※** （放送大学客員教授 東京経済大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）により行う。	子育て支援に関する法律や政策について学習できる入門的な授業を展開し、人材の養成に資することを目的とする。同時に、すでに資格を有する者のキャリアの向上を目指すとともに、今後、専門職やボランティアとなることを希望する方々の予備的な学習機会となることも目標としている。具体的には、子育てを支援する法制度を体系的に学習し、様々な支援を提供する関係機関などへのインタビューを通じて、制度の実情や課題などを学ぶ。（保育士、幼稚園教諭、学校教諭、子育て支援に関係するボランティア、子育てにかかわる専門職等） ※シラバスに基づき、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、復習を行い、理解を深めてください。なお、法令に関しては政府による法令検索サイト（https://laws.e-gov.go.jp/）で参照が可能です。また、理解を深めるために、事前・事後学習の際に、厚生労働省や内閣府、こども家庭庁等の関連する政府機関のHPで関連する情報を検索してみることもお薦めします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1140116 **より良い思考の技法（'23）** **―クリティカル・シンキングへの招待―** 〈１１０〉 **菊池　聡** （放送大学客員教授 信州大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　68.1点 2026年度1学期　84.2点	情報を的確に評価し、合理的に考えてより良い判断を下すための実践的な思考法が「クリティカル・シンキング（批判的思考）」である。これは相手を否定する「批判」ではなく、自分の推論を意識的に吟味する内省的・熟考的思考であり、また証拠にもとづく論理的で偏りのない思考法である。本講義では、さまざまな学問領域、市民生活、職業実践に共通する汎用的思考スキルとしてクリティカル・シンキングの基本を学び、さらに「実践」として現代社会の具体的な問題場面への適用を考えていく。 ※知的生活や活動を志す放送大学で学ぶすべての学生・市民に身につけてほしい思考の技術であり、専攻にかかわらず受講できる。本講義の内容は入門的かつ社会に即した実践的なものであり、それぞれの背景にある学問的内容を深く学ぶ意欲を持つ学生には、認知心理学や教育心理学、社会学、哲学などの専門科目と併せて履修することで、学術な面からもさらに理解を深めることができる。
1140124 **心理と教育へのいざない（'24）** 〈１１０〉 **苑　復傑** （放送大学教授） **向田　久美子** （放送大学教授） **佐藤　仁美** （放送大学准教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）8:15～9:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2025年度2学期　82.8点 2026年度1学期　87.5点	教育・心理・臨床心理について、各専任教員の専門分野をベースに概説していく。基盤科目としての本科目では、教育学・心理学・臨床心理学に興味を持ち、主に、心理と教育コースを志望する科目履修生や選科履修生、及び本コースに入学した全科履修生を対象に、これらの学問全体のガイダンスと、基礎知識を学ぶ。三領域の各特徴を学びながら、教育学・心理学・臨床心理学に関する導入的な思考方法と視点を身につけること、そして学びを積み上げ、本コース内での自身の専門領域と分野を見つけていくことを目的としている。 ※本科目履修と並行し、以下の科目の受講を推奨する。「現代教育入門（'21）」「心理学概論（'24）」「臨床心理学概論（'20）」「心理カウンセリング序説（'21）」

基盤科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1150057 **日本語リテラシー（'26）** 〈１１０〉 **滝浦　真人** （放送大学教授） **「日本語リテラシー（'16）」** **「日本語リテラシー（'21）」** **の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）15:45 ～ 16:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限 2026年度1学期　84.0点	日本語の説明的な文章を書くための基本的実践能力を養う。その過程で必要となる知識やスキルに対応して授業を構成する。具体的には、書く力を構成するスキル、文章を読んで理解するスキル、考えを整理し組み立てるスキル、実践応用に必要となるスキル、人前できちんと話すスキルを取り上げる。 ※オンライン科目「日本語リテラシー演習（'27）」を履修したい場合は、本科目を先に履修すること。「日本語アカデミックライティング（'22）」と本科目を両方履修する場合は、本科目を先に履修することを推奨する。 放送教材による学習の前後に、印刷教材による学習を行うことを推奨する。事前学習としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語や概念を確認しておくようにし、事後学習としては、印刷教材を通じて得た理解の確認や更新などに務めること。
5150027 **日本語リテラシー演習（'27）** 〈１１０〉 **滝浦　真人** （放送大学教授） 2027年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の課題レポート（90%）と最終回の最終テスト（10%）により行う。	基盤科目「日本語リテラシー」に対応し、実際の演習を通して、学業や仕事における説明の文章に対する理解と実践力の涵養を目指す科目。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※関連する科目として、「日本語リテラシー（'26）」「日本語アカデミックライティング（'22）」がある。 本科目の内容は「日本語リテラシー」を履修済であることを前提として設計されていることを、よく理解した上で受講するようにしてください。 Microsoft office Wordが使える環境にあること。（授業の中で、Wordの校閲機能を使ってフィードバックを行います。推奨環境以外では、添削指導のフィードバックが受けられない場合があります。） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1150049 **日本語アカデミック** **ライティング（'22）** 〈１１０〉 **滝浦　真人** （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　88.3点 2026年度1学期　88.5点	日本語で学術的な文章を書くために何が必要か、それはどのようなプロセスであるかを具体的に説く。アカデミックな文章とは、たしかな根拠を支えとして読者を説得してゆくプロセスであることを見て、プロセスの1つ1つを追いながら、論文などがどのように構成されてゆくかを具体的に解説する。文章表現についても、いわゆる「名文」との違いや、自分で自分の文章を添削する方法などに触れる。また、個々の学問領域で特に重要視される点や、研究の倫理的側面にも目を向ける。 ※いくつかの回において、「日本語アカデミックライティング（'17）」と同趣旨の内容がある。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
5170044 **GISで理解する** **自然とくらし（'27）** 〈１１０〉 **小倉　拓郎** （放送大学客員准教授 一橋大学講師） **山内　啓之** （放送大学客員准教授 立命館大学准教授） **高橋　尚志※** （放送大学客員准教授 東北大学助教） **太田　凌嘉※** （放送大学客員准教授 新潟大学助教） ※は専門担当講師 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（45%）、レポート（55%）の評価により行う。	近年、地理空間情報のオープンデータ化に伴い、誰もが簡単に情報を取得し活用することができる基盤が整ってきた。本講義では、自然環境と人間生活に着目して、GISの基本的なデータ解析の演習を行い、その上でフィールドワークを通した景観の見方・考え方について解説する。 ※第1回目の講義を受講する前に、指定したバージョンのQGISをインストールする。 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※関連する科目として「地理空間情報の基礎と活用（'27）」を並行して履修することが望ましい。 ※本講義では、実習の一部でGISソフトウェアを用いた分析等を行います。受講を希望する学生は、QGIS（教材作成時のバージョンは3.44）をインストールして下さい。https://www.qgis.org/ja/site/forusers/download.html 本講義で主に利用するQGISに関する基本的な操作は、下記のサイトや資料等で習得することができます。 GIS実習オープン教材：https://gis-oer.github.io/gitbook/book/ QGIS 3.4ユーザーガイド：https://docs.qgis.org/3.4/ja/docs/user_manual/index.html これらの方法について、オンライン授業体験版(https://online-open.ouj.ac.jp)の「GISで理解する自然とくらし（'27）」のページを参照してください。ソフトウェアのインストールと操作方法については、個別にサポートできない場合があります。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1170082 **デジタル時代の学びの技法 ('27)** 〈１１０〉 **登本　洋子** （放送大学客員准教授 東京学芸大学准教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （木）16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　記述式(直接入力) 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)2時限	「なぜだろう」「もっと知りたい」と思ったことを出発点とし、自ら調べ、考え、形にしていくプロセスこそが学びの醍醐味である。本科目は、この知的探究のプロセスを主題とし、研究テーマの設定、情報収集、論理的思考、データ活用、プレゼンテーションや論文執筆など、研究や探究に必要なスキルを初歩から体系的に修得することを目的とする。さらに、生成AIを含むデジタル技術を活用し、問いを深め、学びを広げる現代的な学修方法を身に付ける。大学での学修に初めて取り組む学生および社会人を含む幅広い学習者を対象とする。 ※履修にあたって特別な予備知識は不要であるが、自分の調べたいことや深めたいことを定め、主体的に各回の学習に取り組んでほしい。事前学修として印刷教材を通読し、事後学修では印刷教材の課題に取り組む。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
1170066 **遠隔学習のためのパソコン活用 ('25)** 〈１１０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **仁科　エミ** （放送大学教授） **※この科目は「遠隔学習のためのパソコン活用 ('21)」の改訂科目です。** **「遠隔学習のためのパソコン活用 ('13)」「遠隔学習のためのパソコン活用 ('17)」「遠隔学習のためのパソコン活用 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）17:15 ～ 18:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)6時限 2025年度2学期　88.9点 2026年度1学期　88.1点	放送大学の学生が家や職場から学習するうえで役立つパソコンの活用方法を基礎から学ぶ。パソコンの基本操作について学んだのち、放送大学が提供する学内情報通信システムを活用するために必要な技法について学ぶ。その後、学生がパソコンソフトを駆使して文献を検索し、表計算ソフトを用いて図表を作成し、文書作成ソフトでレポートを作成し、最後にプレゼンテーションソフトを用いてプレゼンテーションをできるようになる。主体的な取り組みを行い、自分の学習について振り返りを行うことで、遠隔学習者として必要な素養を身につけることを目指す。 ※「遠隔学習のためのパソコン活用 ('21)」の改訂科目であり単位を修得した学生は履修できない。 ※ また、放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習として大学ホームページや「学生生活の栞」などで放送大学の在学生向けサービスについて把握すること。事後学習しては印刷教材で指定された課題等に取り組むとともに自分の興味のあるテーマについて、レポート、およびプレゼンテーション資料を作成すること。 ※全15回を改訂しています。
1170074 **地理空間情報の基礎と活用 ('27)** 〈１１０〉 **山田　育穂** （放送大学客員教授 東京大学教授） **瀬戸　寿一** （駒澤大学准教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （火）18:00 ～ 18:45　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)2時限	誰もが自由に地理空間情報を利用できる時代になり、人々の生活の至るところに地理空間情報を用いた有益なサービスシステムが存在するようになった。本講義では、地理空間情報の取得や分析のための先端の技術や、地理空間情報を活用した人々の安心・安全、利便性等のためのサービスシステムの紹介を通じて、現代生活における地理空間情報の必要性や、システム構築に必要な技術、地理空間情報の表現・分析方法について解説する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 事前学修としてシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語や概念を把握しておくこと。事後学修としては印刷教材の学習課題に取り組むと共に、関連する身近な事例について考えてみること。なお、本科目に関連する科目として「GISで理解する自然とくらし ('27)」がある。
1170040 **情報学へのとびら ('22)** 〈１１０〉 **加藤　浩** （放送大学教授） **大西　仁** （放送大学教授） **※この科目は「情報学へのとびら ('16)」の改訂科目です。** **「情報学へのとびら ('16)」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）21:00 ～ 21:45　(231ch) （金）12:45 ～ 13:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)3時限 2025年度2学期　76.7点 2026年度1学期　81.7点	本科目では、多様な側面を持つ情報に関して、情報の認識、加工、発信の主体である人間および人間の共同体である社会と情報の関わり、情報社会を支えるコンピュータや情報・通信システムの理論的、技術的背景について解説し、それぞれの場面における情報の効果や処理のされ方に関する基本的な理解を図る。また、講義で取り上げる情報に関わる問題がどのような学問とつながっているかについても触れて、情報の概念（ないしは情報学）の体系の一端を示す。 ※改訂回は第1、2、7、8、9、10、11、13、14、15回です。

基盤科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
5170010 データサイエンス・ リテラシ導入（'22） 〈１１０〉 中谷　多哉子 （放送大学特任教授） 2022年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、 レポート（50%）の評価により行う。	これからの社会における就労や生活の様々な場面で、データに基づく判断が求められるようになる。そこで必要となるのが、数理・データサイエンスの技術である。データに基づく判断がなぜ必要なのか、それはどのように行われるべきなのか、社会においてそれはどのように役立つのか。本科目は、これらの事項を学習する科目として、高等学校卒業者が最低限備えているべき予備知識のみを前提として開設する。これからの社会では、人工知能（AI）が判断を代行する機会が多くなると予想されるが、このAIについても概説し、正しく理解し利用するための基礎的な事項を学習する。 ※各回は3つまたは4つのパートに分かれている。パート毎に出題される練習問題と解説を読んで、内容を理解すること。 全8回の講義映像は全て、インターネット配信公開講座『【導入 A】データサイエンス基礎から応用』と同様です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5170028 データサイエンス・ リテラシ基礎（'22） 〈１１０〉 加藤　浩 （放送大学教授） 2022年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（80%）、 レポート（20%）の評価により行う。	これからの社会における就労や生活の様々な場面で、データに基づく判断が求められるようになる。この科目では、デジタル社会の読み･書き･そろばんである『データ思考』を育むデータリテラシーの内容をスポーツや環境、生活、ビジネスなど身の回りの社会の実例に沿って、分かり易く解説し、データを読み解き、社会に活かす力を身に付けることを目指す。 全8回の講義映像は全て、インターネット配信公開講座『【基礎 A】デジタル社会のデータリテラシー』と同様です。 本科目の科目特性上、表計算ソフトウェアを使用しますが、その標準を有料版Excelとしてコンテンツを制作しています（Windows版／ Mac版いずれでも可）。そのため、演習パート等でWeb無料版 Excelや他の表計算ソフトウェア（Google スプレッドシートや Numbersなど）を使用する場合、一部の操作が異なる・代替機能がない等の事情により、講師の解説をそのまま再現できない場合があります。 なお、有料版 Excel以外を使用する場合でも、評価に関わる活動には影響がないよう科目設計しておりますが、他の表計算ソフトに関する機能や操作等の質問はお受けしかねますので、予めご了承ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5170036 データサイエンス・ リテラシ心得（'22） 〈１１０〉 辰己　丈夫 （放送大学教授） **「情報セキュリティと倫理・心得（'26）」の単位修得者は履修不可** **※履修制限については、講義概要欄の内容もあわせてご確認ください。** 2022年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（80%）、 レポート（20%）の評価により行う。	これからの社会における就労や生活の様々な場面で、データに基づく判断が求められるようになる。この科目では、データサイエンスを用いた現象の理解や、理解した内容を利用して作られる情報システム、組込みシステムなどの利用に当たって必要となる「心得」として、情報倫理・技術者倫理・情報セキュリティに当たる内容を取り扱う。履修者の専攻は問わず、どの分野を学ぶ学生でもわかりやすい内容とする。 全8回の講義映像は全て、インターネット配信公開講座『【心得】数理・データサイエンス・AIリテラシー講座 心得』と同様です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※「データサイエンス・リテラシ心得（'22）」と「情報セキュリティと倫理・心得（'26）」を同一学期に科目登録しようとする場合も履修制限がかかりますので、どちらか履修したい科目を1科目ご選択ください。
1160028 初歩からの数学（'18） 〈１１０〉 隈部　正博 （放送大学教授） **「初歩からの数学（'12）」の単位修得者は履修不可** 2018年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）18:45 ～ 19:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　80.8点 2026年度1学期　83.8点	これから大学で数学の勉強をするにあたって必要な事柄を解説する。講義の内容は、高等学校までに学ぶ数学であるが、それをできるだけ体系立てて解説していく。数学の各分野におけるさまざまな基本概念を理解することに重点をおき、数学的な見方、考え方、そして正確な議論の進め方を学ぶ科目として講義する。特に初学者にとって分かりづらいとされる分野を丁寧に解説したい。 ※予備知識は仮定しない。今まで数学を（試験の直前以外）勉強したことがない人、勉強した覚えはあるが忘れてしまった人、そして数学は苦手だがもう一度学習してみたいという人も履修できるように配慮し、文字通り初歩から数学を解説する。焦らずゆっくり読み進めながら学習することが必要である。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1160036 **身近な統計 ('24)** **〈１１０〉** **石崎　克也** （放送大学教授） **渡辺　美智子** （放送大学客員教授 立正大学教授） **※この科目は「身近な統計 ('18)」の改訂科目です。** **「身近な統計 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）8:15 ～ 9:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.1点 2026年度1学期　82.0点	高度情報化社会が謳われる中で、私たちの身の回りにはテレビや新聞・雑誌・インターネット等を通して多種多様な統計情報が溢れています。本講義では、統計の基本的な考え方、データの統計的活用の理論と方法を解説するだけではなく、諸種の統計情報が企業や行政の意思決定および社会・経済・自然現象の解明に具体的に活用されている事例を（放送教材で）紹介します。また、更に具体的な理解を深めるため、身近なデータの表計算ソフトを使った簡単な分析方法も説明します。 ※この講義は「身近な統計 ('18)」の改訂版です。したがって、同科目を既に履修し単位を取得したものには単位は認められません。放送大学ウェブページ上に展開する「身近な統計」版では理解が深まるよう教材が用意されていますのでご利用下さい。 ※改訂回は全15回です。
5160014 **演習初歩からの数学 ('20)** **〈１１０〉** **隈部　正博** （放送大学教授） 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の小テスト（80％）、レポート（20％）の評価により行う。	放送授業「初歩からの数学 ('18)」が開講されているが、この科目に対応した演習科目をオンライン授業にて行う。「初歩からの数学 ('18)」は基盤科目であり、所属するコースに関係なくすべての学生がとりうる科目として開設している。しかし十分な演習の時間がとれないので、これを補う科目である。 ※初めて数学を学ぶ学生も困難を感じないよう、ゆっくりと練習問題を解きながら、授業を進めていきます。 ※放送授業「初歩からの数学」に沿った演習を行う。従って、放送授業「初歩からの数学」を履修済みであるか、並行して履修していることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1420151 シン・ビートルズ de 英文法（'25） 〈１１０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） 中野　学而 （放送大学客員教授 中央大学教授） ※この科目は「ビートルズ de 英文法（'21）」の改訂科目です。 「ビートルズ de 英文法（'21）」の単位修得者は履修不可 2025 年度開設科目	2	ラジオ （日）12:45 ～ 13:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限 2025年度2学期　84.2点 2026年度1学期　85.2点	思慕、歓喜、悲嘆、不満、嫉妬、回想、後悔、至福、誘惑……さまざまな感情と思いが踊るビートルズの歌詞に即し、英語の抑揚とリズム、発音と発声込みで、英語文の成り立ちを基礎から習得する。 ※印刷教材は佐藤良明著『ビートルズ de 英文法（'21）』を改訂したものとなります（いくつかの章で、取り上げる曲と教材内容が変わりました）。ビートルズの口語的な英語を聞き取る、言ってみる、歌ってみる過程を重視するので、英語の中に飛びこむ気持を強くしてください。伝統的な英文法とは異なる用語を用いて、異なる説明をする場合があります。 ※事前学習では、その回で扱うビートルズの曲を聞いて下さい。できれば歌えるようになっていると望ましいと思います。事後学習ではその回の授業で行われた説明をよく振り返り、練習問題を自分で解き直すなどして下さい。 ※全15回を改訂しています。
1420160 英語で発信する 日本文化（'26） 〈１２０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） 斎藤　兆史 （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） CD付 2026 年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）8:15～9:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2026年度1学期　79.8点	かつて高度な英語力で日本文化を発信した人たちの英文や、講師がこの科目のために書き下ろした英文を使いながら、「日本文化」を語ることを通して発信型英語教育の一類型を示す。 ※「看護・医療の英語（'19）」「シン・ビートルズ de 英文法（'25）」はこの科目を受講する前に履修することが望ましい。 この科目と前後して「グローバル時代の英語（'22）」を履修することが望ましい。また、この科目を履修した後には「続・教養で読む英語（'27）」「英語で読む大統領演説（'20）」など更に高度な英語力を要する科目を受講することが期待される。 事前学習としては、本文中にある分からない単語の意味を調べたり、練習問題を解いてみるなどして、予習を十分に行ってから放送教材を視聴すること。事後学習としては、練習問題を解き直してみたり、放送教材での解説を参考にして全文を和訳してみるなどして、復習を十分に行うこと。
1420143 グローバル時代の 英語（'22） 〈１２０〉 宮本　陽一郎 （放送大学特任教授） 大橋　理枝 （放送大学教授） クリスティ　コリンズ （放送大学客員准教授 麗澤大学准教授） 2022 年度開設科目	2	ラジオ （土）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　82.2点 2026年度1学期　80.0点	今や英語の使用人口は全世界で10億人を超えると言われているが、そのうち母語話者は3億8千万人に満たない（Ethnologue, 2019）。従って今日では英語が使われる場面は非母語話者同士の間である可能性の方が高いといえる。非母語話者間の共通語として英語を捉えると、それを使うために必要な力は規範的な英語の範囲を超えていくはずだ。この科目では「グローバル・コミュニケーションのための英語」（English for Global Communication）をテーマに据えて英語を学習していく。 ※この科目を履修する前に「シン・ビートルズ de 英文法（'25）」を履修しておくことが望ましい。また「看護・医療の英語（'19）」を先に履修しておくのも良いだろう。この科目の履修を「英語で「道」を語る（'21）」「続・教養で読む英語（'27）」「英語で読む大統領演説（'20）」などに繋げて頂きたい。
1420119 英語で読む 大統領演説（'20） 〈１３０〉 宮本　陽一郎 （放送大学特任教授） 2020 年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）8:15 ～ 9:00　（231ch） （土）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　82.2点 2026年度1学期　74.4点	この授業では、20世紀の合衆国大統領の演説を、映像資料を豊富に用いて切迫した臨場感を再現しつつとりあげ、そこで用いられている英語表現をアメリカの歴史と文化に対する理解と結びつけつつ学びます。それぞれの演説に関して、平明な英語で書かれた解説・論評を速読し、パラグラフ・リーディングの訓練を行い、さらに暗唱、エッセー執筆、ヴァキャブラリー・チェックなど多様な学習課題を用意し、個々の履修者のニーズに合わせた学習をサポートします。 ※大学初年時レベルの英語語学力を修得済みであることを前提とします。
1420178 続・教養で読む英語（'27） 〈１３０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） CD付 2027 年度開設科目	2	ラジオ （土）12:45 ～ 13:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限	成人教育学、情報環境学、社会心理学、人を対象とする研究倫理、地球科学、数理工学、社会文化人類学、国際政治学、物理化学、社会学、数学、リスクマネジメント学といった、自然科学・社会科学・人文学の様々な分野からテキストを選び、抜粋された部分の意味を把握すると共に、毎回ゲストの先生をお迎えして、その文献の意義や重要性について解説して頂く。 ※「英語で発信する日本文化（'26）」「シン・ビートルズ de 英文法（'25）」「グローバル時代の英語（'22）」「英語で読む大統領演説（'20）」「看護・医療の英語（'19）」などと共に履修すると学習効果が高まると考えられる。 ※事前学修としては各分野の入門書などを日本語で良いので読んでおくと良い。事後学修としては今回初めて学習した単語について辞書を再確認すると共に、テキストで引用されている文献の原典を読んでみることを薦める。
5142024 看護・医療の英語（'19） 〈１１０〉 三品　由紀子 （放送大学客員准教授 電気通信大学准教授） 大石　和欣 （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2019 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（第8回の最終テストを含む）70%とレポート（第4回履修後に提出）30%とする評価により行う。	看護・医療の現場で必要な英語の語彙や文法について、会話パターンを中心に基礎的な知識を習得する。また類似した状況において、応用ができるように多くの表現事例を学ぶ。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1430050 ドイツ語Ⅰ（'27） 〈１１０〉 佐藤　恵 （放送大学客員准教授 慶應義塾大学准教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （日）8:15 ～ 9:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限	平易な会話文を題材として、ドイツ語の基礎を身につけます。 ※ほとんどの人にとって初修の外国語ですので、最初の段階で覚える項目が多くあります。事前学修：辞書を手元に置き、各課の重要語句や文法事項などを確認しておきましょう。事後学修：放送教材を繰り返し視聴して反復練習を行い、印刷教材の練習問題に取り組んで納得がいくまで復習してください。
1430068 ドイツ語Ⅱ（'27） 〈１２０〉 佐藤　恵 （放送大学客員准教授 慶應義塾大学准教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （月）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限	「ドイツ語Ⅰ（'27）」で学習した基礎的な知識を深めながら、ドイツ語の基礎を身につけます。 ※事前学修：辞書を手元に置き、各課の重要語句や文法事項などを確認しておきましょう。事後学修：放送教材を繰り返し視聴して反復練習を行い、印刷教材の練習問題に取り組んで納得がいくまで復習してください。
1440039 フランス語Ⅰ（'24） 〈１１０〉 田口　亜紀 （放送大学客員教授 共立女子大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）8:15 ～ 9:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　76.1点 2026年度1学期　79.9点	フランス語圏の国、地域の社会的文脈を背景とした、平易な会話文を題材としながら、フランス語の基礎を身につける。すなわち、発音（音とリズム）・基礎的語彙・基本的文法事項をバランスよく学習し、フランス語でコミュニケーションが取れるようになるための基礎を学ぶ。ことばがその文化的背景と切り離せないものであることから、文学、芸術、社会的事象をとおして、フランス語圏の文化を知り、その多様な魅力を味わう。 ※外国語の上達のひけつは、反復練習と継続です。繰り返して放送を視聴しましょう。各章の「わかるようになる表現」（キーフレーズ）が理解できれば、会話文すべてが完全にわからなくても、問題ありません。印刷教材の練習問題を解いてみて、難しい箇所は納得するまで、繰り返しチャレンジしましょう。また、学習に際しては、辞書を手許に置いて、語句や成句の意味と用例、動詞の活用形を確認しましょう。本科目の修了後に、続けて「フランス語Ⅱ（'24）」を履修すれば、フランス語がさらに読めたり、聞き取れたり、口にすることができて、あなたの世界が広がるでしょう。
1440047 フランス語Ⅱ（'24） 〈１２０〉 田口　亜紀 （放送大学客員教授 共立女子大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　87.2点 2026年度1学期　80.6点	「フランス語Ⅰ（'24）」で学習したフランス語の基本的な内容をさらに深めながら、それを応用する形で実際に使われるフランス語に親しむことを目指す。具体的には、会話文を通して、発音（音とリズム）・基礎的語彙や表現、厳選された基本的文法事項をバランスよく学習する。フランスのみならず、世界に広がるフランス語圏の国・地域を訪れる主人公の物語をともに生きながら、ものごとを相対化して考える視点を身につけることをめざす。ことばがその文化的背景と切り離せないものであることから、文学、芸術、社会的事象を通して、フランス語圏の文化を知り、その多様な魅力を味わう。 ※「フランス語Ⅰ（'24）」の修得者が対象です。番組には、ゲストを迎えて地域のお話を聞いたり、歌を聴きます。楽しみながら受講してくださることを期待します。さて、外国語の上達のひけつは、反復練習と継続です。繰り返して放送を視聴しましょう。各章の「わかるようになる表現」（キーフレーズ）が理解できれば、会話文すべてが完全にわからなくても、問題ありません。印刷教材の練習問題を解いて、あやしい箇所があれば納得できるまで、繰り返し挑戦してみましょう。また、学習に際しては、辞書を手許に置いて、語句や成句の意味と用例、動詞の活用形を確認するとよいでしょう。

基盤科目（外国語）

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式／単位認定試験 出題形式 試験期間／試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1460056 **中国語Ⅰ（'27）** **ー尋根（ルーツを探して）ー** **〈１１０〉** **宮本　徹** （放送大学教授） **CD付** 2027年度開設科目	2	テレビ （火）8:15 ～ 9:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限	平易な会話文を題材としながら、現代中国語の基礎を学習する。 講義では発音・基礎的語彙・基本的文法事項をバランスよく学習できるよう心がけるとともに、文法項目が単なる項目の羅列に終わらないよう、折に触れて復習を行い、体系的に把握できるように努めたい。 ※(1)本講義の印刷教材は他の一般的な中国語教科書と異なり、スキット部分における中国語文の漢字とピンイン（アルファベット式発音表記）の表記を完全に分離している。その意図の一つは、漢字を通して視覚的に中国語を理解するにとどまらず、中国語に対しピンインを媒介として音声的にアプローチすることにある。学習に際しては常に声を出し、放送番組や印刷教材付属CDを活用するなど、常に中国語の音声を意識しながら学習を進めていただきたい。 (2)どの外国語学習においても同じであろうが、学習の際には可能な限り辞書を傍らに置き、疑問点があればすぐに調べるよう習慣づけたい。以下、現在日本で刊行されている主な中日辞典を挙げる。なお、本講義あるいは「中国語Ⅱ（'27）」の学習には（小型ではなく）中型字典が適当である。 伊地智善継編『中国語辞典』（白水社）、北京商務印書館・小学館編『中日辞典（第3版）』（小学館）、相原茂編『中日辞典（第3版）』（講談社）、相原茂等編『東方中国語辞典』（東方書店）、松岡栄志等編『超級クラウン中日辞典』（三省堂）、倉石武四郎著『岩波中国語辞典』（岩波書店） (3)「中国語Ⅰ（'27）」「中国語Ⅱ（'27）」を通じての目標は、辞書を引きながら標準的な現代中国語文を正確に読解することに置いている。本科目ではそのための基礎を学ぶことになるが、上記目標を達成するために引き続き「中国語Ⅱ（'27）」を学習することを強く勧めたい。 (4)外国語学習には予習が効果的である。語釈等を参照しながら、課文を自分で解釈した上で、授業を視聴するのがよいだろう。ただし発音については復習が重要である。課文を自分一人の力で発音できるようになるまで練習していただきたい。練習問題（中国語作文）を解くことも、授業内容を定着させる有効な手段である。
1460064 **中国語Ⅱ（'27）** **ー胡安焉「我在物流公司上夜班的一年」他ー** **〈１２０〉** **宮本　徹** （放送大学教授） **CD付** 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）7:30～8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限	比較的平易なエッセイ等を題材としながら、「中国語Ⅰ（'27）」に引き続いて現代中国語の基礎を学習する。 講義ではなぜそのように読めるのか、また読まねばらならないのかということを常に念頭に置きつつ、現代中国語文の精読を試みる。「学習のポイント」は「中国語Ⅰ（'27）」で取りあげられなかったものを中心とするが、折に触れて「中国語Ⅰ（'27）」の復習を行い、現代中国語文法を体系的に把握できるように努めたい。 ※(1)本講義の印刷教材は他の一般的な中国語教科書と異なり、課文における中国語文の漢字とピンイン（アルファベット式発音表記）の表記を完全に分離している。その意図の一つは、漢字を通して視覚的に中国語を理解するにとどまらず、中国語に対しピンインを媒介として音声的にアプローチすることにある。学習に際しては常に声を出し、放送番組や印刷教材付属CDを活用するなど、常に中国語の音声を意識しながら学習を進めていただきたい。 (2)どの外国語学習においても同じであろうが、学習の際には可能な限り辞書を傍らに置き、疑問点があればすぐに調べるよう習慣づけたい。以下、現在日本で刊行されている主な中日辞典を挙げる。本講義の学習には（小型ではなく）中型字典が適当である。 伊地智善継編『中国語辞典』（白水社）、北京商務印書館・小学館編『中日辞典（第3版）』（小学館）、相原茂編『中日辞典（第3版）』（講談社）、相原茂等編『東方中国語辞典』（東方書店）、松岡栄志等編『超級クラウン中日辞典』（三省堂）、倉石武四郎著『岩波中国語辞典』（岩波書店） (3)本科目は「中国語Ⅰ（'27）」の履修、あるいはそれと同等の中国語能力があることを前提とする。 (4)外国語学習には予習が効果的である。語釈等を参照しながら、課文を自分で解釈した上で、授業を視聴するのがよいだろう。授業後は各章末の練習問題（中国語作文）に取り組み、中国語の多彩な表現を実感していただきたい。
1480057 **韓国語Ⅰ（'25）** **〈１１０〉** **新井　保裕** （放送大学客員准教授 文京学院大学准教授） **CD付** 2025年度開設科目	2	テレビ （金）8:15 ～ 9:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　73.0点 2026年度1学期　73.8点	本講義では韓国語未習者を対象に、韓国語の入門講義を行う。韓国語学習で欠かせない文字（ハングル）及び発音を習得したのち、韓国語の初級文法（2つの丁寧体語尾、尊敬表現、過去形）を学ぶほか、初級単語も集中的に覚える。さまざまな助詞、語尾も学習することで、基本的な文から、具体的な文、複雑な文まで韓国語で作る練習をする。 ※ 事前学習として印刷教材に目を通して疑問点をまとめたうえで、放送教材に取り組むこと。そして学習した表現について事後学習で繰り返し復習すること。この科目を履修した後に「韓国語Ⅱ（'25）」に進んでいくことが望ましい。
1480065 **韓国語Ⅱ（'25）** **〈１２０〉** **新井　保裕** （放送大学客員准教授 文京学院大学准教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （日）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限 2025年度2学期　80.5点 2026年度1学期　77.6点	本講義では韓国語入門修了者（「韓国語Ⅰ」学習程度）対象に、韓国語の初級～初中級水準講義を行う。韓国語入門講義で学んだ用言の基本的な活用などを復習したのち、韓国語の初中級文法（連体形、連用形、変則活用）を学ぶほか、初中級単語も集中的に覚える。さまざまな助詞、語尾も学習することで、具体的な文から複雑な文、高度な内容の文まで韓国語で作る練習をする。 ※事前学習として印刷教材に目を通して疑問点をまとめたうえで、放送教材に取り組むこと。そして学習した表現について事後学習で繰り返し復習すること。「韓国語Ⅰ（'25）」を履修している、または同等以上の韓国語学習経験を有していること。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1490036 **初歩のトルコ語（'26）** 〈１１０〉 **宮下　遼** 〔放送大学客員准教授 大阪大学准教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ （木）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2026年度1学期　84.6点	初学者のためのトルコ語の授業です。会話文や叙述文から成るスキットを通じて、毎回基本的な文法事項の学習を進めながら、併せてトルコの社会や歴史、文化についても触れ、理解を深めていきます。 ※放送教材に接する前後に印刷教材による予習・復習を行ってください。事前学習として「スキットの粗筋」、「その課で学ぶ文法事項」についてざっとで構いませんので目を通しておいてください。また授業後には各課末尾の「講読」を用いてその日の復習を行ってください。
1470027 **初歩のスペイン語（'25）** 〈１１０〉 **柳原　孝敦** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2025年度開設科目	2	ラジオ （金）7:30 ～ 8:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　71.1点 2026年度1学期　69.3点	スペイン語の未修者に向けた授業です。アルファベットの読み方や綴り字と発音の関係から始めて、スペイン語を理解し、スペイン語で表現するために必要な文章構造（文法）と、それによって可能になる表現とを学んでいきます。 ※スペイン語に限らず、外国語を習得するには必要な文法事項（単語の変化や並び方）を覚える必要があります。そのためには繰り返しの学習が欠かせません。事前学習としては教科書を読み、放送教材で疑問点を解決し、事後学習としてそれぞれの課の文法事項（動詞の活用など）や例文をおぼえるようにしてください。そうした地道な努力をすれば、スペイン語は他の言語と比べても決して難しい言語ではありません。がんばってください。

生活と福祉コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1710265 **生活経済学（'25）** 〈２１０〉 **大藪　千穂** （放送大学客員教授 岐阜大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （日）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　69.2点 2026年度1学期　81.1点	生活をしていくには、生まれてから死ぬまで、また死んでからもある程度のお金がかかる。国全体の経済学については学ぶことが多いが、個人の生活の経済については、これまで個人的なのものとして、あまり学ぶことがなかった。しかし、人生にかかるお金と生活について学ぶことは、各人が生活をおくっていくにあたって極めて重要である。本講義では、生活経済の歴史、家計収支論、それぞれの世帯の家計、そして持続可能な社会のための生活のあり方について学び、自主的に生活を創造する知識を提供する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1710311 **豊かに暮らすための不動産学（'26）** 〈２２０〉 **齊藤　広子** （放送大学客員教授 横浜市立大学名誉教授 東京都市大学特任教授） **「暮らしに活かす不動産学（'22）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2026年度1学期　89.2点	わたしたちの暮らしは、土地や建物といった不動産を基盤に支えられている。暮らしに身近な不動産であるにも関わらず、十分な知識をもっていないことが多く、不動産に関するトラブルは多い。そこで、暮らしに身近なテーマを取り上げて、不動産に関する基礎的な知識を教授することを目的とする。安心・安全で快適なすまい・まちの実現には、国民一人一人が不動産学を身につけることが必要であるという視点から、生活者が一生のうちで、出会うことが多いテーマ、「住まいを借りる」「住まいを貸す」「住まいを購入する」「住まいをリフォームする」「住まいを相続する」「隣が空き家になる」「不動産を経営する」等を取り上げる。トラブル予防の視点だけでなく、豊かに暮らすための視点を大切にする。 ※講義を受ける前に事前学習をし、講義を受けた後は身近な不動産、それを取り巻く環境をみて事後の学習をして理解を深めよう。
1710222 **健康と社会（'23）** 〈２１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **※この科目は「健康と社会（'17）」の改訂科目です。** **「健康と社会（'17）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ （木）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　81.7点 2026年度1学期　85.0点	私たちが健康について考えるときには、多くの場合、身体的な問題や心の問題に焦点を当てることが多い。しかし、健康は社会の問題やありようと大きく関わる。健康とは単に身体や心に異常がないということだけではなく、よりよい生活や人生とは切っても切れないものという健康観も生まれてきている。本講義では、健康と社会に関わる行動科学や社会科学におけるさまざまな理論や知見についてわかりやすく整理し、私たちが生活者として健康や医療に向き合ってより良い社会生活を送り、健康に生きていくことのヒントとなる知識を教授する。 ※「健康への力の探究（'27）」と併せて受講することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1710320 **健康への力の探究（'27）** 〈２１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **中山　和弘** （放送大学客員教授 聖路加国際大学教授） **※この科目は「健康への力の探究（'19）」の改訂科目です。** **「健康への力の探究（'19）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限	私たちが健康になるためには、食事、運動などの生活習慣を整えることが重要と考えられてきた。しかし同じような生活を送っていても健康な人もいれば病気になる人もいる。ここには「健康への力」の不足・充足がかかわっていて、学術的にも少しずつわかってきている。本講義ではこの「健康への力」について様々な側面から整理し、わかりやすく解説をしていく。 ※「健康と社会（'23）」を履修しておくことが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による学修を行うこと。事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※改訂回は全15回です。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1710281 **疾病の成立と回復促進（'25）－人体の構造と機能及び疾病Ｂ－** 〈２２０〉 **岡田　忍** （放送大学客員教授 川崎市立看護大学教授） **佐伯　由香** （放送大学客員教授 人間環境大学特任教授） **「疾病の成立と回復促進（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）12:45～13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　93.1点 2026年度1学期　96.0点	疾病によって引き起こされる様々な身体内部の変化と生活への影響、疾病の回復過程とそれを促進する要因についての知識は、疾病を予防し、疾病に対して適切な医療、看護の提供するために不可欠なものである。本講義では、看護師が疾病の成立と回復促進を理解することの必要性、疾病の原因とそれによって細胞や組織に生じる変化、基本的な病変の成り立ち、疾病に対して提供される医療についての講義を行ったうえで、生命活動や生活にどのような障害をもたらすのかという視点から、様々な疾病について解説する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習では、印刷教材を一読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習では事前学習で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。 ※「人体の構造と機能（'26）」「疾病の回復を促進する薬（'25）」と合わせて履修することが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1710273 **疾病の回復を促進する薬** **('25)** **〈２２０〉** **櫻井　隆** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院教授） **服部　信孝** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院特任教授） **「疾病の回復を促進する薬('21)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (木) 12:45～13:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)1時限 2025年度2学期　84.3点 2026年度1学期　87.5点	多くの病気には身体の機能が亢進または低下した状態が関連している。薬物の多くは、生体の機能分子に結合することで作用をあらわし、身体の機能を正常に近づけるように働く。しかしながら、身体に有害な作用をもたらすこともある。この講義では、代表的な薬の作用メカニズム、副作用（有害反応）、使用上の注意点を学んでいく。各論においては、臨床に携わる医師が薬物治療の経験をもとに講義を行うことを特徴としている。さらに、薬が有効かつ安全に使われるために、医師・看護師・薬剤師などがどのように協力していくべきかを理解する。 ※「人体の構造と機能 ('26)」「疾病の成立と回復促進 ('25)」とあわせて履修することが望ましい。 ※放送教材による学習前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としては、シラバス・印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、事前学習で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。 ※本科目は「疾病の回復を促進する薬 ('21)」をもとに新しく授業内容を作成しています。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1710303 **人体の構造と機能 ('26)** **－人体の構造と機能及び疾病Ａ－** **〈２１０〉** **南沢　享** （放送大学客員教授 東京慈恵会医科大学名誉教授 ビューティ&ウェルネス専門職大学教授） **大久保　暢子** （放送大学客員教授 聖路加国際大学大学院教授） **「人体の構造と機能 ('22)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 12:45 ～ 13:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)2時限 2026年度1学期　89.3点	人が日常生活するうえで、からだが目的を持って働くために、器官が備わっている。さらに各器官はお互いに密接に連携・協力して、からだの恒常性を維持している。からだの恒常性が乱れると疾病や障害が生じる。医療職を目指す学生ばかりでなく、自らの健康を維持してゆくためにも、各器官の構造と機能を学び、さらに器官相互の関係を理解しておくことは極めて重要である。本講義では人がからだの内部外部環境に応答して適切に働くための基本について概説する。 ※講義は総論2回のあとに、各器官についての各論を概説する。講義時間は限られているため、時間内で全てを講義することできないため、学生自ら、事前に教科書を予習しておくことが必須である。講義は予習をしてあることを前提として展開する。からだの仕組みについて不思議だなと思う事がとても大切で、疑問点やわからないことがあれば、積極的に講師に質問する学習態度が望まれる。 放送教材による学習の前に対応する回の印刷教材を通読しておくことが望ましい。事後学習としては放送教材で得られた知識を印刷教材を使って定着させ、練習問題等に取り組むこと。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1710290 **睡眠と健康 ('25)** **〈２２０〉** **宮崎　総一郎** （放送大学客員教授 日本睡眠教育機構理事長） **林　光緒** （放送大学客員教授 広島大学教授） **※ この科目は「睡眠と健康('21)」の改訂科目です。** **「睡眠と健康 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ (火) 13:30～14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)4時限 2025年度2学期　92.9点 2026年度1学期　91.3点	睡眠・覚醒リズムは生命現象の基盤にあり、睡眠は栄養や運動と並んで、健康を支える重要な要素である。したがって、睡眠は健康の維持増進に必須であるばかりでなく、労働環境の改善、疾病予防や事故防止にとっても重要である。新しい学問体系として、2002年に睡眠学は日本学術会議から提唱され、認知されつつある。本科目では、健康に関わる睡眠について、眠りのメカニズム等に関わる科学的アプローチ、睡眠に関連した疾病等の医学的アプローチ、睡眠障害の社会に及ぼす課題等の社会学的アプローチにより構成されている。 ※健康の維持増進を支える要素には、栄養、運動、休養（睡眠）がある。健康領域の科目として、基盤科目の「運動と健康 ('22)」を学んでいることが望ましい。また、専門科目にある「食と健康 ('24)」を履修することも望まれる。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。 事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5710073 **がんを知る ('26)** **〈２１０〉** **渡邊　清高** （放送大学客員教授 帝京大学医学部内科学講座教授） 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(20%)、レポート(40%)および最終テスト(40%)により行う。	がんという病気、原因、予防や検診、治療の概要について基本的な知識と対応策を得ることは、自分だけでなく周囲の大切な人を守ることにつながる。講義では、患者、家族、医療者の体験や事例を導入とし、国民があらかじめ知っておくべきがんの予防・検診、診断・治療、療養生活の知識を学ぶ。最新のがんの疫学、対策、医療、緩和ケア、在宅ケアなどを含むがんを取り巻く環境の変化に対応し、オンラインの特性を活かして、受講生の関心に応じた情報や最新の取り組みを紹介し、講義、ディスカッション、レポート課題を通じて理解を深める。 ※参考資料等を活用して事前学習を行い、講義映像を視聴しながら学習を進める。事後学習として各回の課題や解説を復習し、不明点を残さず理解を深めることが望ましい。配信期間中は交流フォーラムで履修者同士の意見交換が可能であり、設定されたディスカッション期間には特定のトピックについて情報共有や議論を行うことができる。 本講義受講後に「がんとともに生きる ('18)」を受講することを推奨する。(同時受講することも可能であるが、課題の分量が増えることに留意すること) 参考図書を開講後に案内する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

生活と福祉コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1710249 **感染症と生体防御（'24）** **〈２１０〉** **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **北村　聖** （放送大学客員教授 地域医療研究所シニアアドバイザー） **※この科目は「感染症と生体防御（'18）」の改訂科目です。** **「感染症と生体防御（'18）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）13:30～14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2025年度2学期　97.8点 2026年度1学期　95.3点	本講義は、人間の健康について広範に論ずる「健康科学」の中の講義の一つとして実施される。健康科学は人間生活に密接に関わる学問であることから、感染症関係では昨今の話題であるHIV、結核はもとよりSARS、新型インフルエンザなどの新興・再興感染症と医療現場での感染症問題に特に焦点を当てた。また、生体防御については、免疫システムの多様性と多型性、自然免疫と獲得免疫、自己免疫と免疫が関与する疾患などを中心に免疫学の最近の動向についてわかりやすく疾患との関係も踏まえながら講義を行う。 ※「公衆衛生（'24）」、「疾病の成立と回復促進（'25）」および「疾病の回復を促進する薬（'25）」も履修することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
5710030 **がんとともに生きる（'18）** **〈２３０〉** **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **渡邊　清高** （放送大学客員教授 帝京大学医学部内科学講座教授） 2018年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価と単位認定は、小テストおよびディスカッション（以上、配点合計40%）、レポート（30%）、最終テスト（30%）の評価により行う。 インターネットによる受講環境があれば、自宅などでも受講とレポート提出、単位の取得が可能である。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	人口の高齢化とともに、健康をおびやかす疾病の構成が大きく変化している。1980年代から日本人の死因第1位となった、「がん」。国民の2人に1人が一生のうちに何らかのがんにかかるという現代において、自分が、家族が、地域や職場の身近な誰かが、もしもがんにかかったときに、どうすればよいか。がん対策推進基本計画（2012年策定）では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すことが明記されている。がん患者とその家族は、精神的、身体的な不安や痛みに加え、社会とのつながりを失うことに対する不安や仕事と治療の両立が難しいなど社会的苦痛も抱えている。 オンライン科目「がんとともに生きる（'18）」では、「がんを知る」に引き続いて、よりよい人生、生活を営む「サバイバーシップ」の観点から、研究や倫理、医療政策や社会福祉、メディアをはじめとする多様な視点から、「がん」について議論したい。がんのサバイバーシップの充実に向けた取り組みの意義と現状を共有し、取り組むべき課題や将来の方向性を見据えながら、がんの療養に必要な知識やヒントなどを、わかりやすく学ぶ。医療や介護福祉関係者はもちろん、患者・家族の療養支援に関心がある受講生、人文社会学、法学、経済学、経営学、地域政策、コミュニケーション学などに関心のある受講生の学際的なアプローチを期待する。 ※生活と福祉コース「がんを知る」を受講していることが望ましい。各講義は、がんに関する知識、適切な健康行動を行うためのヒント、情報の集め方について概観する。講義内容は、ホスト役とゲストによるプレゼンテーション、テーマに関するディスカッションからなる。関連する講義や研修、より専門分化した分野への動機づけとすることに加えて、事例検討を交えたものである。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。
1710257 **健康長寿のための** **スポートロジー（'24）** **〈２１０〉** **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **内藤　久士** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院教授） **※この科目は「健康長寿のためのスポートロジー（'19）」の改訂科目です。** **「健康長寿のためのスポートロジー（'19）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）12:45～13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　94.6点 2026年度1学期　92.5点	スポートロジーは、スポーツと健康の関わりを科学的に解明する新しい学問分野として新たに創設されたものである。科学的根拠に基づく習慣的な運動によって、生活習慣病の予防や治療、要介護につながる高齢者の転倒・骨折予防、認知症やうつ病の予防などを行おうという新しい学問である。医学とスポーツ健康科学と連携して、個人個人の体質に応じた肥満予防のためのスポーツ療法など、スポーツと医学が手を結び合って、一般市民の健康増進のための様々な対策を打ち出していこうという体系立った学問の教育を目指す。 ※「公衆衛生（'24）」、「循環器の健康科学（'20）」および「疾病の成立と回復促進（'25）」も履修することを推奨する。 ※全15回を改訂しています。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5710057 **循環器の健康科学（'20）** 〈２１０〉 **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **佐藤　真治※** （放送大学客員教授 帝京大学教授） ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、 レポート（40%）の評価により行う。	循環器疾患の病態、症状、治療法に関する講義を行う。また、運動習慣、食事、禁煙などのあるべき生活習慣について講義を行い、生活習慣の改善点について、自分自身を振り返り、行動変容のあり方を、自ら考える。（一般学生、健康・長寿に関心のある学生、介護系の職種） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。
1710192 **社会福祉** **ー新しい地平を拓く（'22）** 〈２２０〉 **山田　知子** （放送大学特任教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　75.6点 2026年度1学期　84.1点	少子高齢社会の進行、情報化や国際化のなかでわれわれの生活は複雑化し、生活問題の解決はますます困難になっている。すべての人の安定した生活を制度や福祉実践を通して実現する、という社会福祉の役割はますます重要になっている。本講義では、社会福祉の概念や歴史的展開、社会福祉政策、子どもや障害のある人々、生活保護など分野ごとの現状と課題を紹介する。我々は様々な生活問題に生活主体としてどう立ち向かい切り開いていったらよいのだろうか。これからの社会福祉のあり方について受講者とともに考えたい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1710230 **貧困の諸相（'23）** 〈２２０〉 **駒村　康平** （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） **渡辺　久里子** （放送大学客員准教授 神奈川大学准教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　84.2点 2026年度1学期　82.3点	貧困や格差とその解決はいつの時代も大きな問題ですが、その原因、その弊害は時代とともに変わります。貧困や格差の原因とその解決の歴史、現代社会における貧困の概念、定義、測定方法、新たな貧困・格差問題、貧困を解決する政策などについて考えていきます。 ※所得階層間で、生活空間が共有されなくなると、社会の分裂がおき、貧困を身近に感じる人と貧困を経験したことがない人の間の交流がなくなります。このような分裂そのものにより、豊かな人にとっては、貧困を特別な人の問題とし、自分に関係ない問題にしてしまいます。貧困が当事者のみならず社会にどのような弊害をもたらすのか考えてほしいと思います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1730185 **社会統計学入門（'24）** 〈２２０〉 **林　拓也** （放送大学客員教授 奈良女子大学教授） **「社会統計学入門（'12）」** **「社会統計学入門（'18）」** **の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）15:00～15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.3点 2026年度1学期　78.8点	**［社会と産業コースと共用］** 現代社会において、それぞれの社会の実態や人々の行動・意識を明らかにすることを目的とした社会調査が数多く行われ、それに基づく分析結果がさまざまなメディアを通して提示されている。本講義では、社会調査に基づく分析結果を読みとるために必要となる統計学の基礎的な知識とともに、自分で分析を行おうと考えている履修者に対する分析の実践的側面も考慮した基本的な分析手法を扱う。具体的には、データの基礎集計、標本に基づく推測統計、2変数の関連分析、他変数を統制した関連分析について解説していく。講義の中では、実際のデータや分析例を紹介しつつ、必要に応じて統計量の計算手順も紹介していく。 ※本講義は、社会調査により得られたデータの分析を扱うので、「社会調査の基礎（'27）」（学部開設科目）を学んでおくことが望ましい。また、講義の中では、実際のデータに基づいて計算を行うことも多いので、あらかじめ電卓（平方根√の計算ができるもの）を用意しておくこと。
1730240 **社会調査の基礎（'27）** 〈２１０〉 **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「社会調査の基礎（'15）」** **「社会調査の基礎（'19）」** **の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （木）14:15 ～ 15:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限	**［社会と産業コースと共用］** 社会調査に関する基本的事項（社会調査の目的、歴史、方法論、各種調査方法とその長所短所、調査倫理など）を学習する。卒業研究や修士課程での修士論文作成のために、あるいは職務や市民活動などの中で社会調査を行おうとする学生に対し、問題関心や目的に沿った的確な方法で適切に調査を実施し、分析し、結果をまとめるための基本的な考え方を習得してもらうことを特に念頭に置いている。 ※社会調査に関する基本的事項を学ぶことに主眼を置いていますので、量的データの分析手法についてより深く学びたい場合は「社会統計学入門（'24）」やその他の統計学に関する科目を活用してください。事前学修としては印刷教材各章の要点についての自分なりの整理を、事後学修としては各種メディアで結果が報じられる社会調査について、その方法や調査内容について調べたり調査結果の解釈の妥当性について考察したりしてみてください。
1760181 **かたちの化学ー** **化学の考え方入門（'23）** 〈２３０〉 **橋本　健朗** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）22:30 ～ 23:15　（231ch） （金）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　78.7点 2026年度1学期　80.6点	**［自然と環境コースと共用］** 分子やその集合体の構造がそれらの性質や機能と密接に関係することを、具体例を通じて示す。多様な構造の背景にある電子の振る舞い、化学結合、分子間相互作用のしくみを学習する。化学のしくみを巧みに利用して、材料や医薬など物質創製につなげる考え方とその実践を紹介する。分子やその集合系の構造を観察する測定法の原理と、得られる情報およびその解釈の具体例を示す。 ※大学化学の初歩的知識を定着させ、さらに踏み込んだ学びをすることで、物質観、化学観を深める。前提にはしないが「初歩からの化学（'18）」ないしその後継科目を学んでいるとよい。「現代を生きるための化学（'22）」とは互いの理解を深めるのに役立つ。暗記ではなく、実験、測定と論理的思考に基づいて、化学のしくみやそれを活用する基本的考え方を学ぶことを狙った科目。

生活と福祉コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1760173 **分子の変化からみた世界（'23）** 〈２３０〉 **安池　智一** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）22:30 ～ 23:15　（231ch） （木）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　65.1点 2026年度1学期　83.4点	**［自然と環境コースと共用］** 我々の身のまわりで起こる様々な現象は、分子をはじめとする物質の変化によって成立している。我々の存在自体も例外ではない。物質が示す多様な変化を熱力学・速度論の観点から整理し理解する方法について学ぶ。その方法に基づいて、物質の変化がどのように地球環境や生命、我々の生活に見られる広範な現象を支えているかを議論する。 ※「初歩からの化学（'18）」をすでに履修しているか、同時に履修することが望ましい。「ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）」を履修済であれば、本科目の理解は容易であろう。
1750062 **初歩からの情報科学（'25）** 〈２２０〉 **辰己　丈夫** （放送大学教授） **高岡　詠子** （放送大学客員教授 上智大学教授） **「計算の科学と手引き（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）15:45 ～ 16:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2025年度2学期　81.1点 2026年度1学期　80.1点	**［情報コースと共用］** 情報科学と呼ばれる領域は、コンピュータや、ソフトウェアの動作に関する科学である。本授業では、抽象的な概念である情報の表現、その変換方法、ソフトウェアの動作原理であるアルゴリズムや、プログラム、ネットワーク、データベース、ユーザインタフェイスなどについて、どのようなしくみで動作するのか、その基本的な考え方と、その考え方に基づいた構築の実際について、初心者にわかりやすいように工夫を取り入れて説明する。人間の情報処理の基本原理に関する内容なので特定のターゲットはなく、社会人が共通にもつべき素養である。 ※履修に際しては、最小限のコンピュータを使用する経験があることが望ましい。例えば、学部放送授業「遠隔学習のためのパソコン活用（'25）」、学部面接授業「初歩からのパソコン」の単位取得程度以上が望まれる。このレベルを満たしていることを事前学習として確認すること。また、この授業の受講後には、自ら教材の例を元にプログラムやモデルを作成して事後学習に努めること。この授業のあとには、「プログラミング入門Python（'24）」「続・C言語基礎演習（'23）」「表計算プログラミング基礎AI版（'27）」「ヒューマンインタフェース（'23）」「Webのしくみと応用（'25）」「プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）」「記号論理学（'24）」などを学ぶことが期待される。
5750091 **Rで学ぶ確率統計（'27）** 〈２２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **「Rで学ぶ確率統計（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（20%）、最終テスト（30%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** 確率統計の概念を理解するには、実際に計算しながら学ぶことが有効である。オープンソースのプログラミング言語であるRには多くの統計解析や可視化のための関数があり、複雑な計算を行い、その結果を可視化することも容易にできる。また、様々なOSで動作し、無料で利用することができる。Rの操作を身につけることで、シミュレーションを通して確率統計の概念について、より具体的なイメージを持つことができる。そこで、Rによる基本的なデータ分析手順を学び、Rを活用して確率統計の概念を深く理解することを目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。特にRのスクリプトを用意するので、それを編集しながら実際に手を動かしながら講義内容を理解するようにしてください。 ※RStudioというソフトウェアを利用します。学習センターのPCを使って履修することはできません。環境構築の方法は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）の「Rで学ぶ確率統計（'27）」を参照してください。命令をキーボードで打ち込むのでパソコンの基本操作や設定を自分ひとりで行えることが履修の条件になります。 ※関連する科目として、「データの分析と知識発見」、「身近な統計」、「プログラミング入門Python」、「表計算プログラミング基礎AI版」がある。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

生活と福祉コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519522 **人間・環境情報とDX（'25）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **片桐　祥雅** （放送大学客員教授 応用生化学研究所研究副所長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　85.2点	急速に深化しつつある人工知能を背景に、日常生活空間の様々なデジタルデータから有益な情報を抽出し蓄積した知識を共有化しITを通じて利用する社会が到来しようとしている。本科目では、こうした深化しつつある人間および生活環境に係るデジタルトランスフォーメーションを理解するための基盤技術とその適応方法を具体的事例を踏まえて学ぶとともに、技術の限界を知り、打破するための技術を展望する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・情報コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519638 **持続可能な社会へのシステム思考（'27）** 〈３１０〉 **高橋　真吾** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） **喜多　一** （放送大学客員教授 京都大学名誉教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （木）17:15～18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限	地球規模の環境問題や我が国での人口減少など、現代社会はその持続可能性が問われています。しかしながらこれらの問題はさまざまな要因が複雑に関係しているため社会をシステムとして捉え、可能な対応を考えなければなりません。本科目では複雑な対象をシステムとして捉えるとともに、そこでの可能な対応を考える基本的な考え方を具体例を挙げながら学んで行きます。 ※事前学修として放送教材での学習に先立って印刷教材で授業内容を確認し、授業内容についての問いかけについて考えておくこと。また、放送教材の内容については、ノートを取るなどし、事後学修としては印刷教材と併せて学習内容を再確認すること。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519417 **ソーシャルシティ（'23）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **鈴木　淳一** （放送大学客員准教授 株式会社電通グループ 電通イノベーション プロデューサー職） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　89.1点	人のコミュニケーションによるまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されている。本講義では、まちの住民、来街者、運営者それぞれの視点からみた、持続的なまちづくりの社会的意義について論じる。また、まちづくりにおいて導入が進められているICT（情報通信技術）について解説し、生活者の行動把握、まち空間のソーシャルグラフの生成、サステナブルなまちづくりへの活用などについて、事例を交えながら紹介する。 ※関連する科目として、「人間・環境情報とDX（'25）」「地理空間情報の基礎と活用（'27）」がある。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・情報コースで共用科目となっています。**
1519506 **食と健康（'24）** 〈３１０〉 **朝倉　富子** （放送大学特任教授） **佐藤　隆一郎** （放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　88.2点 2026年度1学期　85.8点	ヒトをはじめとする生物は、食物からエネルギーを得、栄養素を獲得することによって生命を維持している。すなわち、「食」は生きるための根幹である。本講義では、栄養素がどのように体内で消化・吸収され、代謝を受けて利用されていくかを理解する。さらに、各種栄養素の特徴について学び、食生活が原因となる疾病やその予防など、食生活と健康に関わる問題の理解を深める。 ※本講義では、栄養学、食品学を基盤とする内容が多い。高校程度の生物と化学の基礎知識を身に付けていることが望ましい。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1519409 **リスクコミュニケーションの探究（'23）** 〈３２０〉 **奈良　由美子** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （土）18:00～18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　83.5点 2026年度1学期　84.9点	度重なる自然災害、さらには新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックと、リスクコミュニケーションの必要性が指摘される事象は枚挙にいとまがない。この科目では、リスクコミュニケーションの考え方、具体的手法、多様な主体の関わり方等について、具体的な事例（自然災害、感染症、原発事故、食品問題、AIなど）をとりあげながら講義を行う。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519565 **災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）** 〈３１０〉 **木村　玲欧** （放送大学客員教授 兵庫県立大学教授） **田村　圭子** （放送大学客員教授 新潟大学特任教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）23:15 ～ 24:00　（231ch） （金）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2026年度1学期　94.0点	わが国では21世紀に入ってからも、大規模な自然災害が発生している。本科目では「災害を乗り越えて、私たちの命と暮らしを守る」ことを最終的な目標として、災害を乗り越えるための防災基礎力として、①災害を知る、②災害に備える、③災害に対して行動する、という3要素について、多角的に問題を掘り下げていく。学習者は、地域住民、自治体職員、企業等組織の一員として、自然災害を「わがこと」として捉えながら、実際の防災・減災活動に生かしてほしい。 ※特に必要な予備知識はないが、災害・防災を理解するためには、理学・工学・人文社会学など様々な分野の知識を併せ持つことが必要となる。各分野に興味・関心を持ちながら積極的に学ぶ姿勢を歓迎する。放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては放送教材の内容をもとに印刷教材を読み直して理解を定着させること。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**

生活と福祉コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519549 **現代社会のなかの家族（'26）** 〈３２０〉 **筒井　淳也** （放送大学客員教授 立命館大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）18:00～18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2026年度1学期　81.0点	現代社会において、家族は変化しつつある。子どもの数が減り、結婚しない人が増え、また高齢化している。こういった家族の変動は、いかなる時代の流れにあるのか。また、ジェンダー平等、生殖補助医療、虐待、仕事家庭の両立などの諸問題は、どのように理解できるのだろうか。家族に関わる仕事をする人のみならず、何らかの形で家族を生きる人に考えてほしい内容を講義する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。また、「日本の家族問題を考える（'26）」（学部開設科目）をともに学習することが望ましい。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519590 **日本の家族問題を考える（'26）** 〈３２０〉 **下夷　美幸** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）18:00～18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　80.1点	個人にとって家族は、そのLife（生命、生活、人生）を支えるものであるとともに、葛藤や紛争をもたらすものでもある。本講義では、家族をめぐる現代的な問題や事象に焦点をあて、問題の実態と背景について検討し、問題解決に向けた社会的課題について考える。さらに、家族問題の検討を通して、「私たちはどのような社会に暮らしているのか」を問い、日本社会の特徴と今後の課題へと視野をひろげる。 ※履修するにあたり、必要な予備知識は特になし。 「現代社会のなかの家族（'26）」とあわせて学習することを推奨する。 事前学習として、放送教材による学習の前に印刷教材を読み、問題の全体像を把握すること。事後学習として、放送教材による学習後、再度、印刷教材を読み、理解を深めるとともに自らテーマに関わる問いを立て、考察すること。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519514 **食の安全（'25）** 〈３２０〉 **朝倉　富子** （放送大学特任教授） **関崎　勉** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）23:15 ～ 24:00　（231ch） （木）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　74.7点 2026年度1学期　67.0点	私達が口にする食品は、生産、加工、保存、流通、などの過程を経て届けられる。これらの過程で何らかの危害要因が含まれると、食中毒や健康被害の発生に繋がる。食品添加物や農薬のように本来食品には存在しない成分や、機能性表示食品、特定保健用食品、また、未利用の生物を利用した新規食品の登場など、食を取り巻く環境は変化し複雑化している。本講義では、食品に含まれる危害要因と、食の安全に関わる項目を系統立てて解説し、食の安全に関する法体制や行政組織についても取り上げる。 ※事前に化学と生物学の基礎を学んでおくことが望ましい。 ※事前学習としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを念頭に印刷教材を読んでおくこと。事後学習としては、印刷教材を再度読んだ後に、各章の終わりにある学習課題に取り組み理解を深めること。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1519484 **公衆衛生（'24）** 〈３１０〉 **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **横山　和仁** （放送大学客員教授 国際医療福祉大学大学院教授 順天堂大学客員教授） **※この科目は「公衆衛生（'19）」の改訂科目です。** **「公衆衛生（'19）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）18:00～18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　91.8点 2026年度1学期　94.6点	公衆衛生学は、人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会と関わる領域の学問である。病気の人ひとりひとりを対象とするのではなく、人々の集まりとして社会を見ていく。在宅医療、地域保健、途上国などの現場で問題解決のために実際の活動を行うのも特徴である。 ※「感染症と生体防御（'24）」、「地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）」および「健康長寿のためのスポートロジー（'24）」も履修することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519646 **認知症と生きる（'27）** 〈３１０〉 **井出　訓** （放送大学教授） **矢吹　知之** 〔放送大学客員教授 高知県立大学教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （土）23:15 ～ 24:00　（231ch） （土）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限	近年の高齢者数の増加に伴い、健康な高齢者ばかりではなく、疾病や障害を持ちながら生活を続ける高齢者の数も増加している。加齢に伴い増加する認知症高齢者の数は2025年に471万人、認知症の前駆段階と目される軽度認知障害が564万人と発表されている（2024年）。このようななか、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる社会を目指し「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（2024年）が施行された。この法律は、誰しもが「認知症と生きる」共生社会を実現するための理念が示されたものである。本科目では、認知症と生きる共生社会の実現に軸足を置き、認知症ケアのこれまでの歴史を振り返りつつ、予防、診断や検査、ケアの実際を理解し、最新の実践事例などを踏まえ、「認知症と生きる」ことを学ぶ。そして、認知症を自分事として捉え、「支援する−される」という立場を超えた認知症の理解を深める。 ※受講に先立つ予備的な専門知識は特に必要としないが、各々の関心に応じて広く関連事項を学んでいくことを期待する。また、それぞれが暮らす地域での取り組みなど身近な問題として視野をひろげつつ考察を深めてほしい。事前学修としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語の把握と、インターネットなどを活用して用語の意味等を調べておくこと。事後学修としては、印刷教材の各章末にある課題に取り組むこと。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519530 **リハビリテーション（'25）** 〈３３０〉 **金田　嘉清** 〔放送大学客員教授 藤田医科大学教授〕 **櫻井　宏明** 〔放送大学客員教授 藤田医科大学教授〕 **「リハビリテーション（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （火）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2025年度2学期　90.4点 2026年度1学期　92.0点	現代は、医学医療技術の著しい進展によって平均寿命が延長し超高齢化社会となっている。医療・福祉・健康・予防の広い領域でリハビリテーション医療の必要性が高まり続けている。本講義では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士にとどまらず、リハビリテーションチームとして関わる専門職種（看護師や義肢装具士、社会福祉士など）に向けてリハビリテーション医学・医療の知識や技術を分かりやすく解説していく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519611 **今日のメンタルヘルス（'27）** **ー健康・医療心理学の実践的展開ー** 〈３１０〉 **糸川　昌成** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （日）23:15 ～ 24:00　（231ch） （日）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限	メンタルヘルス（＝人の心の健康）を支える力は、ライフサイクルの中で養われ、人と人とのネットワークの中で維持されるものである。この科目では、そのような健康な力を育むメカニズムを学ぶとともに、破綻の結果として生じる精神疾患のあらましを知り、生活の場において生じるさまざまな問題の現状と対策を考えていく。メンタルヘルスの危機が叫ばれている今日、喫緊のテーマを扱うものである。 ※概説的な科目であるので、特にあらかじめ履修しておくべき科目はないが、関心に応じて精神医学や臨床心理学など関連分野について学習することを勧めたい。 事前事後学修：事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては精神医学や臨床心理学の関連書などを学んでほしい。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519360 **看護学概説（'22）** 〈３１０〉 **山内　豊明** （放送大学教授） **「看護学概説（'16）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	ラジオ （金）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　89.0点 2026年度1学期　93.0点	学習者が、看護学の主たる概念や諸理論に関わる先進的知識を幅広く獲得し、実践の科学である看護学に対する理解を深めることを意図している。 ※看護概説の範囲は広いので、学習に当たっては関連の参考書や副読本などを参考にしながら学習することが必要である。

生活と福祉コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1519476 **基礎看護学 ('24)** 〈３１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **※この科目は「基礎看護学 ('16)」の改訂科目です。** **「基礎看護学 ('16)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 23:15 ～ 24:00　(231ch) (月) 15:00 ～ 15:45　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)1時限 2025年度2学期　85.4点 2026年度1学期　87.3点	わが国における看護学領域における学問の深化・展開は日進月歩であり、知識・技術の高度化が進み、高度専門知識・技術をもつ看護職の養成も進みつつある。それは臨床看護師全体の知識・技術の底上げが急務であることも意味しており、国家資格を持って看護専門職としての役割を果たすうえで求められる学術的知識・技術もまた向上が求められている。 基礎看護学は文字通り看護学の学問的基盤であり、導入部であり、看護専門職者として活動する上で誰もが共通して身につけておかねばならない知識を体系化した広範な学問領域となっている。そこで本授業では、こうした広範な領域の中から、看護専門職者として活動する上で必要、かつ、看護ケアの質の向上を計るうえで特に重要視されている基礎的な知識に関する項目を15回に分けて取り上げる。各項目では最新の知見も取り入れつつも、看護師が活躍する保健・医療の現場における看護実践に資する知見も織り交ぜる形で教授し、学習者の理解をはかる。 なお、本授業は「看護学概説 ('22)」とは相補的な内容となっており、両授業を受講することにより、看護学における基礎の理解が深まるものと期待できる。 ※放送授業「看護学概説 ('22)」と併せて受講されたい。 ※全15回を改訂しています。
1519425 **地域・在宅看護論 ('23)** 〈３２０〉 **永田　智子** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **小野　若菜子** 〔放送大学客員准教授 東京都立大学教授〕 **「在宅看護論 ('17)」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 23:15 ～ 24:00　(231ch) (火) 15:00 ～ 15:45　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)1時限 2025年度2学期　86.3点 2026年度1学期　89.2点	地域包括ケアシステムにおける看護の役割・機能について理解するとともに、健康障害を持ちながら在宅で生活する人々とその家族を理解し、対象者の生活の質の向上を目指した看護を実践するために必要な基本的な考え方と基礎知識を理解することを目的とする。 ※本科目は学部一般にも役立つ内容としていると同時に、看護師国家試験受験を目指して通信制の看護師養成学校にて学ぶ准看護師等が習得するために必要な内容としている。
1519557 **災害看護学・国際看護学 ('26)** 〈３２０〉 **西上　あゆみ** 〔放送大学客員教授 藍野大学教授〕 **神﨑　初美** 〔放送大学客員教授 兵庫医科大学看護学部教授〕 **「災害看護学・国際看護学 ('20)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 23:15 ～ 24:00　(231ch) (水) 15:00 ～ 15:45　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)2時限 2026年度1学期　97.0点	災害看護を行うためには、災害に関する看護独自の知識や技術を用いることや他の専門分野と協力して活動していくことが必要である。この活動を行うためにまず災害について理解し、さらに災害サイクルに応じた人への影響、災害時に特徴的な看護課題や看護ニーズを学ぶ。国際看護活動としては、世界の人々の健康や生活課題に対して看護職によって行われている活動に関する概要を学ぶ。 ※日頃から災害看護学や国際看護学に関するニュース記事などに興味を持つようにしておいてください。今、起こっている問題を理解し、看護の視点から考えるようにしておいて下さい。災害看護学・国際看護学は様々な世代の方を対象とし、病院施設や地域など活動の場を選びません。看護学生、看護師免許をお持ちの方は、これまでの知識を統合して理解をすすめて下さい。放送教材による学習の前後に印刷教材を読み、初めて聞く用語など自分で調べて学習を行っておいてください。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握しておき、事後学習としては放送教材、印刷教材で紹介された文献や資料をさらに深く読んで理解を進めてください。
1519468 **看護管理と医療安全 ('24)** 〈３２０〉 **飯島　佐知子** 〔放送大学客員教授 順天堂大学教授〕 **田中　幸子** 〔放送大学客員教授 東京慈恵会医科大学教授〕 **※この科目は、「看護管理と医療安全 ('18)」の改訂科目です。** **「看護管理と医療安全 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ (水) 18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)2時限 2025年度2学期　92.3点 2026年度1学期　89.7点	臨床における看護管理とは、患者や家族に安全に質の高い看護ケアを与えるために看護職員が行う仕事の過程である。本科目ではマネジメントサイクル、組織構造、看護提供システム、目標管理、キャリア開発、リーダーシップ理論、労務管理、看護の質の評価と管理、情報管理、財務管理について講義する。医療安全では、医療事故の定義、看護業務における医療事故の分類、看護事故防止の考え方、注射、輸液、内服、経管栄養、チューブ管理、転倒・転落、入浴中の事故の防止など看護関連事故の具体的方法について講義する。また、看護に関わる制度、政策について概説する。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519581 **精神疾患とその治療（'26）** **〈330〉** **石丸　昌彦** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） **糸川　昌成** （放送大学教授） **「精神疾患とその治療（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （木）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2026年度1学期　88.3点	精神医学の診断や治療の基本的な考え方を展望し、代表的な精神疾患の症状・経過・治療などについて解説するとともに、関連法規や社会制度の概略を紹介する。 ※放送教材による学習の前後に、印刷教材とそれに記載されている参考文献等を参照しつつ自主学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を確認し理解すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んだり、参考文献で示された資料をインターネット等を活用して調べたりすること。 「今日のメンタルヘルス（'27）」や「精神看護学（'25）」、心理学領域の関連科目などとあわせて学習するとともに、この科目を履修した後に、大学院科目「精神医学特論（'22）」などに進んでいくことが望ましい。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519603 **超高齢社会を生きる（'27）** **ー人生100年時代に** **求められるものは何かー** **〈310〉** **大和　三重** （放送大学客員教授 関西学院大学名誉教授） **澤田　有希子** （放送大学客員教授 関西学院大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	本講義では人口減少により超高齢社会が進展する現状と課題を理解し、高齢者を支える様々な法制度について知識を得るとともに持続可能な高齢者福祉制度について考察する。高齢者のQOL維持向上の観点から地域で必要な社会資源やソーシャルサポートについてそのあり方を検討する。 ※印刷教材に示される統計や制度が、放送時点では必ずしも最新とは限らない。そのため、事前事後の学修においては、講義内容を踏まえつつ、自ら最新の統計や関連資料を確認し、現状との違いや変化を把握することが重要である。社会の出来事に関心を持ち、新聞やテレビ等のニュースを積極的に確認しておくことが望まれる。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519387 **地域福祉の課題と展望（'22）** **〈320〉** **斉藤　弥生** （放送大学客員教授 大阪大学教授） **小松　理佐子** （放送大学客員教授 日本福祉大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　86.8点 2026年度1学期　85.6点	2000年以降、社会福祉の分野では介護保険制度、障害者総合福祉法等の新たな法律や制度が導入され、福祉サービスも民間の多様な実施主体が担うようになり、「地域福祉の主流化」と呼ばれる時代を迎えました。ライフスタイル、家族形態の多様化や地域社会の変容に伴い、福祉課題の複合化、複雑化が進むなか、2000年の社会福祉法成立、2017年の社会福祉法改正とそれに伴う諸政策は、制度の縦割りを超えた共生社会の構築を目指しています。生活課題の解決に、地域社会を構成する団体や人々の関わりが一層求められるようになってきました。同時に東日本大震災を含む大きな自然災害からの復旧や復興の過程では、社会福祉協議会やNPOなど、数多くの地域福祉関係団体の活躍がみられます。さらに2020年春からの新型コロナウィルス感染症のパンデミックは私たちの日常生活に大きな影響を与えました。このような社会情勢を踏まえ、本講義では「地域福祉」の考え方、様々な生活課題の解決における地域福祉の役割、その現状と課題、そしてその可能性を議論します。 ※本講義の理解を深めるためにも、他の生活関連（福祉関連）科目も一緒に学んでください。また映像教材では全国各地からの地域福祉実践を紹介します。映像教材を使って様々な地域福祉実践を学習しながら、テキストの学習に取り組むことで、地域福祉についての理解を一層深めることができます。
1519379 **社会福祉実践とは何か（'22）** **〈310〉** **横山　登志子** （放送大学客員教授 札幌学院大学教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （日）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　87.7点 2026年度1学期　90.6点	本講義では、生活上の困難を抱える人やその家族への社会福祉実践の現状と課題を理解する。特に、社会福祉専門職によって実践されるソーシャルワーク（社会福祉の援助論）に焦点をあてて、個人や家族のみならず地域でのさまざまな活動やサービス・制度の開発機能の実践を理解する。講義は3つの単元に分け、Ⅰ部では社会福祉実践の概論、Ⅱ部では社会福祉実践の展開、Ⅲ部では最近のトピックスをとりあげる。社会福祉士や精神保健福祉士を目指す人や、地域で社会福祉関係の活動に携わる方にも実践と理論の知識を提供することが可能である。 ※教養学部「生活と福祉コース」の社会福祉系の導入科目、専門科目を並行して履修することが望ましい。
1519450 **社会政策の国際動向と** **日本の位置（'23）** **〈330〉** **居神　浩** （放送大学客員教授 神戸国際大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　82.4点 2026年度1学期　84.8点	20世紀に福祉国家を標榜した欧米諸国および日本をはじめ世界中の多くの国々において21世紀の現在、人々の生活問題の予防・緩和・解決のための社会保障や労働政策が導入され、多くの改革が進行している。グローバリゼーションと各国固有の経済的社会的背景の中で、それぞれの国と地域の社会政策はどのような対応を迫られているのか。社会保障政策や労働政策の制度・実践の動向を学習することによって、世界における社会政策の動向を知り、日本の位置と課題を浮き彫りにする。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**

生活と福祉コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519573 **支える社会保障（'26）** 〈３３０〉 **丸谷　浩介** （放送大学客員教授 九州大学大学院教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2026年度1学期　88.1点	社会保障制度は財政上重要であると同時に、暮らしに必要不可欠であるが、制度が複雑化したために、かえって我々にとって理解しにくいものとなってしまった。この講義では「人」を軸に、社会保障の財政、給付内容を理解し、使うことができる支援といった3つの側面から現代の社会保障を捉え直す。 この講義は日常生活と社会保障を中心に検討する。FPや社会福祉士、社会保険労務士の受験生にとっては入門的講義となる。これらの受験をしない人にとっても、日常生活をサバイブするために必要な知識とその考え方を教授する。 ※この講義は学部開講科目である。本講義の受講前後に「障害者の自立と制度（'24）」、「地域生活を支える社会福祉と法（'24）」などを受講することが望ましいが必須ではない。事前学習は印刷教材を読んでおき、不明な点などを関連資料で補充されたい。学修の時期により印刷教材・放送教材のデータや制度の適用関係が変更されている（施行されていない）場合がある。そのため、事後学習として本講義のデータの更新、制度改正、経過措置等を確認されたい。また、印刷教材記載の学習課題に解答し、不明な点は関連資料等で知識の補強等を行うこと（各回につき事前事後合計5時間）。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519328 **子どもの人権を** **どうまもるのか（'21）** **ー福祉施策と実践を学ぶー** 〈３１０〉 **山縣　文治** （放送大学客員教授 大阪総合保育大学特任教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）7:30 ～ 8:15　（231ch） （土）13:30 ～ 14:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　79.7点	人口構造と家族構造の変化の中で、わが国の子どもを取り巻く環境も変化し、多くの新たな問題が生じている。本講義では、子どもの人権をまもるための社会的方策と具体的な実践について述べる。子どもの貧困、虐待、保育、障がいのある子どもへの支援、ひとり親家庭や若者の問題など関連する分野にも視野をひろげ多角的に子どもの問題を取り上げる。子ども家庭福祉関連施設や機関の現状、働く人々が抱える問題、歴史的考察、国連の動向や先進諸国の取り組みなどを紹介しながら、われわれが取り組むべき課題と解決策について、受講者とともに考えたい。 ※本科目は、子どもに関する人権と福祉を取り扱う科目である。これらに関する理解を深めるため、人権や福祉に関する関連科目を合わせて受講されることを期待する。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1519492 **障害者の自立と制度（'24）** 〈３１０〉 **松井　彰彦** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） **川島　聡** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　81.8点 2026年度1学期　86.8点	本講義は、障害者の自立と制度を中心に、特に経済学と法学の観点から、障害者の日常生活・社会生活における困難や制限を改善・解消するアプローチについて理解を深めることを目的とする。 この科目は、福祉領域の専門科目として位置付けられるが、障害者の自立と福祉に関する理論・事例・制度を広く取り上げているので、一般市民、障害者とその家族、医療・福祉・教育などの専門職のみならず、さまざまな一般の事業者・事業主をも受講対象として想定している。 ※予備知識はとくに必要としない。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1519620 **高等教育と障害（'27）** **ー障害法からの** **メッセージー** 〈３３０〉 **川島　聡** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （土）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限	本講義は、全国の教職員及び障害のある学生（を含む高等教育の関係者）が、高等教育における障害のある学生の修学上の困難を改善・解消する際に依拠すべきである、障害法の判断基準を体系的に提示することを目的とする。障害法とは，障害者を対象とする法分野を意味する。本講義は、障害のある学生に対する医学的・心理学的な支援技術論を展開するものではない。本講義は，障害論・差別論・支援論・紛争論という「4つの論」から構成される。 ※本講義は、障害法（学）のアプローチから「高等教育と障害」というテーマを考えるために必要となる基本的な知識を提供する学部開設科目である。障害法の予備知識がなくても本講義を受けることは可能である。学生の事前学修として「障害」と「差別」と「高等教育」に関して自分自身でネットのニュース等を調べて関心を高めておくこと、学生の事後学修として授業で解説した内容を他の問題に応用して考えてみることが、それぞれ推奨される。 **※この科目は、生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1569430 **生物の進化と多様化（'26）** 〈３２０〉 **二河　成男** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　73.8点	**［自然と環境コースと共用］** 地球上で誕生した生物は40億年近くかけて進化し、今日では大きな生物多様性が見られるようになった。この生物の変遷について、生命の誕生から、細胞の進化、多細胞化、体制の進化、様々な生物の繁栄や絶滅、そして人類の誕生に至るまでを紹介する。生物進化の仕組みについては、ダーウィンによる自然選択説や木村資生による分子進化の中立説の進化理論の基盤に加えて、地質学的あるいはゲノム情報学的手法や栽培植物などに見られる人為的な変化も解説する。進化生物学の入門として生物の進化と多様化について総合的にみていく。 ※各回の学習では，放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたテーマやキーワードを中心に用語を把握すること。事後学習としては教材で強調された内容を中心に復習し，理解を深めること。分からないことがあれば，種々の啓蒙書やインターネットを活用しよう。生物学辞典や国語辞典も用語の理解に活用しよう。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539566 **環境を可視化する技術と応用（'23）** 〈３３０〉 **中村　恭志** 〔放送大学客員准教授 東京科学大学准教授〕 **浅輪　貴史** 〔放送大学客員准教授 東京科学大学准教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　86.6点	**［社会と産業コースと共用］** 我々の身近な環境から地球規模まで様々なスケールの環境について、環境問題を可視化する最先端の技術を紹介し、その可視化を利用した環境の保全や、より良い環境を創り出すための科学を解説する。可視化技術としてはコンピュータシミュレーションやリモートセンシング、CAD/GIS、情報技術などを取り上げる。可視化画像から環境の状態を正しく読み解くには、観測、解析、シミュレーションなど可視化されている環境のデータがどのように取得されたかを知っておくことが必要であり、可視化の技術に加え、データの取得方法についても丁寧に解説する。受講生は、環境の問題に興味がある方や、最先端の技術を用いた可視化画像の作成法、及びその活用法に関心のある方を対象とする。 ※環境を可視化し、可視化画像から環境を理解するには、環境で生じている物理現象に関する知識に加え、可視化されているデータの物理的意味や取得方法などを理解することも重要である。本講義では、必要な知識を平易に解説するように努めるが、数学と物理学の基礎的な知識があることが望ましい。 【関連科目】住まいの環境論（'23）
1579380 **ヒューマンインタフェース（'23）** 〈３２０〉 **増井　俊之** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **小池　英樹** 〔放送大学客員教授 東京科学大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　68.5点 2026年度1学期　87.6点	**［情報コースと共用］** コンピュータを人間が利用するための技術の歴史と現状を学び、何故そういう技術が使われてきたのか／どういう技術や社会が理想なのか／理想に近づくためにはどのような考察が必要なのか／などを幅広く学ぶ ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
1569392 **感覚と応答の生物学（'23）** 〈３３０〉 **二河　成男** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　76.4点 2026年度1学期　76.6点	**［自然と環境コースと共用］** 生物に共通に見られる特徴の一つに環境への応答がある。これは、刺激の受容、その伝達、刺激に対する適切な応答の選択、実際の応答といった複数の段階を経るものである。動物であれば、受容は感覚器で行われ、その情報は神経系などを介して脳などの中枢神経系に伝達され、適切な情報処理が行われ、最終的に行動、生理的な変化、ホルモンの分泌などの応答となって現れる。異物に対する免疫応答も免疫系への刺激と応答と見ることもできる。また、植物や他の生物でも、刺激の受容と応答の仕組みを備えている。このような感覚と応答について、分子、細胞、組織、器官、個体、集団のレベルで解説する。 ※関連する科目名：「自然科学はじめの一歩（'22）」「初歩からの生物学（'24）」、「生物環境の科学（'25）」、「分子と細胞の生物学（'27）」、「植物の科学（'21）」、「生物の進化と多様化（'26）」、「人体の構造と機能（'26）」
1539612 **都市と地域の社会学（'24）** 〈３２０〉 **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「都市と地域の社会学（'18）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （月）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2025年度2学期　82.4点 2026年度1学期　89.6点	**［社会と産業コースと共用］** 都市社会学の基本的な概念と理論、その背景にある研究上の問題構成等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する社会学の研究成果の紹介などを行なう。 ※「都市と地域の社会学（'18）」の履修者については履修制限をかける。
1529919 **家族と教育（'27）** 〈３２０〉 **小玉　亮子** 〔放送大学客員教授 大阪信愛学院大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限	**［心理と教育コースと共用］** 家族と教育の関係は近いようで遠く、互いに密接なようで、隔たりがある。こういった家族と教育の複雑な関係を社会的・経済的・制度的・法的・心理的といった多様な側面から検討する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材を熟読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。

生活と福祉コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1910060 **地域生活を支える社会福祉と法（'24）** 〈４１０〉 **平部　康子** （放送大学客員教授 佐賀大学教授） **木村　茂喜** （放送大学客員教授 西南女学院大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　86.6点 2026年度1学期　92.1点	本講義は、社会福祉と法の関係を主題とする。社会福祉の領域において人権がいかに具体的に尊重されているか、それを保障するために、社会福祉にかかわる事業者、行政機関、立法機関、紛争解決機関の役割と責任が構成されているかを学ぶ。 本講義では、裁判例をはじめとする具体的な事例を取り上げ、制度全体を貫く法の原理・原則を学ぶ。そのために、人権理念と社会福祉の関係を再検討するとともに、現代的な権利と義務の問題に関する基本的な視点をおさえ、かつ実践的な課題にも応えようとする。利用者の権利擁護や紛争解決に関わる、福祉職、看護職、法律職などの関連職種にも役に立つものとなるだろう。 ※社会福祉の権利構造に関する記述が多いので、福祉領域に関する科目をあらかじめ履修しておくことが望ましい。また、生活者として、市民としての権利と国家・自治体の責任に関係することも多いので、法律関係の科目も受講していることが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1910078 **レジリエンスの科学（'24）** 〈４２０〉 **奈良　由美子** （放送大学教授） **鈴木　康弘** （放送大学客員教授 愛知大学教授 名古屋大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　88.3点 2026年度1学期　88.4点	レジリエンスとは、危機や逆境に対して適応し回復し転換する能力や特性、または現象や過程のことである。この科目では、レジリエンスの概念を解説したうえで、心のストレス、経営危機、パンデミック、自然災害、経済危機、生態系劣化などの危機や逆境に対する、個人、集団・組織、社会、地球というレベルの異なるシステムにおけるレジリエンスの実際を提示する。全体として、レジリエンスの現代的意義とこれを実現する手立てを考える講義とする。 ※関連する科目として、「今日のメンタルヘルス（'27）」、「災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）」、「日本の家族問題を考える（'26）」、「生物環境の科学（'25）」の履修により、本科目の内容についての理解と考察が一層進むと思われる。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1910051 **グリーフサポートと死生学（'24）** 〈４２０〉 **石丸　昌彦** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） **山崎　浩司** （放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　85.2点 2026年度1学期　91.3点	病気、自死、事故、災害、流産などによる大切な人との死別は、しばしばグリーフ（悲嘆）を引き起こす。グリーフは死生学の中心的なトピックの１つであり、本講義では、現代日本におけるグリーフの多様性と、グリーフサポートのあり方や展開について、理論と実践例を交えつつ解説する。受講生は、グリーフおよびグリーフサポートの理解を深め、自らのグリーフを捉え直す際に、また、家族、市民ボランティア、医療福祉専門職、行政職員などとしてグリーフサポートを実践する際に、押さえておきたい基本的な知識、態度、要点を学ぶ。 ※履修の条件や制約は特にないが、それぞれの関心に応じて、医学・看護学・心理学・社会福祉学・宗教学・社会学など関連分野の科目を広く学習することが望ましい。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては生活と福祉コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5910013 **地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）** 〈４１０〉 **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **服部　真治** （放送大学客員教授 ㈱日本能率協会総合研究所主幹研究員） 2018年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、 レポート（50%）の評価により行う。	2018年度から全ての基礎自治体は、在宅医療と介護の連携を、自治体の必須事業とする。本科目は、自治体の職員及び、保健医療介護福祉の専門職種を、主たる対象として、市町村の地域包括ケアシステムの構築の方法を学ぶ。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。
1930117 **住まいの環境論（'23）** 〈４２０〉 **田中　稲子** （放送大学客員教授 横浜国立大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2025年度2学期　85.7点 2026年度1学期　86.4点	**［社会と産業コースと共用］** 誰にとっても身近な場である「住まい」を題材として、持続可能な社会の構築という目標のなかで重要となる住まいの環境に関する教養を培う機会としたい。具体的には、居住者にとって健康的で快適な住まいの環境がどのように形成されるかを、温熱・空気・光・音環境について科学的に捉えた上で、住まいの環境の調整技術や計画方法を事例を交えながら学ぶ。また、住まいの環境は室内環境（ウチ）と屋外環境（ソト）の両面から創造されるものであり、居住者の住まい方の影響を大いに受けることから、縁側や庭などの外構や、住みこなす視点からも住まいの環境の捉え方を知る。 ※一般居住者の視点に立ち本書はまとめられているが、住まいの環境の課題を理解するための基本的な原理や原則の理解は必要不可欠となることから、熱や空気、光、音の挙動について科学的な理解が求められる。 【関連する科目名】「環境を可視化する技術と応用（'23）」

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1930133 **モビリティとまちづくり ('27)** **〈４１０〉** **中村　文彦** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （月）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限	**［社会と産業コースと共用］** 近年技術的進化が著しいモビリティ分野に着目し、社会的なニーズ、内外の技術実現の動き、政策制度更新の課題等について、まちづくりとの課題とのつながりを十分に整理した上で、基本的な理論を踏まえつつ、過去30年程度の間の具体的な事例を紹介し、ものの捉え方、課題の整理の仕方を学ぶ。 ※事前に、教科書の該当部分を読んでおくこと。 ※事後には、教科書記載の参考文献にアクセスして理解を深めることが望ましい。

心理と教育コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1720120 **教育の社会学 ('25)** 〈２３０〉 **本田　由紀** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） **中村　高康** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）13:30 ～ 14:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　60.9点 2026年度1学期　69.1点	教育の社会学的研究に関する初学者を対象として、教育社会学の意義、研究方法、研究対象、主たる知見や今後必要とされる知見を15のテーマに切り分けて説明する。 ※高校卒業程度の知識を有することを求める。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としては印刷教材をよく読み、重要なキーワードや教材の内容を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された学習課題に取り組むこと。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方において心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1720090 **現代教育入門 ('21)** 〈２２０〉 **岩永　雅也** （放送大学長） **岩崎　久美子** （放送大学名誉教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （土）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　79.2点 2026年度1学期　80.6点	日本における教育文化とその変容について、教育サービスの提供者（行政、教員、教育情報産業）と受益者（保護者・学習者）の双方に立脚し、1980年代後半以降の現代の教育に関わるテーマを取り挙げ検討する。
1720112 **テーマで学ぶ日本教育史** **('24)** 〈２２０〉 **貝塚　茂樹** （放送大学客員教授 武蔵野大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2025年度2学期　87.7点 2026年度1学期　84.5点	本講義は、1872（明治5）年から現代までの約150年に及ぶ日本教育の歴史について、公教育を構成する学校、教師、子供、教科書、学校儀式・行事などに関するテーマを設定し、それぞれのテーマについての歴史的変遷を辿ることを通して基本的な理解を得ようとするものである。基本的には、それぞれのテーマについて、①現代の動向（いま）を整理する、②過去の歴史的変遷（昔）を整理する、③その役割と意義を考え、将来の課題を明らかにする、という3つの段階で構成する。本講義では、それぞれのテーマを掘り下げて検討することで、日本の教育を歴史的な観点から考察できるようになることを目指したい。 ※本講義に関係する科目として、「現代教育入門（'21）」「日本の文化と教育（'23）」などが開講されている。これらの講義と合わせて学ぶことで、教育を多面的・多角的に学ぶようにしたい。
5720036 **教育政策のデザイン ('25)** 〈２３０〉 **櫻井　直輝** （放送大学准教授） **植竹　丘※** （放送大学客員准教授 埼玉県立大学准教授） **阿内　春生※** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（45%）、レポート（55%）の評価により行う。	教育に関するトピックは定期的に社会的関心を集め、そのたびに教育改革の必要性が叫ばれるが、解決方策としての教育政策や具体的なデザインが書き込まれた政策文書にまで立ち入って教育問題を議論することは少ない。本科目では、近年注目されている教育政策について、政策文書や研究成果等を紐解き、なぜ、その政策が「デザイン」されたのか。その政策（文書）がどのような教育を「デザイン」しているのかを取り上げながら、専門科目への関心を拡げていくことを目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※教育政策・行財政の基礎を体系的に理解したい方は、この講義履修後「教育政策と行財政（'27）」「多様な子どもの学びと公教育（'27）」「学校と法（'24）」「日本の教職論（'22）」などを履修してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方において心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1720082 **教育・学校心理学 ('20)** 〈２３０〉 **進藤　聡彦** （放送大学特任教授） **谷口　明子** （放送大学客員教授） 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）13:30 ～ 14:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　89.5点	この講義では、学校教育との関わりで子ども達の発達の実態や教育の実際を心理学の視点から概観していく。学校教育は大きく学習指導の面と生徒指導の面に分けられることがあるが、前半では主に学習指導の面を、また後半では教育相談、特別支援教育など、児童生徒の支援に関わる面を取り上げる。併せて、学校教育における心理学研究の知見を紹介する。 教育に直接的にたずさわる教師など、教育関係者や学校に通う子どもをもつ保護者が受講の中心だと考えられるが、教育の問題は広く多くの人たちの関心事の1つでもあることから、特定の受講者層を想定しない。 1）各回の講義内容を受講者自らが批評的な（クリティカルな）視点から考えて、自分なりの考えをもっていただきたい。 2）特定の科目の履修は前提としないが、関連科目として「心理学概論（'24）」や「発達心理学概論（'27）」を学ぶことで学習の深まりが期待できる。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1720104 **心理学概論（'24）** 〈２２０〉 **森　津太子** （放送大学教授） **向田　久美子** （放送大学教授） **※この科目は「心理学概論（'18）」の改訂科目です。** **「心理学概論（'18）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　83.2点 2026年度1学期　87.2点	心理学に興味を持つ者は多いが、そのほとんどが心理学という学問について漠然とした印象しか持っておらず、また知識を持っていたとしても、特定の心理学領域についてのものに偏っていることもある。心理学は、ひとの心という捉えどころのないものを研究対象としており、それゆえに扱うトピックの幅も広い。そこで本科目は、心理学を学び始める者が、その第一歩として、心理学がどのような学問かを知り、今後、心理学のどの領域の学習を中心に進めるとしても、その基盤となるような知識を提供する。具体的には、心理学という学問の基本的な考え方や、研究方法、学問成立の背景などを紹介するとともに、個別の心理学領域についても概説していく。 ※「心理と教育へのいざない（'24）」を履修していることが望ましい。 ※改訂回は1、2、5、6、7、9、10、14、15回です。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては心理と教育コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1720139 **発達心理学概論（'27）** 〈２３０〉 **向田　久美子** （放送大学教授） **「発達心理学概論（'17）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限	発達とは、人が生まれてから死ぬまでに経験するさまざまな変化のことをさす。この授業では、乳児期から老年期までの発達段階を追いながら、各発達段階の心理的発達について概説する。現実生活との関連を踏まえた上で、発達の基礎的理論や研究方法、最新の研究成果を紹介する。 ※事前学修としては、事前に印刷教材に目を通してから、放送教材を学習することが望ましい。事後学修としては、放送教材の受講中に取ったノートを整理し、必要に応じて印刷教材を見直して復習しておくことを勧める。
1710192 **社会福祉** **ー新しい地平を拓く（'22）** 〈２２０〉 **山田　知子** （放送大学特任教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　75.6点 2026年度1学期　84.1点	**［生活と福祉コースと共用］** 少子高齢社会の進行、情報化や国際化のなかでわれわれの生活は複雑化し、生活問題の解決はますます困難になっている。すべての人の安定した生活を制度や福祉実践を通して実現する、という社会福祉の役割はますます重要になっている。本講義では、社会福祉の概念や歴史的展開、社会福祉政策、子どもや障害のある人々、生活保護など分野ごとの現状と課題を紹介する。我々は様々な生活問題に生活主体としてどう立ち向かい切り開いていったらよいのだろうか。これからの社会福祉のあり方について受講者とともに考えたい。
1740210 **博物館概論（'23）** 〈２１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　76.1点 2026年度1学期　84.1点	**［人間と文化コースと共用］** 国内外の多様な博物館の具体的な事例を通して、学芸員の仕事、多様な博物館とその歴史、博物館の展示、展示の資料とその保存、情報とメディア、博物館と教育、博物館の経営、今後の課題等について概説的、包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、博物館と関係する多様なジャンル（自然史、生物、科学、考古・歴史、文化、美術など）とその研究・実践、ディスプレイ等に関心のある学生、視聴者等、一般の受講者もターゲットとする。
1710281 **疾病の成立と回復促進（'25）** **ー人体の構造と機能及び疾病Bー** 〈２２０〉 **岡田　忍** （放送大学客員教授 川崎市立看護大学教授） **佐伯　由香** （放送大学客員教授 人間環境大学特任教授） **「疾病の成立と回復促進（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　93.1点 2026年度1学期　96.0点	**［生活と福祉コースと共用］** 疾病によって引き起こされる様々な身体内部の変化と生活への影響、疾病の回復過程とそれを促進する要因についての知識は、疾病を予防し、疾病に対して適切な医療、看護の提供するために不可欠なものである。本講義では、看護師が疾病の成立と回復促進を理解することの必要性、疾病の原因とそれによって細胞や組織に生じる変化、基本的な病変の成り立ち、疾病に対して提供される医療についての講義を行ったうえで、生命活動や生活にどのような障害をもたらすのかという視点から、様々な疾病について解説する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習では、印刷教材を一読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習では事前学習で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。 ※「人体の構造と機能（'26）」「疾病の回復を促進する薬（'25）」と合わせて履修することが望ましい。

心理と教育コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1710273 **疾病の回復を促進する薬** **('25)** **〈２２０〉** **櫻井　隆** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院教授） **服部　信孝** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院特任教授） **「疾病の回復を促進する薬 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）12:45 ～ 13:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　84.3点 2026年度1学期　87.5点	**［生活と福祉コースと共用］** 多くの病気には身体の機能が亢進または低下した状態が関連している。薬物の多くは、生体の機能分子に結合することで作用をあらわし、身体の機能を正常に近づけるように働く。しかしながら、身体に有害な作用をもたらすこともある。この講義では、代表的な薬の作用メカニズム、副作用（有害反応）、使用上の注意点を学んでいく。各論においては、臨床に携わる医師が薬物治療の経験をもとに講義を行うことを特徴としている。さらに、薬が有効かつ安全に使われるために、医師・看護師・薬剤師などがどのように協力していくべきかを理解する。 ※「人体の構造と機能（'26）」「疾病の成立と回復促進（'25）」とあわせて履修することが望ましい。 ※放送教材による学習前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としては、シラバス・印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、事前学習で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。 ※本科目は「疾病の回復を促進する薬（'21）」をもとに新しく授業内容を作成しています。
1730193 **社会学概論 ('25)** **〈２１０〉** **北川　由紀彦** （放送大学教授） **「社会学概論（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　92.9点 2026年度1学期　93.4点	**［社会と産業コースと共用］** 社会学の基本的な考え方と基礎的な概念について解説するとともに、いくつかのテーマを取り上げ、社会学で試みられてきたアプローチや議論、知見などについて概観する。 ※主たる受講者として社会学を初めて学ぶ方を想定しています。「社会学概論（'21）」の後継科目です。 ※放送教材による学習の前後に事前学習・事後学習を行ってください。事前学習としては，印刷教材を読んで要点を整理してみてください。事後学習としては，教材内で紹介された用語や概念を用いて身の回りの社会事象について考察をしてみてください。
1710303 **人体の構造と機能（'26）** **－人体の構造と機能及び疾病Ａ－** **〈２１０〉** **南沢　享** （放送大学客員教授 東京慈恵会医科大学名誉教授 ビューティ&ウェルネス専門職大学教授） **大久保　暢子** （放送大学客員教授 聖路加国際大学大学院教授） **「人体の構造と機能（'22）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）12:45 ～ 13:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2026年度1学期　89.3点	**［生活と福祉コースと共用］** 人が日常生活するうえで、からだが目的を持って働くために、器官が備わっている。さらに各器官はお互いに密接に連携・協力して、からだの恒常性を維持している。からだの恒常性が乱れると疾病や障害が生じる。医療職を目指す学生ばかりでなく、自らの健康を維持してゆくためにも、各器官の構造と機能を学び、さらに器官相互の関係を理解しておくことは極めて重要である。本講義では人がからだの内部外部環境に応答して適切に働くための基本について概説する。 ※講義は総論2回のあとに、各器官についての各論を概説する。講義時間は限られているため、時間内で全てを講義することできないため、学生自ら、事前に教科書を予習しておくことが必須である。講義は予習をしてあることを前提として展開する。からだの仕組みについて不思議だなと思う事がとても大切で、疑問点やわからないことがあれば、積極的に講師に質問する学習態度が望まれる。 放送教材による学習の前に対応する回の印刷教材を通読しておくことが望ましい。事後学習としては放送教材で得られた知識を印刷教材を使って定着させ、練習問題等に取り組むこと。
1579509 **情報セキュリティと** **倫理・心得（'26）** **〈２３０〉** **辰己　丈夫** （放送大学教授） **山田　恒夫** （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） **「情報セキュリティ概論（'22）」「データサイエンス・リテラシ心得（'22）」の単位修得者は履修不可** **※履修制限の詳細については、講義概要欄をご確認ください。** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2026年度1学期　92.5点	**［情報コースと共用］** 私達は、コンピュータ、インターネットを安全に利用することが求められている。本講義は、この領域を、将来は専門的に学びたいと考える初学者を対象として構成する。内容は、大きく次の３つの領域からなる。 (1) 情報セキュリティ：定義、数理的な仕組み、技術、情報システム、脅威、制度。 (2) 情報倫理：情報社会に必要な著作権や個人情報などの法令や倫理、ジレンマの取り扱いと、その教育普及の方法。 (3) 心得：数理・データサイエンス・AIを扱う際の留意事項と、データを守る上での留意事項。 ※本授業は入門レベル（「遠隔学習のためのパソコン活用（'25）」程度）を前提とする。事前学習として、情報セキュリティ・倫理に関する諸課題について興味を持ち知識を得ること。事後学習では、身近に発生してる事例について、学んだことを前提として説明するように取り組むこと。 ※「情報セキュリティと倫理・心得（'26）」と「データサイエンス・リテラシ心得（'22）」を同一学期に科目登録しようとする場合も履修制限がかかりますので、どちらか履修したい科目を1科目ご選択ください。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1730240 **社会調査の基礎（'27）** **〈２１０〉** **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「社会調査の基礎（'15）」** **「社会調査の基礎（'19）」** **の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （木）14:15 ～ 15:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限	**［社会と産業コースと共用］** 社会調査に関する基本的事項（社会調査の目的、歴史、方法論、各種調査方法とその長所短所、調査倫理など）を学習する。卒業研究や修士課程での修士論文作成のために、あるいは職務や市民活動などの中で社会調査を行おうとする学生に対し、問題関心や目的に沿った的確な方法で適切に調査を実施し、分析し、結果をまとめるための基本的な考え方を習得してもらうことを特に念頭に置いている。 ※社会調査に関する基本的事項を学ぶことに主眼を置いていますので、量的データの分析手法についてより深く学びたい場合は「社会統計学入門（'24）」やその他の統計学に関する科目を活用してください。事前学修としては印刷教材各章の要点についての自分なりの整理を、事後学修としては各種メディアで結果が報じられる社会調査について、その方法や調査内容について調べたり調査結果の解釈の妥当性について考察したりしてみてください。
1740083 **総合人類学としての** **ヒト学（'18）** **〈２１０〉** **高倉　浩樹** （放送大学客員教授 東北大学教授） 2018年度開設科目	2	ラジオ （月）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　78.0点 2026年度1学期　92.5点	**［人間と文化コースと共用］** 文化的存在であると同時に生物的存在である人類の特徴について基盤的理解をすすめるための講義である。現在の地球のエネルギー収支や環境生態系における人間社会の位置づけに触れた上で、どのような過程をへて現在にいたるのか、食料摂取を含む幅広い意味での資源利用と、近代国家のような高度化された政治体制を含む社会組織の多様な特徴とそれらを支える普遍的な仕組みについて解説する。自然人類学、文化人類学、霊長類学、人類生態学、先史考古学などの知見を総合化することで見えてくる「ひと」の全体像を把握することを試みたい。 ※この科目を履修した後に「「人新世」時代の文化人類学（'20）」などにすすんでいくことが望ましい。
1710230 **貧困の諸相（'23）** **〈２２０〉** **駒村　康平** （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） **渡辺　久里子** （放送大学客員准教授 神奈川大学准教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　84.2点 2026年度1学期　82.3点	**［生活と福祉コースと共用］** 貧困や格差とその解決はいつの時代も大きな問題ですが、その原因、その弊害は時代とともに変わります。貧困や格差の原因とその解決の歴史、現代社会における貧困の概念、定義、測定方法、新たな貧困・格差問題、貧困を解決する政策などについて考えていきます。 ※所得階層間で、生活空間が共有されなくなると、社会の分裂がおき、貧困を身近に感じる人と貧困を経験したことがない人の間の交流がなくなります。このような分裂そのものにより、豊かな人にとっては、貧困を特別な人の問題とし、自分に関係ない問題にしてしまいます。貧困が当事者のみならず社会にどのような弊害をもたらすのか考えてほしいと思います。
1730177 **経営学入門（'24）** **〈２１０〉** **原田　順子** （放送大学教授） **松井　美樹** （放送大学特任教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （日）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　77.1点 2026年度1学期　83.2点	**［社会と産業コースと共用］** 経営学をはじめて学ぼうとする受講者を対象として、ビジネスに従事する企業や組織のマネジメントに関する基礎概念や主要な理論・学説、その背景などについて解説し、企業経営を巡る現代的課題をとり上げ、その対応策を考えるための方法や手がかりを示す。新しい課題には、新しいアプローチが必要になるが、そのためにはビジネスのあり方やマネジメントの基本に立ち返り、先人が積み上げてきた理論的考察と経営実践から知見や洞察を得ることも有効な手段となる。
1730185 **社会統計学入門（'24）** **〈２２０〉** **林　拓也** （放送大学客員教授 奈良女子大学教授） **「社会統計学入門（'12）」** **「社会統計学入門（'18）」** **の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.3点 2026年度1学期　78.8点	**［社会と産業コースと共用］** 現代社会において、それぞれの社会の実態や人々の行動・意識を明らかにすることを目的とした社会調査が数多く行われ、それに基づく分析結果がさまざまなメディアを通して提示されている。本講義では、社会調査に基づく分析結果を読みとるために必要となる統計学の基礎的な知識とともに、自分で分析を行おうと考えている履修者に対する分析の実践的側面も考慮した基本的な分析手法を扱う。具体的には、データの基礎集計、標本に基づく推測統計、2変数の関連分析、他変数を統制した関連分析について解説していく。講義の中では、実際のデータや分析例を紹介しつつ、必要に応じて統計量の計算手順も紹介していく。 ※本講義は、社会調査により得られたデータの分析を扱うので、「社会調査の基礎（'27）」（学部開設科目）を学んでおくことが望ましい。また、講義の中では、実際のデータに基づいて計算を行うことも多いので、あらかじめ電卓（平方根√の計算ができるもの）を用意しておくこと。

心理と教育コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1740229 **多文化共生のコミュニケーション（'24）** 〈２１０〉 **大橋　理枝** （放送大学教授） **根橋　玲子** （放送大学客員教授 明治大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （日）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　88.2点	**［人間と文化コースと共用］** コミュニケーション学の入門科目として、コミュニケーション学に関する基礎を扱うと共に、様々な副次文化に焦点を当てながら、異なる文化を持った集団同士が共生していくためにはどのようなコミュニケーションが必要なのかを考える。
1710290 **睡眠と健康（'25）** 〈２２０〉 **宮崎　総一郎** （放送大学客員教授 日本睡眠教育機構理事長） **林　光緒** （放送大学客員教授 広島大学教授） **※この科目は「睡眠と健康（'21）」の改訂科目です。** **「睡眠と健康（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （火）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2025年度2学期　92.9点 2026年度1学期　91.3点	**［生活と福祉コースと共用］** 睡眠・覚醒リズムは生命現象の基盤にあり、睡眠は栄養や運動と並んで、健康を支える重要な要素である。したがって、睡眠は健康の維持増進に必須であるばかりでなく、労働環境の改善、疾病予防や事故防止にとっても重要である。新しい学問体系として、2002年に睡眠学は日本学術会議から提唱され、認知されつつある。本科目では、健康に関わる睡眠について、眠りのメカニズム等に関わる科学的アプローチ、睡眠に関連した疾病等の医学的アプローチ、睡眠障害の社会に及ぼす課題等の社会学的アプローチにより構成されている。 ※健康の維持増進を支える要素には、栄養、運動、休養（睡眠）がある。健康領域の科目として、基盤科目の「運動と健康（'22）」を学んでいることが望ましい。また、専門科目にある「食と健康（'24）」を履修することも望まれる。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。
1730215 **政治学入門（'26）** 〈２１０〉 **待鳥　聡史** （放送大学客員教授 京都大学教授） **「政治学入門（'22）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （火）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2026年度1学期　75.3点	**［社会と産業コースと共用］** この授業は、社会科学系の教養科目として、主に現代日本の政治行政を素材として取り上げつつ、政治学的思考や分析方法について知る機会になることを意図している。 現代政治行政、とりわけ日本の政治や行政に関しては、生活実感に基づく価値判断やマスメディアからの大量の情報に流されてしまいがちである。しかし、安定した視座や基準を持つことでそれは避けられる。 政治学や社会科学を今後専門的に勉強する機会がない人にも、今日の学術的な政治分析のエッセンスを是非味わっていただきたい。 ※学習の前後に印刷教材を丹念に読むことに加え、事前学習として新聞やテレビから現代の日本と世界の政治課題について知識を得ること。事後学習として受講により得た視点から報道の内容を再検討する機会を設けること。なお、本科目は単独で履修できるが、他の政治学科目も同時受講すると理解が深まる。
1710320 **健康への力の探究（'27）** 〈２１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **中山　和弘** （放送大学客員教授 聖路加国際大学教授） **※この科目は「健康への力の探究（'19）」の改訂科目です。** **「健康への力の探究（'19）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限	**［生活と福祉コースと共用］** 私たちが健康になるためには、食事、運動などの生活習慣を整えることが重要と考えられてきた。しかし同じような生活を送っていても健康な人もいれば病気になる人もいる。ここには「健康への力」の不足・充足がかかわっていて、学術的にも少しずつわかってきている。本講義ではこの「健康への力」について様々な側面から整理し、わかりやすく解説をしていく。 ※「健康と社会（'23）」を履修しておくことが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による学修を行うこと。事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※改訂回は全15回です。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1740253 **日本の近現代（'27）** 〈２２０〉 **土田　宏成** （放送大学客員教授 聖心女子大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	**［人間と文化コースと共用］** 本科目は、日本史の近現代史を対象とする講義である。幕末の開国後、日本は海外との関係を拡大・深化させ、欧米をモデルとする近代国家を形成していった。この時代は、1945年の敗戦によって二分されるが、その連続性も踏まえつつ、幕末から現代までの歴史を通史的に扱う。その際、世界と日本、日本国内の地域の動きにそれぞれ注目し、その相互の関係や影響を踏まえ、政治、経済、社会などについて多面的に論じる。通史的な見方とともに、各時期の特徴的な事象についてテーマ的にも取り上げる。 ※本科目の履修にあたり予備知識は必要としないが、本科目とあわせて、学部の導入課目「歴史のなかの人間（'22）」、専門科目「古代中世の日本（'23）」「近世の日本と世界（'26）」、さらに東洋史科目および西洋史科目を幅広く履修することを推奨する。毎回の事前学修として、放送授業の視聴に先立って該当する印刷教材の章を熟読しておくことを求める。また事後学修として、印刷教材の「学習課題」に取り組むことを求める。
5730015 **共生のための** **技術者倫理（'24）** 〈２１０〉 **金光　秀和** （放送大学客員教授 法政大学教授） 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、最終レポート（40%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 本講義では、近年の科学技術の動向や社会的関心を踏まえながら、技術者倫理について学際的に考察する。科学技術と人間・社会との共生にとって中心的な役割を果たす技術者を主たる対象として、技術者倫理の必要性、専門家としての仕事のあり方、技術が社会に及ぼす影響力、技術開発や技術使用の倫理的・社会的側面を考察する機会を提供する。また、今日のグローバル社会におけるさまざまな文化圏の技術者の共生も考察する。なお、本講義は技術者に加えて、より良い社会の実現を目指す市民を対象とした教養教育の一助を担うことも企図している。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750067 **表計算プログラミングの活用（'25）** **―体系的・実践的な理解へ―** 〈２３０〉 **辻　靖彦** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** 本科目では、表計算ソフトのプログラミングに対して、その基礎をより体系的に理解し、実践的に活用できるようになることを目的としている。 Microsoft Excel VBAを用いて学び、最終的に自身の業務における更なる効率化および自動化を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※コンピュータを用いて実習形式で行うことから、OSの基本操作やMicrosoft Excelにおける基本的な操作（セルやワークシートによる操作、グラフの作成、関数の使い方など）は習得されているものとする。また、OL科目「表計算プログラミングの基礎（'21）」を完了しているか、もしくは、他のプログラミング言語を経験し基礎を習得していることが望ましい。環境構築及び前提となりうる事項等については、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「表計算プログラミングの活用（'25）」のページを参照してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750075 **ゲーム理論入門（'25）** 〈２２０〉 **大西　仁** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（48%）、最終テスト（32%）、レポート（20%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** ゲーム理論は、複数の主体が関わる行動の相互依存的状況や意思決定を数理的に分析する手法である。ゲーム理論は、経済行動を説明するために誕生したが、経済学のみならず、政治学や心理学等における意思決定や生物進化を分析する方法となっている。また、社会システムのシミュレーション、人工知能、通信や機械の制御にも利用されている。本科目では、ゲーム理論の基礎を高度な数学を使うことなく説明し、ゲーム理論的な思考法の習得を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

心理と教育コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5730023 **社会科学の研究計画** **作成法（'26）** **〈２１０〉** **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） **李　鳴※** （放送大学特任教授） **北川　由紀彦※** （放送大学教授） **堀部　安嗣※** （放送大学教授） **桑田　学※** （放送大学教授） **白鳥　潤一郎※** （放送大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、レポート（30%）により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 学部における社会科学の修学で、卒業研究は受け身でない学びの始まりとなる。それまでの勉学の取組みは理解と暗記を柱としていたが、自分の関心に合わせみずから情報を集め、整理して、仮説を立てたり検証も試みてみたい。しかしそうした研究の計画は、初学者ほど規模が大きすぎたり、粗雑になるきらいがある。本講では「社会科学論文の書き方」以前に修得しておくべき論点に焦点を当て、適切な研究計画の立案に向けた基礎知識と考え方を説明する。 ※シラバスの内容から判断して事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。卒業研究の履修申請を考えている方はこの科目の履修とは別に卒業研究の申請書を作成することになりますので、その際には本科目で学習した内容をふまえご自分の関心や能力に合わせて申請文を作成・修正していってください。なお、本科目でレポートとして提出していただく研究計画は社会科学分野の研究を想定しています。 ※社会科学の研究には、「日本語アカデミックライティング（'22）」で説明されている日本語の書き方だけでなく、先行研究概説－仮説形成－論証－仮説の斬新さの説明という思考法が不可欠になります。 ※本科目において作成・提出する研究計画は卒業研究履修申請書そのものではありません。また、本科目の単位修得は卒業研究の履修許可を保証するものでもありません。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750091 **Ｒで学ぶ確率統計（'27）** **〈２２０〉** **秋光　淳生** （放送大学准教授） **「Ｒで学ぶ確率統計（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（20%）、最終テスト（30%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** 確率統計の概念を理解するには、実際に計算しながら学ぶことが有効である。オープンソースのプログラミング言語であるＲには多くの統計解析や可視化のための関数があり、複雑な計算を行い、その結果を可視化することも容易にできる。また、様々なOSで動作し、無料で利用することができる。Ｒの操作を身につけることで、シミュレーションを通して確率統計の概念について、より具体的なイメージを持つことができる。そこで、Ｒによる基本的なデータ分析手順を学び、Ｒを活用して確率統計の概念を深く理解することを目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。特にＲのスクリプトを用意するので、それを編集しながら実際に手を動かしながら講義内容を理解するようにしてください。 ※RStudioというソフトウェアを利用します。学習センターのPCを使って履修することはできません。環境構築の方法は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）の「Ｒで学ぶ確率統計（'27）」を参照してください。命令をキーボードで打ち込むのでパソコンの基本操作や設定を自分ひとりで行えることが履修の条件になります。 ※関連する科目として、「データの分析と知識発見」、「身近な統計」、「プログラミング入門Python」、「表計算プログラミング基礎AI版」がある。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5750105 **表計算プログラミング基礎** **AI版（'27）** **〈２２０〉** **辻　靖彦** （放送大学教授） **「表計算プログラミングの基礎（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** 本講義では、表計算ソフトウェアの一つであるExcelのプログラミング環境であるVBAを用いて、業務効率化を実現するための基礎的な知識･スキルを習得します。具体的には、Excel VBAの基本的な構文や変数、制御構文などを学習し、それらを組み合わせることで、データの集計、加工、分析、グラフ作成などの自動化プログラムを開発できるようになることを目指します。さらに、近年急速に発展している生成AIを用いたプログラミングの学習方法についても解説し、実践的なスキルを身につけることを目指します。 ※本科目はプログラミングの演習科目です。従って、タッチタイピングが苦手ですと本科目では苦労することになりますので苦手な方は事前学修として充分に練習しておいてください。 事後学修では、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目では生成AIツールを用いた演習が含まれ、その実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。実行環境の作り方は、オンライン授業体験版の「表計算プログラミング基礎AI版（'27）」を参照してください。なお、18歳未満の方が生成AIを用いる際には保護者の同意が必要です。必ず、保護者の同意を得てから本授業科目の履修手続きを行って下さい。 ※本科目はプログラミングの未経験者および初学者の方を対象としています。本科目を履修した次の段階の科目として、「表計算プログラミングの活用（'25）」があります。 ※本科目では、表計算プログラミング環境としてWindowsのデスクトップ版における最新版のMicrosoft Excel または Microsoft Excel 365のVBAを用います。 Excel for the web およびExcel for Macは不可ですのでご注意ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1740237 **日本語教育学入門（'24）** **〈２１０〉** **伊東　祐郎** （放送大学客員教授 東京外国語大学名誉教授） **滝浦　真人** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　88.1点 2026年度1学期　84.5点	**［人間と文化コースと共用］** 日本語教育を目指す人や携わる人向けに、日本語教育学という学問領域の目的や意義、およびその内容を概説する。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1529595 **学校リスク論（'22）** 〈３２０〉 **内田　良** 〔放送大学客員教授 名古屋大学教授〕 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　92.9点 2026年度1学期　94.0点	この講義の目的は、学校管理下のリスクを幅広く「見える化」し、そのリスク管理のあり方を検討することです。講義は次の2つの観点から特徴づけられます。第一に、自然科学と社会科学の両者の考え方を柔軟に取り入れていきます。教育学に加えて、安全工学・スポーツ科学・法律学等の知見を活用して、学校の安全を追求していきます。第二に、生徒だけではなく教師のリスクにも着目します。教師が健全であってはじめて子どもを守ることができるという考え方です。このようにさまざまな角度から学校管理下のリスクを直視し、課題の解決を模索します。 ※高校卒業程度の数学の知識を有していることに加えて、自然科学と社会科学に幅広く関心があることを求めます。
1529765 **コミュニティと教育（'24）** 〈３２０〉 **仲田　康一** 〔放送大学客員教授 法政大学教授〕 **大木　真徳** 〔放送大学客員准教授 青山学院大学准教授〕 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　83.5点 2026年度1学期　86.7点	教育におけるコミュニティの重要性はかねてより指摘されているところであるが、近年では、社会問題に対する市場や政府によるアプローチの限界が認識される中で、改めてコミュニティへの期待が高まっている。そこでのコミュニティは地域社会を中心としつつ、それにとどまらない越境的なネットワークを指すこともあり、学校教育・社会教育のいずれにおいても、様々な政策や実践が展開されている。当授業では、そうした政策・実践の動向を紹介するとともに、その意義や課題を理論的に把握することを目指す。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1529838 **肢体不自由児の教育（'26）** 〈３２０〉 **川間　健之介** 〔放送大学客員教授 山口学芸大学教授〕 **徳永　亜希雄** 〔放送大学客員教授 横浜国立大学教授〕 **「肢体不自由児の教育（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）18:00 ～ 18:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2026年度1学期　89.1点	近年、肢体不自由特別支援学校等においては、在学者の障害の重度･重複化、多様化の傾向が顕著になってきており、幼児児童生徒一人一人の実態に即した指導上の創意工夫が、より一層求められている。ここでは肢体不自由児の教育に必要な基礎的・基本的事項について、全15回にわたって講義する。肢体不自由児の教育の実際を概観しながら、肢体不自由児の生理・病理と心理、教育課程、指導法等について学習を進めていく。 ※「特別支援教育総論（'25）」及び「特別支援教育基礎論（'24）」を学んでおくことが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1529811 **今求められる学力と学び（'26）** 〈３１０〉 **石井　英真** 〔放送大学客員教授 京都大学教授〕 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）18:00 ～ 18:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2026年度1学期　81.9点	本科目では、近年の学校教育において中心的な概念であり、歴史的にも議論の焦点となってきた「学力」をテーマとして取り上げ、学力観の変遷や現在、そしてこれから求められる学力とそれに対応した学びのあり方について、最新の政策・実践動向や研究動向に触れながら解説する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1529943 **これからの生徒指導を考える（'27）** 〈３２０〉 **東　宏行** 〔放送大学客員教授 獨協医科大学特任教授〕 **伊東　毅** 〔放送大学客員教授 武蔵野美術大学教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （金）18:00 ～ 18:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限	かつて不良、非行等の問題行動への対応を中心とした生徒指導は、近年はいじめや不登校問題が中心的課題となり、社会福祉との近接領域や保健医療との近接領域にある問題へもひろがっている。また、授業方法や学び方が変化する中で、生徒指導の意義や方法も変化を迫られている。教育相談という領域を含み、専門職との連携においても様々な取り組みが展開している。ICTを活用した教育の展開、家族関係の変化、発達障害等を含む多様化する子どもたちの状況等を背景とした現代の生徒指導上の諸問題を整理し、これからの生徒指導を考えるための視点を整理する。 ※日常の学校教育の出来事や子どもたちの諸問題に関心を持っている方であれば、特別な予備知識がなくても履修可能である。 ※事前学修：各回の印刷教材を読んでおくこと。また、基礎資料となる『生徒指導提要』の関連箇所も読んでおくと理解が深まる。 ※事後学修：各回の印刷教材に掲示した「学習課題」に取り組んだ上で、履修者自身でも、自分自身の学習課題を考え、調査、探究することが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529978 多様な子どもの学びと公教育（'27） 〈３２０〉 柏木　智子 〔放送大学客員教授 立命館大学教授〕 浅井　幸子 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （月）18:00 ～ 18:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限	本科目は、多様な子どもの存在を承認し、尊重する公教育がどのように構想され、実践されつつあるのかを理論と事例から学ぶものである。まず、貧困・ヤングケアラー・外国につながる子ども、ギフテッド、特別なニーズのある多様な子どもの実態と学びの在り方について検討する。その上で、公教育の意義について概説する。さらに、そうした公教育を支える行財政制度や教師・支援者の役割について考察し、多様な子どもの学びを保障する公教育の在り方について総括する。 ※他の教育領域の科目や社会福祉、政治・経済に関する科目の履修を行うことが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に、重要な用語を把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1529544 乳幼児の保育・教育（'21） 〈３１０〉 野口　隆子 〔放送大学客員教授 東京家政大学教授〕 2021年度開設科目	2	ラジオ （日）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　92.4点 2026年度1学期　96.2点	本講義は、乳幼児期の子どもの発達を主軸としながら、子どもを取り巻く社会、環境、制度、文化、歴史について解説する。保育・教育の場の実践事例を取り上げることで、園の多様性を理解し、子どもの発達に適した環境について学ぶ。保育をめぐる世界の動向について触れ、日本における乳幼児期の保育・教育の特徴について考察を深める。 ※テキストを読み理解するため、高校卒業程度の読解力を有していることが前提である。
1529668 幼児教育の指導法（'22） 〈３２０〉 師岡　章 〔放送大学客員教授 白梅学園大学教授〕 **※この科目は「幼児教育の指導法（'15）」の改訂科目です。** **「幼児教育の指導法（'15）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	ラジオ （火）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2025年度2学期　89.5点 2026年度1学期　92.7点	保育内容の指導法、及び幼児期の発達特性を踏まえた教育の方法に関し、情報機器の活用を含めて講述する。具体的には、まず「幼稚園教育要領」及び幼児期の発達特性を踏まえた幼児期の教育の基本について検討する。次に、保育現場の現状と課題を整理した上で、主たる保育内容の指導法を考察する。次に、幼児期の教育において活用すべき情報機器と取り扱い方法を検討する。さらに幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るための方法を考察する。最後に、まとめとして保育方法の改善に資する教師の協力体制のあり方を考える。 ※改訂回は1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、13、14、15回です。 ※本科目は幼稚園教諭免許状取得に係る特例科目に対応しています（保育士有資格者対象）が、一般の学生も履修することができます。
1529684 日本の文化と教育（'23） 〈３２０〉 矢口　徹也 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 辻　智子 〔放送大学客員教授 北海道大学教授〕 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　69.7点 2026年度1学期　76.2点	子どもが大人になるとはどういうことなのか、社会教育の観点から、日本の文化と教育を歴史的に考察することを目的とする。明治期以降の日本では、学校教育の整備と拡充に力点がおかれ、地域における社会教育はそれを補足する存在として捉えられてきた。しかし、学校教育の普及は画一化、序列化の問題をもたらし、子ども、若者が生きていく力そのものが問われている。ここでは、社会の中で子ども、若者が大人になることの意味を歴史的に理解するために、若者から青年への変化、少年、少女像の登場、児童の生活と文化への注目、勤労青年の社会教育について具体的事例を取り上げながら講義を進めたい。 ※学部開設科目である。教育領域の中で、他の「社会教育系」、「生涯学習系」の科目と比較して、「青年教育」、「文化史」、特に歴史的観点に力点を置いた科目として開設する。関連科目として、「生涯学習を考える（'27）」がある。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。** **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1529749 学校と法（'24） 〈３３０〉 坂田　仰 〔放送大学客員教授 淑徳大学教授〕 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　74.4点 2026年度1学期　75.5点	自然災害、いじめ、体罰、学校事故等、学校を舞台とした様々なトラブル、紛争がマスメディアを賑わしている。この科目では、全15回の講義を通じて、いわゆる学校教育紛争を法学と教育学の学際的観点から分析する。その際、可能な限り現実に生じた学校教育紛争を例示するとともに、学校運営の実務に依拠しつつ検討を行う。また、日本に先駆けて教育訴訟が頻発するようになったアメリカ合衆国の裁判例、学校運営において近年注目を集めている、「学校教育の法化現象」、「スクール・コンプライアンス」等についても言及していく予定である。なお、主たる受講者として、教員採用試験、学校管理職試験の受験希望者を想定している。 ※本科目は、「学校と法（'12）」「学校と法（'16）」「学校と法（'20）」の既修者に対して履修を制限しないが、いくつかの章 / 回において同内容の部分があることに留意されたい。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529773 **世界の学校（'24）** 〈３２０〉 **園山　大祐** （放送大学客員教授 大阪大学教授） **辻野　けんま** （放送大学客員准教授 大阪公立大学准教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （金）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　75.1点 2026年度1学期　83.7点	世界の学校（ヨーロッパ、アジア、北米、南米）の制度、文化、歴史について日本との異同点について紹介する。生徒・教員・保護者目線で学校を捉えた内容とする。特に就学義務の国と教育義務の国による異同点に注目することで、学校（学びの保障）のあり方について問うてみたい。コロナ2019禍、教育産業化が加速する中、日本における不登校や隠れ不登校数の増加にみる学校不適応・嫌悪の課題について海外の学校の様子から、何が異なるのか。学校と代替学校との比較から世界ではどのように学習権が保障されているのか考えてみたい。 ※印刷教材を精読すること。印刷教材に示した参考文献、映画やホームページなども、できるかぎり参照すること。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1529781 **特別支援教育総論（'25）** 〈３２０〉 **笹森　洋樹** （放送大学客員教授 常葉大学特任教授） **佐藤　愼二** （放送大学客員教授 植草学園大学特命教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （土）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限 2025年度2学期　90.1点 2026年度1学期　94.9点	発達障害・重複障害を中心に障害のある児童生徒の教育について、その適切な支援のありようを検討する科目である。インクルーシブ教育システム・特別支援教育の進展に伴い、特別支援学校や特別支援学級のみならず、通常の教育においても、とりわけ発達障害のある児童生徒への支援の充実が強く求められている。そのため、本科目では、発達障害を中心に各障害の概要を踏まえ、通常の学級、特別支援学級、通級による指導の実際、あわせて多様な学びの場の活用や関係機関との連携的支援について解説する。なお、本科目は特別支援学校教諭免許状取得に関する科目であるが、特別支援教育・障害支援を初めて学ぶ受講者にも分かりやすく解説する。 ※本科目は特別支援学校教諭免許取得に関わる科目である。 ※放送教材による学習の前後に必ず印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※「特別支援教育基礎論（'24）」とあわせて受講することが望ましい。
1529790 **知的障害教育総論（'25）** 〈３２０〉 **佐藤　愼二** （放送大学客員教授 植草学園大学特命教授） **高倉　誠一** （放送大学客員教授 明治学院大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （木）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　93.2点 2026年度1学期　91.8点	知的障害のある児童生徒の教育について、心理面も含め、特別支援学校における教育課程や指導法を中心に取り上げる科目である。インクルーシブ教育システム・特別支援教育の進展に伴い、知的障害のある児童生徒への教育も、特別支援学級の充実を図り、さらには通常の教育との関係も考える時代になっている。それら知的障害のある児童生徒への教育について、特別支援学校のあり方を中心に望ましい教育支援のあり方について、学習指導要領に基づきながら本科目では探りたい。なお、本科目は特別支援学校教諭免許状取得に関する科目である。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材とそれに記載されている参考文献等を参照する自主学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握・確認すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んだり、必要に応じて、参考文献で示された資料をインターネット等を活用して調べたりすること。 ※なお、本科目の履修にあたっては、学部開設科目である「特別支援教育基礎論（'24）」「特別支援教育総論（'25）」を並行して受講することが望ましい。 ※また、本科目は特別支援学校教諭免許取得に関わる科目である。
1529919 **家族と教育（'27）** 〈３２０〉 **小玉　亮子** （放送大学客員教授 大阪信愛学院大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限	家族と教育の関係は近いようで遠く、互いに密接なようで、隔たりがある。こういった家族と教育の複雑な関係を社会的・経済的・制度的・法的・心理的といった多様な側面から検討する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材を熟読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、生活と福祉・社会と産業コースで共用科目になっています。**
1529935 **教育政策と行財政（'27）** 〈３３０〉 **櫻井　直輝** （放送大学准教授） **植竹　丘** （放送大学客員准教授 埼玉県立大学准教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （月）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限	教育政策・行政に関わる身近な問題を導入とし、教育に関わる法制度やその運用について概説するとともに、教育の公共性や教育権などの教育行政学の基礎的な理論を取り上げ、教育政策・行政研究の基礎となる知識を提供する。 ※この科目と併せて、「日本の教職論（'22）」や「学校と法（'24）」を受講することが望ましい。また、発展的な内容にあたる科目として大学院開設科目「教育行政と学校経営（'24）」が開講されている。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 ※事前学修：該当する章を通読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。 ※事後学修：印刷教材で指定された課題等に取り組む。可能であれば印刷教材の関連する章や参考文献に目を通す等。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式／単位認定試験 出題形式 試験期間／試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529145 **教育課程の意義及び編成の方法（'15）** 〈３２０〉 **福元　真由美** （放送大学客員教授 青山学院大学教授） 2015年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2025年度2学期　89.6点 2026年度1学期　88.4点	幼稚園教育における教育課程の意義及び編成の方法に関して、基本的な事項を取り上げて解説する。創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めるために、園や地域の実態等に即して教育課程を編成し、実施していくことは重要である。そこで、幼稚園を基盤とした教育課程開発を中心に、具体的な事例を紹介しながら解説するとともに、保育の質の向上に向けた教育課程の評価と改善についても取り上げる。なお本科目は、子ども・子育て支援新制度における保育教諭となるために、保育士資格を有し、幼稚園教諭免許状の取得を希望する者を受講対象としている。 ※本科目は幼稚園教諭免許状取得に係る特例科目に対応しています（保育士有資格者対象）が、一般の学生も履修することができます。 ※本科目には印刷教材はありません。 ※本科目の授業は、インターネット上で提供される諸情報による学修をし、双方向性を生かした設問解答等により行います。通信指導に合格し、単位認定試験に合格した者には所定の単位が与えられます。 なお、卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」としてではなく「授業形態を問わない単位数」として取り扱いますので注意してください。
5520037 **特別支援教育基礎論（'24）** 〈３２０〉 **加瀬　進** （放送大学客員教授 東京学芸大学特任教授） **髙橋　智※** （放送大学客員教授 東海学院大学客員教授） **田部　絢子※** （放送大学客員教授 日本大学教授） **池田　吉史※** （放送大学客員准教授 東京学芸大学准教授） **田中　謙※** （放送大学客員教授 日本大学教授） **堤　英俊※** （放送大学客員教授 都留文科大学教授） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は各回の小テスト（90%）と最終レポート（10%）により行う。	本科目では、特別支援教育を基礎から学ぶ受講者のために、その理念、制度、歴史、対象、教育課程・内容、指導方法・評価、教材・教具、特別支援学校／特別支援学級／通級による指導における教育実践の実際、および教職員養成、特別支援教育の国際動向、災害等と特別支援教育について、それぞれ詳細に解説する。 受講者諸君には、「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う」という特別支援教育の目的を常に念頭におきながら学習を進めていくことを期待する。 ※資格関連科目「特別支援教育基礎論（'20）」の後継科目。 なお、「特別支援教育総論」「肢体不自由児の教育（'20）」「知的障害教育総論」もあわせて履修する（している）ことが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5520045 **現代のキャリアコンサルティング（'25）** **〈３１０〉** **金井　篤子** 〔放送大学客員教授 愛知みずほ大学特任教授〕 **原田　順子※** （放送大学教授） **中井　智子※** 〔放送大学客員准教授 中町誠法律事務所弁護士〕 **岡崎　淳一※** 〔放送大学客員教授 産業雇用安定センター理事長〕 **深谷　潤一※** 〔放送大学客員教授 NPO法人ICDS理事長〕 **高綱　睦美※** 〔放送大学客員教授 中京大学教授〕 **石丸　昌彦※** 〔放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長〕 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、最終レポート（50%）の評価により行う。	不確実性の時代（VUCA）とよばれる現代において、いかに個人がそのひとらしいキャリアを積み上げていくかはますます重要な課題である。しかし、それには不確実性の時代ならではの困難を伴う場合も多い。この個人のキャリア形成を支援するのが2002年度に発足し、2016年には国家資格となったキャリアコンサルタント資格である。本講義では、キャリアコンサルタントの職務内容を縦糸とし、それにかかわる社会的背景やさまざまな環境を横糸として、現代におけるキャリア形成支援やキャリアカウンセリングの実際について体系的に論ずる。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。掲載資料等は必要な場合にはプリントアウトしてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説については復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラム を利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※本科目は、国家資格キャリアコンサルタントの５年ごとの更新に必要な「知識講習」対象科目です。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
5520053 **学校事務の新潮流（'26）** **〈３１０〉** **福嶋　尚子** 〔放送大学客員准教授 千葉工業大学准教授〕 **福島　正行※** 〔放送大学客員教授 岩手大学大学院教授〕 ※は専門担当講師 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）により行う。	教育行政・学校経営の担い手としての学校事務職員の役割や意義について、歴史的・制度的・実践的な側面から解説を行い、学校事務の高度化に資する講座とする。特に行政研修において不足している中堅層を念頭に置いた科目として作成し、事務職員の専門性向上に資するものとしたい。 ※シラバスを熟読し、参考書を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。さらに、講義映像の中で取り上げられた書籍や資料を読み進めていくと理解が一層深まります。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行うようにしてください。 ※本科目の履修に前後して「教育の行政･政治･経営（'23）」「学校と法（'24）」「学校リスク論（'22）」「日本の教職論（'22）」「教育政策のデザイン（'25）」などの関連科目を履修することで理解が深まります。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5520070 **幼児理解の理論及び方法（'26）** **〈３２０〉** **砂上　史子** 〔放送大学客員教授 千葉大学大学院教育学研究院教授〕 **中道　圭人※** 〔放送大学客員教授 千葉大学大学院教育学研究院教授〕 **奥谷　佳子※** 〔放送大学客員准教授 山梨県立大学准教授〕 **田中　幸※** 〔放送大学客員准教授 千葉大学教育学部附属幼稚園幼稚園教諭〕 **久留島　太郎※** 〔放送大学客員教授 植草学園大学教授〕 **松井　剛太※** 〔放送大学客員准教授 香川大学准教授〕 **真鍋　健※** 〔放送大学客員准教授 千葉大学大学院教育学研究院准教授〕 **吉永　安里※** 〔放送大学客員教授 國學院大學教授〕 ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（80%）、レポート（20%）により行う。	本科目は、「幼稚園免許教諭の普通免許状に係る期限付き特例」により幼稚園教諭免許を取得しようとする保育士を対象とする。具体的には、以下を幼児教育の実践に即して解説する。 ・幼児理解の基盤となる発達心理学、臨床心理学等の理論 ・幼稚園教諭の専門性である幼児理解と幼児教育の特質 ・幼児理解の方法である観察、記録 ・幼児理解を深めるための保育カンファレンス ・幼児理解に基づく計画と実践 ・幼児理解と評価との関連 ・インクルーシブ保育における幼児理解 ・幼小接続と幼児理解 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※履修にあたっては、幼稚園教育要領に目を通し、その内容を大まかに理解していることを前提とする。 ※最新の「幼稚園教育要領」及び「幼稚園教育要領解説」を指定教材とします。開講後、電子データ（PDF）のダウンロード先を案内します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5520061 **学校図書館サービス論（'26）** **〈３２０〉** **前田　稔** 〔放送大学客員教授 東京学芸大学教授〕 **※この科目は「学校図書館サービス論（'21）」の改訂科目です。** **「学校図書館サービス論（'21）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）により行う。	読書習慣の形成や探究的な学びの実現が、近年の学校教育においてあらゆる学習活動の基盤をなすものとして重視されている。学校図書館のサービスの水準次第で、教育全体の質が大きく左右される状況である。本科目では学校図書館の基本的な知識をふまえつつ、児童生徒及び教職員へのサービス活動についての見方・考え方を通じて、子供をとりまくひとりひとりが何をすべきか、何ができるかという点について講義を行っていく。 ※受講にあたっては、別途指定教材（図書）での自己学習を必須とします。大学より受講生の方へお送りすることはいたしません。 前田稔、堀川照代著『学校図書館サービス論』（放送大学教育振興会、2021年、ISBN978-4-595-32244-0）¥3,630（税込） ※指定教材については、出版元の放送大学教育振興会のオンラインショップや書店などで購入可能ですが、本学学生は、学習センターを通して購入申込を行うことで、割引価格（定価の1割引）で購入することができます。購入方法はシステムWAKABA内のキャンパスライフ＞各種届出・申請様式＞印刷教材割引購入申込書類一式をご確認ください。 ※指定教材の該当章を参考に必ず事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。講義映像ではポイントをおさえて説明しているため、指定教材を事前・事後学習に活用し学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。 ※学校図書館司書教諭講習科目「学校経営と学校図書館（'23）」「読書と豊かな人間性（'26）」「学校図書館メディアの構成（'22）」「学習指導と学校図書館（'22）」「情報メディアの活用（'22）」と、学校図書館における専門的な職務に関わる点で関連する。 ※本科目は学校司書の養成と資質能力の向上に向けて文部科学省が定める「学校司書のモデルカリキュラム」10科目20単位のうちの「学校図書館サービス論」の内容を踏まえた授業科目として開講している。本科目以外の9科目については、司書資格科目・教職課程科目・司書教諭資格科目からの読み替えが可能であるが、「学校図書館サービス論」に関しては他からの読み替えが不可であるため、放送大学において特に開設したものである。「学校司書のモデルカリキュラム」は、学校司書採用の際の学校教育側での活用が想定されている。 ※改訂回は、第1、15回。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
5520088 **持続可能な社会と教育（ESD）（'27）** 〈３２０〉 **及川　幸彦** （放送大学客員教授 奈良教育大学ESD・SDGsセンター長、教授） **「SDGsと教育（'22）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、レポート（25%）の評価により行う。	現在、気候変動や災害、紛争、貧困、差別等の環境、経済、社会の各側面で地球や地域での持続不可能な諸問題が深刻さを増す中で、「持続可能な社会」の創造は人類共通の大命題であり、その実現に向けて、「教育」、すなわちその実現を担う「人材の育成」が鍵である。 本科目では、持続可能な開発のための教育（ESD）の視点から、「教育」が「持続可能な社会」の実現に果たす効果や役割について考察し、未来に向けて市民一人一人が「持続可能な社会の創り手」としての価値観を醸成し、行動を変革するような教育の在り方を探究する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5520096 **生涯学習を考える（'27）** 〈３１０〉 **岩崎　久美子** （放送大学名誉教授） **金藤　ふゆ子** （放送大学客員教授 文教大学教授） **「生涯学習を考える（'17）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（各回４点×15回＝60点：60%）、レポート（3回：第１回５点、第７回15点、第15回20点：40%）の評価により行う。	人間とは何か、学ぶとはどのような営みかを問い直し、生涯にわたる学習の意味と必要性を考える。家族・学校・コミュニティなどが人間形成に果たす役割を踏まえ、生涯発達の視点から、生涯学習の意義と課題を考察する。社会教育主事資格および学芸員資格取得希望者等も対象とする。 ※シラバスの内容を確認し、掲載資料等を参考に事前学修を行ったうえで、講義映像等を視聴し、学習を進めること。また、各回に設置された確認テストの解説を活用して事後学修を行い、理解を深めること。オンライン授業システムの配信期間中は、疑問点がある場合、講師に質問することができる。 ※本科目は、社会教育主事資格および学芸員資格に関連する学部科目としての認定を申請する科目である。本科目履修後に、「社会教育経営実践論」「生涯学習支援の理論と実践」の履修を勧めたい。 ※受講にあたっては、別途指定教材（図書）での自己学習を必須とします。指定教材は、ご自身で用意する必要があります。大学より受講生の方へお送りすることはいたしません。 指定教材：『生涯学習を考える』（岩崎久美子・金藤ふゆ子／福村出版、2026年／3300円（税込）／ISBN：978-4-571-10211-0） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1529617 **社会教育経営実践論（'22）** 〈３２０〉 **佐藤　晴雄** （放送大学客員教授 帝京大学教授） **佐々木　英和** （放送大学客員教授 宇都宮大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　69.2点 2026年度1学期　68.6点	本科目は、社会教育をめぐる諸課題を経営的視点から解説することによって、様々な学びの場と機会の在り方について理論的かつ実践的な理解を深めることを目的とする。 講義では、社会教育関係職員や地域住民が社会教育施設を始めとする多様な組織・企業等と連携・協働しながら、学習成果を地域づくりや地域学校協働活動などに活かす知識・技能を習得するために必要な社会教育経営の基礎基本、社会教育行政と地域づくり、学習事業の企画運営、広報戦略、地域人材の育成・研修、学習成果の評価、地域ネットワークの形成、生涯学習関連施設の経営などを取り上げていく。 ※社会教育に関する基本的事項を理解するに留めず、「経営」の視点から捉えようとする新科目である。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※本科目は、社会教育主事講習の対象科目ではありませんので、ご注意ください。社会教育主事講習については、本学ウェブサイトにて詳細をご確認ください。**
1529625 **生涯学習支援の理論と実践（'22）** 〈３２０〉 **赤尾　勝己** （放送大学客員教授 関西大学名誉教授） **吉田　敦也** （放送大学客員教授 徳島大学名誉教授） 2022年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　78.4点 2026年度1学期　70.1点	本科目は、広く社会教育や生涯学習に関わる者に対し、子どもから大人に至る学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図ることを目的とする。そのため、生涯学習支援の基本的考え方、学習支援の理論、学習プログラムの編成の仕方、参加型学習とファシリテーション技法などについて理論的に扱うとともに、行政と市民によるまちづくりの実践の事例を用いて、米国の大学で用いられるイノベーティブな学習支援技法について取り上げる。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※本科目は、社会教育主事講習の対象科目ではありませんので、ご注意ください。社会教育主事講習については、本学ウェブサイトにて詳細をご確認ください。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529650 **日本の教職論（'22）** 〈３２０〉 **大野　裕己** 〔放送大学客員教授 大阪教育大学教授〕 **露口　健司** 〔放送大学客員教授 愛媛大学教授〕 2022年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2025年度2学期　79.0点 2026年度1学期　88.7点	日本における学校教育や教職の社会的意義を踏まえて、教職の実態と特性について理解を深めるとともに、教職に対する動機付けに寄与する。 以上の目的に基づき、第Ⅰ部「教員の職能（どのような資質能力が必要か?）、第Ⅱ部「教員の職務（どのような仕事を遂行しているのか?）」、第Ⅲ部「教員の職場（誰と働いているのか?）」、第Ⅳ部「教員の職業（どのような職業なのか?）」の４部構成によって講義する。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※本科目は幼稚園教諭免許状取得に係る特例科目に対応しています（保育士有資格者対象）が、一般の学生も履修することができます。
1529390 **心理学研究法（'20）** 〈３２０〉 **三浦　麻子** 〔放送大学客員教授 大阪大学大学院教授〕 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）18:00 ～ 18:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　88.0点 2026年度1学期　88.9点	心理学の諸領域で用いられている基礎的な研究法について講義する。学習者が自らテーマを設定して研究を計画し、一連の科学的実証手続きを経てそれを遂行できるようになることを目指して、心理学の研究者・実践家としての心構えを含めて、スキルとテクニックを教授する。
1529404 **錯覚の科学（'20）** 〈３２０〉 **菊池　聡** 〔放送大学客員教授 信州大学教授〕 **※この科目は「錯覚の科学（'14）」の改訂科目です。** **「錯覚の科学（'14）」の単位修得者は履修不可** 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）0:00 ～ 0:45　（231ch） （木）15:45 ～ 16:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2025年度2学期　85.3点 2026年度1学期　89.2点	私たちの脳が認識する世界と、客観的な世界の間にズレが生じること―それが「錯覚」である。この錯覚の性質や特徴を知ることは、私たちがどのように世界を認識しているのかを知ることにつながる。心理学の諸研究は、視覚や聴覚といった知覚研究を中心に、記憶や思考など広汎な心的過程で生じる錯覚のメカニズムを明らかにしてきた。これらの研究成果を概観することで、錯覚が私たちの日常生活や社会、文化、芸術に与える影響を検討し、人の認知が持つ独特の仕組みについて理解を深めていく。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
1529510 **心理学統計法（'21）** 〈３２０〉 **清水　裕士** 〔放送大学客員教授 関西学院大学教授〕 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）0:00 ～ 0:45　（231ch） （金）15:45 ～ 16:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　78.7点	心理学で用いる統計的手法について、基礎的な理論から、実践的な分析手法まで解説する。具体的には、心理学で用いるデータの種類とその要約方法、推測統計学や統計的因果推論の理論的基礎、そして推測統計学による母集団の性質の推定を実際に行うためのノウハウについて解説を行う。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1529706 **知覚・認知心理学（'23）** 〈３２０〉 **石口　彰** 〔放送大学客員教授 お茶の水女子大学名誉教授〕 **※この科目は「知覚・認知心理学（'19）」の改訂科目です。** **「知覚・認知心理学（'19）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）0:00 ～ 0:45　（231ch） （月）15:45 ～ 16:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限 2025年度2学期　85.2点 2026年度1学期　78.3点	人間は「考える」能力を持っています。考える能力には、大切な事柄を記憶する、問題を解く、どちらが良いか判断する、旅行の計画を立てるなど、意識的に考える能力のほか、見る、聞く、驚くなど、無意識的に考える能力があります。この「考える」ことが、広い意味での、知覚・認知機能なのです。知覚・認知心理学は、このような、「考える」ことを科学する学問領域です。この講義では、認知の低次過程といえる感覚・知覚や感情などの無意識的な機能から、問題解決や判断・意思決定などのより高次で意識的な認知機能のしくみを、その発達過程や障害も含めて、解説します。 ※履修にあたって、予備知識は特に必要としませんが、中学や高校の理系科目の知識があると、理解がより深まると思います。ただし、実証科学の一員として、論理的な思考は、不可欠です。レポートを書くうえでも、論理的なストーリー展開が、求められます。また授業の予習復習に、印刷教材には学習課題を用意してありますので、それを活用してください。 ※全15回を改訂しています。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1529714 **進化心理学 ('23)** 〈３２０〉 **大坪　庸介** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 0:00 ～ 0:45　(231ch) (土) 15:45 ～ 16:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)4時限 2025年度2学期　88.2点 2026年度1学期　92.0点	この講義は進化心理学の概論である。ヒトの心のはたらきを生物進化という観点からどのように理解できるかについて、進化のモデルと実証研究の知見を踏まえつつ概観する。 生物学を学んだことがない学生を対象に、進化論の考え方から解説をはじめ、その考え方がヒトの心のはたらき、社会行動の理解にどのように役立つかを論じる。 ※進化心理学の成り立ちは、部分的には既存の心理学の問題点（メタ理論を欠いており、その知見を理論的に統合することができない）に対する反省と位置づけられる。そのような進化心理学の新規性を理解するためにも、心理学概論、社会心理学などの科目を履修していることが望ましい。
1529803 **学習・言語心理学 ('25)** 〈３２０〉 **高橋　秀明** （放送大学教授） **※この科目は「学習・言語心理学('21)」の改訂科目です。** **「学習・言語心理学 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 0:00 ～ 0:45　(231ch) (火) 15:45 ～ 16:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)3時限 2025年度2学期　82.2点 2026年度1学期　75.3点	本科目は、人の行動が変化する過程を扱う学習心理学の領域と、言語の習得における機序を扱う言語心理学の領域とを扱っている。言語を操ることは人間の特質であると同時に、人間の行動とその変化とは人間心理を客観的に研究することのできる対象であり、心理学の中で基礎的な領域といえる。本科目は、このような観点から人間の行動と言語、ならびに研究方法について概説するものである。本科目のターゲットは、主に心理学を専攻し、心理学関連の資格（公認心理師、認定心理士、ならびに本学科目群履修認証制度放送大学エキスパート「心理学基礎プラン」）を目指すものであるが、心理学に関心を持つ他コースの学生にとっても興味深い科目になると考えられる。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習として、印刷教材の各章の冒頭にある「目標&ポイント」を確認するとともに、「キーワード」を把握しておくこと。事後学習として、印刷教材の各章の末尾にある「学習課題」に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。
1529862 **神経・生理心理学 ('26)** 〈３２０〉 **髙瀬　堅吉** 〔放送大学客員教授 中央大学教授〕 **※この科目は「神経・生理心理学('22)」の改訂科目です。** **「神経・生理心理学 ('22)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (木) 0:00 ～ 0:45　(231ch) (水) 15:45 ～ 16:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)5時限 2026年度1学期　92.6点	神経・生理心理学では、心の生物学的基礎についての学びを主題とします。講義では、知覚、記憶、学習、感情、意識などの心の働きを担う脳の機能を中心に学びます。また、睡眠、生体リズム、遺伝子と行動、心の発達、心の病気についても、その生物学的基礎を紹介します。これらの知見に加えて、心の生物学的基礎を明らかにするための研究手法についても触れ、神経・生理心理学の総合的理解を目指します。講義内容は、公認心理師試験出題基準（ブループリント）の項目を網羅し、臨床の現場に関連する話題も扱います。 ※心理学の概論的講義を履修済みであることが望ましいです。放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行ってください。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握し、事後学習としては印刷教材の章末問題を中心に復習をしてください。 ※第1、7、8、9、10、13、14、15回を改訂しています。
1529854 **社会・集団・家族心理学 ('26)** 〈３２０〉 **森　津太子** （放送大学教授） **「社会・集団・家族心理学 ('20)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (木) 9:00 ～ 9:45　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)5時限 2026年度1学期　91.1点	人間は社会的動物であり、常に他者との関係性のなかで生きている。本講義では、社会的動物である人間が、社会を構成する他者からどのように影響を受け、またそうした社会をどのように認識しているのか。そして、集団としての行動は、個人の行動とどのように異なるのかについて解説する。さらに、もっとも身近な集団である家族の機能についても考えていく。 ※本科目を履修する前に「心理学概論 ('24)」を履修していることが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に用語の理解に努めること。事後学習としては印刷教材で指定された学習課題に取り組み、参考文献を読んで知識を深めること。
1529820 **産業・組織心理学 ('26)** 〈３２０〉 **池田　浩** 〔放送大学客員准教授 九州大学准教授〕 **加藤　容子** 〔放送大学客員教授 名古屋大学教授〕 **「産業・組織心理学 ('20)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ (火) 18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)3時限 2026年度1学期　82.6点	産業・組織心理学とは、企業をはじめとした様々な組織で働く人々の心理や行動を対象とする学問である。あらゆる組織が人の集まりによって営まれる限り、そこで働く人々の心理や行動は組織の生産性を大きく左右する。それ故、心理学が誕生した頃から、働く人々の心理に大きな関心が寄せられてきた。本講義では、産業・組織心理学を構成する4つの領域（組織行動、人的資源管理、安全衛生、消費者行動）を概説する。これらについて最新の知見を交えながら、産業・組織心理学の理論と知見を体系的に概説する。 ※本科目を履修する前に「心理学概論 ('24)」を履修することが望ましい。また、「社会・集団・家族心理学 ('26)」と関連が深い。事前学習として、印刷教材をあらかじめ通読するとともに、「キーワード」を事前に調べておくこと。事後学習として印刷教材の各章の末尾にある「学習課題」に取り組むこと。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1529927 **感情・人格心理学 ('27)** 〈３２０〉 **小塩　真司** 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ (水) 18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)1時限	本講義では、心理学の中でも感情（情動）と人格（性格、パーソナリティ）の研究領域について概説する。感情、感情からの刺激に対して主観的な体験、身体的な変化、行動上の反応を伴う心理的な状態である。人格は、認知、感情、行動を広く含む、時間や状況を超えてある程度一貫した心理学的な個人差を指す。これらはいずれも、人間の個性を形作る要素であり、日常生活や人生全般とのかかわりをもつ。感情や人格の基礎的な考え方から現実生活とのかかわりまで、研究成果に基づいて論じる。 ※関心をもって学ぶ姿勢があれば、特別な予備知識は必要としない。事前に心理学に関連する書籍や記事等を読むことが望ましい。事後にはテキストで講義内容の復習を行うことが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1529501 **心理カウンセリング序説（'21）** **ー心理学的支援法ー** **〈３２０〉** **大山　泰宏** （放送大学客員教授 学習院大学教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限 2025年度2学期　85.8点 2026年度1学期　81.6点	この授業では、臨床心理学におけるカウンセリング、心理療法を中心とした、心理学的な相談・支援に関する基礎とその展開について講じる。対象者に対する心理学的な支援の中核にはカウンセリングがありつつも、それは、支援の形や対象となる領域によって、さまざまな展開をみせている。そこでは、どのような専門性が求められ、どのような学びをおこなっていけばいいのだろうか。こうしたテーマについて包括的に論じる。 なお本科目は、公認心理師学部カリキュラムのうち「心理学的支援法」に対応する。 ※この科目は、公認心理師の学部カリキュラム「心理学的支援法」に対応しています。他の関連科目も積極的に履修してください。
1529730 **イメージの力（'24）** **〈３２０〉** **佐藤　仁美** （放送大学准教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　79.8点 2026年度1学期　86.3点	イメージを鍵概念とし、多角度からアプローチしていくとともに、心理臨床の醍醐味を自由に展開していく。心理臨床のみならず、イメージの世界を概観することからはじまり、自然と人との関係、文化的要因、アートとの結びつきを踏まえたうえで、心理臨床を営むにあたり、いかに豊かなイメージ力を必要とするか、最前線の現場を紹介しながらまとめていく。 ※以下の科目を並行して学ぶことを推奨する。 「心理カウンセリング序説（'21）」「臨床心理学概論（'20）」「感情・人格心理学（'27）」「心理学概論（'24）」「フィールドワークと民族誌（'24）」「「人新世」時代の文化人類学（'20）」
1529900 **ライフサイクルの心理臨床（'26）** **〈３２０〉** **大山　泰宏** （放送大学客員教授 学習院大学教授） **佐藤　仁美** （放送大学准教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2026年度1学期　83.3点	私たちが生まれ、成長し、やがて老いて、死に至るまでの人生周期（ライフサイクル）が展開していくうえで、私たちは心理的・社会的に何度も大きな変化を体験していく。ライフサイクルの心理学は、臨床心理学にとっても大切なテーマであるが、近年、平均寿命は飛躍的に伸び、また、「大人」になることがますます難しくなる中、私たちが生きる、生きなければならないライフサイクルとは、どのような現実なのかを改めて問い直す必要があろう。この講義では、これまでのライフサイクルの区分を揺るがすようなテーマやトピックスに着目しつつ、これまでライフサイクルはどのように論じられてきたかとえられてきたか、今、何が問題になっており、これからはどのような課題に取り組んでいくべきかについて、人間の一生に寄り添う心理臨床の観点から学び考えていく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。また、シラバスや印刷教材に示されたキーワード、学習課題、自身が興味をもった事項に関して、書籍やインターネット上の資料・論文を調べ、発展的な学習をおこなうこと。
1529897 **認知行動療法（'26）** **〈３２０〉** **高梨　利恵子** （放送大学准教授） **越川　房子** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2026年度1学期　91.2点	前半で認知行動療法の歴史的な背景について概観し、基礎理論を踏まえたうえで、具体的な技法、実践上の手続きや治療関係について解説する。後半ではさらにマインドフルネスなど最近の展開についても触れる。認知行動療法の心理療法としての特徴を踏まえ、さまざまな現場での応用について紹介する。ワークやセラピスト・クライエントのやりとり、架空事例や現場インタビューなどを取り入れることで、理論や技法の実践的応用のイメージがもてるように構成される。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1529447 **臨床心理学概論（'20）** **〈３２０〉** **村松　健司** （放送大学教授） **倉光　修** （放送大学名誉教授 東京大学名誉教授） 2025年9月ご逝去 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　80.2点 2026年度1学期　85.0点	本講義では、臨床心理学という学問の成り立ちやそこに含まれる代表的な理論と実践について解説する。まず、第1章では臨床心理学の定義に触れ、種々の心理アセスメントならびに心理療法・心理カウンセリングの成り立ちについて略述し、以下の章でそれらをより詳しく述べる。すなわち、第2章から第4章では種々の心理アセスメントについて、第5章から第10章では諸派の心理療法・カウンセリングの理論とアプローチについて、第11章から14章では、さまざまな臨床現場でどのような要請と理論に基づいてどのような実践が展開されているかを述べる。さらに、第15章では、全体を振り返って、この学問の特徴について再度論じる。 本講義は概論にとどまるので、公認心理師や臨床心理士など、いわゆる「心の専門家」になることを志す方々は、臨床心理学の諸領域についてさらに深く学び、資格取得後も研鑽と実践を積み重ねていただきたい。
1529560 **福祉心理学（'21）** **〈３２０〉** **村松　健司** （放送大学教授） **坪井　裕子** （放送大学客員教授 名古屋市立大学特任教授 人間環境大学特任教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （土）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　89.2点 2026年度1学期　87.5点	福祉心理学は社会福祉領域における実践的な応用心理学の一領域であり、社会福祉の価値や理念、法・制度および理論・支援と心理学における理論・支援を融合した学問でもある。ここでは、社会福祉の価値や理念、法制度を含めて、福祉現場で生じる様々な問題とその背景および必要な支援について理解を深める。 ターゲット層：公認心理師・臨床心理士の資格を希望する者 ※テキストを事前に読んでおくこと。また、毎々取り上げる内容について、事前に学習しておくことが望ましい。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529722 **精神分析とユング心理学（'23）** 〈３２０〉 **吉川　眞理** 〔放送大学客員教授 学習院大学教授〕 **田中　健夫** 〔放送大学客員教授 東京女子大学教授〕 2023年度開設科目	2	ラジオ （木）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　70.3点 2026年度1学期　76.7点	フロイト（Freud, S.）に始まる精神分析と、ユング（Jung, C. G.）に始まる分析心理学は、分析者と、症状をかかえる被分析者との定期的な面接において生じる治療的な心的変化過程に関する知見をもとに構築された理論体系である。これらの理論は、心理臨床実践の基礎となる知識であり、今日においてもその体系に新たな知見が加えられ発展を続けている。本講義では、精神分析とユングの分析心理学が持つ「人間の心の深層に関する知」の側面と「心理療法学」の側面の両者を視野に入れながら、その基本を理解することを試みたい。 ※心理と教育コース開講の「臨床心理学概論（'20）」「心理カウンセリング序説（'21）」を既に履修していることが望ましい。
1529870 **心理職の専門性（'26）** **－公認心理師の職責－** 〈３２０〉 **吉川　眞理** 〔放送大学客員教授 学習院大学教授〕 **平野　直己** 〔放送大学客員教授 北海道教育大学教授〕 **※この科目は「心理職の専門性（'20）」の改訂科目です。** **「心理職の専門性（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （金）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2026年度1学期　81.7点	心理専門職としての臨床心理士と公認心理師を対比しつつ、心理職における専門性について理解を深め、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、被災地支援、地域（コミュニティ）分野における心理専門職の実際のはたらきについて知るとともに、実践において求められる法制度の知識と、心理専門職としての倫理と基本的姿勢を学ぶ。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 事前学習では、印刷教材の本文を一読し、不明な用語については調べるなどしておくこと。特に各実践分野における心理職のはたらきや役割に関する回では、その分野に特有な用語があることに留意すること。 事後学習では、印刷教材で指定された課題に取り組むとともに、特に関心が高いところについては文献を調べるなどして理解を深めること。 ※全15回を改訂しています。
1529889 **心理的アセスメント（'26）** 〈３２０〉 **永田　雅子** 〔放送大学客員教授 名古屋大学教授〕 **松本　真理子** 〔放送大学客員教授 名古屋大学名誉教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2026年度1学期　86.8点	心理的アセスメントとは何をすることなのだろうか？　心理的支援をおこなっていく実践の場ではアセスメントは必須の行為である。クライエントがどういう人であるのか、またどのような課題を抱えているのかといったことを把握しなければ、支援方針を立てることはできない。この講義では、心理支援の各分野およびライフステージを踏まえた心理的アセスメントのプロセスと具体的方法について、理解を深めていく。（公認心理師受験対応科目とする）。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。 事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 「臨床心理学概論（'20）」を履修していることが望ましい。
1529846 **司法・犯罪心理学（'26）** 〈３２０〉 **廣井　亮一** 〔放送大学客員教授 立命館大学特任教授〕 **※この科目は「司法・犯罪心理学（'20）」の改訂科目です。** **「司法・犯罪心理学（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2026年度1学期　91.2点	公認心理師法における「司法・犯罪分野」の要点を踏まえて、少年事件、刑事事件、家庭紛争事件の3部で構成する。 第1部は、司法における犯罪心理学、非行臨床をもとに少年事件を取り上げる（1回～4回）。 第2部は、児童虐待、高齢者虐待、離婚と面会交流などの家庭紛争事件、さらに体罰問題など学校に関わる問題への対応を解説する（6回～9回）。 第3部は、攻撃性をもとに犯罪の4類型を理解したうえで、ストーカー犯罪、凶悪事件の精神鑑定例、犯罪被害者への贖罪を取り上げる。また、司法における心理臨床家の活動も紹介する。最後に現在の司法の潮流である司法臨床、治療的司法、加害者臨床をもとに、司法・犯罪心理学の展望と課題を解説する（10回～15回）。 ※事前学習として、新聞等で少年や成人の事件、家庭での虐待事件等の報道を読み、現代の少年非行、成人犯罪、家庭事件の特徴を考えておく。事後学習として、講義で関心をもったテーマを各自でさらに深く学ぶこと。 ※第1、2、3、4、7、8、12回を改訂しています。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1529951 **障害者・障害児心理学（'27）** 〈３２０〉 **古賀　精治** 〔放送大学客員教授 大分大学特任教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （火）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限	様々な障害のある人の理解及び支援を行う上で、必要となる基礎的な内容を全15回にわたり解説する。障害の基本的な捉え方に始まり、知的障害、発達障害、精神障害、身体障害などの各種の障害の概要、心理社会的課題と支援に関する内容を解説する。それらの観点を踏まえ、障害のある人のための教育、早期支援や家族支援、地域援助といった障害のある個人とその人を取り巻く周囲を含む、心理社会的観点の基礎について概説する。（公認心理師受験希望者等） ※「臨床心理学概論（'20）」を履修していることが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修ではキーワードを念頭に置いて印刷教材を一読し、重要な用語を把握しておくこと。事後学修では事前学修で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529960 **心理臨床における法・倫理・制度（'27）** **ー関係行政論ー** 〈３２０〉 **津川　律子** （放送大学客員教授 日本大学特任教授） **元永　拓郎** （放送大学客員教授 帝京大学教授） **※この科目は「心理臨床における法・倫理・制度（'21）」の改訂科目です。** **「心理臨床における法・倫理・制度（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	この講義は、公認心理師（国家資格）受験に必要な「関係行政論」である。心理臨床を行う上で知っておくことが必要な、法律・倫理・制度について概説する。人の一生において年代を軸とした心理臨床に関する講義と、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働など各分野における心理臨床を軸とした講義を2つの柱として、心理臨床に役立つ内容を網羅する。 ※この講義は、臨床心理学の基本的知識を有した上で、心理臨床（特に面接とアセスメント）についての基本を身につけて受講することで、学びをより効果的に深めることができる。 放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては、印刷教材で指定された「学習課題」に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、心理と教育コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1570340 **情報社会のユニバーサルデザイン（'19）** 〈３１０〉 **広瀬　洋子** （放送大学特任教授） **関根　千佳** （放送大学客員教授 美作大学客員教授） **「情報社会のユニバーサルデザイン（'14）」の単位修得者は履修不可** 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）6:00 ～ 6:45　（231ch） （木）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　91.8点 2026年度1学期　93.5点	**［情報コースと共用］** 情報技術の進展により、情報は現代社会において大きな意味を持つ。情報は、まちづくり、ものづくり、教育、交通など、生活のあらゆる場で不可欠なものである。しかし、現代社会においては、多様なニーズを持つ人々が、情報、教育、放送メディア、社会活動などに「アクセス」することの重要性に対する認識が高まっている。この講義では、情報や教育のアクセシビリティを中心に、国内外の状況、支援技術やユニバーサルデザインの状況を理解し、高齢化、情報化の進む21世紀における人間と情報の在り方について考える。 ※インターネット接続が可能であること。
1570390 **ユーザ調査法（'20）** 〈３２０〉 **高橋　秀明** （放送大学教授） **※この科目は「ユーザ調査法（'16）」の改訂科目です。** **「ユーザ調査法（'16）」「情報機器利用者の調査法（'12）」の単位修得者は履修不可** 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）6:00 ～ 6:45　（231ch） （土）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　82.3点 2026年度1学期　88.5点	**［情報コースと共用］** コンピュータやインターネットが普及するにつれて、私たちはさまざまなハードウェアやソフトウェア、サービス、そしてシステムに取り巻かれて生活するようになった。こうしたものを私たちにとって便利で使いやすいものとするためには、まず、それらを利用する情報機器利用者（ユーザ）についての的確な理解を得ることが大切であり、そうした情報を得たうえでシステムの設計を行うことが必要である。本科目では、そのための調査法を多面的に取扱い、情報学のための研究方法の基礎として位置づける。 ※この科目では、心理学的な概念や手法を利用することが多いので、受講者は、「心理学研究法（'20）」「知覚・認知心理学（'23）」などを受講しておくことが望ましい。また、統計的な手法を利用することもあるので「身近な統計（'24）」「心理学統計法（'21）」を受講しておくことも望ましい。なお、「情報機器利用者の調査法（'12）」「ユーザ調査法（'16）」の既修者は単位としては認められない。 ※全15回を改訂しています。
1519328 **子どもの人権をどうまもるのか（'21）** **ー福祉施策と実践を学ぶー** 〈３１０〉 **山縣　文治** （放送大学客員教授 大阪総合保育大学特任教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）7:30 ～ 8:15　（231ch） （土）13:30 ～ 14:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　79.7点	**［生活と福祉コースと共用］** 人口構造と家族構造の変化の中で、わが国の子どもを取り巻く環境も変化し、多くの新たな問題が生じている。本講義では、子どもの人権をまもるための社会的方策と具体的な実践について述べる。子どもの貧困、虐待、保育、障がいのある子どもへの支援、ひとり親家庭や若者の問題など関連する分野にも視野をひろげ多角的に子どもの問題を取り上げる。子ども家庭福祉関連施設や機関の現状、働く人々が抱える問題、歴史的考察、国連の動向や先進諸国の取り組みなどを紹介しながら、われわれが取り組むべき課題と解決策について、受講者とともに考えたい。 ※本科目は、子どもに関する人権と福祉を取り扱う科目である。これらに関する理解を深めるため、人権や福祉に関する関連科目を合わせて受講されることを期待する。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579339 教育のためのICT活用 ('22) 〈３１０〉 中川　一史 （放送大学教授） 苑　復傑 （放送大学教授） ※この科目は「教育のためのICT活用 ('17)」の改訂科目です。 「教育のためのICT活用 ('17)」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (火) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)3時限 2025年度2学期　90.0点 2026年度1学期　88.8点	［情報コースと共用］ 初等中等教育におけるICT、高等教育におけるICTを活用した授業、ICTを活用した障害者のための教育、教育におけるeラーニングの活用など、ICTと学校教育に関する基礎知識を具体的な事例にそくして扱う。 ※「教育のためのICT活用 ('17)」の単位修得者は受講できない。 ※全15回を改訂しています。
1579363 メディア論 ('22) 〈３２０〉 水越　伸 （放送大学客員教授 関西大学教授） ※この科目は「メディア論 ('18)」の改訂科目です。 「メディア論 ('18)」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 6:00 ～ 6:45　(231ch) (金) 12:00 ～ 12:45　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)1時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　85.7点	［情報コースと共用］ 2020年代、社会のあらゆる出来事はメディアに媒介されて生じ、世界のすべての国や地域はメディアを介して相互依存するようになった。コミュニケーションの「媒（なかだち）」としてのものやシステムであるメディアのあり方が、私たち自身や世界のあり方を大きく規定するようになった。そうしたなかで、私たちはメディアについての新たな思想・理論を必要としている。この講義では、メディアを時間と空間という二軸のなかに位置づけ、新しいメディア論の相貌を描き出していく。 ※日常生活で当たり前のように思われていることがらを批判的にとらえなおすことができるセンスと、学問をたんなる「勉強」としてとらえるのではなく、歴史的、あるいは空間的な想像力をめぐらして、現実社会に対して働きかけるための「批判的実践知」としてとらえる度量を持つ学生の履修を期待している。 ※全15回を改訂しています。
1519417 ソーシャルシティ ('23) 〈３２０〉 川原　靖弘 （放送大学教授） 鈴木　淳一 （放送大学客員准教授 株式会社電通グループ 電通イノベーションイニシア ティブプロデューサー職） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 17:15 ～ 18:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　89.1点	［生活と福祉コースと共用］ 人のコミュニケーションによるまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されている。本講義では、まちの住民、来街者、運営者それぞれの視点からみた、持続的なまちづくりの社会的意義について論じる。また、まちづくりにおいて導入が進められているICT（情報通信技術）について解説し、生活者の行動把握、まち空間のソーシャルグラフの生成、サステナブルなまちづくりへの活用などについて、事例を交えながら紹介する。 ※関連する科目として、「人間・環境情報とDX ('25)」「地理空間情報の基礎と活用 ('27)」がある。
1519492 障害者の自立と制度 ('24) 〈３１０〉 松井　彰彦 （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 川島　聡 （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 7:30 ～ 8:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)5時限 2025年度2学期　81.8点 2026年度1学期　86.8点	［生活と福祉コースと共用］ 本講義は、障害者の自立と制度を中心に、特に経済学と法学の観点から、障害者の日常生活・社会生活における困難や制限を改善・解消するアプローチについて理解を深めることを目的とする。 この科目は、福祉領域の専門科目として位置付けられるが、障害者の自立と福祉に関する理論・事例・制度を広く取り上げているので、一般市民、障害者とその家族、医療・福祉・教育などの専門職のみならず、さまざまな一般の事業者・事業主をも受講対象として想定している。 ※予備知識はとくに必要としない。
1559419 フィールドワークと民族誌 ('24) 〈３２０〉 大村　敬一 （放送大学教授） 中空　萌 （放送大学客員教授 筑波大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)3時限 2025年度2学期　83.1点 2026年度1学期　87.7点	［人間と文化コースと共用］ グローバル化が進展した今日の世界では、「人新世」という概念に象徴されているように、人類と地球の活動がもつれ合っていることが明らかになり、人類は地球規模に拡張した自らの活動を地球環境との関係の中で考える必要に迫られている。こうした現状にあって、人類の過去と現在の普遍性と多様性を考えることを通して、その未来を切り拓こうとする文化人類学の重要性が高まっている。それでは、今日の文化人類学はどのように調査・研究を実践しているのだろうか。この講義では、講師たち自身の経験に基づいて、文化人類学を基礎づけているフィールドワークと民族誌の現状を具体的に紹介する。 ※専門科目「「人新世」時代の文化人類学 ('20)」が20年度よりテレビ科目として、導入科目「総合人類学としてのヒト学 ('18)」が18年度よりラジオ科目として、大学院科目「文化人類学の最前線 ('21)」が21年度よりオンライン科目として開設されているので、併せて履修することが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579460 **データの分析と知識発見（'24）** 〈３２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **※この科目は「データの分析と知識発見（'20）」の改訂科目です。** **「データの分析と知識発見（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）6:00 ～ 6:45　（231ch） （水）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.2点	**［情報コースと共用］** 現在、ICTの進歩に伴い、大量のデータが収集、蓄積され、それを元に大量の計算がなされ多くの情報・知識を得ることができるようになった。現在氾濫するデータや情報にどう接し、それとどう付き合っていくべきなのか、また、そういった情報を抽出するためにはどういった処理をすれば良いのか、といった事について、具体的に演習を通して身につけることを目指す。 ※データ分析の手法を説明するとともに、Rを用いて実際の分析の手順についても説明する。理解するには大学初年次程度の数学の知識や基本的なパソコン操作が行えることを前提として講義を行う。 ※全15回を改訂しています。
1559397 **博物館情報・メディア論（'25）** 〈３１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） **近藤　智嗣** （放送大学副学長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　85.0点 2026年度1学期　83.9点	**［人間と文化コースと共用］** 多様な博物館の具体的な事例を通して、「メディアとしての博物館」の観点から、まず博物館の情報とメディアとは何かを考え、急速な発展を視野に入れつつ、情報とメディアに関する手法、技術、理論、利点、問題点などを包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とし、同時に、情報に関心のある学生等、一般の受講者もターゲットとする。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。
1559400 **博物館展示論（'25）** 〈３１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）10:30 ～ 11:15（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　86.9点 2026年度1学期　77.0点	**［人間と文化コースと共用］** この講義では人類史と自然史、およびそれらに向き合う科学や美術が、いかにして博物館の展示として表現されるのかを、事例を通じて理解するとともに、展示のもつメッセージ性について学ぶ。まず、博物館の種類、展示の手法、展示デザイン、展示によるコミュニケーションなどの概要を学ぶ。次に日本と世界の事例を通して、大学における研究公開、人類史・美術・自然史、および災害に見る自然と人間の関係が、どのようなコンセプトのもとに制作され、どのようなメッセージが発信されるのかを理解する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1519522 **人間・環境情報とDX（'25）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **片桐　祥雅** （放送大学客員教授 応用生化学研究所研究副所長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　85.2点	**［生活と福祉コースと共用］** 急速に深化しつつある人工知能を背景に、日常生活空間の様々なデジタルデータから有益な情報を抽出し蓄積した知識を共有化しITを通じて利用する社会が到来しようとしている。本科目では、こうした深化しつつある人間および生活環境に係るデジタルトランスフォーメーションを理解するための基盤技術とその適応方法を具体的事例を踏まえて学ぶとともに、技術の限界を知り、打破するための技術を展望する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1539671 **マーケティング（'25）** 〈３１０〉 **安藤　和代** （放送大学客員教授 千葉商科大学教授） **石井　裕明** （放送大学客員准教授 早稲田大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）0:45 ～ 1:30　（231ch） （水）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　87.6点 2026年度1学期　79.1点	**［社会と産業コースと共用］** マーケティングとは何か。市場創造のための総合的な活動、売れ続ける仕組み作りと解説されるように、人々や社会のニーズや課題を見つけ出し、それらを充足あるいは解決する手段や仕組みを提供することで、市場を創造・維持・発展させる活動のことである。本講座ではマーケティングの初学者を対象に、マーケティングの全体像、基礎的な概念や理論について、事例を交えて解説する。またデジタル化や社会課題の顕在化など企業を取り巻く環境の変化に対するマーケティングでの取り組みなど、今日的なテーマについても取り扱う。 ※事前学習として、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を確認し、事後学習として、印刷教材で指定された課題等に取り組むなど、印刷教材を用いた事前事後の学習で、より高い学習効果が期待できる。 ※また「経営学入門（'24）」を履修していることが望ましい。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559435 **博物館資料保存論（'25）** 〈３１０〉 **日髙　真吾** 〔放送大学客員教授 国立民族学博物館教授〕 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　91.2点 2026年度1学期　90.2点	**［人間と文化コースと共用］** 博物館は、文化の集積庫であり、博物館に収蔵される博物館資料は、人類共通の財産といえる。それらの博物館資料は、現代を生きる人びとがより健全で豊かな社会を構築するための重要な資源であり、教材である。そして、次世代の人びとが現在と同様に博物館資料を活用できるよう、しっかりと保存し、継承していくための環境を整えなければならない。博物館資料保存論では、こうした博物館資料の保存・活用・継承のプロセスについて、さまざまな博物館における資料保存の活動事例を通して、その理念を理解し、必要な知識や技術について学ぶ。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1579479 **生活を支えるコンピュータ技術（'25）** 〈３２０〉 **葉田　善章** （放送大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）21:45 ～ 22:30　（231ch） （金）13:30 ～ 14:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　77.0点 2026年度1学期　83.9点	**［情報コースと共用］** コンピュータはハードウエアとソフトウエアが組み合わさって初めて動作が実現される装置である。私たちの社会は、コンピュータ技術の進展とともに、さまざまなモノにコンピュータが搭載されるIoT化が進み、コンピュータが提供する多種多様なサービスによって活動が支援されるようになった。本科目は、IoT社会実現の鍵となるコンピュータの基本的な動作、オペレーティングシステムが持つ機能、コンピュータにより実現されるサービス、AIなどによって進むハードウエアの変革、データにより高度化するサービスについて学ぶ。 ※放送教材による学習に先立ち、印刷教材による学習を行うこと。事後学習として、放送教材、印刷教材の不明点を踏まえ、現状の技術動向や技術的な課題について自分で調査して明らかにするとともに、印刷教材の課題に取り組むこと。 ※必須ではないが、「情報理論とデジタル表現（'19）」「デジタル情報の処理と認識（'22）」「ネットワークとスマート社会（'27）」「コンピュータ通信概論（'24）」といった、コンピュータで取り扱う理論や、コンピュータ、ネットワークに関連する科目を受講していることが望ましい。
1579517 **情報デザイン（'26）** 〈３１０〉 **伏見　清香** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）6:00 ～ 6:45　（231ch） （月）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2026年度1学期　92.5点	**［情報コースと共用］** 現代社会では、だれもが発信者になることができる。データを収集、選択、編集し、情報に形を与えて発信をする。その活動がデザインであり、設計とも言い換えることのできるこのプロセスは、社会で仕事をする際や、研究を進める場合にも不可欠である。この授業では、私たちの生活を取り巻く情報デザインの事例を取り上げながら、導入の後、情報デザインの基礎を学び、続いて各論を説く。さらにその展開を講義する。情報デザインは、科学技術の進歩とともに、常に広がり、進化し続けている。 ※放送教材による学習の前後に行うべき印刷教材による学習について：事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に、日常生活における自身のデザイン行為について考えてみてください。事後学習としては、自身の生活をより豊かにするデザイン活動について考えてみてください。
1569430 **生物の進化と多様化（'26）** 〈３２０〉 **二河　成男** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　73.8点	**［自然と環境コースと共用］** 地球上で誕生した生物は40億年近くかけて進化し、今日では大きな生物多様性が見られるようになった。この生物の変遷について、生命の誕生から、細胞の進化、多細胞化、体制の進化、様々な生物の繁栄や絶滅、そして人類の誕生に至るまでを紹介する。生物進化の仕組みについては、ダーウィンによる自然選択説や木村資生による分子進化の中立説の進化理論の基盤に加えて、地質学的あるいはゲノム情報学的手法や栽培植物などに見られる人為的な変化も解説する。進化生物学の入門として生物の進化と多様化について総合的にみていく。 ※各回の学習では，放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたテーマやキーワードを中心に用語を把握すること。事後学習としては教材で強調された内容を中心に復習し，理解を深めること。分からないことがあれば，種々の啓蒙書やインターネットを活用しよう。生物学辞典や国語辞典も用語の理解に活用しよう。
1539760 **持続可能な社会のための財政学（'26）** 〈３１０〉 **佐藤　一光** （東京経済大学教授） **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）18:45 ～ 19:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2026年度1学期　78.2点	**［社会と産業コースと共用］** 本科目は＜持続可能な社会＞を実現するために，”役に立つ”学問としての財政学を学ぶことを目的としている。財政学を学ぶには、国家の機能を理解するために膨大な知識や理解が整理された”体系的な学習”が必要である。他方で、体系的な学習はそれらを全て学習してはじめて現実への応用が可能となるため、実際の社会問題にどうアプローチすることが可能なのか学習中には分かりにくいという欠点がある。そこで本科目では特定の社会問題から＜逆引き＞して、その問題を考えるために必要な財政学の知識を補給するという講義方法を採用する。 ※本講義は初学者向けに構成されており、受講にあたって特別な知識は不要である。事前学習として教科書をよく読んでおくこと。講義受講後の事後学習として演習問題を解いて、解答例と比較検討を行うこと。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519611 今日のメンタルヘルス（'27） ―健康・医療心理学の 実践的展開― 〈３１０〉 糸川　昌成 （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （日）23:15 ～ 24:00　（231ch） （日）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限	［生活と福祉コースと共用］ メンタルヘルス（＝人の心の健康）を支える力は、ライフサイクルの中で養われ、人と人とのネットワークの中で維持されるものである。この科目では、そのような健康な力を育むメカニズムを学ぶとともに、破綻の結果として生じる精神疾患のあらましを知り、生活の場において生じるさまざまな問題の現状と対策を考えていく。メンタルヘルスの危機が叫ばれている今日、喫緊のテーマを扱うものである。 ※概説的な科目であるので、特にあらかじめ履修しておくべき科目はないが、関心に応じて精神医学や臨床心理学など関連分野について学習することを勧めたい。 事前事後学修：事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては精神医学や臨床心理学の関連書などを学んでほしい。
1519638 持続可能な社会への システム思考（'27） 〈３１０〉 高橋　真吾 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 喜多　一 〔放送大学客員教授 京都大学名誉教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （木）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限	［生活と福祉コースと共用］ 地球規模の環境問題や我が国での人口減少など、現代社会はその持続可能性が問われています。しかしながらこれらの問題はさまざまな要因が複雑に関係しているため社会をシステムとして捉え、可能な対応を考えなければなりません。本科目では複雑な対象をシステムとして捉えるとともに、そこでの可能な対応を考える基本的な考え方を具体例を挙げながら学んで行きます。 ※事前学修として放送教材での学習に先立って印刷教材で授業内容を確認し、授業内容についての問いかけについて考えておくこと。また、放送教材の内容については、ノートを取るなどし、事後学修としては印刷教材と併せて学習内容を再確認すること。
1519646 認知症と生きる（'27） 〈３１０〉 井出　訓 （放送大学教授） 矢吹　知之 〔放送大学客員教授 高知県立大学教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （土）23:15 ～ 24:00　（231ch） （土）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限	［生活と福祉コースと共用］ 近年の高齢者数の増加に伴い、健康な高齢者ばかりではなく、疾病や障害を持ちながら生活を続ける高齢者の数も増加している。加齢に伴い増加する認知症高齢者の数は2025年に471万人、認知症の前駆段階と目される軽度認知障害が564万人と発表されている（2024年）。このようななか、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる社会を目指し「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（2024年）が施行された。この法律は、誰しもが「認知症と生きる」共生社会を実現するための理念が示されたものである。本科目では、認知症と生きる共生社会の実現に軸足を置き、認知症ケアのこれまでの歴史を振り返りつつ、予防、診断や検査、ケアの実際を理解し、最新の実践事例などを踏まえ、「認知症と生きる」ことを学ぶ。そして、認知症を自分事として捉え、「支援する−される」という立場を超えた認知症の理解を深める。 ※受講に先立つ予備的な専門知識は特に必要としないが、各々の関心に応じて広く関連事項を学んでいくことを期待する。また、それぞれが暮らす地域での取り組みなど身近な問題として視野をひろげつつ考察を深めてほしい。事前学修としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語の把握と、インターネットなどを活用して用語の意味等を調べておくこと。事後学修としては、印刷教材の各章末にある課題に取り組むこと。
1562959 統計学（'19） 〈３２０〉 藤井　良宜 〔放送大学客員教授 宮崎大学教授〕 「統計学（'13）」 の単位修得者は履修不可 2019年度開設科目	2	ラジオ （金）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　84.4点 2026年度1学期　81.1点	［自然と環境コースと共用］ データの特徴を表現する記述的な統計手法については、すでに学習していることを前提として、次のステップである確率的なバラツキを考慮した統計解析の基本的な概念を深く理解したり、これから統計解析を実際に行ったりすることを目指す人々をターゲットとする。内容としては、母集団と標本の関係をベースにして、信頼区間による推定方法や統計的検定などの統計的推測の基本的な概念について詳しく解説する。さらに、回帰分析や因子分析などの多変量解析の手法の基本的な考えについて、その手法の特徴に焦点を当てて説明をする。 ※あらかじめ「身近な統計（'24）」の内容を学習しておくことが望ましい。
1559290 博物館教育論（'22） 〈３２０〉 大髙　幸 〔放送大学客員准教授 和光大学非常勤講師〕 寺島　洋子 〔放送大学客員准教授 国立西洋美術館客員研究員〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （日）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2025年度2学期　73.8点 2026年度1学期　77.6点	［人間と文化コースと共用］ 20世紀における博物館は主に資料（モノ）のためにあったが、今日の博物館は利用者（ヒト）のためにあると言われている。博物館は資料の収集、保管、調査研究、展示を含む教育、広報を含む運営など、博物館機能のすべてにおいて、教育的役割を重視する必要に迫られている。本講座では、博物館利用の教育的意義と課題を学び、教育的役割を中心に据えた利用者のための博物館のあり方について考察する。 ※「博物館概論（'23）」を始めとする一連の博物館諸論や、教育学、社会学に関する学際的領域を学ぶとともに、自己の研究領域における博物館の役割を常に意識しながら本講座を学ぶことが望ましい。特に、受講者は様々な博物館を利用し、講義内容を考察することが必要である。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519409 リスクコミュニケーションの探究（'23） 〈３２０〉 奈良　由美子 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （土）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　83.5点 2026年度1学期　84.9点	［生活と福祉コースと共用］ 度重なる自然災害、さらには新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックと、リスクコミュニケーションの必要性が指摘される事象は枚挙にいとまがない。この科目では、リスクコミュニケーションの考え方、具体的手法、多様な主体の関わり方等について、具体的な事例（自然災害、感染症、原発事故、食品問題、AIなど）をとりあげながら講義を行う。
1559303 現代に生きる現象学（'23） ―意味・身体・ケア― 〈３２０〉 榊原　哲也 （放送大学客員教授 東京女子大学教授） 本郷　均 （放送大学客員教授 東京電機大学特定教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （木）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　67.7点 2026年度1学期　67.7点	［人間と文化コースと共用］ 現象学は20世紀初頭、フッサールによって創設された哲学だが、その後、時代に要請された問いに応答しつつ、「現象学運動」と呼ばれる独自の多様な思想運動として展開された。それはこの哲学が「事象そのものへ!」を標榜することで、むしろさまざまな事象に導かれ、「事象そのものの方から」思考を育むからである。本科目では現代に生きる現象学の可能性をさぐるため、フッサールとドイツでの現象学の展開の概要を押さえ、フランスにおける現象学の独特の展開を辿り、最後に現代における現場への展開として「ケアの現象学」を考察する。それにより受講生が自らの現場で現象学的思索を育めるようになることを目指す。
1559346 博物館経営論（'23） 〈３２０〉 佐々木　亨 （放送大学客員教授 北海道大学名誉教授） 今村　信隆 （放送大学客員教授 北海道大学大学院教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　85.9点 2026年度1学期　84.3点	［人間と文化コースと共用］ 博物館は、コレクションや建物、学芸員など職員が存在するだけでは成り立ちません。来館者が展示などを体験し、満足して帰り、その後リピートしたり、家族に来館を勧めたりする行動につながることが大切です。さらに、博物館に足を運ばない地域住民に、その存在意義を知ってもらうことはもっと重要なことです。そのために、博物館経営は必須の概念です。ここでは、博物館経営に欠かせない組織や人材、経営手法・形態、連携などについて学びます。学芸員資格取得を目指す方は、この科目が必須となります。 ※学芸員資格取得を目指す方は、「博物館経営論（'23）」を履修する前に「博物館概論（'23）」を履修することが望ましいです。
1579444 情報化社会におけるメディア教育（'24） 〈３２０〉 苑　復傑 （放送大学教授） 中川　一史 （放送大学教授） ※この科目は「情報化社会におけるメディア教育（'20）」の改訂科目です。 「情報化社会におけるメディア教育（'20）」の単位修得者は履修不可 2024年度開設科目	2	ラジオ （日）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　94.7点 2026年度1学期　91.7点	［情報コースと共用］ 本科目は情報化社会におけるメディアと教育のあり方に関して、第1回から第9回までは初等中等教育および高等教育において、ICTがどのように活用されているかについて学び、第10回から第15回にかけては、さらにメディアを用いる教育の意味、メディア・リテラシーの実際とその意味を学ぶ。 ※全15回を改訂しています。
1539582 行政学講説（'24） 〈３２０〉 金井　利之 （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （金）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式（郵送試験） 提出期間　7月14日（水）～18日（日）《必着》 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.1点	［社会と産業コースと共用］ 現代日本の行政を念頭に、行政において現れる様々な人間類型を取り出して、多角的に講説する。受講者として想定しているのは、行政に対してサービス確保を需要する個人であるが、同時に、統治者として行政に対してサービス確保のための活動を要求する個人市民でもある。個人はサービス享受者であるとともに、行政から見れば被治者である。しかし、個人は同時に、サービス提供者であるとともに、行政に対する統治者の立場でもある。このような人間を、市民、国民、住民、人口、家族、世帯、事業者、職業人、職員、受給者、公衆、地権者、素人、個人の観点から論じる。 ※義務教育程度の知識で充分である。人間として存在・生活する観点から、行政に対して、違和感でも親近感でも構わないので、行政に一定の関心を持ち、行政の実態に対して理解しようとする意欲と態度があればよい。できれば、自らの生活を見つめ直し、どのようなサービスを享受し、また、享受していないか、あるいは、どのようなサービスを提供し、また、提供していないかを考えることが期待される。そのうえで、具体的に行政との相互作用の体験を回顧・検証し、あるいは、その体験がない場合には、新たに持つことが望ましい。 ※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519530 リハビリテーション（'25） 〈330〉 金田　嘉清 （放送大学客員教授 藤田医科大学教授） 櫻井　宏明 （放送大学客員教授 藤田医科大学教授） 「リハビリテーション（'19）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ （火）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2025年度2学期　90.4点 2026年度1学期　92.0点	［生活と福祉コースと共用］ 現代は、医学医療技術の著しい進展によって平均寿命が延長し超高齢化社会となっている。医療・福祉・健康・予防の広い領域でリハビリテーション医療の必要性が高まり続けている。本講義では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士にとどまらず、リハビリテーションチームとして関わる専門職種（看護師や義肢装具士、社会福祉士など）に向けてリハビリテーション医学・医療の知識や技術を分かりやすく解説していく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1539655 西洋政治思想の文脈（'25） 〈320〉 木村　俊道 （放送大学客員教授 九州大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （木）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　73.3点 2026年度1学期　73.5点	［社会と産業コースと共用］ 古代ギリシアから近代に至る、「西洋」を舞台とした政治思想の歴史を探究します。プラトンやアリストテレスをはじめとする「古典」と対話するとともに、「政治」が語られた時代の流れや背景といった歴史の「文脈」に着目します。これにより、西洋文明の思想的な基盤となった様々な「物語」を読み直し、そこで育まれた政治的な教養を明らかにします。 ※高校卒業程度の世界史や倫理、政治経済の知識を有していることが望ましい。 放送教材による学習の前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としてはシラバス や印刷教材に示された各回のテーマや目標、ポイント、キーワードを手掛かりに各章の内容や議論の流れを把握すること。事後学習としては印刷教材を読み直し、参考文献に目を通すなどして理解を深めること。
1539680 NPO・NGOの世界 （'25） 〈310〉 大橋　正明 （放送大学客員教授 恵泉女学園大学名誉教授） 利根川　佳子 （放送大学客員准教授 早稲田大学准教授） ※この科目は「NPO・NGOの世界（'21）」の改訂科目です。 「NPO・NGOの世界（'21）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ （日）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限 2025年度2学期　83.4点 2026年度1学期　77.8点	［社会と産業コースと共用］ 現代のグローバルな諸課題（貧困と開発、人権、ジェンダー、環境など）におけるNGO（非政府組織）あるいはCSO（市民社会組織）への役割はますます注目されている。特に国連の持続可能な開発目標（SDGs）実現に当たっては、現場での活動とともに政策提言という点でもNGO･CSOの役割は不可欠になっている。この科目では、SDGsを踏まえつつ、特に貧困削減・国際開発におけるNGO・CSOの活動に関する理解を深め、日本の現状と世界的動向や、アカウンタビリティ、政府との関係といった直面する課題についても論じる。 ※関連する新聞記事などに対し、自分で考えてみましょう。身近にどんなNGO・CSOがあるのか注意を払ってみましょう。また良い機会があれば、それらのNGO・CSOに会員や寄付者あるいはボランティアなどとして参加してください。それによって、この講義に対する理解が深まります。 ※事前事後の学習についてですが、放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行って下さい。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するようにして下さい。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んで下さい。 ※改訂回は第3、7、8、9、10、13、14回です。
1519590 日本の家族問題を考える（'26） 〈320〉 下夷　美幸 （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　80.1点	［生活と福祉コースと共用］ 個人にとって家族は、そのLife（生命、生活、人生）を支えるものであるとともに、葛藤や紛争をもたらすものでもある。本講義では、家族をめぐる現代的な問題や事象に焦点をあて、問題の実態と背景について検討し、問題解決に向けた社会的課題について考える。さらに、家族問題の検討を通して、「私たちはどのような社会に暮らしているのか」を問い、日本社会の特徴と今後の課題へと視野をひろげる。 ※履修するにあたり、必要な予備知識は特になし。 「現代社会のなかの家族（'26）」とあわせて学習することを推奨する。 事前学習として、放送教材による学習の前に印刷教材を読み、問題の全体像を把握すること。事後学習として、放送教材による学習後、再度、印刷教材を読み、理解を深めるとともに自らテーマに関わる問いを立て、考察すること。
1519581 精神疾患とその治療（'26） 〈330〉 石丸　昌彦 （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） 糸川　昌成 （放送大学教授） 「精神疾患とその治療（'20）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設科目	2	ラジオ （木）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2026年度1学期　88.3点	［生活と福祉コースと共用］ 精神医学の診断や治療の基本的な考え方を展望し、代表的な精神疾患の症状・経過・治療などについて解説するとともに、関連法規や社会制度の概略を紹介する。 ※放送教材による学習の前後に、印刷教材とそれに記載されている参考文献等を参照しつつ自主学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を確認し理解すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んだり、参考文献で示された資料をインターネット等を活用して調べたりすること。 「今日のメンタルヘルス（'27）」や「精神看護学（'25）」、心理学領域の関連科目などとあわせて学習するとともに、この科目を履修した後に、大学院科目「精神医学特論（'22）」などに進んでいくことが望ましい。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519549 **現代社会のなかの家族（'26）** 〈３２０〉 **筒井　淳也** 〔放送大学客員教授 立命館大学教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2026年度1学期　81.0点	［生活と福祉コースと共用］ 現代社会において、家族は変化しつつある。子どもの数が減り、結婚しない人が増え、また高齢化している。こういった家族の変動は、いかなる時代の流れにあるのか。また、ジェンダー平等、生殖補助医療、虐待、仕事家庭の両立などの諸問題は、どのように理解できるのだろうか。家族に関わる仕事をする人のみならず、何らかの形で家族を生きる人に考えてほしい内容を講義する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。また、「日本の家族問題を考える（'26）」（学部開設科目）をともに学習することが望ましい。
1519573 **支える社会保障（'26）** 〈３３０〉 **丸谷　浩介** 〔放送大学客員教授 九州大学大学院教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2026年度1学期　88.1点	［生活と福祉コースと共用］ 社会保障制度は財政上重要であると同時に、暮らしに必要不可欠であるが、制度が複雑化したために、かえって我々にとって理解しにくいものとなってしまった。この講義では「人」を軸に、社会保障の財政、給付内容を理解し、使うことができる支援といった3つの側面から現代の社会保障を捉え直す。 この講義は日常生活と社会保障を中心に検討する。FPや社会福祉士、社会保険労務士の受験生にとっては入門的講義となる。これらの受験をしない人にとっても、日常生活をサバイブするために必要な知識とその考え方を教授する。 ※この講義は学部開講科目である。本講義の受講前後に「障害者の自立と制度（'24）」、「地域生活を支える社会福祉と法（'24）」などを受講することが望ましいが必須ではない。事前学習は印刷教材を読んでおき、不明な点などを関連資料で補充されたい。学修の時期により印刷教材・放送教材のデータや制度の適用関係が変更されている（施行されていない）場合がある。そのため、事後学習として本講義のデータの更新、制度改正、経過措置等を確認されたい。また、印刷教材記載の学習課題に解答し、不明な点は関連資料等で知識の補強等を行うこと（各回につき事前事後合計5時間）。
1519603 **超高齢社会を生きる（'27）** **―人生100年時代に** **求められるものは何か―** 〈３１０〉 **大和　三重** 〔放送大学客員教授 関西学院大学名誉教授〕 **澤田　有希子** 〔放送大学客員教授 関西学院大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	［生活と福祉コースと共用］ 本講義では人口減少により超高齢社会が進展する現状と課題を理解し、高齢者を支える様々な法制度について知識を得るとともに持続可能な高齢者福祉制度について考察する。高齢者のQOL維持向上の観点から地域で必要な社会資源やソーシャルサポートについてそのあり方を検討する。 ※印刷教材に示される統計や制度が、放送時点では必ずしも最新とは限らない。そのため、事前事後の学修においては、講義内容を踏まえつつ、自ら最新の統計や関連資料を確認し、現状との違いや変化を把握することが重要である。社会の出来事に関心を持ち、新聞やテレビ等のニュースを積極的に確認しておくことが望まれる。
1519620 **高等教育と障害（'27）** **―障害法からのメッセージ―** 〈３３０〉 **川島　聡** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （土）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限	［生活と福祉コースと共用］ 本講義は、全国の教職員及び障害のある学生（を含む高等教育の関係者）が、高等教育における障害のある学生の修学上の困難を改善・解消する際に依拠すべきである、障害法の判断基準を体系的に提示することを目的とする。障害法とは，障害者を対象とする法分野を意味する。本講義は、障害のある学生に対する医学的・心理学的な支援技術論を展開するものではない。本講義は，障害論・差別論・支援論・紛争論という「4つの論」から構成される。 ※本講義は、障害法（学）のアプローチから「高等教育と障害」というテーマを考えるために必要となる基本的な知識を提供する学部開設科目である。障害法の予備知識がなくても本講義を受けることは可能である。学生の事前学修として「障害」と「差別」と「高等教育」に関して自分自身でネットのニュース等を調べて関心を高めておくこと、学生の事後学修として授業で解説した内容を他の問題に応用して考えてみることが、それぞれ推奨される。
1539779 **イノベーション・** **マネジメント（'27）** 〈３１０〉 **伊藤　宗彦** 〔放送大学客員教授 神戸大学名誉教授〕 **※この科目は「イノベーション・マネジメント（'23）」の改訂科目です。** **「イノベーション・マネジメント（'23）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （木）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限	［社会と産業コースと共用］ 本講義では、イノベーション・マネジメントを初めて学ぶ受講生を対象に、イノベーションの本質を理解するとともに、その基礎的な用語や考え方を習得することを達成目標とする。本講義では、大きく、二つの側面よりイノベーション・マネジメントを考えていく。 まず、今まで世の中に存在していなかった新しいアイデアを生みだすというイノベーションの「創造性」について理解する。次に、引き出された抽象的なアイデアを、具体的な製品やサービスという形で実現する組織やそのマネジメントについて学ぶ。本講義では、基本理論を網羅し、事例を基にわかりやすく解説する。 ※事前学修として、指定テキストの該当章を通読し、キーワードを中心としたコンセプトマップを作成して理論の構造を整理してください（各回2時間）。事後学修では、実際の企業事例に関する記事やIR資料を各自で収集し、授業で学んだイノベーション理論を用いてその企業の戦略を分析・考察してみてください（各回4時間）。全15回で計90時間程度の学習を想定しています。 ※改訂回は7、8、9、13、15回です。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539787 サービスサイエンス（'27） 〈３１０〉 岡田　幸彦 〔放送大学客員教授 筑波大学教授〕 原　辰徳 〔放送大学客員准教授 東京大学准教授〕 ※この科目は「サービスサイエンス（'23）」の改訂科目です。 「サービスサイエンス（'23）」の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限	［社会と産業コースと共用］ 社会経済のサービス化が進み、さらにデジタル化による革新が求められる時代となった。サービスサイエンスは2000年代にアメリカで提唱され、1970年代に登場したサービスのマーケティング、1990年代に発展したサービスのマネジメントや原価計算、そして2000年代初頭に我が国で提唱されたサービス工学や2010年代に我が国で醸成されたサービス学（サービソロジー）を含む、学際的な先端領域である。本科目では、サービスサイエンスの入門的な内容と主要な議論を取り上げ、我が国サービス産業の生産性向上に貢献するリテラシーを教授する。 ※関連科目は学部の「経営情報学入門（'23）」「経営学入門（'24）」「マーケティング（'25）」であり、これらを履修していることが望ましい。また、日本サービス大賞、サービス産業生産性協議会、経済産業省サービス政策課、サービス学会のHPを事前に調べ、我が国サービスイノベーション実践の概要を理解しておくことが望ましい。事後学修として、サービスイノベーション・サファリのHPにある我が国サービスのベストプラクティス集を学び、本授業で学んだサービスサイエンスの視点から、成功の原理を考察してほしい。 ※改訂回は、1、6、10、11、12、13、14、15回です。
1579550 問題解決の数理（'27） 〈３３０〉 大西　仁 （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限	［情報コースと共用］ 本講義では、主に決定問題を数理モデルを用いて解く方法を解説する。問題の目的や制約条件を数理モデルで定式化することにより、計算機に問題を解かせることが可能になり、手計算では解けない複雑な問題でも解けるようになる。決定問題は、工学のみならず、日常生活、経営、行政等のあらゆる場面に現れる。実用レベルの問題は計算機で解く必要があり、そのためのソフトウエアも普及していることから、解法の数学的詳細より、具体的な問題を簡単な数式により定式化することに重点をおく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材で前提となる用語や数学的知識を理解すること。事後学修としては、印刷教材の演習課題を解き、その応用・発展問題等に取り組むこと。数理最適化法演習（'20）、ゲーム理論入門（'25）を事前に履修することを推奨する。
5570077 小学校プログラミング教育概論（'21） 〈３１０〉 中川　一史 （放送大学教授） 小林　祐紀※ （放送大学准教授） ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、 レポート（50%）の評価により行う。	［情報コースと共用］ 小学校プログラミング教育の学習指導要領の解説、位置づけや中学校、高等学校におけるプログラミングなどの解説から知識を習得するとともに、各教科での授業の実際や授業外の活動などの具体的な事例から理解を深めるようにする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750040 情報セキュリティの理論と基盤（'23） 〈３２０〉 菊池　浩明 〔放送大学客員教授 明治大学教授〕 上原　哲太郎※ 〔放送大学客員教授 立命館大学教授〕 「情報ネットワークセキュリティ（'19）」 の単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）と レポート（40%）に基いて評価する。	［情報コースと共用］ 情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質か深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 ※「情報セキュリティの現状と展望（'23）」との連続した受講が効果的である。 【参考文献】 『IT Textネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL：https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm）でご確認をお願いします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

心理と教育コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5570123 **情報セキュリティの現状と展望（'23）** 〈３２０〉 **上原　哲太郎** （放送大学客員教授 立命館大学教授） **菊池　浩明※** （放送大学客員教授 明治大学教授） **「情報ネットワークセキュリティ（'19）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）とレポート（40%）に基づき評価する。	**［情報コースと共用］** 情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質か深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 ※「情報セキュリティの理論と基盤（'23）」との連続した受講が効果的である。 【参考文献】 『IT Text ネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL：https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm）でご確認をお願いします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5530059 **社会科学で綴る伝記（'25）** 〈３２０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 伝記は一般にノンフィクションとされるが、現実にはフィクションを織り込んで綴られる場合が大半である。それに対し一人の人物に焦点を当て、フィクションを一切挟まずにその来歴を綴るには、社会科学の手法による調査や推論が大いに役立つ。本講では松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂）を参考文献とし、調査の手法および推論の方法、論述の手続きを紹介する。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像を見て学習を進めてください。また各回に設置されている学習活動の課題および解説につき不明な部分を残さないよう事後的に復習を行って下さい。各回の学習は最終レポートの部分であり、積み上げる形になっていますので、毎回、最終レポートで何を書くか全体像を考えておいて下さい。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修している学生同士で意見交換ができますので活用して下さい。 ※「開発経済学：アジア社会の変容（'24）」「海からみた産業と日本（'22）」「社会調査の基礎（'27）」「日本経済の比較史（'24）」等が社会科学の知識としては参考になるが、講義は主に以下の参考文献の内容を題材に説明を進める。 【参考文献】 松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5550050 **「日本語らしさ」とは何か（'25）** 〈３２０〉 **滝浦　真人** （放送大学教授） 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**［人間と文化コースと共用］** 地政学的・歴史的な経緯に言語学的特徴が相まって日本語が帯びるに至った性格のようなものとして、「日本語らしさ」を取り出し考察してゆく。いわゆる「日本語学」で扱われる領域やトピックとの重なりはもちろん大きいが、単に「日本語の仕組み」を講じるのではなく、“日本語で生きる・暮らす”ことと陰に陽に関わってくる側面に光を当て、日本語的なあり方について考える。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※2024年度までに開講した面接授業「日本語の性格」とは内容がかなり重複する（2025年度以降、面接授業の方を完全リニューアルする予定）。その他、関連する科目として以下があり、それぞれ内容に重複するところがある：「日本語学入門（'20）」「言語研究法（'19）」「新しい言語学（'18）」「日本語リテラシー（'21）」 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5550068 **博物館資料論（'25）** 〈３１０〉 **折茂　克哉** 〔放送大学客員准教授 東京大学駒場博物館助教〕 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（30%）、レポート（70%）の評価より行う。	**［人間と文化コースと共用］** 博物館の資料は、生き物資料を含め、極めて多様である。そのすべてを扱うことは不可能であるが、この講義では、多様な博物館の事例を取り上げ、さまざまな資料の特徴を把握し、資料の収集、研究、保管、飼育・管理、展示等に関する考え方、知識、技術等について学ぶ。第一義的には学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、幅広い教養として学習することができる。 ※シラバスの内容から判断して、様々な研究分野や学芸員資格に関係する各科目を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5530075 **市民生活と裁判（'26）** 〈３１０〉 **岩井　勝弘** 〔放送大学客員教授 岩井法律事務所弁護士〕 **小池　一利※** 〔放送大学客員教授 みとしろ法律事務所弁護士〕 **大西　雄太※** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **入江　彦徴※** 〔放送大学客員准教授 TMI総合法律事務所弁護士〕 ※は専門担当講師 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、レポート（25%）により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 本科目は、一般市民を対象として、裁判に関連する法律知識や実例を学習するものです。授業では、民事裁判の種類、構造、手続など、利用に必要な基礎知識を解説した上で、一般市民が一生の間に遭遇する可能性のある紛争を取り上げて、紛争の発生からその解決に至るまで、及び参考となる裁判例を分かりやすく解説します。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像を視聴し、学習を進めてください。そして、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。なお、オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※この科目の履修前、または後に「一般市民のための法学入門（'23）」、「民法（'22）」、「人生100年時代の家族と法（'23）」を履修することが望ましいです。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1579380 **ヒューマンインタフェース（'23）** 〈３２０〉 **増井　俊之** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **小池　英樹** 〔放送大学客員教授 東京科学大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　68.5点 2026年度1学期　87.6点	**［情報コースと共用］** コンピュータを人間が利用するための技術の歴史と現状を学び、何故そういう技術が使われてきたのか／どういう技術や社会が理想なのか／理想に近づくためにはどのような考察が必要なのか／などを幅広く学ぶ ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。

心理と教育コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1920022 **色を探究する ('23)** 〈４１０〉 **佐藤　仁美** （放送大学准教授） **二河　成男** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 9:00～9:45　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)4時限 2025年度2学期　81.9点 2026年度1学期　88.8点	人は、視覚的生き物とも言われている。視覚要素の代表の一つとして「色」がある。私たちは、色を通して、様々な表現をし、また、さまざまな影響を受けている。ヒトの言葉には、感情や状態を表す色を用いた言葉も少なくない。たとえば、「腹黒い」「赤っ恥」「黄色い声」など、その代表的に使われているものである。 本科目では、「色」というものに、文化的・物理的・生物的・精神的・芸術的・心理的視点など多角度からアプローチし、色の持つ意味を解き明かしていき、最終的に、私たちが住み心地・生き心地をよくする色の活用に結び付けていきたい。 ※以下が関連する科目である。 「初歩からの物理 ('22)」「初歩からの化学 ('18)」「住まいの環境論 ('23)」「生命分子と細胞の科学 ('19)」「現代を生きるための化学 ('22)」「宇宙の誕生と進化 ('19)」「太陽と太陽系の科学 ('18)」「コンピュータグラフィックス ('22)」「錯覚の科学 ('20)」「神経・生理心理学 ('26)」「知覚・認知心理学 ('23)」「社会・集団・家族心理学 ('26)」「臨床心理学概論 ('20)」「多文化共生のコミュニケーション ('24)」「初歩からの生物学 ('24)」「宮沢賢治と宇宙 ('24)」 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては心理と教育コース開設科目ですが、人間と文化コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1910078 **レジリエンスの科学 ('24)** 〈４２０〉 **奈良　由美子** （放送大学教授） **鈴木　康弘** （放送大学客員教授 愛知大学教授 名古屋大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 7:30 ～ 8:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)1時限 2025年度2学期　88.3点 2026年度1学期　88.4点	**[生活と福祉コースと共用]** レジリエンスとは、危機や逆境に対して適応し回復し転換する能力や特性、または現象や過程のことである。この科目では、レジリエンスの概念を解説したうえで、心のストレス、経営危機、パンデミック、自然災害、経済危機、生態系劣化などの危機や逆境に対する、個人、集団・組織、社会、地球というレベルの異なるシステムにおけるレジリエンスの実際を提示する。全体として、レジリエンスの現代的意義とこれを実現する手立てを考える講義とする。 ※関連する科目として、「今日のメンタルヘルス ('27)」、「災害を乗り越える防災基礎力入門 ('26)」、「日本の家族問題を考える ('26)」、「生物環境の科学 ('25)」の履修により、本科目の内容についての理解と考察が一層進むと思われる。
1950053 **情報技術が拓く人間理解 ('27)** 〈４２０〉 **仁科　エミ** （放送大学教授） **芝﨑　順司** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (水) 10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)6時限	**[情報コースと共用]** 情報通信技術の進展は、私たちの社会生活を大きく変貌させ、そのなかで生きる人々の思考・行動にも大きな影響を及ぼしている。一方、情報通信技術がいかに発展しようとも、それを利用する人間の生命現象としての情報処理のあり方は変わらない。現代社会で必須の教養となりつつある情報学の知見、そしてそれを実現している情報技術のもつ有用性、可能性、リスクについて、技術の側からだけでなく人間・社会の側から捉え、現代社会必須の教養として平易に解説する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学修としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている概念や事例等について確認しておくこと。事後学修としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。
1910051 **グリーフサポートと死生学 ('24)** 〈４２０〉 **石丸　昌彦** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） **山崎　浩司** （放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ (火) 22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)2時限 2025年度2学期　85.2点 2026年度1学期　91.3点	**[生活と福祉コースと共用]** 病気、自死、事故、災害、流産などによる大切な人との死別は、しばしばグリーフ（悲嘆）を引き起こす。グリーフは死生学の中心的なトピックの１つであり、本講義では、現代日本におけるグリーフの多様性と、グリーフサポートのあり方や展開について、理論と実践例を交えつつ解説する。受講生は、グリーフおよびグリーフサポートの理解を深め、自らのグリーフを捉え直す際に、また、家族、市民ボランティア、医療福祉専門職、行政職員などとしてグリーフサポートを実践する際に、押さえておきたい基本的な知識、態度、要点を学ぶ。 ※履修の条件や制約は特にないが、それぞれの関心に応じて、医学・看護学・心理学・社会福祉学・宗教学・社会学など関連分野の科目を広く学習することが望ましい。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。
5940010 **時間を究める ('23)** 〈４１０〉 **大橋　理枝** （放送大学教授） **佐藤　仁美※** （放送大学准教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終試験（48%）、及び第1回～第3回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいて評価する。	**[人間と文化コースと共用]** 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から時間について話して頂く。時間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する ('13)」「音を追究する ('16)」「色と形を探究する ('17)」「色を探究する ('23)」に連なる、多分野横断的な総合科目として構想する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5940028 **空間を考究する（'26）** **〈４１０〉** **大橋　理枝** （放送大学教授） **佐藤　仁美※** （放送大学准教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2026年度第２学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終テスト（48%）、及び第1回・第3回・第8回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいてにより行う。	**［人間と文化コースと共用］** 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から空間について話して頂く。空間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」と共に、多分野横断的な総合科目として開講する。 ※事前学習として各回の分野での空間の考え方などをキーワードなどを参考にして学んだうえで講義映像を視聴し、練習問題を解いてください。各回の教材の学習が終わったのちには事後学習として参考文献を読んだり練習問題や小テストの問題を解きなおしたりなどして下さい。 ※他の総合科目である「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」なども併せて受講すると、より幅広い視野が得られるであろう。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5950015 **AI技術を人と** **社会へとつなぐ（'27）** **〈４２０〉** **浅井　紀久夫** （放送大学教授） **岡崎　浩二※** （放送大学客員教授 東京都立産業技術 大学院大学特任教授） ※は専門担当講師 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** AI技術を導入し、利用事例を通してAI技術と人・社会との関係を考察する。まず、AI技術の導入では、データに基づく機械学習の手法についてAIの技術的進展から、機械学習の基礎および深層学習の基本原理、社会での利用・応用の注意点までを平易に解説する。次に、AI技術が世の中でどのように活用されているかを紹介し、AI技術と人および社会とのつながりを議論する。さらに、生成AIについて第2回以降に演習を用意し、簡単な具体的利用を通して生成AIの現状と使い方を知れるようにする。 ※【事前学修】AI技術が応用されている身の回りの事例を探し、シラバスの内容に基づいて自己学習に努めてください。 ※【事後学修】各回に設置されている学習活動の課題・解説について復習を行い、理解を深めてください。また、身の回りの問題に対して本授業の中で学習した生成AIの手法を試行してみましょう。 ※他の科目の受講は前提としませんが、「データサイエンス・リテラシ導入」「データサイエンス・リテラシ基礎」「データサイエンス・リテラシ心得」「データの分析と知識発見」「自然言語処理」「コンピュータビジョン」といった科目は参考になります。 第1回～第8回の講義映像は、インターネット配信公開講座『AI基礎』の内容と同じです。また、第9回の講義映像は、インターネット配信公開講座『言語生成AIの機能と社会への応用』の内容と同じです。 ※本授業には生成AIツールによる演習が含まれ、その実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。実行環境の作り方は、オンライン授業体験版の「AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）」を参照して下さい。 ※このオンライン授業では生成AIを使った演習が含まれます。18歳未満の方は保護者の同意が必要です。必ず、保護者の同意を得てから本授業科目の履修手続きを行って下さい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

社会と産業コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1730207 **社会経済の基礎（'25）** 〈２１０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （土）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　64.6点 2026年度1学期　69.2点	経済学の知識を持たない学生を対象に、社会経済につき説明を行う。 ※講義は、対談相手の質問に答える形式で進める。事前学習としてシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習として、「理論のまとめ」を印刷教材に示してあるので確認をするとともに、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1730240 **社会調査の基礎（'27）** 〈２１０〉 **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「社会調査の基礎（'15）」** **「社会調査の基礎（'19）」** **の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （木）14:15 ～ 15:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限	社会調査に関する基本的事項（社会調査の目的、歴史、方法論、各種調査方法とその長所短所、調査倫理など）を学習する。卒業研究や修士課程での修士論文作成のために、あるいは職務や市民活動などの中で社会調査を行おうとする学生に対し、問題関心や目的に沿った的確な方法で適切に調査を実施し、分析し、結果をまとめるための基本的な考え方を習得してもらうことを特に念頭に置いている。 ※社会調査に関する基本的事項を学ぶことに主眼を置いていますので、量的データの分析手法についてより深く学びたい場合は「社会統計学入門（'24）」やその他の統計学に関する科目を活用してください。事前学修としては印刷教材各章の要点についての自分なりの整理を、事後学修としては各種メディアで結果が報じられる社会調査について、その方法や調査内容について調べたり調査結果の解釈の妥当性について考察したりしてみてください。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉・心理と教育・情報コースで共用科目になっています。**
1730185 **社会統計学入門（'24）** 〈２２０〉 **林　拓也** （放送大学客員教授 奈良女子大学教授） **「社会統計学入門（'12）」** **「社会統計学入門（'18）」** **の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.3点 2026年度1学期　78.8点	現代社会において、それぞれの社会の実態や人々の行動・意識を明らかにすることを目的とした社会調査が数多く行われ、それに基づく分析結果がさまざまなメディアを通して提示されている。本講義では、社会調査に基づく分析結果を読みとるために必要となる統計学の基礎的な知識とともに、自分で分析を行おうと考えている履修者に対する分析の実践的側面も考慮した基本的な分析手法を扱う。具体的には、データの基礎集計、標本に基づく推測統計、2変数の関連分析、他変数を統制した関連分析について解説していく。講義の中では、実際のデータや分析例を紹介しつつ、必要に応じて統計量の計算手順も紹介していく。 ※本講義は、社会調査により得られたデータの分析を扱うので、「社会調査の基礎（'27）」（学部開設科目）を学んでおくことが望ましい。また、講義の中では、実際のデータに基づいて計算を行うことも多いので、あらかじめ電卓（平方根√の計算ができるもの）を用意しておくこと。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉コース・心理と教育コース・情報コースで共用科目となっています。**
1730193 **社会学概論（'25）** 〈２１０〉 **北川　由紀彦** （放送大学教授） **「社会学概論（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）14:15 ～ 15:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　92.9点 2026年度1学期　93.4点	社会学の基本的な考え方と基礎的な概念について解説するとともに、いくつかのテーマを取り上げ、社会学で試みられてきたアプローチや議論、知見などについて概観する。 ※主たる受講者として社会学を初めて学ぶ方を想定しています。「社会学概論（'21）」の後継科目です。 ※放送教材による学習の前後に事前学習・事後学習を行ってください。事前学習としては，印刷教材を読んで要点を整理してみてください。事後学習としては，教材内で紹介された用語や概念を用いて身の回りの社会事象について考察をしてみてください。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方において社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5730023 **社会科学の研究計画作成法（'26）** 〈２１０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） **李　鳴※** （放送大学特任教授） **北川　由紀彦※** （放送大学教授） **堀部　安嗣※** （放送大学教授） **桑田　学※** （放送大学教授） **白鳥　潤一郎※** （放送大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、レポート（30%）により行う。	学部における社会科学の修学で、卒業研究は受け身でない学びの始まりとなる。それまでの勉学の取組みは理解と暗記を柱としていたが、自分の関心に合わせみずから情報を集め、整理して、仮説を立てたり検証も試みてみたい。しかしそうした研究の計画は、初学者ほど規模が大きすぎたり、粗雑になるきらいがある。本講では「社会科学論文の書き方」以前に修得しておくべき論点に焦点を当て、適切な研究計画の立案に向けた基礎知識と考え方を説明する。 ※シラバスの内容から判断して事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。卒業研究の履修申請を考えている方はこの科目の履修とは別に卒業研究の申請書を作成することになりますので、その際には本科目で学習した内容をふまえご自分の関心や能力に合わせて申請文を作成・修正していってください。なお、本科目でレポートとして提出していただく研究計画は社会科学分野の研究を想定しています。 ※社会科学の研究には、「日本語アカデミックライティング（'22）」で説明されている日本語の書き方だけでなく、先行研究概説－仮説形成－論証－仮説の斬新さの説明という思考法が不可欠になります。 ※本科目において作成・提出する研究計画は卒業研究履修申請書そのものではありません。また、本科目の単位修得は卒業研究の履修許可を保証するものでもありません。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コース・情報コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1730169 **一般市民のための法学入門 ('23)** 〈２１０〉 **李　鳴** （放送大学特任教授） 2023年度設科目	2	ラジオ (金) 15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)4時限 2025年度2学期　69.8点 2026年度1学期　77.2点	法律は敬遠されがちであるが、社会生活において法は不可欠といっても過言ではない。本科目は、必ずしもこれから法学を志すわけではない一般市民を対象とする。講義においては、法の概念、日本の法文化の形成、法源から、法の分類、法令用語・条文解釈の方法、日本の裁判制度、公法、私法、社会法の代表的な実定法の概要まで、法学の全般にわたる基礎知識について、条文例、応用事例を用いて解説する。講義中に法律学者・大学教授、実務家の弁護士をゲストとしてお招きし、お話を伺うこともある。 ※この科目を履修した後に、民法、国際法、行政法、現代訴訟法等の法律学関係科目に進んでいくことが望まれる。
1730223 **日本国憲法 ('26)** 〈２１０〉 **曽我部　真裕** （放送大学客員教授 京都大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)6時限 2026年度1学期　67.9点	国内的・国際的な政治環境の変化、価値観の多様化などを背景に、社会の中で憲法について議論される機会が増えています。しかも、単に増えているだけではなく、議論されるテーマが多様化しています。本講義は、憲法の基礎知識を学んだ上で、現代的な論点にも触れ、考えて頂きます。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に印刷教材に目を通すこと。事後学習としては印刷教材を再読するとともに章末の課題に取り組むこと。
1730215 **政治学入門 ('26)** 〈２１０〉 **待鳥　聡史** （放送大学客員教授 京都大学教授） **「政治学入門 ('22)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ (火) 15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)4時限 2026年度1学期　75.3点	この授業は、社会科学系の教養科目として、主に現代日本の政治行政を素材として取り上げつつ、政治学的思考や分析方法について知る機会になることを意図している。 現代政治行政、とりわけ日本の政治や行政に関しては、生活実感に基づく価値判断やマスメディアからの大量の情報に流されてしまいがちである。しかし、安定した視座や基準を持つことでそれは避けられる。 政治学や社会科学を今後専門的に勉強する機会がない人にも、今日の学術的な政治分析のエッセンスを是非味わっていただきたい。 ※学習の前後に印刷教材を丹念に読むことに加え、事前学習として新聞やテレビから現代の日本と世界の政治課題について知識を得ること。事後学習として受講により得た視点から報道の内容を再検討する機会を設けること。なお、本科目は単独で履修できるが、他の政治学科目も同時受講すると理解が深まる。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コース・人間と文化コースで共用科目となっています。**
1730231 **会社法入門 ('27)** 〈２１０〉 **高田　晴仁** （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (水) 14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)1時限	経済社会の基本法である会社法について、概要を講義します。初心者、入門者を念頭にやさしく解説します。 ※この科目を履修するにあたり「一般市民のための法学入門 ('23)」および「民法 ('22)」を既に履修していることが望ましいですが、必須ではありません。 事前学修として、印刷教材の各回の該当箇所を事前に読むことを心がけてください。その際、わかりづらいところや疑問点に印をつけるなどして、授業での理解がより深まる工夫をするとよいと思います。また、事後学修として、授業を通じて学んだ事柄を箇条書きにしたり、表にまとめるなどすると、より効果的に知識を身につけることができるでしょう。
1730177 **経営学入門 ('24)** 〈２１０〉 **原田　順子** （放送大学教授） **松井　美樹** （放送大学特任教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ (日)15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)6時限 2025年度2学期　77.1点 2026年度1学期　83.2点	経営学をはじめて学ぼうとする受講者を対象として、ビジネスに従事する企業や組織のマネジメントに関する基礎概念や主要な理論・学説、その背景などについて解説し、企業経営を巡る現代的課題をとり上げ、その対応策を考えるための方法や手がかりを示す。新しい課題には、新しいアプローチが必要になるが、そのためにはビジネスのあり方やマネジメントの基本に立ち返り、先人が積み上げてきた理論的考察と経営実践から知見や洞察を得ることも有効な手段となる。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**

社会と産業コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5730015 **共生のための技術者倫理 ('24)** 〈２１０〉 **金光　秀和** （放送大学客員教授 法政大学教授） 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(60%)、最終レポート(40%)の評価により行う。	本講義では、近年の科学技術の動向や社会的関心を踏まえながら、技術者倫理について学際的に考察する。科学技術と人間・社会との共生にとって中心的な役割を果たす技術者を主たる対象として、技術者倫理の必要性、専門家としての仕事のあり方、技術が社会に及ぼす影響力、技術開発や技術使用の倫理的・社会的側面を考察する機会を提供する。また、今日のグローバル社会におけるさまざまな文化圏の技術者の共生も考察する。なお、本講義は技術者に加えて、より良い社会の実現を目指す市民を対象とした教養教育の一助を担うことも企図している。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コース・情報コースで共用科目となっています。**
1720120 **教育の社会学 ('25)** 〈２３０〉 **本田　由紀** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） **中村　高康** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (土) 13:30 ～ 14:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)5時限 2025年度2学期　60.9点 2026年度1学期　69.1点	**[心理と教育コースと共用]** 教育の社会学的研究に関する初学者を対象として、教育社会学の意義、研究方法、研究対象、主たる知見や今後必要とされる知見を15のテーマに切り分けて説明する。 ※高校卒業程度の知識を有することを求める。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としては印刷教材をよく読み、重要なキーワードや教材の内容を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された学習課題に取り組むこと。
1710265 **生活経済学 ('25)** 〈２１０〉 **大藪　千穂** （放送大学客員教授 岐阜大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ (日) 13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)2時限 2025年度2学期　69.2点 2026年度1学期　81.1点	**[生活と福祉コースと共用]** 生活をしていくには、生まれてから死ぬまで、また死んでからもある程度のお金がかかる。国全体の経済学については学ぶことが多いが、個人の生活の経済については、これまで個人的なのものとして、あまり学ぶことがなかった。しかし、人生にかかるお金と生活について学ぶことは、各人が生活をおくっていくにあたって極めて重要である。本講義では、生活経済の歴史、家計収支論、それぞれの世帯の家計、そして持続可能な社会のための生活のあり方について学び、自主的に生活を創造する知識を提供する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1710320 **健康への力の探究 ('27)** 〈２１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **中山　和弘** （放送大学客員教授 聖路加国際大学教授） **※この科目は「健康への力の探究 ('19)」の改訂科目です。** **「健康への力の探究 ('19)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ (金) 13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)1時限	**[生活と福祉コースと共用]** 私たちが健康になるためには、食事、運動などの生活習慣を整えることが重要と考えられてきた。しかし同じような生活を送っていても健康な人もいれば病気になる人もいる。ここには「健康への力」の不足・充足がかかわっていて、学術的にも少しずつわかってきている。本講義ではこの「健康への力」について様々な側面から整理し、わかりやすく解説をしていく。 ※「健康と社会 ('23)」を履修しておくことが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による学修を行うこと。事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※改訂回は全15回です。
1740172 **西洋哲学の根源 ('22)** 〈２２０〉 **納富　信留** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ (木)15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月15日(木)5時限 2025年度2学期　66.2点 2026年度1学期　67.2点	**[人間と文化コースと共用]** 古代ギリシア哲学は西洋哲学の原点として「哲学（フィロソフィー）」のあり方を示し、今日まで大きな影響を与えてきた。その歴史と哲学者たちの考えを学びながら、哲学の基本的な考え方を整理していく。まず、1100年にわたるギリシア哲学史を概観した上で、10の問題系（筋）をめぐる多様な見方とそれらの関係を検討する。また、その後、現代に至る社会と文化に古代ギリシア哲学がどう関わってきたかを考察することで、ギリシア哲学の現代における意義を学んでいく。 ※予備知識は特に必要としない。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1710222 **健康と社会 ('23)** 〈２１０〉 **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **※この科目は「健康と社会 ('17)」の改訂科目です。** **「健康と社会 ('17)」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ (木) 13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)5時限 2025年度2学期　81.7点 2026年度1学期　85.0点	**[生活と福祉コースと共用]** 私たちが健康について考えるときには、多くの場合、身体的な問題や心の問題に焦点を当てることが多い。しかし、健康は社会の問題やありようと大きく関わる。健康とは単に身体や心に異常がないということだけではなく、よりよい生活や人生とは切っても切れないものという健康観も生まれてきている。本講義では、健康と社会に関わる行動科学や社会科学におけるさまざまな理論や知見についてわかりやすく整理し、私たちが生活者として健康や医療に向き合ってより良い社会生活を送り、健康に生きていくことのヒントとなる知識を教授する。 ※「健康への力の探究 ('27)」と併せて受講することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。
1710230 **貧困の諸相 ('23)** 〈２２０〉 **駒村　康平** （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） **渡辺　久里子** （放送大学客員准教授 神奈川大学准教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ (月) 13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)4時限 2025年度2学期　84.2点 2026年度1学期　82.3点	**[生活と福祉コースと共用]** 貧困や格差とその解決はいつの時代も大きな問題ですが、その原因、その弊害は時代とともに変わります。貧困や格差の原因とその解決の歴史、現代社会における貧困の概念、定義、測定方法、新たな貧困・格差問題、貧困を解決する政策などについて考えていきます。 ※所得階層間で、生活空間が共有されなくなると、社会の分裂がおき、貧困を身近に感じる人と貧困を経験したことがない人の間の交流がなくなります。このような分裂そのものにより、豊かな人にとっては、貧困を特別な人の問題とし、自分に関係ない問題にしてしまいます。貧困が当事者のみならず社会にどのような弊害をもたらすのか考えてほしいと思います。
1740202 **哲学・思想を今考える ('23)** **ー歴史の中でー** 〈２２０〉 **魚住　孝至** （放送大学名誉教授） **※この科目は「哲学・思想を今考える('18)」の改訂科目です。** **「哲学・思想を今考える('18)」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ (土) 15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月15日(木)1時限 2025年度2学期　74.5点 2026年度1学期　72.5点	**[人間と文化コースと共用]** 「何ゆえに、われわれは、今、ここに、このように生きているのか?」を根本の問いとして、主な「根源思想」を振り返った後、西洋哲学を考える。近代文明を問い直すアメリカ先住民の思想、そして日本の思想を考える。19世紀末からニヒリズムが問題になり、実存を問題にする現代哲学が成立した。日本では別の思想も展開した。現代になると産業が科学技術と結びついて自然の大改変をする中で地球環境問題が生じている。医療技術の進歩により人間の生と死について人為的な操作も可能になった。こうした今、改めて哲学・思想を、広い視野から根本的に考え直す必要がある。(内容をかなり改訂しています。) ※哲学・思想を大きく概観するとともに、現代的な問題も提示して、各自が今、改めて今、それぞれに考え直すべきことを示唆したい。哲学・思想・宗教の領域のさまざまな専門科目への導入となればと思っている。 ※改訂回は第1、2、3、6、7、8、11、12、13、15回です。
1750089 **情報法入門 ('27)** 〈２２０〉 **橘　雄介** （放送大学客員准教授 九州大学准教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ (木) 16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)4時限	**[情報コースと共用]** 本講義では情報及びインターネットに関する法的問題を扱う。この分野は情報法やインターネット法と呼ばれ、知的財産やプライバシー、個人情報、サイバー犯罪、プラットフォーム、情報セキュリティなどが関わる。もっとも、この分野は技術の発展に伴い変化を続けている。故に、本講義を通して、学生は情報に関する法について基礎的知識を得るだけではなく、法のダイナミックな展開を学ぶことができる。 本講義は、個人情報保護士認定試験や情報セキュリティマネジメント試験を目指す学生の参考にもなる。 ※「情報学へのとびら ('22)」とともに履修し、この科目を履修した後に「著作権法 ('22)」などに進んでいくことが望ましい。 ※ 事前事後学修として、事前には印刷教材を予習すること、事後には印刷教材の学習課題に取り組むことが望ましい。
5720036 **教育政策のデザイン ('25)** 〈２３０〉 **櫻井　直輝** （放送大学准教授） **植竹　丘※** （放送大学客員准教授 埼玉県立大学准教授） **阿内　春生※** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(45%)、レポート(55%)の評価により行う。	**[心理と教育コースと共用]** 教育に関するトピックは定期的に社会的関心を集め、そのたびに教育改革の必要性が叫ばれるが、解決方策としての教育政策や具体的なデザインが書き込まれた政策文書にまで立ち入って教育問題を議論することは少ない。本科目では、近年注目されている教育政策について、政策文書や研究成果等を紐解き、なぜ、その政策が「デザイン」されたのか。その政策(文書)がどのような教育を「デザイン」しているのかを取り上げながら、専門科目への関心を拡げていくことを目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※教育政策・行財政の基礎を体系的に理解したい方は、この講義履修後に「教育政策と行財政 ('27)」「多様な子どもの学びと公教育 ('27)」「学校と法 ('24)」「日本の教職論 ('22)」などを履修してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

社会と産業コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5750075 **ゲーム理論入門 ('25)** 〈２２０〉 **大西　仁** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（48%）、最終テスト（32%）、レポート（20%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** ゲーム理論は、複数の主体が関わる行動の相互依存的状況や意思決定を数理的に分析する手法である。ゲーム理論は、経済行動を説明するために誕生したが、経済学のみならず、政治学や心理学等における意思決定や生物進化を分析する方法となっている。また、社会システムのシミュレーション、人工知能、通信や機械の制御にも利用されている。本科目では、ゲーム理論の基礎を高度な数学を使うことなく説明し、ゲーム理論的な思考法の習得を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539612 **都市と地域の社会学 ('24)** 〈３２０〉 **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「都市と地域の社会学 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （月）15:00～15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2025年度2学期　82.4点 2026年度1学期　89.6点	都市社会学の基本的な概念と理論、その背景にある研究上の問題構成等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する社会学の研究成果の紹介などを行なう。 ※「都市と地域の社会学 ('18)」の履修者については履修制限をかける。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
1548565 **災害社会学 ('20)** 〈３２０〉 **金菱　清** （放送大学客員教授 関西学院大学教授） 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限 2025年度2学期　82.5点 2026年度1学期　75.8点	本科目では、東日本大震災を中心にした千年規模の大災害を社会学的視角から学ぶ。都市文明が進めば進むほど、複雑さが増し、大規模な災害に対して復旧や復興にも時間がかかる。災害と地域社会および個体の脆弱性の克服という視点から「現場」で取り組んでいる創造的仕掛けや創意工夫について人びとの生活の視点および死生観に立って学ぶ。 ※この科目と合わせて、「社会学概論 ('25)」「都市と地域の社会学 ('24)」「環境と社会 ('21)」などの関連科目を履修することが望ましい。
1539736 **現代経済理論 ('26)** 〈３１０〉 **柴山　桂太** （放送大学客員准教授 京都大学大学院准教授） **山本　崇広** （放送大学客員准教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）18:45 ～ 19:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2026年度1学期　75.2点	現代という時間軸を、二度の大戦と大恐慌を経験した20世紀以後と幅広く捉えた上で、この100年余で起きた歴史上の出来事を振り返りながら、経済学・経済思想がどのように発展してきたのかを概説する。 ※事前学習として、シラバスおよび印刷教材に記載されたキーワードを中心に、重要な用語の意味や背景を把握すること。事後学習としては、自身が最も関心を持ったテーマを中心に、講義で扱われた内容を自分なりに整理・要約すること。
1539760 **持続可能な社会のための財政学 ('26)** 〈３１０〉 **佐藤　一光** （東京経済大学教授） **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）18:45 ～ 19:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2026年度1学期　78.2点	本科目は＜持続可能な社会＞を実現するために、”役に立つ”学問としての財政学を学ぶことを目的としている。財政学を学ぶには、国家の機能を理解するために膨大な知識や理解が整理された”体系的な学習”が必要である。他方で、体系的な学習はそれらを全て学習してはじめて現実への応用が可能となるため、実際の社会問題にどうアプローチすることが可能なのか学習中には分かりにくいという欠点がある。そこで本科目では特定の社会問題から＜逆引き＞して、その問題を考えるために必要な財政学の知識を補給するという講義方法を採用する。 ※本講義は初学者向けに構成されており、受講にあたって特別な知識は不要である。事前学習として教科書をよく読んでおくこと。講義受講後の事後学習として演習問題を解いて、解答例と比較検討を行うこと。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539728 **金融と社会 ('26)** 〈３１０〉 **野間　敏克** （放送大学客員教授 同志社大学教授） **「金融と社会 ('20)」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 18:45 ～ 19:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)4時限 2026年度1学期　80.2点	バブル崩壊後の1990年代、日本の金融システムは大混乱に陥り、その後の日本経済の長期停滞の一因だと考えられている。また世界では、サブプライム問題と呼ばれる金融危機が、世界経済不況をもたらした。金融システムには、金融技術や情報通信技術の急速な進歩にともない、絶えず変革が求められている。また、それらに対応するため、当局による規制監督も絶えず見直しが迫られている。この講義では、重要性を増している金融の仕組みを学び、それが私たちの経済社会に与える影響を幅広い観点から考える。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、放送教材の要点を抜き出してまとめること。
1539620 **日本経済の比較史 ('24)** 〈３２０〉 **谷本　雅之** （放送大学客員教授 大妻女子大学教授 東北大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 18:45 ～ 19:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)5時限 2025年度2学期　65.8点 2026年度1学期　65.4点	日本経済の歴史に関する書物の多くは、現代日本に至る経済発展を、明治維新による体制変革を起点とした、欧米先進諸国へのキャッチアップの過程として語ってきた。しかし現代日本の長期経済停滞は、欧米水準の達成を終着点とするキャッチアップ論の視野の限界を露わにしたように思われる。この授業では、日本経済の歩みが、比較史的にみてどのような特徴を有するものであったのかを、近年の経済史研究の成果を踏まえつつ、近世以来の400年の時間軸の中で考えていきたい。 ※特段の専門知識は必要ないが、授業で取り扱うトピックについて、高校レヴェルの日本史・世界史の知識を前提とすることがある。
1539493 **現代国際社会と有機農業 ('23)** 〈３２０〉 **中西　徹** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ (金) 21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)5時限 2025年度2学期　77.7点 2026年度1学期　73.9点	ユヴァル・ハラリは，21世紀の半ばには，情報通信技術と遺伝子工学，そしてビッグ・データ分析の発達によって，情報や富がごく少数の「超富裕層」に集積し，彼らとその他の「無用者階層」の間に深刻な格差社会が実現する可能性があると指摘した。 このような将来予測があるなかで，我々はどのような対応をすべきであろうか。本講義では，そのヒントを有機農業に求め，国際比較をつうじて，有機農業に関わる人々の営為から現代を生き抜くための智慧を学びとりたい。
1539485 **環境と持続可能な経済発展 ('24)** 〈３２０〉 **坂田　裕輔** （放送大学客員教授 近畿大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ (土) 21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)5時限 2025年度2学期　70.7点 2026年度1学期　90.9点	2015年に国連で採択された持続可能な開発目標は世界共通の目的となっている。 持続可能な開発目標は、自然環境や資源の持続可能性という観点で環境問題と強いつながりがある。 本講義では、同目標が環境問題や地域の経済発展に与える影響について経済学の視点から解説する。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
5530059 **社会科学で綴る伝記 ('25)** 〈３２０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、 レポート（50%）の評価により行う。	伝記は一般にノンフィクションとされるが、現実にはフィクションを織り込んで綴られる場合が大半である。それに対し一人の人物に焦点を当て、フィクションを一切挟まずにその来歴を綴るには、社会科学の手法による調査や推論が大いに役立つ。本講では松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂）を参考文献とし、調査の手法および推論の方法、論述の手続きを紹介する。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像を見て学習を進めてください。また各回に設置されている学習活動の課題および解説につき不明な部分を残さないよう事後的に復習を行って下さい。各回の学習は最終レポートの部分であり、積み上げる形になっていますので、毎回、最終レポートで何を書くか全体像を考えておいて下さい。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修している学生同士で意見交換ができますので活用して下さい。 ※「開発経済学：アジア社会の変容 ('24)」「海からみた産業と日本 ('22)」「社会調査の基礎 ('27)」「日本経済の比較史 ('24)」等が社会科学の知識としては参考になるが、講義は主に以下の参考文献の内容を題材に説明を進める。 【参考文献】 松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コース・人間と文化コースで共用科目となっています。**

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5530075 **市民生活と裁判（'26）** 〈３１０〉 **岩井　勝弘** 〔放送大学客員教授 岩井法律事務所弁護士〕 **小池　一利※** 〔放送大学客員教授 みとしろ法律事務所弁護士〕 **大西　雄太※** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **入江　彦徹※** 〔放送大学客員准教授 TMI総合法律事務所弁護士〕 ※は専門担当講師 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、レポート（25%）により行う。	本科目は、一般市民を対象として、裁判に関連する法律知識や実例を学習するものです。授業では、民事裁判の種類、構造、手続など、利用に必要な基礎知識を解説した上で、一般市民が一生の間に遭遇する可能性のある紛争を取り上げて、紛争の発生からその解決に至るまで、及び参考となる裁判例を分かりやすく解説します。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像を視聴し、学習を進めてください。そして、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。なお、オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※この科目の履修前、または後に「一般市民のための法学入門（'23）」、「民法（'22）」、「人生100年時代の家族と法（'23）」を履修することが望ましいです。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1539329 **刑法と生命（'21）** 〈３２０〉 **和田　俊憲** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2021年度開設科目	2	ラジオ （水）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　77.7点 2026年度1学期　78.7点	犯罪と刑罰に関する法である刑法について講義します。「生命」を題材にして、刑法における生命保護の基本、生命に対する保護の重、正当化される生命侵害の3部構成で進めます。 ※特に予備知識は必要とされません。
1539477 **民法（'22）** 〈３２０〉 **武川　幸嗣** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （木）21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　71.5点 2026年度1学期　80.0点	民法全体をバランスよく概観し、基本原則および主要な諸制度について簡潔かつ明快に解説する。 ※印刷教材および放送授業に加えて、六法全書により条文を参照されたい。また、この授業の内容は、2017年債権法改正および、2018年相続法改正を反映させたものとする。
1539418 **行政法（'22）** 〈３２０〉 **高橋　信行** 〔放送大学客員教授 國學院大學教授〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （月）21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2025年度2学期　85.1点 2026年度1学期　88.7点	行政法は人々の身近な生活にも深く関わっていることから、公務員だけでなく、一般市民にとっても重要な法体系である。本科目では、幾つかの重要な個別法を説明した上で、それらに共通する一般的な行政法の仕組みについて説明する。具体的には、建築基準法や食品衛生法といった市民生活に密接にかかわる個別法を扱った上で、行政立法や行政処分などの行政過程論を説明し、さらには、行政事件訴訟や国家賠償訴訟など、裁判的統制のしくみを解説する。
1539507 **人生100年時代の家族と法（'23）** 〈３２０〉 **本山　敦** 〔放送大学客員教授 東京経済大学教授〕 **岩井　勝弘** 〔放送大学客員教授 岩井法律事務所弁護士〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）0:45 ～ 1:30　（231ch） （木）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2025年度2学期　82.5点 2026年度1学期　79.6点	家族は、人が生まれ育ち、生まれ育った人によって再生産される、社会の基本単位である。それゆえ、家族を形成・解消・維持・保護・支援するために多数の社会制度が用意されている。そして、それらの制度のほとんどは、法律に根拠を置く法制度である。人生100年時代といわれる現在のわが国では、高齢化と少子化が法制度に多大なインパクトを与え続けている。また、グローバル化の進展は、法制度についても国際標準・国際協調を要求している。これらの潮流を受け、近時、わが国の家族に関わる法制度＝〈家族と法〉は、不断の更新を迫られている状況にある。この講義では、〈家族と法〉の中でも、最も基本的な法制度である民法の第4編親族と第5編相続を中心に、労働、社会保障、税、司法（裁判）など、家族や家族の生活を取り巻く多種多様な法制度の基礎について学ぶ。 ※予備知識や他の科目の事前履修は不要である。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539647 **国際法 ('25)** 〈３３０〉 **酒井　啓亘** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ (火) 21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)6時限 2025年度2学期　76.3点 2026年度1学期　78.9点	現代国際法は、国際社会における行為主体の多様化、科学技術の発展による当該行為主体の活動領域の深化と拡大、各種領域における国際・国内（準）司法機関の活動の活性化とその判断の国際法規範への影響、さらには各国の国内行政当局間のネットワークの形成と規律規範の展開等から、その規律範囲を年々拡大するとともに、規律手段たるルールの詳細化を日々試みている。本講義は、国際社会の進展に対応して上記のような特徴を有する現代国際法について、その体系の幹にあたる諸原則や諸公理を基本に据えつつ、新たなルールの展開とその方向性を論じるものである。 ※法律学を学んでいることが望ましいが、必ずしも履修の条件ではない。日常生活においてアンテナを広げ、国際社会で生起する事象に関心をもって受講してもらいたい。授業内容をよりよく理解するために、放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行い、事前学習としてはシラバス や印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するとともに、事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むことが望ましい。
1539450 **著作権法 ('22)** 〈３２０〉 **作花　文雄** （放送大学客員教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ (日) 21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)5時限 2025年度2学期　78.0点 2026年度1学期　79.3点	豊かな社会の基盤を形成する創造活動を振興していく上で、知的財産権に関する法制度が重要な役割を果たしており、その中にあって、小説や論文、美術、デザイン、音楽、映画、写真、アニメ、プログラムなどの創作的表現物の保護と公正な利用の促進を目的とする著作権法は、幅広く人々の職業及び日常の生活に関わっている。この講義では、比較的短期間で法制度の全体像が把握できるよう、具体的事例を踏まえつつ、著作権制度の基本的事項及び今日の実際的な課題について解説する。 ※著作物の利用に関わる契約問題、著作権侵害に伴う損害賠償責任及び刑事責任について学習する上で、民法の契約法や不法行為法、刑法総論などを事前に又は並行して学習しておくことが望ましい。また、印刷教材の巻末に掲げている参考図書を活用して幅広く学習をすることが期待される。新聞やテレビなどで報道される著作権事件は実際的な学習教材となる。 なお、本科目は、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）から支援を受けています。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1539345 **雇用社会と法 ('21)** 〈３１０〉 **國武　英生** （放送大学客員教授 小樽商科大学教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (土) 0:45 ～ 1:30　(231ch) (金) 16:30 ～ 17:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)2時限 2025年度2学期　89.3点 2026年度1学期　91.8点	本講義は、雇用社会の特徴を理解し、労働法の基本的知識を習得することを目的とする。わが国の雇用慣行の特徴は、長期雇用を重視し、会社が人材育成の機能を果たしているところにあった。しかし、グローバル化、人工知能やAIなどの技術の進展、少子高齢化、非正規雇用の増加といった諸要因により、雇用社会は時代の変化に直面している。このような時代に、法はどのような役割を担うべきか。 そうした問題意識の下で、本講義は、労働法の歴史と世界的な動向をふまえながら、雇用社会と法をめぐる諸問題について検討する。 ※労働法は、憲法や民法、社会保障法などとも関連し、連動する法分野である。他の法律関連科目とともに履修すれば、さらに理解が深まるものと思われる。
1539655 **西洋政治思想の文脈 ('25)** 〈３２０〉 **木村　俊道** （放送大学客員教授 九州大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ (木) 9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)2時限 2025年度2学期　73.3点 2026年度1学期　73.5点	古代ギリシアから近代に至る、「西洋」を舞台とした政治思想の歴史を探究します。プラトンやアリストテレスをはじめとする「古典」と対話するとともに、「政治」が語られた時代の流れや背景といった歴史の「文脈」に着目します。これにより、西洋文明の思想的な基盤となった様々な「物語」を読み直し、そこで育まれた政治的な教養を明らかにします。 ※高校卒業程度の世界史や倫理、政治経済の知識を有していることが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としてはシラバス や印刷教材に示された各回のテーマや目標、ポイント、キーワードを手掛かりに各章の内容や議論の流れを把握すること。事後学習としては印刷教材を読み直し、参考文献に目を通すなどして理解を深めること。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コース・人間と文化コースで共用科目となっています。**
5530032 **全体主義と新自由主義のあいだ ('23)** 〈３２０〉 **山岡　龍一** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、第1回～第15回までの確認レポート（60%）、最終レポート（40%）の評価により行う。	20世紀の政治理論を検討する。現代の政治を、文明的な視点から、哲学的に反省するうえで有効な方法として、前世紀の政治理論の再検討をおこなう。経済恐慌、二つの世界大戦、冷戦等といった、20世紀の大事件を背景として、自由社会を追求する理論的営みがいかにして行われていたのかを、全体主義と新自由主義をキーワードにすることで理解する。 ※履修のために必要な知識は特にない。 ※レポート課題が計16本（各回1本×15回、最終レポート1本）あるため、開講後は速やかに科目ページトップに記載する課題提出期限をよく確認し、計画的に学習を進めること。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539582 **行政学講説 ('24)** 〈３２０〉 **金井　利之** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ (金) 9:00 ～ 9:45 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式（郵送試験） 提出期間　7月14日（水）～7月18日（日）《必着》 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.1点	現代日本の行政を念頭に、行政において現れる様々な人間類型を取り出して、多角的に講説する。受講者として想定しているのは、行政に対してサービス確保を需要する個人であるが、同時に、統治者として行政に対してサービス確保のための活動を要求する個人市民でもある。個人はサービス享受者であるとともに、行政から見れば被治者である。しかし、個人は同時に、サービス提供者であるとともに、行政に対する統治者の立場でもある。このような人間を、市民、国民、住民、人口、家族、世帯、事業者、職業人、職員、受給者、公衆、地権者、素人、個人の観点から論じる。 ※義務教育程度の知識で充分である。人間として存在・生活する観点から、行政に対して、違和感でも親近感でも構わないので、行政に一定の関心を持ち、行政の実態に対して理解しようとする意欲と態度があればよい。できれば、自らの生活を見つめ直し、どのようなサービスを享受し、また、享受していないか、あるいは、どのようなサービスを提供し、また、提供していないかを考えることが期待される。そのうえで、具体的に行政との相互作用の体験を回顧・検証し、あるいは、その体験がない場合には、新たに持つことが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。** **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1539663 **日本政治外交史 ('25)** 〈３２０〉 **五百旗頭　薫** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） **奈良岡　聰智** （放送大学客員教授 京都大学大学院教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 0:45 ～ 1:30　(231ch) (土) 16:30 ～ 17:15　(232ch) 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　80.1点 2026年度1学期　70.7点	明治維新から150年以上が経過した。しかも、戦前史と戦後史がおのおの半ばを占める。全体像を視野に入れるのが難しい一方で、再構成を試み、新しい知見を得るチャンスでもある。そこで、戦前、戦後それぞれを形成期と展開期とに明確に分け、四つの時代それぞれの個性に合わせた大胆な構成を採用した。そこに最新の研究成果を盛り込んでいる。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバス や印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。** **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1539744 **現代の国際政治 ('26)** 〈３２０〉 **白鳥　潤一郎** （放送大学准教授） **鈴木　一人** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 0:45 ～ 1:30　(231ch) (月) 16:30 ～ 17:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2026年度1学期　73.6点	新興国の台頭により、世界は再び激動の時代を迎えている。本科目では、まず国際政治の歴史的な変遷を押さえた上で、現代を「異質な国家間の相互依存状態が常態化した時代」と捉えて、安全保障や経済、環境、人権といった諸課題に目配りしながら現代の国際政治を検討していく。 ※国際政治を理解するためには政治学の基本や国内政治、国際法を押さえることも欠かせない。放送教材視聴の前後に印刷教材を読むことに加えて、事前学習として日頃から政治に関する報道に親しみ、事後学習として報道内容の再検討する機会を設けること。関連する分野の科目と組み合わせる形での履修すれば、学習効果が高まると期待される。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1539639 **ヨーロッパ政治史 ('24)** 〈３２０〉 **中山　洋平** （放送大学客員教授 東京大学教授） **水島　治郎** （放送大学客員教授 千葉大学教授） **※この科目は「ヨーロッパ政治史 ('20)」の改訂科目です。** **「ヨーロッパ政治史 ('20)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ (水) 21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　70.7点 2026年度1学期　82.3点	19世紀以降の西ヨーロッパ諸国の政治発展を比較政治の分析枠組を用いて概観する。他の地域と比較すれば、確かに西ヨーロッパ諸国の政治には共通の基本的な特徴があるが、反面、少しでも細かく見ていけば、各国毎に無視できない多様性が見られることに気付く。この講義では、西ヨーロッパ諸国の政治がもつ、この共通性と多様性が、いかにして生じ、発展してきたのかを、近世以降の歴史的展開をマクロの視点からたどることで明らかにしていきたい。 ※高校で世界史を履修していない受講者は、市販の高校教科書で毎回の講義に対応する部分を予習しておけば、大いに理解の助けになるだろう。高校で履修したが基礎知識に自信がない場合も、使用した教科書に再度目を通しておくことを勧める。 ※改訂回は、第1、2、7 ～ 9、14 ～ 15回です。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539604 新興アジアの 政治と経済（'24） 〈３２０〉 高木　佑輔 （放送大学客員准教授 政策研究大学院大学准教授） 伊藤　亜聖 （放送大学客員准教授 東京大学准教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2025年度2学期　90.8点 2026年度1学期　83.6点	アジアは歴史的にも新興国の勃興し続ける地域である。20世紀には、高度経済成長期の日本に加え、新たに独立した新興経済地域に注目が集まった。冷戦後、アジア諸国は所得向上と政治的安定を実現し、国境を越えた経済連携も深まってきた。そして、中国の台頭は政治と経済の両面でグローバルな影響を与えつつある。2010年代以降、アジアは格差拡大、米中対立、SDGsといった新たな課題に直面している。歴史的経緯をふまえたうえで、各国の構造変化と、地域横断的な共通課題を学び、最後に日本がこの地域で果たしうる役割を考える。 ※本科目は新興アジアの「政治」と「経済」を取り上げている。政治学及び経済学の関連する分野を事前ないし併せて履修することで効果的に学習を進めることができるだろう。また、日頃から新聞や雑誌などで政治に関するニュースに親しむことも有益である。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1539590 現代アメリカの 政治と社会（'24） 〈３２０〉 渡辺　靖 （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）0:45 ～ 1:30　（231ch） （火）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　78.5点 2026年度1学期　82.1点	「私はアメリカにおいてアメリカ以上のものを見た」。1831年春、仏貴族出身の判事修習生トクヴィル（当時25歳）は建国から約半世紀が過ぎたアメリカを視察し、アメリカ研究の古典的名著『アメリカのデモクラシー』の中にこう書き記しました。この言葉の意味するところは何か。アメリカはどこまで普遍性を有する存在なのか。アメリカの世界史的意味とは何か。本講義ではこうした点について、アメリカでの現地調査や時事的動向を踏まえながら考察します。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。** **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1539752 現代のフードシステム（'26） ー食と農の経済を学ぶー 〈３２０〉 清原　昭子 （放送大学客員教授 福山市立大学教授） 古橋　元 （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2026年度1学期　60.5点	農業生産段階から、食品製造、食品流通、外食、そして家庭での消費に至るフードシステムの姿とそこにおける各産業主体間の価格や品質をめぐる調整関係を示すとともに、各産業の構造と行動、消費者の意識や行動について解説する。 あわせて、国際的な食料をめぐる状況、食品や食料供給に関わる国内産業の状態の変化とそこから生じる課題について解説する。以上を通じ、将来世代のために、望ましいフードシステムが存続できるように、フードシステムが抱える課題とその改善の方向を論じられるように材料を提供する。 ※履修に先立っては特に予備知識を必要としない。ただし、放送教材の受講および学習に先だって、シラバスに記載のキーワード等の関連する重要な用語を理解し、印刷教材を用いて事前の予習をすることが求められる。また事後の学習として、放送教材や印刷教材で指定された課題に取り組むことや可能な範囲で参考文献を通読することを推奨する。
1539515 SDGs下のアジア産業論（'23） 〈３１０〉 古橋　元 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （火）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2025年度2学期　89.9点 2026年度1学期　85.8点	「新型コロナウイルス」の世界的拡大による経済への打撃や世界において「第4次産業革命」ともいわれる歴史的な変革が起きつつある。アジアもその変化の渦中にあり、「国連のSDGs（持続的な開発目標）2030」を考慮した産業構造の転換を迫られている。本科目は、アジアの産業を次の3点から理解する。第1に、経済における国内総生産（GDP）の考え方や国民経済循環を明らかにし、企業活動の産業連関の考え方を説明する。第2に、アジア主要国の自動車産業、情報通信技術産業、そして農業・食品産業のクラスター政策等の成長戦略を紹介する。第3に、グローバル化とは異なるアジアにおける地域統合に向けた現状と課題を説明する。本科目は、企業の方のみならず貿易・投資に関心を持つ人、またアジア、そして世界を舞台に飛躍を期待される方の履修が望まれる。 ※関連する科目名は、「企業経営の国際展開（'25）」、「現代経済理論（'26）」、「開発経済学：アジア社会の変容（'24）」、「日本経済の比較史（'24）」。
1539680 NPO・NGOの世界 （'25） 〈３１０〉 大橋　正明 （放送大学客員教授 恵泉女学園大学名誉教授） 利根川　佳子 （放送大学客員准教授 早稲田大学准教授） **※この科目は「NPO・NGOの世界（'21）」の改訂科目です。** **「NPO・NGOの世界（'21）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （日）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限 2025年度2学期　83.4点 2026年度1学期　77.8点	現代のグローバルな諸課題（貧困と開発、人権、ジェンダー、環境など）におけるNGO（非政府組織）あるいはCSO（市民社会組織）への役割はますます注目されている。特に国連の持続可能な開発目標(SDGs)実現に当たっては、現場での活動とともに政策提言という点でもNGO・CSOの役割は不可欠になっている。この科目では、SDGsを踏まえつつ、特に貧困削減・国際開発におけるNGO・CSOの活動に関する理解を深め、日本の現状と世界的動向や、アカウンタビリティ、政府との関係といった直面する課題についても論じる。 ※関連する新聞記事などに対し、自分で考えてみましょう。身近にどんなNGO・CSOがあるのか注意を払ってみましょう。また良い機会があれば、それらのNGO・CSOに会員や寄付者あるいはボランティアなどとして参加してください。それによって、この講義に対する理解が深まります。 ※事前事後の学習についてですが、放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行って下さい。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するようにして下さい。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んで下さい。 ※改訂回は第3、7、8、9、10、13、14回です。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5530040 **官民の人的資源論（'24）** 〈３１０〉 **原田　順子** （放送大学教授） **今井　由紀子※** （放送大学客員教授 内閣官房内閣人事局人事制度研究官） **稲継　裕昭※** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回（計8回）の小テスト（70%）とレポート（30%）の提出により行う。	経営学において組織で働くヒトの探求は、経営管理の一分野としてなされてきた。人的資源管理という学問領域は、営利企業を主な対象としているが、昨今では非営利組織の研究も注目されている。1980年代に世界では公的組織の人事管理が民間部門に接近するニュー・パブリック・マネジメントが発生し、その後、日本にも波及した。現在、わが国では官民を問わず、経済の低成長、労働力の減少と高齢化など、共通の課題に向き合っている。官と民では組織の目的や成り立ちが異なるが、共通項もみられる。それぞれを相対化して知識を深めることは、令和時代の混沌とした人事管理の理解のための格好の題材である。この講義は民間部門と公的部門の人的資源について実態および理論から論じる。 ※併せて学習すべき科目は特に指定しないが、さらに知識を広げたい場合には、「経営学入門（'24）」と大学院科目「日本の人的資源管理（'27）」の関連部分が参考になるであろう。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1539710 **オペレーションズ・マネジメント（'26）** 〈３１０〉 **松井　美樹** （放送大学特任教授） **富田　純一** （放送大学客員教授 東洋大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （水）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2026年度1学期　92.3点	最近の情報技術の進歩も踏まえて、財やサービスの生産に関するオペレーションズ・マネジメントの基礎理論とその実際の応用について体系的に説明する。主たる内容は、製品設計、プロセス設計、品質マネジメント、生産計画、在庫管理で構成される。また、オペレーション戦略、環境への配慮、サプライヤーや顧客との関係性、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の活用などについても言及する。 ※「経営学入門（'24）」を履修済みであることが望ましい。事前学習として、主要な製造企業やサービス企業、品質賞などのウェブサイトを通じて、オペレーションズ・マネジメントの取り組み事例について調べておくことが望ましい。事後学習として、学習課題について調査を行い、参考文献にあげられている書籍や論文などを読んで、各テーマについての理解を深めてほしい。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1539671 **マーケティング（'25）** 〈３１０〉 **安藤　和代** （放送大学客員教授 千葉商科大学教授） **石井　裕明** （放送大学客員准教授 早稲田大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）0:45 ～ 1:30　（231ch） （水）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　87.6点 2026年度1学期　79.1点	マーケティングとは何か。市場創造のための総合的な活動、売れ続ける仕組み作りと解説されるように、人々や社会のニーズや課題を見つけ出し、それらを充足あるいは解決する手段や仕組みを提供することで、市場を創造・維持・発展させる活動のことである。本講座ではマーケティングの初学者を対象に、マーケティングの全体像、基礎的な概念や理論について、事例を交えて解説する。またデジタル化や社会課題の顕在化など企業を取り巻く環境の変化に対するマーケティングでの取り組みなど、今日的なテーマについても取り扱う。 ※事前学習として、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を確認し、事後学習として、印刷教材で指定された課題等に取り組むなど、印刷教材を用いた事前事後の学習で、より高い学習効果が期待できる。 ※また「経営学入門（'24）」を履修していることが望ましい。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1539558 **ファイナンス入門（'23）** 〈３２０〉 **齋藤　正章** （放送大学准教授） **阿部　圭司** （放送大学客員教授 高崎経済大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限 2025年度2学期　83.6点 2026年度1学期　75.7点	好むと好まざるに関わらず、ファイナンスは私たちの暮らしと密接に関連している。それは職業の有無や年齢とは関係なくである。しかし、中には「お金の話はちょっと・・・」と敬遠する人が多いのも事実である。本科目は、より多くの人にファイナンスをより身近に感じ、理解してもらうことを目的としている。そのために、①ファイナンスと市場（第2～8回）、②ファイナンスと企業（第9～ 13回）、③ファイナンスと情報・今日的課題（第14回～ 15回）という3つのテーマで講義を構成し、内容の充実と理解の促進を図っている。 ※意識するとファイナンスに関する情報は日々あふれている。そうした日頃読み飛ばしている新聞や雑誌、インターネット等の経済記事に関心をもつとより身近な問題としてとらえることができるだろう。また、計算式が出てくるので、読むだけではなく、自分でも実際に解いて確認してみてほしい。
1539540 **経営情報学入門（'23）** 〈３２０〉 **岸　眞理子** （放送大学客員教授 ハリウッド大学院大学教授 法政大学名誉教授） **佐藤　亮** （放送大学客員教授 筑波大学名誉教授 横浜国立大学名誉教授） **※この科目は「経営情報学入門（'19）」の改訂科目です。** **「経営情報学入門（'19）」の単位修得者に対する履修制限はありません。** 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　82.3点 2026年度1学期　80.3点	ICT（情報通信技術）の劇的な進展は、ICTやそれがもたらす情報の取扱いそのものが経営（マネジメント）であるという現象をもたらしている。経営情報学は、ICTや情報によっていかに経営するかという基本的な問題意識に加え、ICTや情報をいかに経営するかという新たな視角も取り込んで、日々進化している。組織の価値創造の礎となるのは、人間の知性とICTの分析的な能力の統合であり、人とICTをシームレスに協働させる、組織の情報処理活動の研究、すなわち経営情報学が求められている。 経営情報学の基礎となる理論や概念とともに、優れた経営情報システムの実践事例と企業組織の有効な情報利活用について学習する。 ※改訂回は第1、2、3、4、5、6、9、10、11、12、15回です。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1539779 イノベーション・ マネジメント（'27） 〈３１０〉 伊藤　宗彦 （放送大学客員教授 神戸大学名誉教授） ※この科目は「イノベーション・マネジメント（'23）」の改訂科目です。 「イノベーション・マネジメント（'23）」の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	ラジオ （木）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限	本講義では、イノベーション・マネジメントを初めて学ぶ受講生を対象に、イノベーションの本質を理解するとともに、その基礎的な用語や考え方を習得することを達成目標とする。本講義では、大きく、二つの側面よりイノベーション・マネジメントを考えていく。　まず、今まで世の中に存在していなかった新しいアイデアを生みだすというイノベーションの「創造性」について理解する。次に、引き出された抽象的なアイデアを、具体的な製品やサービスという形で実現する組織やそのマネジメントについて学ぶ。本講義では、基本理論を網羅し、事例を基にわかりやすく解説する。 ※事前学修として、指定テキストの該当章を通読し、キーワードを中心としたコンセプトマップを作成して理論の構造を整理してください（各回2時間）。事後学修では、実際の企業事例に関する記事やIR資料を各自で収集し、授業で学んだイノベーション理論を用いてその企業の戦略を分析・考察してみてください（各回4時間）。全15回で計90時間程度の学習を想定しています。 ※改訂回は7、8、9、13、15回です。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1539787 サービスサイエンス（'27） 〈３１０〉 岡田　幸彦 （放送大学客員教授 筑波大学教授） 原　辰徳 （放送大学客員准教授 東京大学准教授） ※この科目は「サービスサイエンス（'23）」の改訂科目です。 「サービスサイエンス（'23）」の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限	社会経済のサービス化が進み、さらにデジタル化による革新が求められる時代となった。サービスサイエンスは2000年代にアメリカで提唱され、1970年代に登場したサービスのマーケティング、1990年代に発展したサービスのマネジメントや原価計算、そして2000年代初頭に我が国で提唱されたサービス工学や2010年代に我が国で醸成されたサービス学（サービソロジー）を含む、学際的な先端領域である。本科目では、サービスサイエンスの入門的な内容と主要な議論を取り上げ、我が国サービス産業の生産性向上に貢献するリテラシーを教授する。 ※関連科目は学部の「経営情報学入門（'23）」「経営学入門（'24）」「マーケティング（'25）」であり、これらを履修していることが望ましい。また、日本サービス大賞、サービス産業生産性協議会、経済産業省サービス政策課、サービス学会のHPを事前に調べ、我が国サービスイノベーション実践の概要を理解しておくことが望ましい。事後学修として、サービスイノベーション・サファリのHPにある我が国サービスのベストプラクティス集を学び、本授業で学んだサービスサイエンスの視点から、成功の原理を考察してほしい。 ※改訂回は1, 6、10、11、12、13、14、15回の予定です。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5530067 サプライチェーン・ マネジメント（'25） 〈３１０〉 松井　美樹 （放送大学特任教授） 佐藤　亮※ （放送大学客員教授 筑波大学名誉教授 横浜国立大学名誉教授） 開沼　泰隆※ （放送大学客員教授 元日本経営工学会会長） 富田　純一※ （放送大学客員教授 東洋大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の小テスト（60%）、第9回と第15回のレポート（40%）の評価により行う。	サプライチェーン・マネジメントの基礎原理と応用事例について、関連業務従事者だけではなく、一般の従業者や消費者向けに分かりやすく解説する。グローバル化が進む環境のもとで、新型コロナウィルス感染症の世界的拡大が起こり、関心が高まっているサプライチェーンの設計・構築・運営に関する重要課題（持続可能でレジリエントなサプライチェーンの構築、ロジスティクス機能の高度化、サプライチェーン統合に向けたDXの活用など）を取り上げる。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行ってから、各回の講義映像等を視聴し、学習を進めていくこと。各回の講義内容、課される学習活動の課題・解説などについて、不明な部分を残さないよう復習に努めてから、次の回に進むこと。必要に応じ、講義映像等を再視聴することを推奨する。 ※「経営学入門（'24）」を予め履修しておくことが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となります。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1539698 企業経営の国際展開（'25） 〈３２０〉 原田　順子 （放送大学教授） 洞口　治夫 （放送大学客員教授 法政大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （土）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　83.7点 2026年度1学期　86.0点	経済活動は、新興工業国の台頭を迎え、ますます急速に地理的範囲を増大しつつある。この講義では経済のグローバル化を背景にした企業経営について深い理解を図る。多国籍企業の参入形態や学説、歴史、リスク、知識創造技術移転、M&A、グローバル競争の学説、デジタル化の影響、新興国企業の台頭や組織能力、金融面（外国為替レートの決定理論、資本調達）、社会的責任等について解説する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による事前・事後学習を行うこと。事前学習としては印刷教材に示されたキーワードを把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※過去の放送授業「国際経営（'19）」等を改変した部分が含まれることを理解したうえで履修いただきたい。

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1539574 **会計学（'24）** 〈３１０〉 **川村　義則** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　52.6点 2026年度1学期　70.1点	会計は、企業などの経済主体が自らの経済活動を記録・測定し、かつ、外部の利用者に情報として提供する行為である。会計は、複式簿記という組織的なシステムを用いて記録を行い、財務諸表を通じて情報を利用者に伝達する。本講義では、複式簿記の基本的な仕組みと財務諸表の基本的な内容を学ぶことを目的とする。 ※記帳や計算の練習なども行うので、電卓など準備が必要である。
1539442 **簿記入門（'22）** 〈３１０〉 **齋藤　正章** （放送大学准教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （日）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　67.0点 2026年度1学期　69.6点	簿記はおよそ500年前から存在し、「ビジネスの言語」ともいわれ、今日の企業社会においても欠かせないものとなっています。本講義では、商業簿記に関する基礎的な知識・技術の網羅的な習得を目標としています。 ※意識するとファイナンスに関する情報は日々あふれています。そうした日頃読み飛ばしている新聞や雑誌、インターネット等の経済記事に関心をもつとより身近な問題としてとらえることができるでしょう。また、計算式が出てくるので、読むだけではなく、自分でも実際に解いて確認してみてください。
1539400 **管理会計（'22）** 〈３２０〉 **齋藤　正章** （放送大学准教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （月）11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　70.2点 2026年度1学期　83.4点	管理会計の目的は、企業で行われる様々な経営意思決定と業績管理に有効な会計情報を提供することにある。本講義では管理会計の役割を意思決定を支援する役割と業績を測定・評価して企業価値を高める行動を動機づけるコントロールの役割に分けて、それぞれの理論を解説する。 ※理解を深めるために、電卓等を脇に置き、実際に手を動かして体で覚えるように努めてほしい。印刷教材各章の例題、巻末の練習問題を自分で解くなど積極的な姿勢が望まれる。
1539337 **現代の内部監査（'22）** 〈３１０〉 **齋藤　正章** （放送大学准教授） **蟹江　章** （放送大学客員教授 北海道大学名誉教授） **※この科目は「現代の内部監査（'17）」の改訂科目です。** **「現代の内部監査（'17）」「組織運営と内部監査（'13）」「組織運営と内部監査（'09）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　86.6点 2026年度1学期　86.6点	営利・非営利を問わず、組織運営の成否を決めるのは内部監査の成否であると言っても過言ではない。本講義では、組織の外にいてはなかなか実感する機会がない内部監査について、その目的や原則を理解し、実際の手続きを検討することによって、内部監査の重要性を理解することを目的とする。また、すでに内部監査に携わっている人には、内部監査についての再整理と新たなる知見を与えるものと期待される。 ※本講義は経営や法律、会計、技術といった多面的な要素を含んでいるため、関連科目についても広く学ぶことが重要である。よって、「社会と産業の倫理（'21）」、「NPO・NGOの世界（'25）」、「会計学（'24）」といった科目の履修が望まれる。 ※全15回を改訂しています。
1539701 **これからの住まいと建築（'25）** 〈３２０〉 **堀部　安嗣** （放送大学教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　67.7点 2026年度1学期　78.5点	近代以降、私たちの生活環境は激変しました。衣食住は劇的に楽になり地球規模で人口が急増しました。しかし近代がもたらした便利さや快適さの裏側にエネルギー問題や気候変動といった深刻な問題を抱えるようになりました。そんな現実の中でこれからの住まいと建築はどうあるべきなのでしょう。近代以前の生活に戻ることはできません。反対に技術を過信して急進的に住まいや建築の未来の姿を追い求めるだけも大きな危険が伴います。近代の可能性と危険性を同時に見つめていた近代建築家の思想を読み取り、それをヒントにしながらこれからの住まいと建築を考えてゆきます。 ※住まいや建築はどんな人にとっても身近な存在です。よい建築と出会えれば生涯にわたってのよき相棒となります。そして本授業で紹介する建築などを実際訪れてみたくなる気持ちや実際に訪れる実行力を大切にしてください。 ※また放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行い、事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握してください。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組んでください。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539566 環境を可視化する技術と応用（'23） 〈３３０〉 中村　恭志 （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） 浅輪　貴史 （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　86.6点	我々の身近な環境から地球規模まで様々なスケールの環境について、環境問題を可視化する最先端の技術を紹介し、その可視化を利用した環境の保全や、より良い環境を創り出すための科学を解説する。可視化技術としてはコンピュータシミュレーションやリモートセンシング、CAD/GIS、情報技術などを取り上げる。可視化画像から環境の状態を正しく読み解くには、観測、解析、シミュレーションなど可視化されている環境のデータがどのように取得されたかを知っておくことが必要であり、可視化の技術に加え、データの取得方法についても丁寧に解説する。受講生は、環境の問題に興味がある方や、最先端の技術を用いた可視化画像の作成法、及びその活用法に関心のある方を対象とする。 ※環境を可視化し、可視化画像から環境を理解するには、環境で生じている物理現象に関する知識に加え、可視化されているデータの物理的意味や取得方法などを理解することも重要である。本講義では、必要な知識を平易に解説するように努めるが、数学と物理学の基礎的な知識があることが望ましい。 【関連科目】住まいの環境論（'23） **※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉コース・情報コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1529765 コミュニティと教育（'24） 〈３２０〉 仲田　康一 （放送大学客員教授 法政大学教授） 大木　真徳 （放送大学客員准教授 青山学院大学准教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　83.5点 2026年度1学期　86.7点	**［心理と教育コースと共用］** 教育におけるコミュニティの重要性はかねてより指摘されているところであるが、近年では、社会問題に対する市場や政府によるアプローチの限界が認識される中で、改めてコミュニティへの期待が高まっている。そこでのコミュニティは地域社会を中心としつつ、それにとどまらない越境的なネットワークを指すこともあり、学校教育・社会教育のいずれにおいても、様々な政策や実践が展開されている。当授業では、そうした政策・実践の動向を紹介するとともに、その意義や課題を理論的に把握することを目指す。
1519565 災害を乗り越える防災基礎力入門（'26） 〈３１０〉 木村　玲欧 （放送大学客員教授 兵庫県立大学教授） 田村　圭子 （放送大学客員教授 新潟大学特任教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）23:15 ～ 24:00　（231ch） （金）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2026年度1学期　94.0点	**［生活と福祉コースと共用］** わが国では21世紀に入ってからも、大規模な自然災害が発生している。本科目では「災害を乗り越えて、私たちの命と暮らしを守る」ことを最終的な目標として、災害を乗り越えるための防災基礎力として、①災害を知る、②災害に備える、③災害に対して行動する、という3要素について、多角的に問題を掘り下げていく。学習者は、地域住民、自治体職員、企業等組織の一員として、自然災害を「わがこと」として捉えながら、実際の防災・減災活動に生かしてほしい。 ※特に必要な予備知識はないが、災害・防災を理解するためには、理学・工学・人文社会学など様々な分野の知識を併せ持つことが必要となる。各分野に興味・関心を持ちながら積極的に学ぶ姿勢を歓迎する。放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては放送教材の内容をもとに印刷教材を読み直して理解を定着させること。
1519549 現代社会のなかの家族（'26） 〈３２０〉 筒井　淳也 （放送大学客員教授 立命館大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2026年度1学期　81.0点	**［生活と福祉コースと共用］** 現代社会において、家族は変化しつつある。子どもの数が減り、結婚しない人が増え、また高齢化している。こういった家族の変動は、いかなる時代の流れにあるのか。また、ジェンダー平等、生殖補助医療、虐待、仕事家庭の両立などの諸問題は、どのように理解できるのだろうか。家族に関わる仕事をする人のみならず、何らかの形で家族を生きる人に考えてほしい内容を講義する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。また、「日本の家族問題を考える（'26）」（学部開設科目）をともに学習することが望ましい。
1519573 支える社会保障（'26） 〈３３０〉 丸谷　浩介 （放送大学客員教授 九州大学大学院教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2026年度1学期　88.1点	**［生活と福祉コースと共用］** 社会保障制度は財政上重要であると同時に、暮らしに必要不可欠であるが、制度が複雑化したために、かえって我々にとって理解しにくいものとなってしまった。この講義では「人」を軸に、社会保障の財政、給付内容を理解し、使うことができる支援といった3つの側面から現代の社会保障を捉え直す。 この講義は日常生活と社会保障を中心に検討する。FPや社会福祉士、社会保険労務士の受験生にとっては入門的講義となる。これらの受験をしない人にとっても、日常生活をサバイブするために必要な知識とその考え方を教授する。 ※この講義は学部開講科目である。本講義の受講前後に「障害者の自立と制度（'24）」、「地域生活を支える社会福祉と法（'24）」などを受講することが望ましいが必須ではない。事前学習は印刷教材を読んでおき、不明な点などを関連資料で補充されたい。学修の時期により印刷教材・放送教材のデータや制度の適用関係が変更されている（施行されていない）場合がある。そのため、事後学習として本講義のデータの更新、制度改正、経過措置等を確認されたい。また、印刷教材記載の学習課題に解答し、不明な点は関連資料等で知識の補強等を行うこと（各回につき事前事後合計5時間）。

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1529820 **産業・組織心理学（'26）** 〈３２０〉 **池田　浩** 〔放送大学客員准教授 九州大学准教授〕 **加藤　容子** 〔放送大学客員教授 名古屋大学教授〕 **「産業・組織心理学（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （火）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2026年度1学期　82.6点	**［心理と教育コースと共用］** 産業・組織心理学とは、企業をはじめとした様々な組織で働く人々の心理や行動を対象とする学問である。あらゆる組織が人の集まりによって営まれる限り、そこで働く人々の心理や行動は組織の生産性を大きく左右する。それ故、心理学が誕生した頃から、働く人々の心理に大きな関心が寄せられてきた。本講義では、産業・組織心理学を構成する4つの領域（組織行動、人的資源管理、安全衛生、消費者行動）を概説する。これらについて最新の知見を交えながら、産業・組織心理学の理論と知見を体系的に概説する。 ※本科目を履修する前に「心理学概論（'24）」を履修することが望ましい。また、「社会・集団・家族心理学（'26）」と関連が深い。事前学習として、印刷教材をあらかじめ通読するとともに、「キーワード」を事前に調べておくこと。事後学習として印刷教材の各章の末尾にある「学習課題」に取り組むこと。
1559443 **近世の日本と世界（'26）** 〈３２０〉 **杉森　哲也** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2026年度1学期　74.4点	**［人間と文化コースと共用］** 本科目は、日本史のなかの近世という時代について講義する。日本の近世は、かつて「鎖国」の時代とされていたが、近年の研究では大幅な見直しが行われている。15世紀に始まる大航海時代を経て世界は一つとなり、日本も否応なくそのなかに組み込まれ、対応を迫られることになった。本科目は、主として日本と世界という視点から、伝統的な東アジアとの関係、さらに新たに始まったヨーロッパとの関係に焦点を当てつつ、いわゆる対外関係史にとどまらず国家や社会のあり方など多方面から、近世という時代について考える。 ※本科目の履修にあたり予備知識は必要としないが、学部の導入科目「歴史のなかの人間（'22）」「日本近現代史（'21）」、専門科目「古代中世の日本（'23）」の履修を推奨する。毎回の事前学習として、放送授業の視聴に先立って該当する印刷教材の章を熟読しておくことを求める。また事後学習として、印刷教材の「学習課題」に取り組むことを求める。
1579460 **データの分析と知識発見（'24）** 〈３２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **※この科目は「データの分析と知識発見（'20）」の改訂科目です。** **「データの分析と知識発見（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）6:00 ～ 6:45　（231ch） （水）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.2点	**［情報コースと共用］** 現在、ICTの進歩に伴い、大量のデータが収集、蓄積され、それを元に大量の計算がなされ多くの情報・知識を得ることができるようになった。現在氾濫するデータや情報にどう接し、それとどう付き合っていくべきなのか、また、そういった情報を抽出するためにはどういった処理をすれば良いのか、といった事について、具体的に演習を通して身につけることを目指す。 ※データ分析の手法を説明するとともに、Rを用いて実際の分析の手順についても説明する。理解するには大学初年次程度の数学の知識や基本的なパソコン操作が行えることを前提として講義を行う。 ※全15回を改訂しています。
1559273 **近現代ヨーロッパの歴史（'22）** **ー人の移動から見るー** 〈３２０〉 **北村　暁夫** 〔放送大学客員教授 日本女子大学教授〕 **中嶋　毅** 〔放送大学客員教授 東京都立大学名誉教授〕 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）1:30 ～ 2:15　（231ch） （火）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　71.4点 2026年度1学期　81.1点	**［人間と文化コースと共用］** 近現代ヨーロッパ世界の歴史的諸相を人の移動に着目して概観し、ヨーロッパの社会と文化の特質を考察する。戦争による兵士の移動や移住など、人は古くから様々な移動を経験してきたが、ヨーロッパ世界では近代化・工業化を通じて新たな移動形態が登場し、それが世界史の展開に大きな影響を及ぼした。本講義では、人の移動の新しい様相を具体的に紹介しながら、近現代ヨーロッパの歴史的展開の特徴について考える。 ※「歴史のなかの人間（'22）」、「中近世ヨーロッパの歴史（'27）」、「日本の近現代（'27）」、「ヨーロッパ政治史（'24）」等が関連科目である。
1579363 **メディア論（'22）** 〈３２０〉 **水越　伸** 〔放送大学客員教授 関西大学教授〕 **※この科目は「メディア論（'18）」の改訂科目です。** **「メディア論（'18）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:00 ～ 6:45　（231ch） （金）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　85.7点	**［情報コースと共用］** 2020年代、社会のあらゆる出来事はメディアに媒介されて生じ、世界のすべての国や地域はメディアを介して相互依存するようになった。コミュニケーションの「媒（なかだち）」としてのものやシステムであるメディアのあり方が、私たち自身や世界のあり方を大きく規定するようになった。そうしたなかで、私たちはメディアについての新たな思想・理論を必要としている。この講義では、メディアを時間と空間という二軸のなかに位置づけ、新しいメディア論の相貌を描き出していく。 ※日常生活で当たり前のように思われていることがらを批判的にとらえなおすことができるセンスと、学問をたんなる「勉強」としてとらえるのではなく、歴史的、あるいは空間的な想像力をめぐらして、現実社会に対して働きかけるための「批判的実践知」としてとらえる度量を持つ学生の履修を期待している。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1519450 **社会政策の国際動向と日本の位置（'23）** 〈３３０〉 **居神　浩** 〔放送大学客員教授 神戸国際大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　82.4点 2026年度1学期　84.8点	**［生活と福祉コースと共用］** 20世紀に福祉国家を標榜した欧米諸国および日本をはじめ世界中の多くの国々において21世紀の現在、人々の生活問題の予防・緩和・解決のための社会保障や労働政策が導入され、多くの改革が進行している。グローバリゼーションと各国固有の経済的社会的背景の中で、それぞれの国と地域の社会政策はどのような対応を迫られているのか。社会保障政策や労働政策の制度・実践の動向を学習することによって、世界における社会政策の動向を知り、日本の位置と課題を浮き彫りにする。
1519417 **ソーシャルシティ（'23）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **鈴木　淳一** 〔放送大学客員准教授 株式会社電通グループ 電通イノベーションイニシア ティブプロデューサー職〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　89.1点	**［生活と福祉コースと共用］** 人のコミュニケーションによるまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されている。本講義では、まちの住民、来街者、運営者それぞれの視点からみた、持続的なまちづくりの社会的意義について論じる。また、まちづくりにおいて導入が進められているICT（情報通信技術）について解説し、生活者の行動把握、まち空間のソーシャルグラフの生成、サステナブルなまちづくりへの活用などについて、事例を交えながら紹介する。 ※関連する科目として、「人間・環境情報とDX（'25）」「地理空間情報の基礎と活用（'27）」がある。
1519492 **障害者の自立と制度（'24）** 〈３１０〉 **松井　彰彦** 〔放送大学客員教授 東京大学大学院教授〕 **川島　聡** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　81.8点 2026年度1学期　86.8点	**［生活と福祉コースと共用］** 本講義は、障害者の自立と制度を中心に、特に経済学と法学の観点から、障害者の日常生活・社会生活における困難や制限を改善・解消するアプローチについて理解を深めることを目的とする。 この科目は、福祉領域の専門科目として位置付けられるが、障害者の自立と福祉に関する理論・事例・制度を広く取り上げているので、一般市民、障害者とその家族、医療・福祉・教育などの専門職のみならず、さまざまな一般の事業者・事業主をも受講対象として想定している。 ※予備知識はとくに必要としない。
1519506 **食と健康（'24）** 〈３１０〉 **朝倉　富子** （放送大学特任教授） **佐藤　隆一郎** 〔放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授〕 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　88.2点 2026年度1学期　85.8点	**［生活と福祉コースと共用］** ヒトをはじめとする生物は、食物からエネルギーを得、栄養素を獲得することによって生命を維持している。すなわち、「食」は生きるための根幹である。本講義では、栄養素がどのように体内で消化・吸収され、代謝を受けて利用されていくかを理解する。さらに、各種栄養素の特徴について学び、食生活が原因となる疾病やその予防など、食生活と健康に関わる問題の理解を深める。 ※本講義では、栄養学、食品学を基盤とする内容が多い。高校程度の生物と化学の基礎知識を身に付けていることが望ましい。
1529749 **学校と法（'24）** 〈３３０〉 **坂田　仰** 〔放送大学客員教授 淑徳大学教授〕 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　74.4点 2026年度1学期　75.5点	**［心理と教育コースと共用］** 自然災害、いじめ、体罰、学校事故等、学校を舞台とした様々なトラブル、紛争がマスメディアを賑わしている。この科目では、全15回の講義を通じて、いわゆる学校教育紛争を法学と教育学の学際的観点から分析する。その際、可能な限り現実に生じた学校教育紛争を例示するとともに、学校運営の実務に依拠しつつ検討を行う。また、日本に先駆けて教育訴訟が頻発するようになったアメリカ合衆国の裁判例、学校運営において近年注目を集めている、「学校教育の法化現象」、「スクール・コンプライアンス」等についても言及していく予定である。なお、主たる受講者として、教員採用試験、学校管理職試験の受験希望者を想定している。 ※本科目は、「学校と法（'12）」「学校と法（'16）」「学校と法（'20）」の既修者に対して履修を制限しないが、いくつかの章 / 回において同内容の部分があることに留意されたい。
1559354 **アメリカ史：世界史の中で考える（'24）** 〈３２０〉 **小野沢　透** 〔放送大学客員教授 京都大学教授〕 **肥後本　芳男** 〔放送大学客員教授 同志社大学名誉教授〕 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）1:30 ～ 2:15　（231ch） （水）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　74.7点 2026年度1学期　74.6点	**［人間と文化コースと共用］** アメリカ合衆国（以下、アメリカ）の歴史は、他国とは異なるきわめてユニークな一国の歴史として語られがちである。しかし、アメリカの歴史は外部世界から隔絶して展開したわけではない。アメリカは、常に世界経済の一部であり続け、外交的「孤立」を選んだとされる時代にすら外部世界の政治情勢や思想などの影響を受けながら発展を遂げた。本講義は、政治史を基本に据えつつ、経済史、国際関係史、社会史などの知見を取り入れながら、世界史の一部としてアメリカの歴史的発展を描き出し、アメリカのユニークさをも世界史的な視野の中に立体的に位置づける。 ※高校レベルの世界史の知識があるのが望ましい。高校世界史を復習する余裕がある方は、アメリカ史に直接関係する事項だけではなく、近現代全体（だいたい16世紀以降）を復習しておけば、本講義の理解を深められるだろう。

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1559362 **原典で読む日本の思想（'24）** 〈３２０〉 **頼住　光子** （放送大学客員教授 駒澤大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　74.9点 2026年度1学期　82.8点	**［人間と文化コースと共用］** たがいに異なる価値観がぶつかり合う、混迷の現代を生きるわれわれにとって、一つの大きな示唆を与えてくれるものとして、日本人がこれまで築き上げてきたさまざまな思想がある。本科目においては、古代から近代に至る日本の思想の歴史の上で、とりわけ重要であると思われる思想や著作を取り上げて解説する。その際、原典を丁寧に読解しながら、そこにはどのような人間や世界に対する見方や考え方が含まれているのかを明らかにする。そして、それを通じて、そのような見方や考え方が現代のわれわれにどのような示唆を与えるのかもあわせて検討する。 ※特定分野の予備知識は特に必要ない。
1559389 **西アジアの歴史（'24）** 〈３２０〉 **林　佳世子** （放送大学客員教授 東京外国語大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　83.2点 2026年度1学期　80.0点	**［人間と文化コースと共用］** 大学での歴史教育は、日本史、東洋史、西洋史を大きな枠組みとして行われてきた。しかし、西アジアの歴史は、その枠組みに収まらず、一般には通貫して理解されにくい存在であった。しかし、イスラーム教への理解をはじめ、西アジア史理解を通じてはじめて見えてくる現在の世界がある。本講義では西アジアという定点を定め、その地におこった変化の歴史を辿り、今日に続く諸問題を考える。
1559419 **フィールドワークと民族誌（'24）** 〈３２０〉 **大村　敬一** （放送大学教授） **中空　萌** （放送大学客員教授 筑波大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）3時限 2025年度2学期　83.1点 2026年度1学期　87.7点	**［人間と文化コースと共用］** グローバル化が進展した今日の世界では、「人新世」という概念に象徴されているように、人類と地球の活動がもつれ合っていることが明らかになり、人類は地球規模に拡張した自らの活動を地球環境との関係の中で考える必要に迫られている。こうした現状にあって、人類の過去と現在の普遍性と多様性を考えることを通して、その未来を切り拓こうとする文化人類学の重要性が高まっている。それでは、今日の文化人類学はどのように調査・研究を実践しているのだろうか。この講義では、講師たち自身の経験に基づいて、文化人類学を基礎づけているフィールドワークと民族誌の現状を具体的に紹介する。 ※専門科目「「人新世」時代の文化人類学（'20）」が20年度よりテレビ科目として、導入科目「総合人類学としてのヒト学（'18）」が18年度よりラジオ科目として、大学院科目「文化人類学の最前線（'21）」が21年度よりオンライン科目として開設されているので、併せて履修することが望ましい。
1519514 **食の安全（'25）** 〈３２０〉 **朝倉　富子** （放送大学特任教授） **関崎　勉** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）23:15 ～ 24:00　（231ch） （木）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　74.7点 2026年度1学期　67.0点	**［生活と福祉コースと共用］** 私達が口にする食品は、生産、加工、保存、流通、などの過程を経て届けられる。これらの過程で何らかの危害要因が含まれると、食中毒や健康被害の発生に繋がる。食品添加物や農薬のように本来食品には存在しない成分や、機能性表示食品、特定保健用食品、また、未利用の生物を利用した新規食品の登場など、食を取り巻く環境は変化し複雑化している。本講義では、食品に含まれる危害要因と、食の安全に関わる項目を系統立てて解説し、食の安全に関する法体制や行政組織についても取り上げる。 ※事前に化学と生物学の基礎を学んでおくことが望ましい。事前学習としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを念頭に印刷教材を読んでおくこと。事後学習としては、印刷教材を再度読んだ後に、各章の終わりにある学習課題に取り組み理解を深めること。
1519522 **人間・環境情報とDX（'25）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **片桐　祥雅** （放送大学客員教授 応用生化学研究所研究副所長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　85.2点	**［生活と福祉コースと共有］** 急速に深化しつつある人工知能を背景に、日常生活空間の様々なデジタルデータから有益な情報を抽出し蓄積した知識を共有化しITを通じて利用する社会が到来しようとしている。本科目では、こうした深化しつつある人間および生活環境に係るデジタルトランスフォーメーションを理解するための基盤技術とその適応方法を具体的事例を踏まえて学ぶとともに、技術の限界を知り、打破するための技術を展望する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5520045 **現代のキャリアコンサルティング（'25）** 〈３１０〉 **金井　篤子** （放送大学客員教授 愛知みずほ大学特任教授） **原田　順子※** （放送大学教授） **中井　智子※** （放送大学客員准教授 中町誠法律事務所弁護士） **岡崎　淳一※** （放送大学客員教授 産業雇用安定センター理事長） **深谷　潤一※** （放送大学客員教授 NPO法人ICDS理事長） **高綱　睦美※** （放送大学客員教授 中京大学教授） **石丸　昌彦※** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、最終レポート（50%）の評価により行う。	**［心理と教育コースと共用］** 不確実性の時代（VUCA）とよばれる現代において、いかに個人がそのひとらしいキャリアを積み上げていくかはますます重要な課題である。しかし、それには不確実性の時代ならではの困難を伴う場合も多い。この個人のキャリア形成を支援するのが2002年度に発足し、2016年には国家資格となったキャリアコンサルタント資格である。本講義では、キャリアコンサルタントの職務内容を縦糸とし、それにかかわる社会的背景やさまざまな環境を横糸として、現代におけるキャリア形成支援やキャリアカウンセリングの実際について体系的に論ずる。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。掲載資料等は必要な場合にはプリントアウトしてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説については復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラム を利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1519590 **日本の家族問題を考える（'26）** 〈３２０〉 **下夷　美幸** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）18:00 ～ 18:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　80.1点	**［生活と福祉コースと共有］** 個人にとって家族は、そのLife（生命、生活、人生）を支えるものであるとともに、葛藤や紛争をもたらすものでもある。本講義では、家族をめぐる現代的な問題や事象に焦点をあて、問題の実態と背景について検討し、問題解決に向けた社会的課題について考える。さらに、家族問題の検討を通して、「私たちはどのような社会に暮らしているのか」を問い、日本社会の特徴と今後の課題へと視野をひろげる。 ※履修するにあたり、必要な予備知識は特になし。 「現代社会のなかの家族（'26）」とあわせて学習することを推奨する。 事前学習として、放送教材による学習の前に印刷教材を読み、問題の全体像を把握すること。事後学習として、放送教材による学習後、再度、印刷教材を読み、理解を深めるとともに自らテーマに関わる問いを立て、考察すること。
1529846 **司法・犯罪心理学（'26）** 〈３２０〉 **廣井　亮一** （放送大学客員教授 立命館大学特任教授） **※この科目は「司法・犯罪心理学（'20）」の改訂科目です。** **「司法・犯罪心理学（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2026年度1学期　91.2点	**［心理と教育コースと共用］** 公認心理師法における「司法・犯罪分野」の要点を踏まえて、少年事件、刑事事件、家庭紛争事件の3部で構成する。 第1部は、司法における犯罪心理学、非行臨床をもとに少年事件を取り上げる（1回～4回）。 第2部は、児童虐待、高齢者虐待、離婚と面会交流などの家庭紛争事件、さらに体罰問題など学校に関わる問題への対応を解説する（6回～9回）。 第3部は、攻撃性をもとに犯罪の4類型を理解したうえで、ストーカー犯罪、凶悪事件の精神鑑定例、犯罪被害者への贖罪を取り上げる。また、司法における心理臨床家の活動も紹介する。最後に現在の司法の潮流である司法臨床、治療的司法、加害者臨床をもとに、司法・犯罪心理学の展望と課題を解説する（10回～15回）。 ※事前学習として、新聞等で少年や成人の事件、家庭での虐待事件等の報道を読み、現代の少年非行、成人犯罪、家庭事件の特徴を考えておく。事後学習として、講義で関心をもったテーマを各自でさらに深く学ぶこと。 ※第1、2、3、4、7、8、12回を改訂しています。

社会と産業コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559460 ユーラシアのなかの 中国史（'26） 〈３２０〉 佐川　英治 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 杉山　清彦 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）1:30 ～ 2:15　（231ch） （土）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2026年度1学期　84.6点	［人間と文化コースと共用］ 古代から現代にいたる中国の歴史を広くユーラシアという空間のなかでみていく。10億をこえる「漢民族」はどのようにして生まれたのか、多民族国家である中国は諸民族をどのようにして統合してきたのか、中国は世界にどのような影響を与え、また世界からどのような影響を被ってきたのか。ユーラシアのなかの中国の歩みをふりかえり、中国と世界の関係を歴史的に把握する見方を示す。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材を熟読すること。印刷教材や放送教材をよく学習し、自ら参考文献や歴史資料にアクセスして学ぶことが大切である。インターネットは大いに活用すべきであるが、参考文献には本講義の理解を深めるために必須のものを挙げているので、極力読んで学習すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1519603 超高齢社会を生きる（'27） ―人生100年時代に 求められるものは何か― 〈３１０〉 大和　三重 〔放送大学客員教授 関西学院大学名誉教授〕 澤田　有希子 〔放送大学客員教授 関西学院大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	［生活と福祉コースと共用］ 本講義では人口減少により超高齢社会が進展する現状と課題を理解し、高齢者を支える様々な法制度について知識を得るとともに持続可能な高齢者福祉制度について考察する。高齢者のQOL維持向上の観点から地域で必要な社会資源やソーシャルサポートについてそのあり方を検討する。 ※印刷教材に示される統計や制度が、放送時点では必ずしも最新とは限らない。そのため、事前事後の学修においては、講義内容を踏まえつつ、自ら最新の統計や関連資料を確認し、現状との違いや変化を把握することが重要である。社会の出来事に関心を持ち、新聞やテレビ等のニュースを積極的に確認しておくことが望まれる。
1519638 持続可能な社会への システム思考（'27） 〈３１０〉 高橋　真吾 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 喜多　一 〔放送大学客員教授 京都大学名誉教授〕 2027年度開設科目	2	テレビ （木）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限	［生活と福祉コースと共用］ 地球規模の環境問題や我が国での人口減少など、現代社会はその持続可能性が問われています。しかしながらこれらの問題はさまざまな要因が複雑に関係しているため社会をシステムとして捉え、可能な対応を考えなければなりません。本科目では複雑な対象をシステムとして捉えるとともに、そこでの可能な対応を考える基本的な考え方を具体例を挙げながら学んで行きます。 ※事前学修として放送教材での学習に先立って印刷教材で授業内容を確認し、授業内容についての問いかけについて考えておくこと。また、放送教材の内容については、ノートを取るなどし、事後学修としては印刷教材と併せて学習内容を再確認すること。
1529919 家族と教育（'27） 〈３２０〉 小玉　亮子 〔放送大学客員教授 大阪信愛学院大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限	［心理と教育コースと共用］ 家族と教育の関係は近いようで遠く、互いに密接なようで、隔たりがある。こういった家族と教育の複雑な関係を社会的・経済的・制度的・法的・心理的といった多様な側面から検討する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材を熟読し、キーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1529960 心理臨床における法・ 倫理・制度（'27） ―関係行政論― 〈３２０〉 津川　律子 〔放送大学客員教授 日本大学特任教授〕 元永　拓郎 〔放送大学客員教授 帝京大学教授〕 ※この科目は「心理臨床における法・倫理・制度（'21）」の改訂科目です。 「心理臨床における法・倫理・制度（'21）」の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）10:30 ～ 11:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	［心理と教育コースと共用］ この講義は、公認心理師（国家資格）受験に必要な「関係行政論」である。心理臨床を行う上で知っておくことが必要な、法律・倫理・制度について概説する。人の一生において年代を軸とした心理臨床に関する講義と、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働など各分野における心理臨床を軸とした講義を2つの柱として、心理臨床に役立つ内容を網羅する。 ※この講義は、臨床心理学の基本的知識を有した上で、心理臨床（特に面接とアセスメント）についての基本を身につけて受講することで、学びをより効果的に深めることができる。 放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修としては、印刷教材で指定された「学習課題」に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579541 **ネットワークと** **スマート社会 ('27)** **〈320〉** **葉田　善章** （放送大学准教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (月) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (月) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)2時限	**[情報コースと共用]** 本科目は、コンピュータネットワークを基盤として発展してきた情報技術について、基礎から体系的に学ぶ。通信方式やプロトコル、ネットワーク構成などの基本を整理した後、クラウドコンピューティング、IoT、車載ネットワークなど、ネットワークを活用した計算機利用の形態とその変遷を解説する。さらに、ビッグデータと人工知能（AI）の関係、自動運転やロボットに代表されるフィジカルAI、デジタルツインやコモングランドといった社会基盤技術を取り上げ、実世界と仮想世界を往復するデータ活用の構造を理解することを目的とする。 ※本科目は、ネットワークを基盤とする情報技術の全体像を理解することを目的としているため、コンピューターやネットワークに関する基礎知識があると理解しやすい。 事前学修として、放送教材による学習に先立ち、印刷教材による学習を行うことが望ましい。事後学修として、放送教材および印刷教材で生じた不明点を踏まえ、現状の技術動向や技術的課題について自ら調査・整理するとともに、印刷教材の課題に取り組むこと。 必須ではないが、「情報ネットワーク（'26）」「Webのしくみと応用（'25）」「GISで理解する自然とくらし（'27）」「生活を支えるコンピュータ技術（'25）」「コンピュータ通信概論（'24）」など、コンピューターで取り扱う理論や、コンピューター、ネットワークに関連する科目を受講していることが望ましい。
1579550 **問題解決の数理 ('27)** **〈330〉** **大西　仁** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ (水) 16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)5時限	**[情報コースと共用]** 本講義では、主に決定問題を数理モデルを用いて解く方法を解説する。問題の目的や制約条件を数理モデルで定式化することにより、計算機に問題を解かせることが可能になり、手計算では解けない複雑な問題でも解けるようになる。決定問題は、工学のみならず、日常生活、経営、行政等のあらゆる場面に現れる。実用レベルの問題は計算機で解く必要があり、そのためのソフトウエアも普及していることから、解法の数学的詳細より、具体的な問題を簡単な数式により定式化することに重点をおく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材で前提となる用語や数学的知識を理解すること。事後学修としては、印刷教材の演習課題を解き、その応用・発展問題等に取り組むこと。数理最適化法演習（'20）、ゲーム理論入門（'25）を事前に履修することを推奨する。

社会と産業コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1930087 **海からみた産業と日本 ('22)** 〈４１０〉 **原田　順子** （放送大学教授） **篠原　正治** 〔放送大学客員教授 前国際港湾協会副会長〕 2022年度開設科目	2	ラジオ (水) 11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)6時限 2025年度2学期　83.7点 2026年度1学期　86.0点	島国であるわが国において海運は輸送生命線であり、国内外の安定した海上物流は経済の安定と繁栄の基盤である。近年では、日本企業の海外展開に伴い、グローバルなサプライチェーンマネジメントが発達してきた。そのなかで大量の荷物の結節点である港湾は重要で、経済規模にみあった戦略的整備の必要性は極めて高い。また国際物流の知識を近年の変化を含めて解説するとともに、国際海事管理についてはIoTといった技術革新や地球環境の影響を含めて学習していく。 ※新たな講師を迎えて「海からみた産業と日本 ('16) 」を再構築した。「海からみた産業と日本 ('16) 」の既修者に対して履修を制限しないが、いくつかの章 / 回において「海からみた産業と日本 ('16) 」と同内容の部分があることに留意されたい。
1930133 **モビリティとまちづくり ('27)** 〈４１０〉 **中村　文彦** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (月) 9:45 ～ 10:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)2時限	近年技術的進化が著しいモビリティ分野に着目し、社会的なニーズ、内外の技術実現の動き、政策制度更新の課題等について、まちづくりとの課題とのつながりを十分に整理した上で、基本的な理論を踏まえつつ、過去30年程度の間の具体的な事例を紹介し、ものの捉え方、課題の整理の仕方を学ぶ。 ※事前に、教科書の該当部分を読んでおくこと。 ※事後には、教科書記載の参考文献にアクセスして理解を深めることが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
5930014 **開発経済学：アジア社会の変容 ('24)** 〈４２０〉 **大野　昭彦** 〔放送大学客員教授 青山学院大学名誉教授〕 **藤田　幸一※** 〔放送大学客員教授 青山学院大学教授〕 **加治佐　敬※** 〔放送大学客員教授 京都大学教授〕 ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(60%)、 レポート(40%)の評価により行う。	アジア社会の多様性に着目して、経済開発を講義します。開発経済学に対する知的好奇心を喚起するために、(1) 人口と経済発展、(2) アジアの多様性：村落共同体・国家、(3) 経済発展と労働市場の3つの柱で構成されています。アジアは多様であり、すべての地域に妥当する結論の提示は困難です。本講義では、事実の解説というよりは、現実を観察するための視点を提示することに重きが置かれています。 ※この科目は、テレビ放送授業科目「開発経済学：アジアの農村から ('20) 」の後継となるオンライン科目です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1930052 **環境と社会 ('21)** 〈４２０〉 **大塚　直** 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 2021年度開設科目	2	ラジオ (火)11:15 ～ 12:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)3時限 2025年度2学期　81.1点 2026年度1学期　85.5点	環境を巡る社会のあり方について、生態学、経済学、法学の3つの学問分野から取り上げ、環境問題に関する総合的な学習をする。
1930125 **平和学 ('27)** 〈４１０〉 **川出　良枝** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (水) 7:30 ～ 8:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)5時限	どのように戦争を防ぐかという人類が未だに解決できない難問に対し、今求められていることは、平和のための理論的・思想的基礎を築くことである。本講義では、平和主義か、現実主義かという不毛な二項対立に陥ることなく、少しでも実現可能な平和を実現するために提起された多様な平和構想を検討する。思想家や為政者・実務家たちの構想やアイデアが、様々な屈曲を経て現実の制度（国際連盟・国際連合・ヨーロッパ連合など）へと展開していく大きな流れを追跡する。また、その過程で露見した理念と現実との間の葛藤にも目を向ける。 ※高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいが、必須ではない。政治学、国際関係論、国際法、歴史学、哲学など、幅広い科目と連動している。履修の順序については、これらを既習、あるいは同時履修するのが標準的なやり方である。ただし、テーマそのものに関心がある受講生は先に本科目を履修し、その後、各科目に進むやり方もあり得る。放送教材を必ず視聴すること、その事前学修としてあらかじめ印刷教材に目を通すこと、事後学修としては印刷教材を読み直し、参考文献を読むなどして理解を深めることが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1930095 **空間と政治（'22）** 〈４１０〉 **原　武史** （放送大学客員教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）2:15 ～ 3:00　（231ch） （木）18:00 ～ 18:45　（232ch） 通信指導問題　記述式（郵送） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　68.7点 2026年度1学期　75.0点	政治というのは抽象的なものではなく、具体的な空間のなかで行われるものです。本講義は同じ主任講師が担当した「日本政治思想史（'21）」の応用編であり、イデオロギーではなくアーキテクチャに注目することで、日本における政治と思想の関係に新しい角度から迫ろうとするものです。日本政治史を建築の観点からとらえ直した御厨貴編『権力の館を考える』（放送大学教育振興会、2016年）の方法を、日本政治思想史にも導入しようとしたものともいえます。 ※高校卒業程度の日本史の知識を有していることを前提とします。この科目を履修する前に「日本政治外交史（'25）」を履修していることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の解答および提出は郵送のみとなります。送付する通信指導問題冊子に解答を記入し、提出してください。**
1930117 **住まいの環境論（'23）** 〈４２０〉 **田中　稲子** 〔放送大学客員教授 横浜国立大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2025年度2学期　85.7点 2026年度1学期　86.4点	誰にとっても身近な場である「住まい」を題材として、持続可能な社会の構築という目標のなかで重要となる住まいの環境に関する教養を培う機会としたい。具体的には、居住者にとって健康的で快適な住まいの環境がどのように形成されるかを、温熱・空気・光・音環境について科学的に捉えた上で、住まいの環境の調整技術や計画方法を事例を交えながら学ぶ。また、住まいの環境は室内環境（ウチ）と屋外環境（ソト）の両面から創造されるものであり、居住者の住まい方の影響を大いに受けることから、縁側や庭などの外構や、住みこなす視点からも住まいの環境の捉え方を知る。 ※一般居住者の視点に立ち本書はまとめられているが、住まいの環境の課題を理解するための基本的な原理や原則の理解は必要不可欠となることから、熱や空気、光、音の挙動について科学的な理解が求められる。 【関連する科目名】「環境を可視化する技術と応用（'23）」 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては社会と産業コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
5940010 **時間を究める（'23）** 〈４１０〉 **大橋　理枝** （放送大学教授） **佐藤　仁美※** （放送大学准教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終試験（48%）、及び第1回～第3回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいて評価する。	**［人間と文化コースと共用］** 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から時間について話して頂く。時間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'13）」「音を追究する（'16）」「色と形を探究する（'17）」「色を探究する（'23）」に連なる、多分野横断的な総合科目として構想する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1910060 **地域生活を支える社会福祉と法（'24）** 〈４１０〉 **平部　康子** 〔放送大学客員教授 佐賀大学教授〕 **木村　茂喜** 〔放送大学客員教授 西南女学院大学教授〕 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）22:30 ～ 23:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　86.6点 2026年度1学期　92.1点	**［生活と福祉コースと共用］** 本講義は、社会福祉と法の関係を主題とする。社会福祉の領域において人権がいかに具体的に尊重されているか、それを保障するために、社会福祉にかかわる事業者、行政機関、立法機関、紛争解決機関の役割と責任が構成されているかを学ぶ。 本講義では、裁判例をはじめとする具体的な事例を取り上げ、制度全体を貫く法の原理・原則を学ぶ。そのために、人権理念と社会福祉の関係を再検討するとともに、現代的な権利と義務の問題に関する基本的な視点をおさえ、かつ実践的な課題にも応えようとする。利用者の権利擁護や紛争解決に関わる、福祉職、看護職、法律職などの関連職種にも役に立つものとなるだろう。 ※社会福祉の権利構造に関する記述が多いので、福祉領域に関する科目をあらかじめ履修しておくことが望ましい。また、生活者として、市民としての権利と国家・自治体の責任に関係することも多いので、法律関係の科目も受講していることが望ましい。
1950045 **情報社会と国際ボランティア活動（'24）** 〈４１０〉 **山田　恒夫** 〔放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授〕 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）6:00 ～ 6:45　（231ch） （火）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2025年度2学期　88.9点 2026年度1学期　87.8点	**［情報コースと共用］** 情報化と国際ボランティア活動は、国際化した21世紀の市民社会の形成に大きな役割を果たすものと考えられる。情報化、特にCOVID-19パンデミック下のバーチャル化はこうした動きに多大な影響を与え、サイバーボランティア（eボランティア）という新たな形態も出現した。今後、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、新常態における新たな展開も求められる。本科目では、国際ボランティア研究のトピックとその実践を紹介し、国際ボランティア活動への理解を深め、自らのキャリアと関係づけ考えられるようにする。 ※本科目については、国際ボランティア活動の内容や対象に応じ、さまざまな関連科目が存在する。また本科目は、これまで学習した研究領域や科目を、国際ボランティアというキャリアパスのなかで再考するための手掛かりを与える場であり、そういう意味でも総合科目である。発展学習へのヒントは教材のなかで示す。

社会と産業コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1910078 **レジリエンスの科学（'24）** 〈４２０〉 **奈良　由美子** （放送大学教授） **鈴木　康弘** （放送大学客員教授 愛知大学教授 名古屋大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　88.3点 2026年度1学期　88.4点	**［生活と福祉コースと共用］** レジリエンスとは、危機や逆境に対して適応し回復し転換する能力や特性、または現象や過程のことである。この科目では、レジリエンスの概念を解説したうえで、心のストレス、経営危機、パンデミック、自然災害、経済危機、生態系劣化などの危機や逆境に対する、個人、集団・組織、社会、地球というレベルの異なるシステムにおけるレジリエンスの実際を提示する。全体として、レジリエンスの現代的意義とこれを実現する手立てを考える講義とする。 ※関連する科目として、「今日のメンタルヘルス（'27）」、「災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）」、「日本の家族問題を考える（'26）」、「生物環境の科学（'25）」の履修により、本科目の内容についての理解と考察が一層進むと思われる。
5940028 **空間を考究する（'26）** 〈４１０〉 **大橋　理枝** （放送大学教授） **佐藤　仁美※** （放送大学准教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2026年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終テスト（48%）、及び第1回・第3回・第8回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいてにより行う。	**［人間と文化コースと共用］** 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から空間について話して頂く。空間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」と共に、多分野横断的な総合科目として開講する。 ※事前学習として各回の分野での空間の考え方などをキーワードなどを参考にして学んだうえで講義映像を視聴し、練習問題を解いてください。各回の教材の学習が終わったのちには事後学習として参考文献を読んだり練習問題や小テストの問題を解きなおしたりなどして下さい。 ※他の総合科目である「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」なども併せて受講すると、より幅広い視野が得られるであろう。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5940036 **中国からジェンダー史を考える（'26）** 〈４１０〉 **小二田　章** （放送大学准教授） **五味　知子※** （放送大学客員准教授 慶應義塾大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（60%）により行う。	**［人間と文化コースと共用］** 一般的に、社会において歴史的に形成されたジェンダーは人々が生きていく上でさまざまな側面に影響を与えている。反面、そのジェンダーを自明のものとし馴致させようとする構造と、社会と価値観の変化との間で生まれる軋轢も、徐々に人々の問題意識のなかに生まれてきた。本科目は、日本も含まれる東アジア地域において歴史的に形成されてきたジェンダーを、その影響の中心のひとつである中国を例に概観することで、そのありよう・位置づけを理解し、今日における「（社会の）あるべき姿」を考える手がかりとする。 ※事前学習としてシラバスと各回の資料を参照し、興味を持ったこと（よくわからないこと）について調べておくこと。事後学習として参考文献を読むなどして学習を深めておくこと。（事前・事後それぞれ2時間程度） 最終レポート準備：最終レポートの事前出題を読み、課題文を入手して読むなど準備を行い、最終回の出題後は準備をもとにして作成する。 ※特に必要な予備知識は求めないが、中国の歴史的流れについてはあった方が理解をより深めやすい（適宜概説書などを読むことで得られる程度）。関連する科目としては、テーマに「ジェンダー」を含む科目、あるいはあらゆる「歴史」の科目など、本科目履修後に比較的視座を持って受講してみるとよい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1950053 **情報技術が拓く人間理解（'27）** 〈４２０〉 **仁科　エミ** （放送大学教授） **芝﨑　順司** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （水）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限	**［情報コースと共用］** 情報通信技術の進展は、私たちの社会生活を大きく変貌させ、そのなかで生きる人々の思考・行動にも大きな影響を及ぼしている。一方、情報通信技術がいかに発展しようとも、それを利用する人間の生命現象としての情報処理のあり方は変わらない。現代社会で必須の教養となりつつある情報学の知見、そしてそれを実現している情報技術のもつ有用性、可能性、リスクについて、技術の側からだけでなく人間・社会の側から捉え、現代社会必須の教養として平易に解説する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学修としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている概念や事例等について確認しておくこと。事後学修としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5950015 **AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）** **〈４２０〉** **浅井　紀久夫** （放送大学教授） **岡崎　浩二※** （放送大学客員教授 東京都立産業技術大学院大学特任教授） ※は専門担当講師 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** AI技術を導入し、利用事例を通してAI技術と人・社会との関係を考察する。まず、AI技術の導入では、データに基づく機械学習の手法についてAIの技術的進展から、機械学習の基礎および深層学習の基本原理、社会での利用・応用の注意点までを平易に解説する。次に、AI技術が世の中でどのように活用されているかを紹介し、AI技術と人および社会とのつながりを議論する。さらに、生成AIについて第2回以降に演習を用意し、簡単な具体的利用を通して生成AIの現状と使い方を知れるようにする。 ※【事前学修】AI技術が応用されている身の回りの事例を探し、シラバスの内容に基づいて自己学習に努めてください。 ※【事後学修】各回に設置されている学習活動の課題・解説について復習を行い、理解を深めてください。また、身の回りの問題に対して本授業の中で学習した生成AIの手法を試行してみましょう。 ※他の科目の受講は前提としませんが、「データサイエンス・リテラシ導入」「データサイエンス・リテラシ基礎」「データサイエンス・リテラシ心得」「データの分析と知識発見」「自然言語処理」「コンピュータビジョン」といった科目は参考になります。 第1回～第8回の講義映像は、インターネット配信公開講座『AI基礎』の内容と同じです。また、第9回の講義映像は、インターネット配信公開講座『言語生成AIの機能と社会への応用』の内容と同じです。 ※本授業には生成AIツールによる演習が含まれ、その実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。実行環境の作り方は、オンライン授業体験版の「AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）」を参照して下さい。 ※このオンライン授業では生成AIを使った演習が含まれます。18歳未満の方は保護者の同意が必要です。必ず、保護者の同意を得てから本授業科目の履修手続きを行って下さい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

人間と文化コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1740202 **哲学・思想を今考える（'23）** **ー歴史の中でー** 〈２２０〉 **魚住　孝至** （放送大学名誉教授） **※この科目は「哲学・思想を今考える('18)」の改訂科目です。** **「哲学・思想を今考える('18)」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ （土）15:45～16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　74.5点 2026年度1学期　72.5点	「何ゆえに、われわれは、今、ここに、このように生きているのか?」を根本の問いとして、主な「根源思想」を振り返った後、西洋哲学を考える。近代文明を問い直すアメリカ先住民の思想、そして日本の思想を考える。19世紀末からニヒリズムが問題になり、実存を問題にする現代哲学が成立した。日本では別の思想も展開した。現代になると産業が科学技術と結びついて自然の大改変をする中で地球環境問題が生じている。医療技術の進歩により人間の生と死について人為的な操作も可能になった。こうした今、改めて哲学・思想を、広い視野から根本的に考え直す必要がある。（内容をかなり改訂しています。） ※哲学・思想を大きく概観するとともに、現代的な問題も提示して、各自が今、改めて今、それぞれに考え直すべきことを示唆したい。哲学・思想・宗教の領域のさまざまな専門科目への導入となればと思っている。 ※改訂回は第1、2、3、6、7、8、11、12、13、15回です。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1740172 **西洋哲学の根源（'22）** 〈２２０〉 **納富　信留** 〔放送大学客員教授 東京大学大学院教授〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （木）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　66.2点 2026年度1学期　67.2点	古代ギリシア哲学は西洋哲学の原点として「哲学（フィロソフィー）」のあり方を示し、今日まで大きな影響を与えてきた。その歴史と哲学者たちの考えを学びながら、哲学の基本的な考え方を整理していく。まず、1100年にわたるギリシア哲学史を概観した上で、10の問題系（筋）をめぐる多様な見方とそれらの関係を検討する。また、その後、現代に至る社会と文化に古代ギリシア哲学がどう関わってきたかを考察することで、ギリシア哲学の現代における意義を学んでいく。 ※予備知識は特に必要としない。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1740199 **歴史のなかの人間（'22）** 〈２２０〉 **近藤　成一** （放送大学特任教授） **杉森　哲也** （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　75.0点 2026年度1学期　69.4点	本科目は、歴史のなかの人間に焦点を絞り、人物を通してその人物がいきた時代と社会についての理解を深めることを目的とする。取り上げることのできる人物の数には限りがあるが、古今東西を通じてできるだけ多様な人物を取り上げ、歴史の多様性を示すように心がける。人物とその背景となる歴史を調べるための史料や方法について考え、その人物の生きた社会や時代像について講義する。 ※本科目は、歴史学分野の基礎的科目である。日本史・アジア史・西洋史という地域の枠組み、古代から近代までという時代の枠組みに捉われず、幅広い視点から歴史について考えることを目的としている。歴史学分野の専門科目を履修する際には、本科目を併せて履修していただきたい。
1740253 **日本の近現代（'27）** 〈２２０〉 **土田　宏成** 〔放送大学客員教授 聖心女子大学教授〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	本科目は、日本史の近現代史を対象とする講義である。幕末の開国後、日本は海外との関係を拡大・深化させ、欧米をモデルとする近代国家を形成していった。この時代は、1945年の敗戦によって二分されるが、その連続性も踏まえつつ、幕末から現代までの歴史を通史的に扱う。その際、世界と日本、日本国内の地域の動きにそれぞれ注目し、その相互の関係や影響を踏まえ、政治、経済、社会などについて多面的に論じる。通史的な見方とともに、各時期の特徴的な事象についてテーマ的にも取り上げる。 ※本科目の履修にあたり予備知識は必要としないが、本科目とあわせて、学部の導入課目「歴史のなかの人間（'22）」、専門科目「古代中世の日本（'23）」「近世の日本と世界（'26）」、さらに東洋史科目および西洋史科目を幅広く履修することを推奨する。毎回の事前学修として、放送授業の視聴に先立って該当する印刷教材の章を熟読しておくことを求める。また事後学修として、印刷教材の「学習課題」に取り組むことを求める。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1740245 **『枕草子』の世界（'24）** 〈２１０〉 **島内　裕子** （放送大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　79.2点 2026年度1学期　78.9点	『枕草子』には、清少納言の人間観や美意識が明快に表現されている。有名章段以外にも、数多くの章段を取り上げて、原文をわかりやすく解説し、『枕草子』の全体像を提示したい。また、現代的な新たな観点から『枕草子』を始発とする批評文学の展開にも着目し、『枕草子』の文学的な達成と影響力を把握する。『枕草子』の本文は、江戸時代以来、近現代まで最も広く読まれてきた、北村季吟の『枕草子春曙抄』による。『枕草子』という一つの作品を通して、古典から近代までのさまざまな文学作品のつながりにも触れる。 ※本科目は、『枕草子』という一つの作品を中心に、原文講読に力点を置くことによって、古典の原文を読む楽しみを、受講者に広く提供することを目指す。テレビ科目の「『方丈記』と『徒然草』（'18）」、近代文学を切り拓いた「樋口一葉の世界（'23）」とあわせて履修してほしい。また、大学院科目として「日本文学の研究史（'21）」がある。さらに、外国文学・言語学、哲学・思想、美学・芸術、歴史・文化など、広くさまざまなジャンルの科目を学ぶことも望まれる。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1740180 **世界文学への招待 ('22)** 〈220〉 **野崎　歓** （放送大学教授） **阿部　公彦** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　90.7点 2026年度1学期　88.8点	いま世界の文学ではどのような試みがなされ、いかなる刺激的な作品が生まれているのか。グローバリズム以降の社会の変化のただなかにあって、文学が切り拓く新しい地平を探索し、多様な作家たちとの出会いへと導く講義。作品成立の背景をわかりやすく解説しながら、個々の作品の魅力を紹介し、同時代と切り結ぶ世界文学のダイナミズムを分析する。
1740130 **日本語学入門 ('20)** 〈210〉 **滝浦　真人** （放送大学教授） 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2025年度2学期　71.0点 2026年度1学期　70.4点	日本語の特質を学問的に解明する「日本語学」を概観し、日本語という言語を客観的に捉えるための枠組みと素材を提供する。 ※基盤科目の「日本語科目」とは水準が異なる言語学系科目の一つとして開設される。「日本語概説 ('15)」を履修済でも履修可である。
1740237 **日本語教育学入門 ('24)** 〈210〉 **伊東　祐郎** （放送大学客員教授 東京外国語大学名誉教授） **滝浦　真人** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　88.1点 2026年度1学期　84.5点	日本語教育を目指す人や携わる人向けに、日本語教育学という学問領域の目的や意義、およびその内容を概説する。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1740229 **多文化共生の** **コミュニケーション ('24)** 〈210〉 **大橋　理枝** （放送大学教授） **根橋　玲子** （放送大学客員教授 明治大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （日）15:45～16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　88.2点	コミュニケーション学の入門科目として、コミュニケーション学に関する基礎を扱うと共に、様々な副次文化に焦点を当てながら、異なる文化を持った集団同士が共生していくためにはどのようなコミュニケーションが必要なのかを考える。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1740164 **人文地理学からみる** **世界 ('22)** 〈230〉 **佐藤　廉也** （放送大学客員教授 大阪大学教授） **宮澤　仁** （放送大学客員教授 お茶の水女子大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限 2025年度2学期　76.0点 2026年度1学期　76.2点	大学レベルの人文地理学初学者のための入門として、人文地理学に特有の見方・考え方を身につけることを目標に、世界や日本の多彩な事例をとりあげながら、わかりやすく解説する。導入部分につづいて、まず環境と人間の関係をとらえるためのいくつかの研究視角を紹介し、さらに都市と空間へのアプローチへと進む。その際、環境問題や災害・防災、都市化、グローバル化、少子高齢化といった現代的課題に言及する。また、近年急速に発展してきたGIS（地理情報システム）の考え方や応用例を紹介し、現代社会の分析における可能性を示す。 ※「「人新世」時代の文化人類学 ('20)」「総合人類学としてのヒト学 ('18)」「環境と社会 ('21)」「社会調査の基礎 ('27)」「地理空間情報の基礎と活用 ('27)」「社会学概論 ('25)」も受講することが望ましい。

人間と文化コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1740083 **総合人類学としての ヒト学（'18）** 〈２１０〉 **高倉　浩樹** 〔放送大学客員教授 東北大学教授〕 2018年度開設科目	2	ラジオ （月）15:45 ～ 16:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　78.0点 2026年度1学期　92.5点	文化的存在であると同時に生物的存在である人類の特徴について基盤的理解をすすめるための講義である。現在の地球のエネルギー収支や環境生態系における人間社会の位置づけに触れた上で、どのような過程をへて現在にいたるのか、食料摂取を含む幅広い意味での資源利用と、近代国家のような高度化された政治体制を含む社会組織の多様な特徴とそれらを支える普遍的な仕組みについて解説する。自然人類学、文化人類学、霊長類学、人類生態学、先史考古学などの知見を総合化することで見えてくる「ひと」の全体像を把握することを試みたい。 ※この科目を履修した後に「「人新世」時代の文化人類学（'20）」などにすすんでいくことが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1740210 **博物館概論（'23）** 〈２１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　76.1点 2026年度1学期　84.1点	国内外の多様な博物館の具体的な事例を通して、学芸員の仕事、多様な博物館とその歴史、博物館の展示、展示の資料とその保存、情報とメディア、博物館と教育、博物館の経営、今後の課題等について概説的、包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、博物館と関係する多様なジャンル（自然史、生物、科学、考古・歴史、文化、美術など）とその研究・実践、ディスプレイ等に関心のある学生、視聴者等、一般の受講者もターゲットとする。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1730215 **政治学入門（'26）** 〈２１０〉 **待鳥　聡史** 〔放送大学客員教授 京都大学教授〕 **「政治学入門（'22）」 の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （火）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2026年度1学期　75.3点	**［社会と産業コースと共用］** この授業は、社会科学系の教養科目として、主に現代日本の政治行政を素材として取り上げつつ、政治学的思考や分析方法について知る機会になることを意図している。 現代政治行政、とりわけ日本の政治や行政に関しては、生活実感に基づく価値判断やマスメディアからの大量の情報に流されてしまいがちである。しかし、安定した視座や基準を持つことでそれは避けられる。 政治学や社会科学を今後専門的に勉強する機会がない人にも、今日の学術的な政治分析のエッセンスを是非味わっていただきたい。 ※学習の前後に印刷教材を丹念に読むことに加え、事前学習として新聞やテレビから現代の日本と世界の政治課題について知識を得ること。事後学習として受講により得た視点から報道の内容を再検討する機会を設けること。なお、本科目は単独で履修できるが、他の政治学科目も同時受講すると理解が深まる。
1720104 **心理学概論（'24）** 〈２２０〉 **森　津太子** （放送大学教授） **向田　久美子** （放送大学教授） **※この科目は「心理学概論 （'18）」の改訂科目です。** **「心理学概論（'18）」 の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　83.2点 2026年度1学期　87.2点	**［心理と教育コースと共用］** 心理学に興味を持つ者は多いが、そのほとんどが心理学という学問について漠然とした印象しか持っておらず、また知識を持っていたとしても、特定の心理学領域についてのものに偏っていることもある。心理学は、ひとの心という捉えどころのないものを研究対象としており、それゆえに扱うトピックの幅も広い。そこで本科目は、心理学を学び始める者が、その第一歩として、心理学がどのような学問かを知り、今後、心理学のどの領域の学習を中心に進めるとしても、その基盤となるような知識を提供する。具体的には、心理学という学問の基本的な考え方や、研究方法、学問成立の背景などを紹介するとともに、個別の心理学領域についても概説していく。 ※「心理と教育へのいざない（'24）」を履修していることが望ましい。 ※改訂回は1、2、5、6、7、9、10、14、15回です。
1760211 **宮沢賢治と宇宙（'24）** 〈２２０〉 **大森　聡一** （放送大学教授） **谷口　義明** （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）22:30 ～ 23:15　（231ch） （日）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　65.9点 2026年度1学期　78.1点	**［自然と環境コースと共用］** 宮沢賢治（1896年-1933年）は今から約百年前に活躍した作家である。わずか三十七年の生涯であったが、膨大な作品（童話、詩、短歌など）を遺した。自分の作品を心象スケッチと呼んだが、豊富な自然科学の知識が散りばめられているので科学の読み物としても高く評価できる。そこで、この講義では賢治の作品に基づいて、天文学の入門を試みる。 ※宮沢賢治の作品をいくつか読んでおくと理解が深まることが期待される。

人間と文化コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式／単位認定試験 出題形式 試験期間／試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579509 **情報セキュリティと倫理・心得（'26）** **〈230〉** **辰己　丈夫** （放送大学教授） **山田　恒夫** （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） **「情報セキュリティ概論（'22）」「データサイエンス・リテラシ心得（'22）」の単位修得者は履修不可** **※履修制限の詳細については、講義概要欄をご確認ください。** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）15:45 ～ 16:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2026年度1学期　92.5点	**［情報コースと共用］** 私達は、コンピュータ、インターネットを安全に利用することが求められている。本講義は、この領域を、将来は専門的に学びたいと考える初学者を対象として構成する。内容は、大きく次の3つの領域からなる。 (1) 情報セキュリティ：定義、数理的な仕組み、技術、情報システム、脅威、制度。 (2) 情報倫理：情報社会に必要な著作権や個人情報などの法令や倫理、ジレンマの取り扱いと、その教育普及の方法。 (3) 心得：数理・データサイエンス・AIを扱う際の留意事項と、データを守る上での留意事項。 ※本授業は入門レベル（「遠隔学習のためのパソコン活用（'25）」程度）を前提とする。事前学習として、情報セキュリティ・倫理に関する諸課題について興味を持ち知識を得ること。事後学習では、身近に発生してる事例について、学んだことを前提として説明するように取り組むこと。 ※「情報セキュリティと倫理・心得（'26）」と「データサイエンス・リテラシ心得（'22）」を同一学期に科目登録しようとする場合も履修制限がかかりますので、どちらか履修したい科目を1科目ご選択ください。

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式／単位認定試験 出題形式 試験期間／試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1555030 **文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）** **〈320〉** **魚住　孝至** （放送大学名誉教授） 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）21:00 ～ 21:45　（231ch） （木）12:45 ～ 13:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　75.6点 2026年度1学期　69.4点	文学・芸術・武道を中心として、原始から現代まで続く日本文化の独自性と今日的な意味を考えてみたい。日本列島の自然の中で縄文時代から狩猟・漁撈・採集生活が長く続く内に、自然に神的なものを見て崇拝し、祖霊を尊重する精神が培われ、それは稲作文化が伝わって国家が形成されても底流に流れている。古代に大陸から漢字、仏教、律令制度などを取り入れるが日本的に変容させ、日本古来の神話や歌の古典も成立した。平安期に漢字の崩し字を基にして仮名が作られ、仮名を使った王朝文学が開花した。中世には貴族と武士の文化が融合する中で、能楽や茶の湯などが展開した。近世には武芸の道や庶民が楽しむ俳諧、浄瑠璃、歌舞伎、浮世絵なども生まれた。明治維新、戦後と、伝統文化は2 度否定されたが、再編成されて今日に至る。縄文にまで遡って日本文化を見直して、近代文明を超える新たな可能性を探ってみたい。 ※放送教材には、尖石縄文考古館（長野県）、平等院（京都市）、冷泉家（京都市）などのロケ映像のほか、能楽、浄瑠璃の演技映像、武道の演武映像、ゲスト出演、写真多数がありますので、ご覧ください。印刷教材もよく読んでください。
1559362 **原典で読む日本の思想（'24）** **〈320〉** **頼住　光子** （放送大学客員教授 駒澤大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　74.9点 2026年度1学期　82.8点	たがいに異なる価値観がぶつかり合う、混迷の現代を生きるわれわれにとって、一つの大きな示唆を与えてくれるものとして、日本人がこれまで築き上げてきたさまざまな思想がある。本科目においては、古代から近代に至る日本の思想の歴史の上で、とりわけ重要であると思われる思想や著作を取り上げて解説する。その際、原典を丁寧に読解しながら、そこにはどのような人間や世界に対する見方や考え方が含まれているのかを明らかにする。そして、それを通じて、そのような見方や考え方が現代のわれわれにどのような示唆を与えるのかもあわせて検討する。 ※特定分野の予備知識は特に必要ない。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1559486 **時間と存在（'27）** **―ハイデガーからアーレントへ―** **〈320〉** **森　一郎** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限	ハイデガー『存在と時間』とアーレント『人間の条件』は、人間存在を時間的観点から捉え直した20世紀の古典である。この授業では、両書の核心をなすテーマ「時間と存在」を大胆に引き継いで、現代日本における哲学の可能性を切り拓いてゆく。ハイデガーは世界内存在から出発し、各自の存在を気遣いとして、その存在意味を時間性として解き明かした。アーレントは活動的生を、労働、制作、行為に区分し、それぞれの時間性格を、回帰性、持続性、歴史性において浮き彫りにした。それら時間性相互の絡み合いにおいて、共―時間性の時熟が姿を現わす。 ※事前学修としては、印刷教材に目を通しておくこと。事後学修としては、印刷教材を再読し、自分の身近なテーマに引きつけて考えを深めること。併せて、ハイデガー『存在と時間』やアーレント『人間の条件』（『活動的生』）の読解にも、なるべく挑戦してほしい。

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559303 **現代に生きる現象学 ('23)** **―意味・身体・ケア―** 〈３２０〉 **榊原　哲也** （放送大学客員教授 東京女子大学教授） **本郷　均** （放送大学客員教授 東京電機大学特定教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （木）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　67.7点 2026年度1学期　67.7点	現象学は20世紀初頭、フッサールによって創設された哲学だが、その後、時代に要請された問いに応答しつつ、「現象学運動」と呼ばれる独自の多様な思想運動として展開された。それはこの哲学が「事象そのものへ!」を標榜することで、むしろさまざまな事象に導かれ、「事象そのものの方から」思考を育むからである。本科目では現代に生きる現象学の可能性をさぐるため、フッサールとドイツでの現象学の展開の概要を押さえ、フランスにおける現象学の独特の展開を辿り、最後に現代における現場への展開として「ケアの現象学」を考察する。それにより受講生が自らの現場で現象学的思索を育めるようになることを目指す。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1559311 **英米哲学の挑戦 ('23)** **―文学と懐疑―** 〈３３０〉 **勢力　尚雅** （放送大学客員教授 日本大学教授） **古田　徹也** （放送大学客員准教授 東京大学准教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　81.0点 2026年度1学期　77.8点	本科目では、各回で、英米哲学のテーマとキーテキストを設定し、そのテーマとテキストをめぐって、時代や地域などの背景が異なる哲学者や文学者の思考との比較考察を展開する。この構成により、英米圏の哲学的思考を時代や地域といった枠に過剰に縛ることなく、そのテキストとの対話を誘発してやまない新鮮な視点・文脈を明示する。懐疑をめぐる多彩な思索を重ねつつも、多様な論者が触発し合って展開してきた英米哲学の挑戦の足跡をたどり、その思考の現場へと、読者（聴講者）を招待する。 ※印刷教材を読み、放送教材を聴講したうえで、各自よく考え、紹介される参考文献などと対話することが求められる。
1559370 **西洋の美学・美術史 ('24)** 〈３３０〉 **小田部　胤久** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） **宮下　規久朗** （放送大学客員教授 神戸大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）21:00 ～ 21:45　(231ch) （月）12:45 ～ 13:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　61.7点 2026年度1学期　63.5点	美学は美・芸術・感性（美的なもの）を主たる考察対象とする学問である。まず、西洋における美学という学問の成立とその後の展開を明らかにし、その上で、芸術という観念の成立と変貌、美と快の関係、美的なもの、創作、解釈、批評などの主題を論じる。西洋の美術史は人間像を中心とする。まず西洋美術の大半を占めるキリスト教美術の成り立ちや展開を聖母や幻視といった主題を中心に概観し、さらに死、性、食、自然といったテーマがいかに造形と結びついたかを、ときに東洋の事例と比較しながら多くの作品によって考える。 ※美術をはじめ芸術一般に興味があり、かつ高校程度の世界史・倫理の知識を有していることを前提とする。
1555022 **日本美術史の近代と** **その外部 ('18)** 〈３３０〉 **稲賀　繁美** （放送大学客員教授 国際日本文化研究センター名誉教授 総合研究大学院大学名誉教授） 2018年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）21:00 ～ 21:45　(231ch) （火）12:45 ～ 13:30　(232ch) 通信指導問題　記述式（郵送） 単位認定試験　記述式（郵送試験） 提出期間　7月14日（水）～7月18日（日）《必着》 2025年度2学期　83.7点 2026年度1学期　85.5点	おおよそ鎖国期以降の時代に限定し、「日本美術」とその外部との関係を問い直す。 従来、歴史といえば国民国家の枠組みを自明視した各国史が支配的であり、美術史の記述もそれに準じたものが支配的だった。だがこの枠組みを近代国民国家意識が未成立だった時代にまで遡って無批判に当て嵌めるのは不適切であるとの認識が広がっている。また近代の国民文化論には、かえって文化交流の実態を覆い隠すという欠点も見逃せない。本科目では、情報の流通や授受からいかに造形が生まれ、いかに美術と呼ばれる営みが活性化されたかに注目したい。そもそも「美術」という枠組みも、「美術館」「美術学校」「展覧会」など、明治以降の欧米化のなかで制度的に確立された枠組みだった。その社会的な確立に孕む葛藤の裡にこそ、美術の生態、造形の現場があったはずである。 **※この科目の通信指導問題の解答および提出は郵送のみとなります。送付する通信指導問題冊子に解答を記入し、提出してください。**
1559257 **西洋音楽史 ('21)** 〈３２０〉 **津上　英輔** （放送大学客員教授 成城大学教授） **赤塚　健太郎** （放送大学客員教授 成城大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （火）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　78.3点	西洋芸術音楽の歴史を、作品ばかりでなく、その前提となる考え方や社会状況、あるいは作品を実現する楽器や演奏法にも力点を置きながら辿る。 ※授業で取り上げることのできる作品は限られているので、履修者各自が積極的に広く深い音楽体験をすることが、授業内容の理解を助けるであろう。なお講義に際しては、義務教育で学ぶ程度の読譜能力を前提とする。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559451 **舞台芸術の世界（'26）** **〈３２０〉** **森山　直人** 〔放送大学客員教授 多摩美術大学教授〕 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）21:00 ～ 21:45　（231ch） （水）12:45 ～ 13:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2026年度1学期　80.0点	舞台芸術（Performing Arts）は、人類史の黎明とともに、「芸術性」と「娯楽性」、「個人」と「社会」、「言葉」と「身体」をたえず横断するマルチメディアとして、世界各地で多種多様な展開をとってきました。21世紀のメディア社会における物語芸術（たとえば小説、マンガ、ゲーム等）や映像芸術（映画やアニメーション等）も、実際には古典から現代に至る舞台芸術から多くのインスピレーションを得て発展してきています。 この科目では、はじめに19世紀以降の世界に決定的な影響を与えた西洋演劇の基礎的知識を「古典」から「近現代」まで学んだ後、非西欧圏の事例のひとつとして日本演劇史を取り上げ、次いで、言葉、身体、音楽が多様性のもとで重なり合うバレエ・ダンスや音楽劇（オペラ、ミュージカル）の芸術的可能性を考えることで、「知の宝庫としての舞台芸術」の魅力の奥深さを立体的、横断的にひもといていきます。 舞台芸術に関心のある人ならどなたでも受講できます。事前学習には印刷教材を一読しキーワードを把握すること。事後学習は参考文献に触れ、ネットの動画サイト等も活用しつつ、ぜひ劇場で作品を体験してください。
1559427 **映画芸術への招待（'25）** **〈３２０〉** **野崎　歓** （放送大学教授） **宮本　陽一郎** （放送大学特任教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）1:30 ～ 2:15　（231ch） （木）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2025年度2学期　70.1点 2026年度1学期　74.9点	映画の誕生から現在までの歩みを辿り、芸術としての成り立ちを学ぶとともに、社会において映画芸術が果たしてきた役割を考察する。歴史、文化全般に興味を持つ学生すべてを受講者とし、映像リテラシーを高める機会を提供する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に、重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1559320 **古代中世の日本（'23）** **〈３２０〉** **近藤　成一** （放送大学特任教授） **坂上　康俊** 〔放送大学客員教授 九州大学名誉教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）1:30 ～ 2:15　（231ch） （金）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　69.2点 2026年度1学期　63.0点	古代中世の日本に関する歴史を、最新の研究に基づいて考察する。基本となる史料や史跡の検討を踏まえ、発掘調査や新発見史料による知見を加える。世界史のなかで日本史を考える視角を重視し、歴史を構造的に把握することを目指す。受講者が自ら研究を進めるための手引を提供する。 ※歴史を研究するためには、史料を読むこと、先行研究を踏まえること、可能な限り史跡に足を運ぶことが大切である。印刷教材と放送教材の両方を通して歴史を研究する方法の手がかりをつかんでほしい。
1559443 **近世の日本と世界（'26）** **〈３２０〉** **杉森　哲也** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2026年度1学期　74.4点	本科目は、日本史のなかの近世という時代について講義する。日本の近世は、かつて「鎖国」の時代とされていたが、近年の研究では大幅な見直しが行われている。15世紀に始まる大航海時代を経て世界は一つとなり、日本も否応なくそのなかに組み込まれ、対応を迫られることになった。本科目は、主として日本と世界という視点から、伝統的な東アジアとの関係、さらに新たに始まったヨーロッパとの関係に焦点を当てつつ、いわゆる対外関係史にとどまらず国家や社会のあり方など多方面から、近世という時代について考える。 ※本科目の履修にあたり予備知識は必要としないが、学部の導入科目「歴史のなかの人間（'22）」「日本の近現代（'27）」、専門科目「古代中世の日本（'23）」の履修を推奨する。毎回の事前学習として、放送授業の視聴に先立って該当する印刷教材の章を熟読しておくことを求める。また事後学習として、印刷教材の「学習課題」に取り組むことを求める。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1559478 **史書から見る中国史（'27）** **〈３２０〉** **小二田　章** （放送大学准教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）21:45 ～ 22:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限	中国という地域の特徴のひとつに、「歴史編纂の伝統」があります。歴史編纂を前近代の王朝が権威付け、そして王朝の下の人々がそれを内面化し伝統とすることで、現在に至るまで「歴史」が強く意義付けられた社会、言い換えれば中国は「歴史の国」となっています。この「権威付けられた歴史」＝「史書」がどのように制作されたのかを考え、中国の歴史を見直すことで、中国自体の理解を深めるとともに、「歴史を編む」ことの意義を考える機会とします。 ※特定の予備知識を必要とはしないが、中国史の基本的な流れを知っておいたほうが理解は容易になると思われる。適宜、概説書などを読んでおくとよいだろう。毎回の事前学修としては、当該回の教材を読み、わからない言葉について調べておくことを推奨する。事後学修としては、当該回の教材を読みなおし、興味を持った内容・言葉について参考文献などを読み理解を深めることを推奨する。 なお、中国史の通史の都合、同講師の開講するオンライン授業「中国からジェンダー史を考える（'26）」と、内容・図版が重複するところがある。

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559460 **ユーラシアのなかの中国史（'26）** 〈３２０〉 **佐川　英治** （放送大学客員教授 東京大学教授） **杉山　清彦** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）1:30 ～ 2:15　（231ch） （土）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2026年度1学期　84.6点	古代から現代にいたる中国の歴史を広くユーラシアという空間のなかでみていく。10億をこえる「漢民族」はどのようにして生まれたのか、多民族国家である中国は諸民族をどのようにして統合してきたのか、中国は世界にどのような影響を与え、また世界からどのような影響を被ってきたのか。ユーラシアのなかの中国の歩みをふりかえり、中国と世界の関係を歴史的に把握する見方を示す。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材を熟読すること。印刷教材や放送教材をよく学習し、自ら参考文献や歴史資料にアクセスして学ぶことが大切である。インターネットは大いに活用すべきであるが、参考文献には本講義の理解を深めるために必須のものを挙げているので、極力読んで学習すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1559389 **西アジアの歴史（'24）** 〈３２０〉 **林　佳世子** （放送大学客員教授 東京外国語大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　83.2点 2026年度1学期　80.0点	大学での歴史教育は、日本史、東洋史、西洋史を大きな枠組みとして行われてきた。しかし、西アジアの歴史は、その枠組みに収まらず、一般には通貫して理解されにくい存在であった。しかし、イスラーム教への理解をはじめ、西アジア史理解を通じてはじめて見えてくる現在の世界がある。本講義では西アジアという定点を定め、その地におこった変化の歴史を辿り、今日に続く諸問題を考える。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1559494 **中近世ヨーロッパの歴史（'27）** **ー戦争と平和から見るー** 〈３２０〉 **加藤　玄** （放送大学客員教授 日本女子大学教授） **後藤　はる美** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （火）1:30 ～ 2:15　（231ch） （月）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	歴史上、なぜ戦争は起き、人々はいかに戦争を経験し、そして、平和秩序の構築に向けたどのような努力を積み重ねてきたのか。本科目では中世から近世にいたるヨーロッパの歴史を5人の専門家による解説と「研究課題」を通じて学習していく。特に、十字軍、百年戦争、レコンキスタ、三十年戦争、および三王国戦争（ブリテン革命）といった戦争や征服活動をとり上げ、映像や画像の資料も用いながら中近世ヨーロッパの歴史的な変遷を辿り、諸国家・諸地域間の戦争と平和における政治、宗教、社会的背景を探求する。 「歴史のなかの人間（'22）」、「近現代ヨーロッパの歴史（'22）」「ユーラシアのなかの中国史（'26）」が関連する科目となる。事前学修では、放送内容の背景や論点をあらかじめ把握するため、当該回の印刷教材を読み、キーワードや重要な用語を確認しておくこと。事後学修では、放送内容への理解を深め、学修内容を自ら整理・考察するため、当該回の印刷教材を読み直し、そこに示された「研究課題」に取り組むことが望ましい。
1559273 **近現代ヨーロッパの歴史（'22）** **ー人の移動から見るー** 〈３２０〉 **北村　暁夫** （放送大学客員教授 日本女子大学教授） **中嶋　毅** （放送大学客員教授 東京都立大学名誉教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）1:30 ～ 2:15　（231ch） （火）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　71.4点 2026年度1学期　81.1点	近現代ヨーロッパ世界の歴史的諸相を人の移動に着目して概観し、ヨーロッパの社会と文化の特質を考察する。戦争による兵士の移動や移住など、人は古くから様々な移動を経験してきたが、ヨーロッパ世界では近代化・工業化を通じて新たな移動形態が登場し、それが世界史の展開に大きな影響を及ぼした。本講義では、人の移動の新しい様相を具体的に紹介しながら、近現代ヨーロッパの歴史的展開の特徴について考える。 ※「歴史のなかの人間（'22）」、「中近世ヨーロッパの歴史（'27）」、「日本の近現代（'27）」、「ヨーロッパ政治史（'24）」等が関連科目である。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1559354 **アメリカ史：世界史の中で考える（'24）** 〈３２０〉 **小野沢　透** （放送大学客員教授 京都大学教授） **肥後本　芳男** （放送大学客員教授 同志社大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）1:30 ～ 2:15　（231ch） （水）17:15 ～ 18:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）1時限 2025年度2学期　74.7点 2026年度1学期　74.6点	アメリカ合衆国（以下、アメリカ）の歴史は、他国とは異なるきわめてユニークな一国の歴史として語られがちである。しかし、アメリカの歴史は外部世界から隔絶して展開したわけではない。アメリカは、常に世界経済の一部であり続け、外交的「孤立」を選んだとされる時代にすら外部世界の政治情勢や思想などの影響を受けながら発展を遂げた。本講義は、政治史を基本に据えつつ、経済史、国際関係史、社会史などの知見を取り入れながら、世界史の一部としてアメリカの歴史的発展を描き出し、アメリカのユニークさをも世界史的な視野の中に立体的に位置づける。 ※高校レベルの世界史の知識があるのが望ましい。高校世界史を復習する余裕がある方は、アメリカ史に直接関係する事項だけではなく、近現代全体（だいたい16世紀以降）を復習しておけば、本講義の理解を深められるだろう。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559338 **樋口一葉の世界（'23）** 〈３２０〉 **島内　裕子** （放送大学名誉教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （木）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限 2025年度2学期　84.6点 2026年度1学期　82.9点	本科目では、専門科目にふさわしい内容構成を構築し、樋口一葉の「人と文学」の両面から、その全体像の把握を目指している。古典と近代の過渡期を体験した一葉は、短い人生の中で、日本文学史の大きな節目を提示している。一葉がどのような文学的な意欲を、どのような文体で実現したのかは、完成作品としての一葉の短編小説の中に実現されているが、この科目では、一葉の残した和歌・日記・雑記・書簡などにも焦点を当てて、一葉文学の深層を読み解き、わかりやすく解説する。文学ジャンルや時代性、同時代の文学者との交流や相互の影響など、多角的な視点から、一葉文学の魅力と達成に触れてみたい。 ※関連する科目としては、「『方丈記』と『徒然草』（'18）」、「日本文学の研究史（'21）」、「世界文学の古典を読む（'20）」、「『枕草子』の世界（'24）」などがある。
1554999 **『方丈記』と『徒然草』（'18）** 〈３２０〉 **島内　裕子** （放送大学名誉教授） 2018年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限 2025年度2学期　71.2点 2026年度1学期　80.6点	『方丈記』と『徒然草』は、日本の古典文学の中でも、とりわけよく知られているだけでなく、後世の文学や美術に及ぼした影響力が大きかった作品である。両作品とも、明晰な論理性と気韻に富む文体で、人間認識と社会認識などの多様な思索を展開しており、圧倒的な写実力と説得力を特徴としている。本科目では、両作品の本文を味読することに加えて、その先蹤としての『枕草子』も取り上げる。テレビの長所を利用し、美術化された作品や、数々の注釈書の挿絵や、ゆかりの場所を映像として提供する。これによって、この二つの名作は現代社会に身近で切実な作品となり、「よりよく生きる」意味を受講者が考える契機となることが期待される。 ※放送大学の国文学関連のラジオ科目としては、「樋口一葉の世界（'23）」「『枕草子』の世界（'24）」などがあるが、本科目は唯一のテレビ科目である。古典文学の学習に際しては、写本や板本の実物に触れることや、作品にゆかりの場所を実際に訪れることが、重要である。さらには、原文を見ながら、文法や語句の意味を学ぶことで、作品のメッセージを直接的に摑み取ることが可能になる。本科目は、テレビの特長を最大限に活かした内容であるので、ラジオ科目で学んだことを、視覚を通して確認してもらいたい。
1559508 **文学批評の現在（'27）** 〈３２０〉 **中井　亜佐子** （放送大学客員教授 一橋大学教授） **河野　真太郎** （放送大学客員教授 専修大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （金）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限	歴史的、文化的、制度的に何が「文学」とされてきたのか。文学作品を読み、解釈し、批評するとはどういうことなのか。作品を批評するために、どのような理論や方法論が生みだされ、実践されてきたのか。そして何より、文学批評という営為はわたしたちの生きる現実の社会とどのようなかかわりがあるのか。本講義ではこれらの問いを出発点として、文学批評を実践するとともに、その今日的な可能性を探っていく。講義前半では代表的な批評理論の考えかたや基本概念を解説し、後半では特定のトピックに沿って作品の分析と批評を行なう。 ※受講に際して特別な予備知識は必要ない。事前学修としては印刷教材を読み、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握しておくこと。各回で扱われる作品も読んでおくことが望ましい（放送教材受講後に読んでもかまわない）。事後学修としては、印刷教材を復習すること。関心に応じて、参考文献に挙げられた理論書や思想書も自分で読んでみることをお勧めする。
1555111 **世界文学の古典を読む（'20）** 〈３３０〉 **村松　真理子** （放送大学客員教授 東京大学教授） **小林　宜子** （放送大学客員教授 東京大学教授） **横山　安由美** （元立教大学教授） 2026年1月ご逝去 2020年度開設科目	2	ラジオ （火）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　76.2点 2026年度1学期　78.1点	古代から中世にかけて広く知られた世界中の名作に触れ、旅・冒険・非日常という共通の観点から読み解いてゆく。 ※各国文学に初めて触れる初学者を対象とし、特定の言語の知識は必要条件ではない。ただし講義のほかにも各自で関心のある作品を通読してゆくことを勧めたい。放送教材では朗読など、音によって古典的作品の魅力にふれ、印刷教材では挿絵の魅力を伝える図版を通して、人々がどのように物語をつたえてきたのか、その息吹を想像することにつとめる。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
1555057 **ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇（'19）** 〈３３０〉 **沼野　充義** （放送大学客員教授 名古屋外国語大学教授） **野崎　歓** （放送大学教授） 2019年度開設科目	2	ラジオ （水）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　80.4点 2026年度1学期　75.2点	世界文学の根幹部分を形作った、ヨーロッパ近代の文学作品について、それぞれの作品の鍵となる部分を取り出して「読み方」を具体的に解説する試み。時代としては、16世紀のセルバンテスやシェイクスピアから、20世紀はじめ（第2次世界大戦前）までを扱う。アメリカ文学をも含む広義のヨーロッパ文学について、横断的に読解していく内容となる。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5550050 **「日本語らしさ」とは何か** ('25) 〈３２０〉 **滝浦　真人** (放送大学教授) 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(60%)、 レポート(40%)の合計により行う。	地政学的・歴史的な経緯に言語学的特徴が相まって日本語が帯びるに至った性格のようなものとして、「日本語らしさ」を取り出し考察してゆく。いわゆる「日本語学」で扱われる領域やトピックとの重なりはもちろん大きいが、単に「日本語の仕組み」を講じるのではなく、“日本語で生きる・暮らす”ことと陰に陽に関わってくる側面に光を当て、日本語的なあり方について考える。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※2024年度までに開講した面接授業「日本語の性格」とは内容がかなり重複する(2025年度以降、面接授業の方を完全リニューアルする予定)。その他、関連する科目として以下があり、それぞれ内容に重複するところがある:「日本語学入門('20)」「言語研究法('19)」「新しい言語学('18)」「日本語リテラシー('26)」 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5550033 **言語研究法('19)** 〈３１０〉 **滝浦　真人** (放送大学教授) 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(70%)、 レポート(30%)の評価により行う。	20世紀に確立した近代言語学の基本的な概念と方法を理解し、音声・音韻、文字、形態、文、意味等の領域について、アプローチの基本を学ぶとともに言語データの取扱い方を演習的に学習する。おおむね、「新しい言語学('18)」(ラジオ)で取り上げた方法論以前の言語学を概観する科目。 ※受講にあたっては、別途指定教材(図書)での自己学習を必須とする。 『言語学入門　これから始める人のための入門書』(佐久間淳一・加藤重広・町田健／研究社、2004年／¥1,980(税込)／単行本 172頁／ISBN 978-4-327-40138-2) また、言語の音声について学ぶ回では、音声モジュールによるヒアリング練習なども含まれる。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1559419 **フィールドワークと民族誌** ('24) 〈３２０〉 **大村　敬一** (放送大学教授) **中空　萌** (放送大学客員教授 筑波大学教授) 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)3時限 2025年度2学期　83.1点 2026年度1学期　87.7点	グローバル化が進展した今日の世界では、「人新世」という概念に象徴されているように、人類と地球の活動がもつれ合っていることが明らかになり、人類は地球規模に拡張した自らの活動を地球環境との関係の中で考える必要に迫られている。こうした現状にあって、人類の過去と現在の普遍性と多様性を考えることを通して、その未来を切り拓こうとする文化人類学の重要性が高まっている。それでは、今日の文化人類学はどのように調査・研究を実践しているのだろうか。この講義では、講師たち自身の経験に基づいて、文化人類学を基礎づけているフィールドワークと民族誌の現状を具体的に紹介する。 ※専門科目「「人新世」時代の文化人類学('20)」が20年度よりテレビ科目として、導入科目「総合人類学としてのヒト学('18)」が18年度よりラジオ科目として、大学院科目「文化人類学の最前線('21)」が21年度よりオンライン科目として開設されているので、併せて履修することが望ましい。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1555120 **「人新世」時代の文化人類学('20)** 〈３２０〉 **大村　敬一** (放送大学教授) **湖中　真哉** (放送大学客員教授 静岡県立大学教授) 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (土) 10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)5時限 2025年度2学期　83.5点 2026年度1学期　70.3点	人類がもつ文化に焦点をあてながら、専門科目としての文化人類学の基本的知識を講義する。社会に閉塞感や生きづらさが漂う今日の世界は様々な限界に直面しており、様々な領域で根源的な転換を構想することが求められている。この講義では、グローバル化とともに、人類と地球をはじめとする様々な二元論が地球規模で揺らぎつつある時代を「人新世」時代としてとらえ、自然と文化、自文化と他文化、心と身体、人間と非人間、真実と虚構等の様々な二元論が融解しつつある地球社会の現状に応じたトピックを取り上げる。とりわけ人類が直面する地球規模の現代的課題に対して人類学の視点から考察することの意義を解き明かすことに重点を置く。 ※導入科目としての「総合人類学としてのヒト学('18)」が2018年度よりラジオ科目として開設され、またテレビ科目では「フィールドワークと民族誌('24)」があるので、併せて履修することが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559290 **博物館教育論（'22）** 〈３２０〉 **大髙　幸** 〔放送大学客員准教授 和光大学非常勤講師〕 **寺島　洋子** 〔放送大学客員准教授 国立西洋美術館客員研究員〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （日）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）3時限 2025年度2学期　73.8点 2026年度1学期　77.6点	20世紀における博物館は主に資料（モノ）のためにあったが、今日の博物館は利用者（ヒト）のためにあると言われている。博物館は資料の収集、保管、調査研究、展示を含む教育、広報を含む運営など、博物館機能のすべてにおいて、教育的役割を重視する必要に迫られている。本講座では、博物館利用の教育的意義と課題を学び、教育的役割を中心に据えた利用者のための博物館のあり方について考察する。 ※「博物館概論（'23）」を始めとする一連の博物館諸論や、教育学、社会学に関する学際的領域を学ぶとともに、自己の研究領域における博物館の役割を常に意識しながら本講座を学ぶことが望ましい。特に、受講者は様々な博物館を利用し、講義内容を考察することが必要である。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5550068 **博物館資料論（'25）** 〈３１０〉 **折茂　克哉** 〔放送大学客員准教授 東京大学駒場博物館助教〕 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は小テスト（30%）とレポート（70%）の評価より行う。	博物館の資料は、生き物資料を含め、極めて多様である。そのすべてを扱うことは不可能であるが、この講義では、多様な博物館の事例を取り上げ、さまざまな資料の特徴を把握し、資料の収集、研究、保管、飼育・管理、展示等に関する考え方、知識、技術等について学ぶ。第一義的には学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、幅広い教養として学習することができる。 ※シラバスの内容から判断して、様々な研究分野や学芸員資格に関係する各科目を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1559435 **博物館資料保存論（'25）** 〈３１０〉 **日髙　真吾** 〔放送大学客員教授 国立民族学博物館教授〕 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　91.2点 2026年度1学期　90.2点	博物館は、文化の集積庫であり、博物館に収蔵される博物館資料は、人類共通の財産といえる。それらの博物館資料は、現代を生きる人びとがより健全で豊かな社会を構築するための重要な資源であり、教材である。そして、次世代の人びとが現在と同様に博物館資料を活用できるよう、しっかりと保存し、継承していくための環境を整えなければならない。博物館資料保存論では、こうした博物館資料の保存・活用・継承のプロセスについて、さまざまな博物館における資料保存の活動事例を通して、その理念を理解し、必要な知識や技術について学ぶ。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1559400 **博物館展示論（'25）** 〈３１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　86.9点 2026年度1学期　77.0点	この講義では人類史と自然史、およびそれらに向き合う科学や美術が、いかにして博物館の展示として表現されるのかを、事例を通じて理解するとともに、展示のもつメッセージ性について学ぶ。まず、博物館の種類、展示の手法、展示デザイン、展示によるコミュニケーションなどの概要を学ぶ。次に日本と世界の事例を通して、大学における研究公開、人類史・美術・自然史、および災害に見る自然と人間の関係が、どのようなコンセプトのもとに制作され、どのようなメッセージが発信されるのかを理解する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1559397 **博物館情報・メディア論（'25）** 〈３１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） **近藤　智嗣** （放送大学副学長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）10:30 ～ 11:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　85.0点 2026年度1学期　83.9点	多様な博物館の具体的な事例を通して、「メディアとしての博物館」の観点から、まず博物館の情報とメディアとは何かを考え、急速な発展を視野に入れつつ、情報とメディアに関する手法、技術、理論、利点、問題点などを包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とし、同時に、情報に関心のある学生等、一般の受講者もターゲットとする。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・情報コース、自然と環境コースで共用科目となっています。**

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559346 **博物館経営論（'23）** 〈３２０〉 **佐々木　亨** （放送大学客員教授 北海道大学名誉教授） **今村　信隆** （放送大学客員教授 北海道大学大学院教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）9:45 ～ 10:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　85.9点 2026年度1学期　84.3点	博物館は、コレクションや建物、学芸員など職員が存在するだけでは成り立ちません。来館者が展示などを体験し、満足して帰り、その後リピートしたり、家族に来館を勧めたりする行動につながることが大切です。さらに、博物館に足を運ばない地域住民に、その存在意義を知ってもらうことはもっと重要なことです。そのために、博物館経営は必須の概念です。ここでは、博物館経営に欠かせない組織や人材、経営手法・形態、連携などについて学びます。学芸員資格取得を目指す方は、この科目が必須となります。 ※学芸員資格取得を目指す方は、「博物館経営論（'23）」を履修する前に「博物館概論（'23）」を履修することが望ましいです。 **※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1529684 **日本の文化と教育（'23）** 〈３２０〉 **矢口　徹也** （放送大学客員教授 早稲田大学教授） **辻　智子** （放送大学客員教授 北海道大学教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）14:15 ～ 15:00 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　69.7点 2026年度1学期　76.2点	**［心理と教育コースと共用］** 子どもが大人になるとはどういうことなのか、社会教育の観点から、日本の文化と教育を歴史的に考察することを目的とする。明治期以降の日本では、学校教育の整備と拡充に力点がおかれ、地域における社会教育はそれを補足する存在として捉えられてきた。しかし、学校教育の普及は画一化、序列化の問題をもたらし、子ども、若者が生きていく力そのものが問われている。ここでは、社会の中で子ども、若者が大人になることの意味を歴史的に理解するために、若者から青年への変化、少年、少女像の登場、児童の生活と文化への注目、勤労青年の社会教育について具体的事例を取り上げながら講義を進めたい。 ※学部開設科目である。教育領域の中で、他の「社会教育系」、「生涯学習系」の科目と比較して、「青年教育」、「文化史」、特に歴史的観点に力点を置いた科目として開設する。関連科目として、「生涯学習を考える（'27）」がある。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
5530032 **全体主義と新自由主義のあいだ（'23）** 〈３２０〉 **山岡　龍一** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、第１回～第15回までの確認レポート（60%）、最終レポート（40%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 20世紀の政治理論を検討する。現代の政治を、文明的な視点から、哲学的に反省するうえで有効な方法として、前世紀の政治理論の再検討をおこなう。経済恐慌、二つの世界大戦、冷戦等といった、20世紀の大事件を背景として、自由社会を追求する理論的営みがいかにして行われていたのかを、全体主義と新自由主義をキーワードにすることで理解する。 ※履修のために必要な知識は特にない。 ※レポート課題が計16本（各回１本×15回、最終レポート１本）あるため、開講後は速やかに科目ページトップに記載する課題提出期限をよく確認し、計画的に学習を進めること。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1539655 **西洋政治思想の文脈（'25）** 〈３２０〉 **木村　俊道** （放送大学客員教授 九州大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （木）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　73.3点 2026年度1学期　73.5点	**［社会と産業コースと共用］** 古代ギリシアから近代に至る、「西洋」を舞台とした政治思想の歴史を探究します。プラトンやアリストテレスをはじめとする「古典」と対話するとともに、「政治」が語られた時代の流れや背景といった歴史の「文脈」に着目します。これにより、西洋文明の思想的な基盤となった様々な「物語」を読み直し、そこで育まれた政治的な教養を明らかにします。 ※高校卒業程度の世界史や倫理、政治経済の知識を有していることが望ましい。放送教材による学習の前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としてはシラバス や印刷教材に示された各回のテーマや目標、ポイント、キーワードを手掛かりに各章の内容や議論の流れを把握すること。事後学習としては印刷教材を読み直し、参考文献に目を通すなどして理解を深めること。
1539663 **日本政治外交史（'25）** 〈３２０〉 **五百旗頭　薫** （放送大学客員教授 東京大学大学院教授） **奈良岡　聰智** （放送大学客員教授 京都大学大学院教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）0:45 ～ 1:30　（231ch） （土）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　80.1点 2026年度1学期　70.7点	**［社会と産業コースと共用］** 明治維新から150年以上が経過した。しかも、戦前史と戦後史がおのおの半ばを占める。全体像を視野に入れるのが難しい一方で、再構成を試み、新しい知見を得るチャンスでもある。そこで、戦前、戦後それぞれを形成期と展開期とに明確に分け、四つの時代それぞれの個性に合わせた大胆な構成を採用した。そこに最新の研究成果を盛り込んでいる。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539604 新興アジアの政治と経済（'24） 〈３２０〉 高木　佑輔 （放送大学客員准教授 政策研究大学院大学准教授） 伊藤　亜聖 （放送大学客員准教授 東京大学准教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2025年度2学期　90.8点 2026年度1学期　83.6点	［社会と産業コースと共用］ アジアは歴史的にも新興国の勃興し続ける地域である。20世紀には、高度経済成長期の日本に加え、新たに独立した新興経済地域に注目が集まった。冷戦後、アジア諸国は所得向上と政治的安定を実現し、国境を越えた経済連携も深まってきた。そして、中国の台頭は政治と経済の両面でグローバルな影響を与えつつある。2010年代以降、アジアは格差拡大、米中対立、SDGsといった新たな課題に直面している。歴史的経緯をふまえたうえで、各国の構造変化と、地域横断的な共通課題を学び、最後に日本がこの地域で果たしうる役割を考える。 ※本科目は新興アジアの「政治」と「経済」を取り上げている。政治学及び経済学の関連する分野を事前ないし併せて履修することで効果的に学習を進めることができるだろう。また、日頃から新聞や雑誌などで政治に関するニュースに親しむことも有益である。
1539639 ヨーロッパ政治史（'24） 〈３２０〉 中山　洋平 （放送大学客員教授 東京大学教授） 水島　治郎 （放送大学客員教授 千葉大学教授） ※この科目は「ヨーロッパ政治史（'20）」の改訂科目です。 「ヨーロッパ政治史（'20）」の単位修得者は履修不可 2024年度開設科目	2	ラジオ （水）21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　70.7点 2026年度1学期　82.3点	［社会と産業コースと共用］ 19世紀以降の西ヨーロッパ諸国の政治発展を比較政治の分析枠組を用いて概観する。他の地域と比較すれば、確かに西ヨーロッパ諸国の政治には共通の基本的な特徴があるが、反面、少しでも細かく見ていけば、各国毎に無視できない多様性が見られることに気付く。この講義では、西ヨーロッパ諸国の政治がもつ、この共通性と多様性が、いかにして生じ、発展してきたのかを、近世以降の歴史的展開をマクロの視点からたどることで明らかにしていきたい。 ※高校で世界史を履修していない受講者は、市販の高校教科書で毎回の講義に対応する部分を予習しておけば、大いに理解の助けになるだろう。高校で履修したが基礎知識に自信がない場合も、使用した教科書に再度目を通しておくことを勧める。 ※改訂回は、第1、2、7 ～ 9、14 ～ 15回です。
1539744 現代の国際政治（'26） 〈３２０〉 白鳥　潤一郎 （放送大学准教授） 鈴木　一人 （放送大学客員教授 東京大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）0:45 ～ 1:30　（231ch） （月）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2026年度1学期　73.6点	［社会と産業コースと共用］ 新興国の台頭により、世界は再び激動の時代を迎えている。本科目では、まず国際政治の歴史的な変遷を押さえた上で、現代を「異質な国家間の相互依存状態が常態化した時代」と捉えて、安全保障や経済、環境、人権といった諸課題に目配りしながら現代の国際政治を検討していく。 ※国際政治を理解するためには政治学の基本や国内政治、国際法を押さえることも欠かせない。放送教材視聴の前後に印刷教材を読むことに加えて、事前学習として日頃から政治に関する報道に親しみ、事後学習として報道内容の再検討する機会を設けること。関連する分野の科目と組み合わせる形での履修すれば、学習効果が高まると期待される。
1579363 メディア論（'22） 〈３２０〉 水越　伸 （放送大学客員教授 関西大学教授） ※この科目は「メディア論（'18）」の改訂科目です。 「メディア論（'18）」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:00 ～ 6:45　（231ch） （金）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　85.7点	［情報コースと共用］ 2020年代、社会のあらゆる出来事はメディアに媒介されて生じ、世界のすべての国や地域はメディアを介して相互依存するようになった。コミュニケーションの「媒（なかだち）」としてのものやシステムであるメディアのあり方が、私たち自身や世界のあり方を大きく規定するようになった。そうしたなかで、私たちはメディアについての新たな思想・理論を必要としている。この講義では、メディアを時間と空間という二軸のなかに位置づけ、新しいメディア論の相貌を描き出していく。 ※日常生活で当たり前のように思われていることがらを批判的にとらえなおすことができるセンスと、学問をたんなる「勉強」としてとらえるのではなく、歴史的、あるいは空間的な想像力をめぐらして、現実社会に対して働きかけるための「批判的実践知」としてとらえる度量を持つ学生の履修を期待している。 ※全15回を改訂しています。
1529773 世界の学校（'24） 〈３２０〉 園山　大祐 （放送大学客員教授 大阪大学教授） 辻野　けんま （放送大学客員准教授 大阪公立大学准教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （金）18:45 ～ 19:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　75.1点 2026年度1学期　83.7点	［心理と教育コースと共用］ 世界の学校（ヨーロッパ、アジア、北米、南米）の制度、文化、歴史について日本との異同点について紹介する。生徒・教員・保護者目線で学校を捉えた内容とする。特に就学義務の国と教育義務の国による異同点に注目することで、学校（学びの保障）のあり方について問うてみたい。コロナ2019禍、教育産業化が加速する中、日本における不登校や隠れ不登校数の増加にみる学校不適応・嫌悪の課題について海外の学校の様子から、何が異なるのか。学校と代替学校との比較から世界ではどのように学習権が保障されているのか考えてみたい。 ※印刷教材を精読すること。印刷教材に示した参考文献、映画やホームページなども、できるかぎり参照すること。

人間と文化コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539590 **現代アメリカの政治と社会（'24）** 〈３２０〉 **渡辺　靖** （放送大学客員教授 慶應義塾大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）0:45 ～ 1:30　（231ch） （火）16:30 ～ 17:15　（232ch） 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　78.5点 2026年度1学期　82.1点	**［社会と産業コースと共用］** 「私はアメリカにおいてアメリカ以上のものを見た」。1831年春、仏貴族出身の判事修習生トクヴィル（当時25歳）は建国から約半世紀が過ぎたアメリカを視察し、アメリカ研究の古典的名著『アメリカのデモクラシー』の中にこう書き記しました。この言葉の意味するところは何か。アメリカはどこまで普遍性を有する存在なのか。アメリカの世界史的意味とは何か。本講義ではこうした点について、アメリカでの現地調査や時事的動向を踏まえながら考察します。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
1579428 **記号論理学（'24）** 〈３１０〉 **加藤　浩** （放送大学教授） **辰己　丈夫** （放送大学教授） **「記号論理学（'14）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　69.5点 2026年度1学期　70.3点	**［情報コースと共用］** 記号論理学とは、論理を論理式という数式のような記号で表して、厳密なやりかたで処理する方法の体系です。推論、すなわち、ある事態が成り立っている（真である）とき、そこから別の確実に成り立っている事態を導き出したり、また、その推論の正しさを証明したりするのが記号論理学の役割です。記号論理学は、数学をはじめとして、哲学、計算機科学などの基礎となるほか、論文執筆や議論やプレゼンテーションなどのコミュニケーションの基礎として重要です。本科目では、命題論理、一階述語論理などの意味を理解して自然言語と対応付けられるようにし、さらに論理式の計算方法を学びます。 ※「記号論理学（'14）」を単位習得したものは、本科目を履修登録できない。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
5530059 **社会科学で綴る伝記（'25）** 〈３２０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 伝記は一般にノンフィクションとされるが、現実にはフィクションを織り込んで綴られる場合が大半である。それに対し一人の人物に焦点を当て、フィクションを一切挟まずにその来歴を綴るには、社会科学の手法による調査や推論が大いに役立つ。本講では松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂）を参考文献とし、調査の手法および推論の方法、論述の手続きを紹介する。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像を見て学習を進めてください。また各回に設置されている学習活動の課題および解説につき不明な部分を残さないよう事後的に復習を行って下さい。各回の学習は最終レポートの部分であり、積み上げる形になっていますので、毎回、最終レポートで何を書くか全体像を考えておいて下さい。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修している学生同士で意見交換ができますので活用して下さい。 ※「開発経済学：アジア社会の変容（'24）」「海からみた産業と日本（'22）」「社会調査の基礎（'27）」「日本経済の比較史（'24）」等が社会科学の知識としては参考になるが、講義は主に以下の参考文献の内容を題材に説明を進める。 【参考文献】 松原隆一郎『頼介伝　無名の起業家が生きたもうひとつの日本近現代史』（苦楽堂） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1569422 **数学の歴史（'25）** 〈３２０〉 **三村　太郎** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　87.4点	**［自然と環境コースと共用］** 科学の根幹を支える学問である数学は、古代から長い歴史を持っており、地域や時代によってさまざまな数学的活動が営まれた。本科目では、古代から近代科学成立にいたるまで、数学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。 ※放送教材による学習の前に、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを手がかりに重要な用語を把握するなど印刷教材による事前学習を行うこと。加えて、事後学習として印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5940036 中国からジェンダー史を考える（'26） 〈４１０〉 小二田　章 （放送大学准教授） 五味　知子※ （放送大学客員准教授 慶應義塾大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（60%）により行う。	一般的に、社会において歴史的に形成されたジェンダーは人々が生きていく上でさまざまな側面に影響を与えている。反面、そのジェンダーを自明のものとし馴致させようとする構造と、社会と価値観の変化との間で生まれる軋轢も、徐々に人々の問題意識のなかに生まれてきた。本科目は、日本も含まれる東アジア地域において歴史的に形成されてきたジェンダーを、その影響の中心のひとつである中国を例に概観することで、そのありよう・位置づけを理解し、今日における「（社会の）あるべき姿」を考える手がかりとする。 ※事前学習としてシラバスと各回の資料を参照し、興味を持ったこと（よくわからないこと）について調べておくこと。事後学習として参考文献を読むなどして学習を深めておくこと。（事前・事後それぞれ2時間程度） 最終レポート準備：最終レポートの事前出題を読み、課題文を入手して読むなど準備を行い、最終回の出題後は準備をもとにして作成する。 ※特に必要な予備知識は求めないが、中国の歴史的流れについてはあった方が理解をより深めやすい（適宜概説書などを読むことで得られる程度）。関連する科目としては、テーマに「ジェンダー」を含む科目、あるいはあらゆる「歴史」の科目など、本科目履修後に比較的視座を持って受講してみるとよい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
5940010 時間を究める（'23） 〈４１０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） 佐藤　仁美※ （放送大学准教授） 岸根　順一郎※ （放送大学教授） ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終試験（48%）、及び第1回～第3回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいて評価する。	毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から時間について話して頂く。時間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'13）」「音を追究する（'16）」「色と形を探究する（'17）」「色を探究する（'23）」に連なる、多分野横断的な総合科目として構想する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
5940028 空間を考究する（'26） 〈４１０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） 佐藤　仁美※ （放送大学准教授） 岸根　順一郎※ （放送大学教授） ※は専門担当講師 2026年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終テスト（48%）、及び第1回・第3回・第8回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいてにより行う。	毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から空間について話して頂く。空間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」と共に、多分野横断的な総合科目として開講する。 ※事前学習として各回の分野での空間の考え方などをキーワードなどを参考にして学んだうえで講義映像を視聴し、練習問題を解いてください。各回の教材の学習が終わったのちには事後学習として参考文献を読んだり練習問題や小テストの問題を解きなおしたりなどして下さい。 ※他の総合科目である「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」なども併せて受講すると、より幅広い視野が得られるであろう。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては人間と文化コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1920022 色を探究する（'23） 〈４１０〉 佐藤　仁美 （放送大学准教授） 二河　成男 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　81.9点 2026年度1学期　88.8点	**［心理と教育コースと共用］** 人は、視覚的生き物とも言われている。視覚要素の代表の一つとして「色」がある。私たちは、色を通して、様々な表現をし、また、さまざまな影響を受けている。ヒトの言葉には、感情や状態を表す色を用いた言葉も少なくない。たとえば、「腹黒い」「赤っ恥」「黄色い声」など、その代表的に使われているものである。 本科目では、「色」というものに、文化的・物理的・生物的・精神的・芸術的・心理的視点など多角度からアプローチし、色の持つ意味を解き明かしていき、最終的に、私たちが住み心地・生き心地をよくする色の活用に結び付けていきたい。 ※以下が関連する科目である。 「初歩からの物理（'22）」「初歩からの化学（'18）」「住まいの環境論（'23）」「現代を生きるための化学（'22）」「宇宙の誕生と進化（'19）」「太陽と太陽系の科学（'18）」「コンピュータグラフィックス（'22）」「錯覚の科学（'20）」「神経・生理心理学（'26）」「知覚・認知心理学（'23）」「社会・集団・家族心理学（'26）」「臨床心理学概論（'20）」「多文化共生のコミュニケーション（'24）」「初歩からの生物学（'24）」「宮沢賢治と宇宙（'24）」

人間と文化コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1930125 **平和学（'27）** **〈４１０〉** **川出　良枝** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （水）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）5時限	**［社会と産業コースと共用］** どのように戦争を防ぐかという人類が未だに解決できない難問に対し、今求められていることは、平和のための理論的・思想的基礎を築くことである。本講義では、平和主義か、現実主義かという不毛な二項対立に陥ることなく、少しでも実現可能な平和を実現するために提起された多様な平和構想を検討する。思想家や為政者・実務家たちの構想やアイデアが、様々な屈曲を経て現実の制度（国際連盟・国際連合・ヨーロッパ連合など）へと展開していく大きな流れを追跡する。また、その過程で露見した理念と現実との間の葛藤にも目を向ける。 ※高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいが、必須ではない。政治学、国際関係論、国際法、歴史学、哲学など、幅広い科目と連動している。履修の順序については、これらを既習、あるいは同時履修するのが標準的なやり方である。ただし、テーマそのものに関心がある受講生は先に本科目を履修し、その後、各科目に進むやり方もあり得る。放送教材を必ず視聴すること、その事前学修としてあらかじめ印刷教材に目を通すこと、事後学修としては印刷教材を読み直し、参考文献を読むなどして理解を深めることが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1750062 **初歩からの情報科学 ('25)** 〈220〉 **辰己　丈夫** （放送大学教授） **高岡　詠子** 〔放送大学客員教授 上智大学教授〕 **「計算の科学と手引き ('19)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）6時限 2025年度2学期　81.1点 2026年度1学期　80.1点	情報科学と呼ばれる領域は、コンピュータや、ソフトウェアの動作に関する科学である。本授業では、抽象的な概念である情報の表現、その変換方法、ソフトウェアの動作原理であるアルゴリズムや、プログラム、ネットワーク、データベース、ユーザインタフェイスなどについて、どのようなしくみで動作するのか、その基本的な考え方と、その考え方に基づいた構築の実際について、初心者にわかりやすいように工夫を取り入れて説明する。人間の情報処理の基本原理に関する内容なので特定のターゲットはなく、社会人が共通にもつべき素養である。 ※履修に際しては、最小限のコンピュータを使用する経験があることが望ましい。例えば、学部放送授業「遠隔学習のためのパソコン活用 ('25)」、学部面接授業「初歩からのパソコン」の単位取得程度以上が望まれる。このレベルを満たしていることを事前学習として確認すること。また、この授業の受講後には、自ら教材の例を元にプログラムやモデルを作成して事後学習に努めること。この授業のあとには、「プログラミング入門Python ('24)」「続・C言語基礎演習 ('23)」「表計算プログラミング基礎AI版 ('27)」「ヒューマンインタフェース ('23)」「Webのしくみと応用 ('25)」「プログラムとアルゴリズムの基礎 ('26)」「記号論理学 ('24)」などを学ぶことが期待される。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
5750059 **プログラミング入門Python ('24)** 〈220〉 **辰己　丈夫** （放送大学教授） 2024年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(70%)、第8回で提出するレポート(30%)の評価により行う。	初めてプログラミングを学ぶ人を対象に、プログラミングの基本的な手順と考え方を扱います。プログラミング言語にはPythonを利用しますが、学ぶ内容は、他の言語を学ぶ際にも役立つ概念です。プログラミング未経験の人を対象としている授業となりますが、他の言語のプログラミングを経験した人にとっては、「Python言語の特徴」を知ることができる授業となります。プログラムを利用したグラフの書き方、プログラムを利用したデータサイエンス入門、コンピュータサイエンスの入門として学ぶことができるでしょう。 ※高校卒業程度（文科系）の数学の知識を有していることを前提とする。履修制限科目は存在しない。本科目単位取得後の発展科目は、次の科目（および、これらの後継科目）である。「ソフトウェア開発入門 ('27)」「プログラムとアルゴリズムの基礎 ('26)」「Rで学ぶ確率統計 ('27)」「C言語基礎演習 ('20)」「表計算プログラミング基礎AI版 ('27)」「小学校プログラミング教育概論 ('21)」「初歩からの情報科学 ('25)」。 履修するには、インターネットに接続されたパソコン（現在サポートされているOS（Windows11、MacOS、ChromeOS のそれぞれの最新版）で動作するもの）が必要です。スマートフォン、タブレット、インターネットにつながってないパソコンでは履修できません。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※Google Colaboratory の使用方法については、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「プログラミング入門Python ('24)」のページを参照してください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
5750067 **表計算プログラミングの活用 ('25)** **―体系的・実践的な理解へ―** 〈230〉 **辻　靖彦** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	本科目では、表計算ソフトのプログラミングに対して、その基礎をより体系的に理解し、実践的に活用できるようになることを目的としている。Microsoft Excel VBAを用いて学び、最終的に自身の業務における更なる効率化および自動化を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※コンピュータを用いて実習形式で行うことから、OSの基本操作やMicrosoft Excelにおける基本的な操作（セルやワークシートによる操作、グラフの作成、関数の使い方など）は習得されているものとする。また、OL科目「表計算プログラミングの基礎 ('21)」を完了しているか、もしくは、他のプログラミング言語を経験し基礎を習得していることが望ましい。 ※環境構築及び前提となりうる事項等については、オンライン授業体験版(https://online-open.ouj.ac.jp)の「表計算プログラミングの活用 ('25)」のページを参照してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方において情報コース開設科目ですが、心理と教育コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**

情報コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5750105 **表計算プログラミング 基礎 AI 版 ('27)** 〈２２０〉 **辻　靖彦** （放送大学教授） **「表計算プログラミングの基礎 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2027 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	本講義では、表計算ソフトウェアの一つであるExcelのプログラミング環境であるVBAを用いて、業務効率化を実現するための基礎的な知識･スキルを習得します。具体的には、Excel VBAの基本的な構文や変数、制御構文などを学習し、それらを組み合わせることで、データの集計、加工、分析、グラフ作成などの自動化プログラムを開発できるようになることを目指します。さらに、近年急速に発展している生成AIを用いたプログラミングの学習方法についても解説し、実践的なスキルを身につけることを目指します。 ※本科目はプログラミングの演習科目です。従って、タッチタイピングが苦手ですと本科目では苦労することになりますので苦手な方は事前学修として充分に練習しておいてください。 事後学修では、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目では生成AIツールを用いた演習が含まれ、その実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。実行環境の作り方は、オンライン授業体験版の「表計算プログラミング基礎AI版（'27）」を参照してください。なお、18歳未満の方が生成AIを用いる際には保護者の同意が必要です。必ず、保護者の同意を得てから本授業科目の履修手続きを行って下さい。 ※本科目はプログラミングの未経験者および初学者の方を対象としています。本科目を履修した次の段階の科目として、「表計算プログラミングの活用（'25）」があります。 ※本科目では、表計算プログラミング環境としてWindowsのデスクトップ版における最新版のMicrosoft Excelまたは Microsoft Excel 365のVBAを用います。Excel for the webおよびExcel for Macは不可ですのでご注意ください。 **※この科目は、2016 年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。** ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750083 **情報ネットワーク ('26)** 〈２２０〉 **芝﨑　順司** （放送大学教授） **「情報ネットワーク ('18)」の単位修得者は履修不可** 2026 年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、 レポート（40%）により行う。	情報ネットワークは現代社会で欠かせないインフラとなっている。特にモバイルや無線通信、移動体通信の利用拡大は急速に進み、自宅でも、会社でも、外出先でも常に情報ネットワークとつながるようになってきている。そのため、情報ネットワークの知識や技術は、現代社会で生きていくリテラシーとして必要不可欠なものになっている。本科目ではインターネットを含む、情報ネットワークの基本知識や技術について学習すると共に、産業、医療、教育、娯楽など様々な分野で行われている情報ネットワークを利用したサービスについて学習する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で、講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題、解説について、不明な部分を残さないように事後学習を行い、理解を深めてください。オンライン授業配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1579509 **情報セキュリティと 倫理・心得 ('26)** 〈２３０〉 **辰己　丈夫** （放送大学教授） **山田　恒夫** （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） **「情報セキュリティ概論 ('22)」「データサイエンス・リテラシ心得 ('22)」の単位修得者は履修不可** **※履修制限の詳細については、講義概要欄をご確認ください。** 2026 年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）15:45 ～ 16:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）3時限 2026年度1学期　92.5点	私達は、コンピュータ、インターネットを安全に利用することが求められている。本講義は、この領域を、将来は専門的に学びたいと考える初学者を対象として構成する。内容は、大きく次の3つの領域からなる。 (1) 情報セキュリティ：定義、数理的な仕組み、技術、情報システム、脅威、制度。 (2) 情報倫理：情報社会に必要な著作権や個人情報などの法令や倫理、ジレンマの取り扱いと、その教育普及の方法。 (3) 心得：数理・データサイエンス・AIを扱う際の留意事項と、データを守る上での留意事項。 ※本授業は入門レベル（「遠隔学習のためのパソコン活用（'25）」程度）を前提とする。事前学習として、情報セキュリティ・倫理に関する諸課題について興味を持ち知識を得ること。事後学習では、身近に発生してる事例について、学んだことを前提として説明するように取り組むこと。 ※「情報セキュリティと倫理･心得（'26）」と「データサイエンス･リテラシ心得（'22）」を同一学期に科目登録しようとする場合も履修制限がかかりますので、どちらか履修したい科目を1科目ご選択ください。 **※この科目は、2016 年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コース・人間と文化コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1750089 **情報法入門 ('27)** 〈２２０〉 **橘　雄介** （放送大学客員准教授 九州大学准教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ (木) 16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)4時限	本講義では情報及びインターネットに関する法的問題を扱う。この分野は情報法やインターネット法と呼ばれ、知的財産やプライバシー、個人情報、サイバー犯罪、プラットフォーム、情報セキュリティなどが関わる。もっとも、この分野は技術の発展に伴い変化を続けている。故に、本講義を通して、学生は情報に関する法について基礎的知識を得るだけではなく、法のダイナミックな展開を学ぶことができる。 本講義は、個人情報保護士認定試験や情報セキュリティマネジメント試験を目指す学生の参考にもなる。 ※「情報学へのとびら ('22)」とともに履修し、この科目を履修した後に「著作権法 ('22)」などに進んでいくことが望ましい。 ※事前事後学修として、事前には印刷教材を予習すること、事後には印刷教材の学習課題に取り組むことが望ましい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1750070 **英語で学ぶ情報学の歩み ('27)** 〈２１０〉 **青木　久美子** （放送大学教授） **マッキン　ケネスジェームス** （放送大学客員教授 東京情報大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (金) 15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)4時限	本科目は、情報学の基礎から最新のトレンドまで、情報学に貢献した人物を中心に英語で学ぶことを目的とする。学生は、情報学の歴史、重要な概念、技術の革新、及び社会的影響について学び、英語でのコミュニケーション能力と専門的知識の両方を身に付けることを目指す。 ※大学初年時レベルの英語語学力を修得済みであることを前提とします。事前学修としては印刷教材を読んでわからない部分はネットで調べること。また、事後学修としては、講義で扱われた英語の専門用語や文献を再確認し、印刷教材で指定された課題に取り組むこと。
1750046 **情報理論と** **デジタル表現 ('19)** 〈２３０〉 **加藤　浩** （放送大学教授） **浅井　紀久夫** （放送大学教授） **「デジタル情報と符号の理論('13)」の単位修得者は履修不可** 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)3時限 2025年度2学期　70.3点 2026年度1学期　76.2点	情報科学の基礎として、情報を数理的に取り扱う理論とデジタル表現に変換する方法を学ぶ。まず、情報を量的に取り扱うことのできるシャノンの情報理論に基づき、情報量やエントロピーなど情報の数理的扱いに触れる。次に、デジタル情報一般について、圧縮したり、誤りが生じたときにそれを検出・訂正したり、情報を暗号化したりする方法について述べる。そして、数値・文字・音声・画像・動画などのさまざまな形態の情報が、その特性に応じてどのような方式でデジタル情報として処理されているかを解説する。
5750091 **Rで学ぶ確率統計 ('27)** 〈２２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **「Rで学ぶ確率統計 ('21)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(50%)、レポート(20%)、最終テスト(30%)の評価により行う。	確率統計の概念を理解するには、実際に計算しながら学ぶことが有効である。オープンソースのプログラミング言語であるRには多くの統計解析や可視化のための関数があり、複雑な計算を行い、その結果を可視化することも容易にできる。また、様々なOSで動作し、無料で利用することができる。Rの操作を身につけることで、シミュレーションを通して確率統計の概念について、より具体的なイメージを持つことができる。そこで、Rによる基本的なデータ分析手順を学び、Rを活用して確率統計の概念を深く理解することを目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。特にRのスクリプトを用意するので、それを編集しながら実際に手を動かしながら講義内容を理解するようにしてください。 ※RStudioというソフトウェアを利用します。学習センターのPCを使って履修することはできません。環境構築の方法は、オンライン授業体験版 (https://online-open.ouj.ac.jp/) の「Rで学ぶ確率統計 ('27)」を参照してください。命令をキーボードで打ち込むのでパソコンの基本操作や設定を自分ひとりで行えることが履修の条件になります。 ※関連する科目として、「データの分析と知識発見」、「身近な統計」、「プログラミング入門Python」、「表計算プログラミング基礎AI版」がある。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。** ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

情報コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5750075 **ゲーム理論入門 ('25)** **〈２２０〉** **大西　仁** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（48%）、最終テスト（32%）、レポート（20%）の評価により行う。	ゲーム理論は、複数の主体が関わる行動の相互依存的状況や意思決定を数理的に分析する手法である。ゲーム理論は、経済行動を説明するために誕生したが、経済学のみならず、政治学や心理学等における意思決定や生物進化を分析する方法となっている。また、社会システムのシミュレーション、人工知能、通信や機械の制御にも利用されている。本科目では、ゲーム理論の基礎を高度な数学を使うことなく説明し、ゲーム理論的な思考法の習得を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1730185 **社会統計学入門 ('24)** **〈２２０〉** **林　拓也** （放送大学客員教授 奈良女子大学教授） **「社会統計学入門 ('12)」** **「社会統計学入門 ('18)」** **の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （木）15:00 ～ 15:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.3点 2026年度1学期　78.8点	**［社会と産業コースと共用］** 代社会において、それぞれの社会の実態や人々の行動・意識を明らかにすることを目的とした社会調査が数多く行われ、それに基づく分析結果がさまざまなメディアを通して提示されている。本講義では、社会調査に基づく分析結果を読みとるために必要となる統計学の基礎的な知識とともに、自分で分析を行おうと考えている履修者に対する分析の実践的側面も考慮した基本的な分析手法を扱う。具体的には、データの基礎集計、標本に基づく推測統計、2変数の関連分析、他変数を統制した関連分析について解説していく。講義の中では、実際のデータや分析例を紹介しつつ、必要に応じて統計量の計算手順も紹介していく。 ※本講義は、社会調査により得られたデータの分析を扱うので、「社会調査の基礎（'27）」（学部開設科目）を学んでおくことが望ましい。また、講義の中では、実際のデータに基づいて計算を行うことも多いので、あらかじめ電卓（平方根√の計算ができるもの）を用意しておくこと。
1730240 **社会調査の基礎 ('27)** **〈２１０〉** **北川　由紀彦** （放送大学教授） **玉野　和志** （放送大学教授） **「社会調査の基礎 ('15)」** **「社会調査の基礎 ('19)」** **の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （木）14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限	**［社会と産業コースと共用］** 社会調査に関する基本的事項（社会調査の目的、歴史、方法論、各種調査方法とその長所短所、調査倫理など）を学習する。卒業研究や修士課程での修士論文作成のために、あるいは職務や市民活動などの中で社会調査を行おうとする学生に対し、問題関心や目的に沿った的確な方法で適切に調査を実施し、分析し、結果をまとめるための基本的な考え方を習得してもらうことを特に念頭に置いている。 ※社会調査に関する基本的事項を学ぶことに主眼を置いていますので、量的データの分析手法についてより深く学びたい場合は「社会統計学入門（'24）」やその他の統計学に関する科目を活用してください。事前学修としては印刷教材各章の要点についての自分なりの整理を、事後学修としては各種メディアで結果が報じられる社会調査について、その方法や調査内容について調べたり調査結果の解釈の妥当性について考察したりしてみてください。
1760165 **入門微分積分 ('22)** **〈２２０〉** **石崎　克也** （放送大学教授） **※この科目は「入門微分積分（'16）」の改訂科目です。** **「入門微分積分 ('16)」** **「微分と積分 ('10)」** **の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）22:30 ～ 23:15　(231ch) （水）14:15 ～ 15:00　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　77.5点 2026年度1学期　73.2点	**［自然と環境コースと共用］** 微分積分学が自然科学・工学の発展において中心的な役割を果たしていることは言うまでも無い。2つの変量の間に関数の関係があれば、それらの変化量の割合を記述するものとして、導関数を考える。一般に導関数を求めることを微分するという。その逆演算として積分がある。積分法を理解するということは、面積・体積などへの応用手段を獲得するというだけでなく、関数方程式を取り扱う領域への入場券を手にすることとなる。この授業科目では、微分積分についての知識を前提とせず、大学レベルの微分積分を展開する。 ※本科目は実1変数関数の微分積分に限っている。実多変数関数や複素変数関数へ勉強を進めたい学生へは学部開設科目「解析入門（'24）」を履修することを推奨する。また、積分法の先にある微分方程式論については、学部開設科目「微分方程式（'23）」を履修することをお勧めする。当該科目と学部開設科目「演習微分積分（'19）」をセットで履修することが効果的であるが、同時でなくとも差し障りはない。履修の順も問わない。実際には、印刷教材・放送教材を参照しながらノートを作成し、演習問題などを自ら解答することが望ましい。 ※改訂回は全15回です。

情報コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5730015 **共生のための技術者倫理 ('24)** 〈２１０〉 **金光　秀和** （放送大学客員教授 法政大学教授） 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、最終レポート（40%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 本講義では、近年の科学技術の動向や社会的関心を踏まえながら、技術者倫理について学際的に考察する。科学技術と人間・社会との共生にとって中心的な役割を果たす技術者を主たる対象として、技術者倫理の必要性、専門家としての仕事のあり方、技術が社会に及ぼす影響力、技術開発や技術使用の倫理的・社会的側面を考察する機会を提供する。また、今日のグローバル社会におけるさまざまな文化圏の技術者の共生も考察する。なお、本講義は技術者に加えて、より良い社会の実現を目指す市民を対象とした教養教育の一助を担うことも企図している。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5730023 **社会科学の研究計画作成法 ('26)** 〈２１０〉 **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） **李　鳴※** （放送大学特任教授） **北川　由紀彦※** （放送大学教授） **堀部　安嗣※** （放送大学教授） **桑田　学※** （放送大学教授） **白鳥　潤一郎※** （放送大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、レポート（30%）により行う。	**［社会と産業コースと共用］** 学部における社会科学の修学で、卒業研究は受け身でない学びの始まりとなる。それまでの勉学の取組みは理解と暗記を柱としていたが、自分の関心に合わせみずから情報を集め、整理して、仮説を立てたり検証も試みてみたい。しかしそうした研究の計画は、初学者ほど規模が大きすぎたり、粗雑になるきらいがある。本講では「社会科学論文の書き方」以前に修得しておくべき論点に焦点を当て、適切な研究計画の立案に向けた基礎知識と考え方を説明する。 ※シラバスの内容から判断して事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学習を行い、理解を深めてください。卒業研究の履修申請を考えている方はこの科目の履修とは別に卒業研究の申請書を作成することになりますので、その際には本科目で学習した内容をふまえご自分の関心や能力に合わせて申請文を作成・修正していってください。なお、本科目でレポートとして提出していただく研究計画は社会科学分野の研究を想定しています。 ※社会科学の研究には、「日本語アカデミックライティング ('22) 」で説明されている日本語の書き方だけでなく、先行研究概説－仮説形成－論証－仮説の斬新さの説明という思考法が不可欠になります。 ※本科目において作成・提出する研究計画は卒業研究履修申請書そのものではありません。また、本科目の単位修得は卒業研究の履修許可を保証するものでもありません。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579452 **データ構造の基礎 ('24)** 〈３２０〉 **鈴木　一史** （放送大学教授） **「データ構造とプログラミング ('13) 」** **「データ構造とプログラミング ('18) 」** **の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　87.0点 2026年度1学期　87.9点	計算機科学において重要な「データ構造」、「アルゴリズム」、「プログラミング」について学習する。基本的なデータ構造の例として、配列、スタック、キュー、連結リスト、双方向連結リスト、環状連結リスト、バイナリーサーチツリー、平衡木、ハッシュテーブル、ヒープ、グラフ等について学習する。また、これらのデータ構造を利用したデータの基礎的な操作（探索、挿入、削除）等について学び、再帰や整列アルゴリズムについても学習する。 ※計算機科学やプログラミングの入門的科目を履修しており、初歩的なプログラミング（変数、データ型、演算、条件分岐、繰り返し処理、関数、ファイル、クラス、オブジェクト等）について理解していることが望ましい。 ※ Python のプログラミング開発環境を構築し利用できること。（Python 公式、Anaconda、Google Colaboratory 等の任意の環境で Python コードの作成や実行ができればよい。） ※「データ構造とプログラミング ('13) 」「データ構造とプログラミング ('18) 」の単位修得者は履修不可。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579479 **生活を支えるコンピュータ技術 ('25)** 〈３２０〉 **葉田　善章** （放送大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (金) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)2時限 2025年度2学期　77.0点 2026年度1学期　83.9点	コンピュータはハードウエアとソフトウエアが組み合わさって初めて動作が実現される装置である。私たちの社会は、コンピュータ技術の進展とともに、さまざまなモノにコンピュータが搭載されるIoT化が進み、コンピュータが提供する多種多様なサービスによって活動が支援されるようになった。本科目は、IoT社会実現の鍵となるコンピュータの基本的な動作、オペレーティングシステムが持つ機能、コンピュータにより実現されるサービス、AIなどによって進むハードウエアの変革、データにより高度化するサービスについて学ぶ。 ※放送教材による学習に先立ち、印刷教材による学習を行うこと。事後学習として、放送教材、印刷教材の不明点を踏まえ、現状の技術動向や技術的な課題について自分で調査して明らかにするとともに、印刷教材の課題に取り組むこと。 ※必須ではないが、「情報理論とデジタル表現 ('19)」「デジタル情報の処理と認識 ('22)」「ネットワークとスマート社会 ('27)」「コンピュータ通信概論 ('24)」といった、コンピュータで取り扱う理論や、コンピュータ、ネットワークに関連する科目を受講していることが望ましい。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1579533 **ソフトウェア開発入門 ('27)** 〈３１０〉 **阿萬　裕久** （放送大学客員教授 愛媛大学教授） **小笠原　秀人** （放送大学客員教授 千葉工業大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (木) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (木) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)1時限	プログラミングの基礎を学習した初学者のための次のステップとして、本講義では「ソフトウェアをどのようにして開発するのか」について、その基本的な考え方と技法について学ぶ。具体的には、簡単なアプリケーション開発を例題として採り上げ、それをどのように作ってどのようにテストするのか、どのように保守していくのかといった視点からソフトウェア開発の基礎的知識を学ぶ。 ※学部開設科目「プログラミング入門 Python ('24)」を履修済みであること。あわせて、「データベース ('23)」を履修済み、または履修中であることが望ましい。放送教材を視聴する前の事前学修として、印刷教材の該当する章を読んでおくこと。また、放送教材で学習した後の事後学修では、各章末に示された演習問題を解いたり実際に開発の一部を自分でも行ったりして講義の内容を復習し、理解を深めること。
5570050 **C言語基礎演習 ('20)** 〈３１０〉 **森本　容介** （放送大学客員教授） 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(80%)、 レポート(20%)の評価により行う。	実際にプログラムを作りながら、C言語の文法を学ぶ。変数・型・演算などの概念、制御構造、関数を扱う。 ※C言語の開発環境を自分で用意できることが履修の条件になります。学習センターのPCを使って履修することはできません。環境構築の方法は、オンライン授業体験版 (https://online-open.ouj.ac.jp/) の「C言語基礎演習 ('20)」を参照してください。一般的なソフトウェアのインストール等と比較して、C言語の開発環境の構築は難しいため、用意できることを確認してから履修登録を行ってください。 ※本科目の学習は、テキストを読んでプログラムを作ることを繰り返します。映像による説明が中心の通常の科目とは異なりますので、オンライン授業体験版でご確認ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5570115 **続・C言語基礎演習 ('23)** 〈３２０〉 **森本　容介** （放送大学客員教授） 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(80%)、 レポート(20%)の評価により行う。	「C言語基礎演習 ('20)」では取り扱わなかった、ビットを対象とする演算、配列、ポインタ、文字列操作、構造体などについて解説する。テキストによる解説の後で実際にプログラムを作成する演習型の科目である。 ※講義は、「C言語基礎演習 ('20)」を履修済みであることを前提に進行します。C言語の開発環境を自分で用意できることが履修の条件になります。ソースコードのコンパイルと実行ファイルの実行ができることを確認してから科目登録申請を行ってください。環境構築の方法は、オンライン授業体験版 (https://online-open.ouj.ac.jp/) の「C言語基礎演習 ('20)」(「続・C言語基礎演習 ('23)」ではありません。) を参照してください。本科目の学習は、テキストを読んでプログラムを作ることを繰り返します。映像による説明が中心の通常の科目とは異なりますので、オンライン授業体験版でご確認ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579487 Webのしくみと応用 ('25) 〈３２０〉 森本　容介 （放送大学客員教授） 伊藤　一成 （放送大学客員教授 青山学院大学教授） ※この科目は「Webのしくみと応用 ('19)」の改訂科目です。 「Webのしくみと応用 ('15)」「Webのしくみと応用 ('19)」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (日) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)5時限 2025年度2学期　78.2点 2026年度1学期　78.2点	日常生活や仕事を進める上で、Webは重要な役割を果たしている。Webの仕組みとWebアプリケーションを実現するための技術を学び、普段意識せずに使っているWebの裏側を理解する。さらに、Webの関連技術やWebを使った応用システムについて学ぶ。 ※「情報ネットワーク ('26)」を履修しておくことが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、学習した内容が実際のWebでどのように使われているかを調査するなどして、知識の定着に務めること。
5570131 ソフトウェア開発のデータ分析 ('26) 〈３３０〉 小笠原　秀人 （放送大学客員教授 千葉工業大学教授） 阿萬　裕久※ （放送大学客員教授 愛媛大学教授） 片峯　恵一※ （放送大学客員准教授 九州工業大学准教授） ※は専門担当講師 2026年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト (35%)、レポート (65%) により行う。	本科目は、ソフトウェアの開発において、品質向上を目的とした様々なデータ分析の技術を適用し、データ分析の結果から、何を読み取るかを学ぶ。 ※LMS上に掲載する資料等を参考にして事前学習を行い、その上で講義映像を視聴して学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題は、実際に解くことで学習の内容を確認すると共に、理解を深めるために用意してあります。この課題の解き直しや復習を事後学習として求めます。課題を解く上で不明な部分があるときは、LMS上の交流フォーラムや講師への質問箱を活用し、不明点を残さないようにしましょう。 ※この科目を履修する前に、「身近な統計 ('24)」を履修していることが望ましい。この科目を履修した後に、「データの分析と知識発見 ('24)」、「数値の処理と数値解析 ('22)」を履修することで、更に数値の重要性をより深く理解できるようになる。また、本講義でも人工知能を活用した見積り技術を紹介しているが、多様なデータ活用事例を理解するために「AI技術を人と社会へとつなぐ ('27)」の履修を推奨する。 全8回の講義映像は全て、インターネット配信公開講座『ソフトウェア開発の応用』と同様です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1579541 ネットワークとスマート社会 ('27) 〈３２０〉 葉田　善章 （放送大学准教授） 2027年度開設科目	2	テレビ (月) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (月) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)2時限	本科目は、コンピュータネットワークを基盤として発展してきた情報技術について、基礎から体系的に学ぶ。通信方式やプロトコル、ネットワーク構成などの基本を整理した後、クラウドコンピューティング、IoT、車載ネットワークなど、ネットワークを活用した計算機利用の形態とその変遷を解説する。さらに、ビッグデータと人工知能 (AI) の関係、自動運転やロボットに代表されるフィジカルAI、デジタルツインやコモングランドといった社会基盤技術を取り上げ、実世界と仮想世界を往復するデータ活用の構造を理解することを目的とする。 ※本科目は、ネットワークを基盤とする情報技術の全体像を理解することを目的としているため、コンピューターやネットワークに関する基礎知識があると理解しやすい。 事前学修として、放送教材による学習に先立ち、印刷教材による学習を行うことが望ましい。事後学修として、放送教材および印刷教材で生じた不明点を踏まえ、現状の技術動向や技術的課題について自ら調査・整理するとともに、印刷教材の課題に取り組むこと。 必須ではないが、「情報ネットワーク ('26)」「Webのしくみと応用 ('25)」「生活環境情報の表現−GIS入門 ('20)」「生活を支えるコンピュータ技術 ('25)」「コンピュータ通信概論 ('24)」など、コンピューターで取り扱う理論や、コンピューター、ネットワークに関連する科目を受講していることが望ましい。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
1579401 データベース ('23) 〈３２０〉 辻　靖彦 （放送大学教授） 芝﨑　順司 （放送大学教授） 「データベース ('17)」の単位修得者は履修不可 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (水) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)5時限 2025年度2学期　82.7点 2026年度1学期　86.3点	日常生活や仕事を進める上で重要なシステムではほとんど利用されているデータベースについて、その概念、歴史、仕組みと応用を、例を交えて基本から解説する。身近なデータベースの活用例から始まり、データベースを使うとどのような所が便利なのか、データベースの意義や役割を明らかにし、もっとも利用頻度の高いデータベースであるリレーショナルデータベースの設計・管理方法を解説する。さらに、データベース技術の応用として、大規模データに対して整合性よりも迅速な処理が必要となるNoSQLなど新しい技術についても扱う。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5750040 **情報セキュリティの理論と基盤（'23）** **〈３２０〉** **菊池　浩明** （放送大学客員教授 明治大学教授） **上原　哲太郎※** （放送大学客員教授 立命館大学教授） **「情報ネットワークセキュリティ（'19）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）とレポート（40%）に基いて評価する。	情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質か深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 ※「情報セキュリティの現状と展望（'23）」との連続した受講が効果的である。 【参考文献】 『IT Textネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL：https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm）でご確認をお願いします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5570123 **情報セキュリティの現状と展望（'23）** **〈３２０〉** **上原　哲太郎** （放送大学客員教授 立命館大学教授） **菊池　浩明※** （放送大学客員教授 明治大学教授） **「情報ネットワークセキュリティ（'19）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）とレポート（40%）に基づき評価する。	情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質か深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 ※「情報セキュリティの理論と基盤（'23）」との連続した受講が効果的である。 【参考文献】 『IT Textネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL：https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm）でご確認をお願いします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1579525 **プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）** **〈３１０〉** **鈴木　一史** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （金）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2026年度1学期　93.0点	計算機科学で重要なプログラミングや基礎的なアルゴリズムについて学習する。変数、演算、条件分岐、繰り返し、関数、文字列について学ぶ。また、リスト、タプル、辞書、集合、その他の応用的なコンテナデータ型について学習する。データ分析、可視化、機械学習などを行うパッケージの利用例について学ぶ。プログラミングのコード例にはPythonを用いる。 ※Pythonのプログラミング開発環境（Google Colaboratory や Anaconda等）を準備でき、初歩的なプログラミングについて理解していることを前提とする。Pythonの基礎的な文法の事前学習を行い、学習を進めること。また、Pythonの外部ライブラリのチュートリアル等で事後学習を行うこと。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
1579436 **コンピュータ通信概論（'24）** **〈３２０〉** **葉田　善章** （放送大学准教授） **※この科目は「コンピュータ通信概論（'20）」の改訂科目です。** **「コンピュータ通信概論（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）2時限 2025年度2学期　78.1点 2026年度1学期　82.8点	通信は、現代のヒトとヒトのコミュニケーションを支えるとともに、高度なコンピュータ社会を支える重要な基盤技術といえる。本科目では、有線・無線を問わず、コンピュータで取り扱うデータを信号として表現し、遠くまで伝送する通信の基本的なしくみを学ぶとともに、無線LANや携帯電話などの移動体通信、衛星通信や海底ケーブルなどによる現代の通信について学ぶ。そして、モノのインターネットと呼ばれるIoT（Internet of Things）に代表される高度化する将来のコンピュータ通信について概観する。 ※信号の取り扱いのような、文章よりも理解しやすいと思われる部分では数式による説明を用いているため、数学の基本的な知識があることが望ましい。 ※本科目は「情報ネットワーク（'26）」「ネットワークとスマート社会（'27）」「生活を支えるコンピュータ技術（'25）」といった、コンピューターやネットワークに関連する科目の基礎となる科目である。必須ではないが、「情報学へのとびら（'22）」「情報理論とデジタル表現（'19）」といった、符号の取り扱いに関する科目を受講していることが望ましい。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579339 教育のためのICT活用（'22） 〈３１０〉 中川　一史 （放送大学教授） 苑　復傑 （放送大学教授） ※この科目は「教育のためのICT活用（'17）」の改訂科目です。 「教育のためのICT活用（'17）」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）21:45 ～ 22:30　（231ch） （火）13:30 ～ 14:15　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　90.0点 2026年度1学期　88.8点	初等中等教育におけるICT、高等教育におけるICTを活用した授業、ICTを活用した障害者のための教育、教育におけるeラーニングの活用など、ICTと学校教育に関する基礎知識を具体的な事例にそくして扱う。 ※「教育のためのICT活用（'17）」の単位修得者は受講できない。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1570390 ユーザ調査法（'20） 〈３２０〉 高橋　秀明 （放送大学教授） ※この科目は「ユーザ調査法（'16）」の改訂科目です。 「ユーザ調査法（'16）」「情報機器利用者の調査法（'12）」の単位修得者は履修不可 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）6:00 ～ 6:45　（231ch） （土）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　82.3点 2026年度1学期　88.5点	コンピュータやインターネットが普及するにつれて、私たちはさまざまなハードウェアやソフトウェア、サービス、そしてシステムに取り巻かれて生活するようになった。こうしたものを私たちにとって便利で使いやすいものとするためには、まず、それらを利用する情報機器利用者（ユーザ）についての的確な理解を得ることが大切であり、そうした情報を得たうえでシステムの設計を行うことが必要である。本科目では、そのための調査法を多面的に取扱い、情報学のための研究方法の基礎として位置づける。 ※この科目では、心理学的な概念や手法を利用することが多いので、受講者は、「心理学研究法（'20）」「知覚・認知心理学（'23）」などを受講しておくことが望ましい。また、統計的な手法を利用することもあるので「身近な統計（'24）」「心理学統計法（'21）」を受講しておくことも望ましい。なお、「情報機器利用者の調査法（'12）」「ユーザ調査法（'16）」の既修者は単位としては認められない。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1570340 情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 〈３１０〉 広瀬　洋子 （放送大学特任教授） 関根　千佳 （放送大学客員教授 美作大学客員教授） 「情報社会のユニバーサルデザイン（'14）」の単位修得者は履修不可 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）6:00 ～ 6:45　（231ch） （木）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　91.8点 2026年度1学期　93.5点	情報技術の進展により、情報は現代社会において大きな意味を持つ。情報は、まちづくり、ものづくり、教育、交通など、生活のあらゆる場で不可欠なものである。しかし、現代社会においては、多様なニーズを持つ人々が、情報、教育、放送メディア、社会活動などに「アクセス」することの重要性に対する認識が高まっている。この講義では、情報や教育のアクセシビリティを中心に、国内外の状況、支援技術やユニバーサルデザインの状況を理解し、高齢化、情報化の進む21世紀における人間と情報の在り方について考える。 ※インターネット接続が可能であること。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1579363 メディア論（'22） 〈３２０〉 水越　伸 （放送大学客員教授 関西大学教授） ※この科目は「メディア論（'18）」の改訂科目です。 「メディア論（'18）」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:00 ～ 6:45　（231ch） （金）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）1時限 2025年度2学期　82.1点 2026年度1学期　85.7点	2020年代、社会のあらゆる出来事はメディアに媒介されて生じ、世界のすべての国や地域はメディアを介して相互依存するようになった。コミュニケーションの「媒（なかだち）」としてのものやシステムであるメディアのあり方が、私たち自身や世界のあり方を大きく規定するようになった。そうしたなかで、私たちはメディアについての新たな思想・理論を必要としている。この講義では、メディアを時間と空間という二軸のなかに位置づけ、新しいメディア論の相貌を描き出していく。 ※日常生活で当たり前のように思われていることがらを批判的にとらえなおすことができるセンスと、学問をたんなる「勉強」としてとらえるのではなく、歴史的、あるいは空間的な想像力をめぐらして、現実社会に対して働きかけるための「批判的実践知」としてとらえる度量を持つ学生の履修を期待している。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・人間と文化コースで共用科目となっています。**

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579444 **情報化社会における メディア教育（'24）** 〈３２０〉 **苑　復傑** （放送大学教授） **中川　一史** （放送大学教授） **※この科目は「この科目は情報化社会におけるメディア教育（'20）」の改訂科目です。** **「情報化社会におけるメディア教育（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （日）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　94.7点 2026年度1学期　91.7点	本科目は情報化社会におけるメディアと教育のあり方に関して、第1回から第9回までは初等中等教育および高等教育において、ICTがどのように活用されているかについて学び、第10回から第15回にかけては、さらにメディアを用いる教育の意味、メディア・リテラシーの実際とその意味を学ぶ。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
5570077 **小学校プログラミング 教育概論（'21）** 〈３１０〉 **中川　一史** （放送大学教授） **小林　祐紀※** （放送大学准教授） ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、 レポート（50%）の評価により行う。	小学校プログラミング教育の学習指導要領の解説、位置づけや中学校、高等学校におけるプログラミングなどの解説から知識を習得するとともに、各教科での授業の実際や授業外の活動などの具体的な事例から理解を深めるようにする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**
1579380 **ヒューマンインタフェース（'23）** 〈３２０〉 **増井　俊之** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学教授〕 **小池　英樹** 〔放送大学客員教授 東京科学大学教授〕 2023年度開設科目	2	テレビ ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　68.5点 2026年度1学期　87.6点	コンピュータを人間が利用するための技術の歴史と現状を学び、何故そういう技術が使われてきたのか／どういう技術や社会が理想なのか／理想に近づくためにはどのような考察が必要なのか／などを幅広く学ぶ ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、生活と福祉コース・心理と教育コースで共用科目となっています。**
5570085 **コンピュータ グラフィックス（'22）** 〈３２０〉 **浅井　紀久夫** （放送大学教授） **※この科目は「CGと画像合成の基礎（'16）」の改訂科目です。** **「CGと画像合成の基礎（'16）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、 演習課題（25%）の評価により行う。	3次元コンピュータグラフィックス（3DCG）の基本を解説し、簡単な描画を実践する。3DCGの描画の仕組みに重点を置き、その技術の基本原理を、描画例や応用例を示しながら平易に説明する。3DCGの発展の歴史や応用から始まり、描画手順、座標変換、3次元形状の作成、画像の生成、質感表現など、3DCGの原理と各種手法、そして、イメージベースの手法や照明環境の復元等の応用へと展開する。3DCGの作成と構成、描画について理解を深めるため、3DCGソフトウェアを使って簡単な3DCGを作成・描画する実習を含む。 ※3DCGソフトウェアをご自身のパソコンにインストールできていること、パソコンの操作や設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。扱う3DCGソフトウェアの種類やバージョン、インストールの仕方は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「コンピュータグラフィックス」を参照して下さい。パソコンにGPUが搭載されていると、快適に作業できます。 ※関連科目として「コンピュータビジョン」、「映像コンテンツの制作技術」、「デジタル情報の処理と認識」があります。これらの科目は本科目履修の条件ではありませんが、参考にできます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※全15回を改訂しています。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579495 **映像コンテンツの制作技術（'25）** 〈３１０〉 **近藤　智嗣** （放送大学副学長） **※この科目は「映像コンテンツの制作技術（'20）」の改訂科目です。** **「映像コンテンツの制作技術('16)」「映像コンテンツの制作技術('20)」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）6:00 ～ 6:45　（231ch） （日）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）2時限 2025年度2学期　92.0点 2026年度1学期　93.8点	情報コースのマルチメディア領域の科目として、映像コンテンツの制作技術を体系的に学ぶ科目である。制作工程としては、プリプロ、プロダクション、ポスプロの3つに大きく分けることができ、映像制作に必要な技能としては、技術面と表現面があり、商用の映像制作では、これらの各分野で細かく分業化されている。しかし、本科目は各専門職を養成することが目的ではないため、映像制作の全体について体系的に扱う。また、一般的な映像制作講座ではなく、高等教育の学問分野として映像コンテンツの制作を位置づけている。 ※必要な予備知識はありませんが，事前学習としてキーワードなどを確認し，重要な用語を把握すること。放送授業の視聴及び印刷教材での学習後には，事後学習として印刷教材で指定された課題などで学習を深めてください。 ※全15回を改訂しています。
5570093 **デジタル情報の処理と認識（'22）** 〈３１０〉 **柳沼　良知** （放送大学教授） **※この科目は「デジタル情報の処理と認識（'18）」の改訂科目です。** **「デジタル情報の処理と認識（'18）」、「デジタル情報の処理と認識（'12）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、 レポート（40%）の評価により行う。	コンピュータは、計算する機械である一方で、文字、音声、画像、映像といった多様な情報も扱うことができる。しかし、これらの情報がどのように扱われているかは、外からは見えにくいのが現状である。このため、本講義では、文字、音声、画像、映像といった情報の処理や認識がコンピュータ上でどのように行われているかについて概説する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。 ※全15回を改訂しています。
1579371 **自然言語処理（'23）** 〈３２０〉 **黒橋　禎夫** （放送大学客員教授 国立情報学研究所長） **「自然言語処理（'19）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　83.2点 2026年度1学期　83.6点	日本語や英語などの自然言語は人間の知的活動の根幹をささえるメディアである。自然言語のコンピュータ処理に関する研究・技術分野を自然言語処理と呼ぶ。近年のコンピュータおよびニューラルネットワークの進展とともに自然言語処理技術は劇的に進展し、ウェブサーチ、対話システム、機械翻訳などの応用システムが我々の日常に浸透しはじめている。本講では、その背後にある自然言語処理の仕組み、難しさ、今後の展開などを解説する。 ※計算機科学および確率統計の入門的科目を履修していることが望ましい。
1579517 **情報デザイン（'26）** 〈３１０〉 **伏見　清香** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）6:00 ～ 6:45　（231ch） （月）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2026年度1学期　92.5点	現代社会では、だれもが発信者になることができる。データを収集、選択、編集し、情報に形を与えて発信をする。その活動がデザインであり、設計とも言い換えることのできるこのプロセスは、社会で仕事をする際や、研究を進める場合にも不可欠である。この授業では、私たちの生活を取り巻く情報デザインの事例を取り上げながら、導入の後、情報デザインの基礎を学び、続いて各論を説く。さらにその展開を講義する。情報デザインは、科学技術の進歩とともに、常に広がり、進化し続けている。 ※放送教材による学習の前後に行うべき印刷教材による学習について：事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に、日常生活における自身のデザイン行為について考えてみてください。事後学習としては、自身の生活をより豊かにするデザイン活動について考えてみてください。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コースで共用科目となっています。**

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5570107 **コンピュータビジョン（'22）** **ー画像処理による** **情報抽出の技法ー** 〈３３０〉 **浅井　紀久夫** （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、 演習課題（25%）の評価によって行う。	コンピュータビジョンの応用を紹介し、その中で使われる基本的技術を解説する。コンピュータに視覚を持たせるという究極の目標に対して、(1) 自己位置推定と地図構築、(2) 機械学習による画像認識という問題に焦点を絞り、これらを実現するための技法を説明する。画像からの3次元構造の復元および画像に写る物体の認識、これらを実現するためのコンピュータビジョンにおける基本的手法を扱う。その手法の一部を画像処理ライブラリを使ったプログラムで実行し、その動作を確認することでその手法の理解につなげる。 ※本授業ではPythonによる演習が含まれ、Python実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。Python実行環境の作り方は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「コンピュータビジョン（'22）」を参照して下さい。 ※プログラミングおよびPythonの文法についての基礎知識も必要です。プログラミング経験の無い方はオンライン授業「C言語基礎演習（'20）」、「プログラミング入門Python（'24）」、放送科目「データ構造の基礎（'24）」「プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）」を先に受講して下さい。また、Pythonの基本的文法を学ぶためのWebサイトを用意しましたので、そちらを先に習得して下さい。アクセス情報は上記のオンライン授業体験版「コンピュータビジョン（'22）」にあります。 ※数学的知識として線形代数および微分積分の基礎を要します。数学的知識が不足している方は、導入科目「入門線型代数（'19）」「入門微分積分（'22）」を先に受講して下さい。また、関連科目として「デジタル情報の処理と認識（'22）」「コンピューターグラフィックス（'22）」「情報理論とデジタル表現（'19）」「問題解決の数理（'27）」「データの分析と知識発見（'24）」があります。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1579410 **画像処理（'24）** 〈３２０〉 **柳沼　良知** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　87.0点 2026年度1学期　87.4点	画像や映像は幅広い分野で利用されており、これらを有効に活用する技術は、様々な場面で必要とされる。本科目では、コンピュータ上でデジタル画像を扱うために必要となる、画像変換や空間フィルタリング等の画像処理技術について、実際のプログラム例なども示しながら概説する。また、文字認識等の画像認識がコンピュータ上でどのように行われているかについてもあわせて紹介する。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
1579550 **問題解決の数理（'27）** 〈３３０〉 **大西　仁** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）5時限	本講義では、主に決定問題を数理モデルを用いて解く方法を解説する。問題の目的や制約条件を数理モデルで定式化することにより、計算機に問題を解かせることが可能になり、手計算では解けない複雑な問題でも解けるようになる。決定問題は、工学のみならず、日常生活、経営、行政等のあらゆる場面に現れる。実用レベルの問題は計算機で解く必要があり、そのためのソフトウエアも普及していることから、解法の数学的詳細より、具体的な問題を簡単な数式により定式化することに重点をおく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修としては、印刷教材で前提となる用語や数学的知識を理解すること。事後学修としては、印刷教材の演習課題を解き、その応用・発展問題等に取り組むこと。数理最適化法演習（'20）、ゲーム理論入門（'25）を事前に履修することを推奨する。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育・社会と産業コースで共用科目となっています。**
1579460 **データの分析と** **知識発見（'24）** 〈３２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **※この科目は「データの分析と知識発見（'20）」の改訂科目です。** **「データの分析と知識発見（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）6:00 ～ 6:45　（231ch） （水）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.2点	現在、ICTの進歩に伴い、大量のデータが収集、蓄積され、それを元に大量の計算がなされ多くの情報・知識を得ることができるようになった。現在氾濫するデータや情報にどう接し、それとどう付き合っていくべきなのか、また、そういった情報を抽出するためにはどういった処理をすれば良いのか、といった事について、具体的に演習を通して身につけることを目指す。 ※データ分析の手法を説明するとともに、Rを用いて実際の分析の手順についても説明する。理解するには大学初年次程度の数学の知識や基本的なパソコン操作が行えることを前提として講義を行う。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、心理と教育コース・社会と産業コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579428 **記号論理学（'24）** 〈３１０〉 **加藤　浩** （放送大学教授） **辰己　丈夫** （放送大学教授） **「記号論理学（'14）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　69.5点 2026年度1学期　70.3点	記号論理学とは、論理を論理式という数式のような記号で表して、厳密なやりかたで処理する方法の体系です。推論、すなわち、ある事態が成り立っている（真である）とき、そこから別の確実に成り立っている事態を導き出したり、また、その推論の正しさを証明したりするのが記号論理学の役割です。記号論理学は、数学をはじめとして、哲学、計算機科学などの基礎となるほか、論文執筆や議論やプレゼンテーションなどのコミュニケーションの基礎として重要です。本科目では、命題論理、一階述語論理などの意味を理解して自然言語と対応付けられるようにし、さらに論理式の計算方法を学びます。 ※「記号論理学（'14）」を単位習得したものは、本科目を履修登録できない。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、人間と文化コース・自然と環境コースで共用科目となっています。**
1579355 **数値の処理と数値解析（'22）** 〈３３０〉 **櫻井　鉄也** （放送大学客員教授 筑波大学教授） **※この科目は「数値の処理と数値解析（'14）」の改訂科目です。** **「数値の処理と数値解析（'14）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	ラジオ （水）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2025年度2学期　78.8点 2026年度1学期　85.4点	数値解析は、データの分析や機械学習、自然現象のシミュレーション、製品の設計や開発、信号処理や画像解析など、幅広い分野で利用されている。本講では、コンピュータを用いて数値計算を行うときに必要となる数値の表現や処理について理解する。また、各種の問題に応じたアルゴリズムについて基本的な手法を修得する。計算方法を記述するためのアルゴリズムやそれをコンピュータに指示するためのプログラムについても概説する。 ※計算法の説明では線形代数や微積分が現れるため、これらの基礎知識があることが望ましい。講義中で扱う例は線形代数や微積分の応用例にもなっており、これらの理解にも役立つ。数値計算は実際にコンピュータ上で実行して結果を確認することがより深い理解につながるため、実際に数値計算を経験してみることを勧める。 ※改訂回は第1、2、9、10回です。 **※この科目は、情報コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。**
5570069 **数理最適化法演習（'20）** 〈３２０〉 **大西　仁** （放送大学教授） 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（30%）、最終テスト（30%）の評価により行う。	本科目では、決定問題を数理モデルとして定式化して、計算機で最適解を求める数理最適化法の講義と演習を行う。決定問題は、工学のみならず、日常生活、経営、行政等に遍く存在するため、数理最適化法は多様な領域に応用されている。数理最適化法の習得には、具体的な決定問題を実際に定式化して、最適解を計算してみることが有効であることから、計算機ソフトウェアを使用した演習を行う。 ※表計算ソフトウェアExcelを使用する。Excelの代わりにLibreOffice Calc、R、Pythonのいずれかでも受講可能であるが、履修登録に先立ち、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「数理最適化演習（'20）」の指示に従い、インストールをしておくこと。 ※放送授業「問題解決の数理（'27）」と関わりが深いが、この科目単独でも受講可能。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1569414 **解析入門（'24）** 〈３２０〉 **河添　健** （放送大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授） **※この科目は「解析入門（'18）」の改訂科目です。** **「解析入門（'18）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　76.3点 2026年度1学期　78.6点	**［自然と環境コースと共用］** 微積分を学んだ次のステップとして、多変数関数および複素関数の微積分について学習します。2変数の実関数を対象に、その可視化、微分、多式近似、極値問題、積分、面積・体積などを考えます。次にその発展として、実変数を複素数に変えて複素関数の微積分を扱います。複素関数は実関数にない不思議な性質をもっています。その応用として留数の原理を用いた定積分の計算を紹介します。1変数の微積分を復習しつつ講義を進め、歴史的な背景などを交えて分かり易く解説します。グラフを多用し、視覚的にも理解しやすい放送授業を展開します。※1変数の実関数の微積分にも多くの面白さや応用があります。それを多変数の実関数や複素関数に拡張することにより、さらなる面白さや応用が広がります。したがって「入門微分積分（'22）」で学んだ1変数の実関数についての微積分の基礎があることが必要です。しかし完璧に覚えている必要はありません。講義ではそれらを復習しつつ進めます。 ※改訂回は15回です。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1562959 **統計学（'19）** 〈３２０〉 **藤井　良宜** （放送大学客員教授 宮崎大学教授） **「統計学（'13）」の単位修得者は履修不可** 2019年度開設科目	2	ラジオ （金）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　84.4点 2026年度1学期　81.1点	**［自然と環境コースと共用］** データの特徴を表現する記述的な統計手法については、すでに学習していることを前提として、次のステップである確率的なバラツキを考慮した統計解析の基本的な概念を深く理解したり、これから統計解析を実際に行ったりすることを目指す人々をターゲットとする。内容としては、母集団と標本の関係をベースにして、信頼区間による推定方法や統計的検定などの統計的推測の基本的な概念について詳しく解説する。さらに、回帰分析や因子分析などの多変量解析の手法の基本的な考えについて、その手法の特徴に焦点を当てて説明をする。 ※あらかじめ「身近な統計（'24）」の内容を学習しておくことが望ましい。
1529510 **心理学統計法（'21）** 〈３２０〉 **清水　裕士** （放送大学客員教授 関西学院大学教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）0:00 ～ 0:45　（231ch） （金）15:45 ～ 16:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　78.7点	**［心理と教育コースと共用］** 心理学で用いる統計的手法について、基礎的な理論から、実践的な分析手法まで解説する。具体的には、心理学で用いるデータの種類とその要約方法、推測統計学や統計的因果推論の理論的基礎、そして推測統計学による母集団の性質の推定を実際に行うためのノウハウについて解説を行う。
1539450 **著作権法（'22）** 〈３２０〉 **作花　文雄** （放送大学客員教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （日）21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）5時限 2025年度2学期　78.0点 2026年度1学期　79.3点	**［社会と産業コースと共用］** 豊かな社会の基盤を形成する創造活動を振興していく上で、知的財産権に関する法制度が重要な役割を果たしており、その中にあって、小説や論文、美術、デザイン、音楽、映画、写真、アニメ、プログラムなどの創作的表現物の保護と公正な利用の促進を目的とする著作権法は、幅広く人々の職業及び日常の生活に関わっている。この講義では、比較的短期間で法制度の全体像が把握できるよう、具体的事例を踏まえつつ、著作権制度の基本的事項及び今日の実際的な課題について解説する。 ※著作物の利用に関わる契約問題、著作権侵害に伴う損害賠償責任及び刑事責任について学習する上で、民法の契約法や不法行為法、刑法総論などを事前に又は並行して学習しておくことが望ましい。また、印刷教材の巻末に掲げている参考図書を活用して幅広く学習をすることが期待される。新聞やテレビなどで報道される著作権事件は実際的な学習教材となる。 なお、本科目は、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）から支援を受けています。
1539540 **経営情報学入門（'23）** 〈３２０〉 **岸　眞理子** （放送大学客員教授 ハリウッド大学院大学教授 法政大学名誉教授） **佐藤　亮** （放送大学客員教授 筑波大学名誉教授 横浜国立大学名誉教授） **※この科目は「経営情報学入門（'19）」の改訂科目です。** **「経営情報学入門（'19）」の単位修得者に対する履修制限はありません。** 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　82.3点 2026年度1学期　80.3点	**［社会と産業コースと共用］** ICT（情報通信技術）の劇的な進展は、ICTやそれがもたらす情報の取扱いそのものが経営（マネジメント）であるという現象をもたらしている。経営情報学は、ICTや情報によっていかに経営するかという基本的な問題意識に加え、ICTや情報をいかに経営するかという新たな視角も取り込んで、日々進化している。組織の価値創造の礎となるのは、人間の知性とICTの分析的な能力の統合であり、人とICTをシームレスに協働させる、組織の情報処理活動の研究、すなわち経営情報学が求められている。 経営情報学の基礎となる理論や概念とともに、優れた経営情報システムの実践事例と企業組織の有効な情報利活用について学習する。 ※改訂回は第1、2、3、4、5、6、9、10、11、12、15回です。
1519417 **ソーシャルシティ（'23）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **鈴木　淳一** （放送大学客員准教授 株式会社電通グループ 電通イノベーションイニシア ティブプロデューサー職） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　89.1点	**［生活と福祉コースと共用］** 人のコミュニケーションによるまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されている。本講義では、まちの住民、来街者、運営者それぞれの視点からみた、持続的なまちづくりの社会的意義について論じる。また、まちづくりにおいて導入が進められているICT（情報通信技術）について解説し、生活者の行動把握、まち空間のソーシャルグラフの生成、サステナブルなまちづくりへの活用などについて、事例を交えながら紹介する。 ※関連する科目として、「人間・環境情報とDX（'25）」「地理空間情報の基礎と活用（'27）」がある。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539566 **環境を可視化する技術と応用（'23）** 〈３３０〉 **中村　恭志** （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） **浅輪　貴史** （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）9:45 ～ 10:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　86.6点	**［社会と産業コースと共用］** 我々の身近な環境から地球規模まで様々なスケールの環境について、環境問題を可視化する最先端の技術を紹介し、その可視化を利用した環境の保全や、より良い環境を創り出すための科学を解説する。可視化技術としてはコンピュータシミュレーションやリモートセンシング、CAD/GIS、情報技術などを取り上げる。可視化画像から環境の状態を正しく読み解くには、観測、解析、シミュレーションなど可視化されている環境のデータがどのように取得されたかを知っておくことが必要であり、可視化の技術に加え、データの取得方法についても丁寧に解説する。受講生は、環境の問題に興味がある方や、最先端の技術を用いた可視化画像の作成法、及びその活用法に関心のある方を対象とする。 ※環境を可視化し、可視化画像から環境を理解するには、環境で生じている物理現象に関する知識に加え、可視化されているデータの物理的意味や取得方法などを理解することも重要である。本講義では、必要な知識を平易に解説するように努めるが、数学と物理学の基礎的な知識があることが望ましい。 【関連科目】住まいの環境論（'23）
1519522 **人間・環境情報とDX（'25）** 〈３２０〉 **川原　靖弘** （放送大学教授） **片桐　祥雅** （放送大学客員教授 応用生化学研究所研究副所長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）17:15 ～ 18:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限 2025年度2学期　81.4点 2026年度1学期　85.2点	**［生活と福祉コースと共用］** 急速に深化しつつある人工知能を背景に、日常生活空間の様々なデジタルデータから有益な情報を抽出し蓄積した知識を共有化しITを通じて利用する社会が到来しようとしている。本科目では、こうした深化しつつある人間および生活環境に係るデジタルトランスフォーメーションを理解するための基盤技術とその適応方法を具体的事例を踏まえて学ぶとともに、技術の限界を知り、打破するための技術を展望する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
5530067 **サプライチェーン・マネジメント（'25）** 〈３１０〉 **松井　美樹** （放送大学特任教授） **佐藤　亮※** （放送大学客員教授 筑波大学名誉教授 横浜国立大学名誉教授） **開沼　泰隆※** （放送大学客員教授 元日本経営工学会会長） **富田　純一※** （放送大学客員教授 東洋大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の小テスト（60%）、第9回と第15回のレポート（40%）の評価により行う。	**［社会と産業コースと共用］** サプライチェーン・マネジメントの基礎原理と応用事例について、関連業務従事者だけではなく、一般の従業者や消費者向けに分かりやすく解説する。グローバル化が進む環境のもとで、新型コロナウィルス感染症の世界的拡大が起こり、関心が高まっているサプライチェーンの設計・構築・運営に関する重要課題（持続可能でレジリエントなサプライチェーンの構築、ロジスティクス機能の高度化、サプライチェーン統合に向けたDXの活用など）を取り上げる。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行ってから、各回の講義映像等を視聴し、学習を進めていくこと。各回の講義内容、課される学習活動の課題・解説などについて、不明な部分を残さないよう復習に努めてから、次の回に進むこと。必要に応じ、講義映像等を再視聴することを推奨する。 ※「経営学入門（'24）」を予め履修しておくことが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトを参照のこと。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1559397 **博物館情報・メディア論（'25）** 〈３１０〉 **鶴見　英成** （放送大学准教授） **近藤　智嗣** （放送大学副学長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　85.0点 2026年度1学期　83.9点	**［人間と文化コースと共用］** 多様な博物館の具体的な事例を通して、「メディアとしての博物館」の観点から、まず博物館の情報とメディアとは何かを考え、急速な発展を視野に入れつつ、情報とメディアに関する手法、技術、理論、利点、問題点などを包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とし、同時に、情報に関心のある学生等、一般の受講者もターゲットとする。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。
1539710 **オペレーションズ・マネジメント（'26）** 〈３１０〉 **松井　美樹** （放送大学特任教授） **富田　純一** （放送大学客員教授 東洋大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （水）9:00 ～ 9:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2026年度1学期　92.3点	**［社会と産業コースと共用］** 最近の情報技術の進歩も踏まえて、財やサービスの生産に関するオペレーションズ・マネジメントの基礎理論とその実際の応用について体系的に説明する。主たる内容は、製品設計、プロセス設計、品質マネジメント、生産計画、在庫管理で構成される。また、オペレーション戦略、環境への配慮、サプライヤーや顧客との関係性、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の活用などについても言及する。 ※「経営学入門（'24）」を履修済みであることが望ましい。事前学習として、主要な製造企業やサービス企業、品質賞などのウェブサイトを通じて、オペレーションズ・マネジメントの取り組み事例について調べておくことが望ましい。事後学習として、学習課題について調査を行い、参考文献にあげられている書籍や論文などを読んで、各テーマについての理解を深めてほしい。

情報コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1569473 線型代数学（'27） 〈３２０〉 隈部　正博 （放送大学教授） 「線型代数学（'17）」 の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	ラジオ （月）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限	［自然と環境コースと共用］ 初めに高等学校で学んだ平面や空間におけるベクトルの扱いを復習する。また、内積、外積を定義し、ベクトル空間に内積を取り入れることで、長さや角度が表せることをみる。こうして得られる計量ベクトル空間において、正規直交基底が構成できる。また、空間において形を変えない変換すなわち合同変換を例をあげながら解説し、その行列表示として直交行列を学ぶ。次に、ベクトルや行列の成分を複素数とすることで、複素ベクトル空間を考える。空間における基底の変換は本講義で重要な手法で復習を兼ねて講義する。その後、対称行列に基底の変換を施し対角化できることをみる。一般に、行列が対角化できるための条件や特徴付けを考える。与えられた行列はいつも対角化できるわけではないが、三角化と呼ばれる形、またジョルダンの標準形と呼ばれる形に変形する方法を学ぶ。次に、2次曲面を行列を用いで表すことを学ぶ。そしてこれまでの知識を応用して、2次曲面を標準形とよばれる形に変形し分類する。 ※「入門線型代数（'19）」を履修あるいは理解していることが望ましい。しかし学習上の無理がないように、できるだけ復習を交えながら講義をすすめていきたい。 事前学修として印刷教材の通読、また事後学修として放送授業の再視聴あるいは印刷教材の例題等の復習が望ましい。

情報コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式/単位認定試験 出題形式 試験期間/試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1950045 情報社会と 国際ボランティア活動（'24） 〈４１０〉 山田　恒夫 （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）6:00～6:45　（231ch） （火）12:00～12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2025年度2学期　88.9点 2026年度1学期　87.8点	情報化と国際ボランティア活動は、国際化した21世紀の市民社会の形成に大きな役割を果たすものと考えられる。情報化、特にCOVID-19パンデミック下のバーチャル化はこうした動きに多大な影響を与え、サイバーボランティア（eボランティア）という新たな形態も出現した。今後、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、新常態における新たな展開も求められる。本科目では、国際ボランティア研究のトピックとその実践を紹介し、国際ボランティア活動への理解を深め、自らのキャリアと関係づけ考えられるようにする。 ※本科目については、国際ボランティア活動の内容や対象に応じ、さまざまな関連科目が存在する。また本科目は、これまで学習した研究領域や科目を、国際ボランティアというキャリアパスのなかで再考するための手掛かりを与える場であり、そういう意味でも総合科目である。発展学習へのヒントは教材のなかで示す。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。**
5950015 AI技術を人と 社会へとつなぐ（'27） 〈４２０〉 浅井　紀久夫 （放送大学教授） 岡崎　浩二※ （放送大学客員教授 東京都立産業技術 大学院大学特任教授） ※は専門担当講師 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	AI技術を導入し、利用事例を通してAI技術と人・社会との関係を考察する。まず、AI技術の導入では、データに基づく機械学習の手法についてAIの技術的進展から、機械学習の基礎および深層学習の基本原理、社会での利用・応用の注意点までを平易に解説する。次に、AI技術が世の中でどのように活用されているかを紹介し、AI技術と人および社会とのつながりを議論する。さらに、生成AIについて第2回以降に演習を用意し、簡単な具体的利用を通して生成AIの現状と使い方を知れるようにする。 ※【事前学修】AI技術が応用されている身の回りの事例を探し、シラバスの内容に基づいて自己学習に努めてください。 ※【事後学修】各回に設置されている学習活動の課題・解説について復習を行い、理解を深めてください。また、身の回りの問題に対して本授業の中で学習した生成AIの手法を試行してみましょう。 ※他の科目の受講は前提としませんが、「データサイエンス・リテラシ導入」「データサイエンス・リテラシ基礎」「データサイエンス・リテラシ心得」「データの分析と知識発見」「自然言語処理」「コンピュータビジョン」といった科目は参考になります。 第1回～第8回の講義映像は、インターネット配信公開講座『AI基礎』の内容と同じです。また、第9回の講義映像は、インターネット配信公開講座『言語生成AIの機能と社会への応用』の内容と同じです。 ※本授業には生成AIツールによる演習が含まれ、その実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となります。学習センターのパソコンを使って履修することはできません。実行環境の作り方は、オンライン授業体験版の「AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）」を参照して下さい。 ※このオンライン授業では生成AIを使った演習が含まれます。18歳未満の方は保護者の同意が必要です。必ず、保護者の同意を得てから本授業科目の履修手続きを行って下さい。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育コース、社会と産業コースで共用科目となっています。** ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1950053 **情報技術が拓く人間理解（'27）** **〈４２０〉** **仁科　エミ** （放送大学教授） **芝崎　順司** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （水）10:30～11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限	情報通信技術の進展は、私たちの社会生活を大きく変貌させ、そのなかで生きる人々の思考・行動にも大きな影響を及ぼしている。一方、情報通信技術がいかに発展しようとも、それを利用する人間の生命現象としての情報処理のあり方は変わらない。現代社会で必須の教養となりつつある情報学の知見、そしてそれを実現している情報技術のもつ有用性、可能性、リスクについて、技術の側からだけでなく人間・社会の側から捉え、現代社会必須の教養として平易に解説する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学修としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている概念や事例等について確認しておくこと。事後学修としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては情報コース開設科目ですが、心理と教育・社会と産業・自然と環境コースで共用科目となっています。**

自然と環境コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1760190 **初歩からの生物学 ('24)** 〈２１０〉 **二河　成男** （放送大学教授） **加藤　和弘** （放送大学教授） **「初歩からの生物学 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (土) 16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)6時限 2025年度2学期　84.0点 2026年度1学期　78.5点	生物学では、生物がいかに暮らし、命をつないでいくかを体系づけて理解することが大切である。生物は多様であるが、その体の構造や、遺伝のしくみ、生物種間の関係など、異なる生物であっても共通する部分が実に多い。この講義では、そのような共通部分に着目して、生物とはどのようなものであるか、ということを学ぶ。これまでの生物観の再確認と、新たな視点の付与を目指す。 ※生物学に関する過去の知識を前提としないで理解できるよう、できるだけ分かり易い講義にしたいが、もし、分からない事柄が出て来た場合には、世の中には種々の啓蒙書があるので、それらを積極的にひもといて学習をしてほしい。生物学辞典や国語辞典も用語の理解に活用しよう。また、インターネットによる知識収集も大いに役立つので利用して欲しい。
1760220 **生物環境の科学 ('25)** 〈２２０〉 **加藤　和弘** （放送大学教授） **「生物環境の科学 ('16))」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)3時限 2025年度2学期　72.1点 2026年度1学期　83.2点	環境は、生物の生息のありようを大きく左右する。環境の構成要素として、非生物的な条件がもっぱら認識されるが、周囲にいる他の生物もまた、環境の構成要素である。というのは、生物はほとんどの場合単独では生きておらず、近隣に生息する同種あるいは他種の生物と密接な関係を保ちながら生きているからである。本講では、生物の生息に影響を及ぼす環境条件について、生物的条件や景観に関わる条件なども含めて説明する。さらに、長期的な視点に立った場合に、環境が種分化や進化にどのように関わり得るのか、その概要を紹介する。 ※各回の学習にあたっては、まず印刷教材を複数回熟読すること。その際、キーワードとして挙げた語、および本文中で強調した語についてその意味を理解すること。その上で放送教材を視聴すること。視聴後、視聴時のノートやメモを整理し復習の上で再度印刷教材を熟読して、理解を深めること。 ※本講義を履修するにあたっては、学部での基礎科目の「初歩からの生物学 ('24)」を履修しておくこと、あるいは同水準の生物学を既習していることが望ましい。本科目は、従来開設されていた導入科目「生物環境の科学 ('16)」の内容をもとに、新たな知見を取り入れて制作し直したものである。
1760157 **初歩からの物理 ('22)** 〈２１０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **松井　哲男** （放送大学名誉教授） 2025年1月ご逝去 **※この科目は「初歩からの物理 ('16)」の改訂科目です。** **「初歩からの物理 ('16)」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)6時限 2025年度2学期　67.4点 2026年度1学期　71.5点	本科目は「自然と環境コース」が提供する物質・エネルギー系科目への導入としての役割を果たす。対象として自然科学に関心を持つすべての学生を念頭に置き、「物理法則に基づいて自然現象を記述する」見方、考え方を伝える。数式を使った記述法には重点を置かず、概念の本質を伝えることを重視する。また、物理学の発展が人類に与えてきた影響を随所にちりばめ、最後に未来社会における物理学の役割を展望する。 ※高校で物理を学ばなかった人でも物理の世界に入ってくることができるように工夫する。高校程度の数学を履修していることが望ましいが、本科目内で補えるようにする。また、この科目を修了したあとはより高度な物理学の学習に進めるよう科目群「力と運動の物理 ('27)」、「電気と磁気の物理 ('26)」、「量子の物理 ('27)」、「物理の世界 ('24)」を配置している。 ※全15回を改訂しています。
1760106 **初歩からの化学 ('18)** 〈２１０〉 **安池　智一** （放送大学教授） **鈴木　啓介** （放送大学客員教授 東京工業大学栄誉教授 日本学士院会員 北里大学栄誉教授） **「初歩からの化学 ('12)」の単位修得者は履修不可** 2018年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)5時限 2025年度2学期　78.2点 2026年度1学期　79.8点	人類史上のエポックを画す火や青銅器・鉄器の利用は、化学反応の利用にほかならない。人類が古くから用いてきた技術には物質変化に関連した化学技術と呼ぶのがふさわしいものが数多く存在し、現在でも我々は無意識に様々な化学現象に触れそして利用している。化学は我々がもっとも古くから親しんできた科学の一分野であり、そこに見られる物質の多様性は長らく人々を魅了してきた。一方で初学者には、その多様性に起因して物質に関する脈絡に欠けた雑多な知識の総体として映ることもしばしばである。本科目では、身の回りの様々な化学現象を紹介するとともに、多様性に打ち克って成立に至った現代化学の体系を学び、統一的に物質を捉えるために必要な物の見方の獲得を目指す。 ※本科目は「かたちの化学－化学の考え方入門 ('23)」「分子の変化からみた世界 ('23)」「ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学 ('26)」の序論にもなっている。今後これらの科目の受講を考えている方、もしくは以前これらを受講して難しいと感じた方にとくに受講をおすすめしたい。
1760203 **物理の世界 ('24)** 〈２２０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **清水　明** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授 大阪大学特任教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 16:30 ～ 17:15　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)4時限 2025年度2学期　64.1点 2026年度1学期　71.8点	本科目は「自然と環境コース」が提供する物理系科目の中で、「初歩からの物理 ('22)」から専門3科目（「力と運動の物理 ('27)」「電気と磁気の物理 ('26)」「量子の物理 ('27)」）への橋渡しをする役割を果たす。「物理法則に基づいて自然現象を記述する」見方、考え方を伝えることに重点を置き、数学的な技法にもある程度立ち入る。全体を3部に分け、第1部では「力と場」、第2部では「熱」、第3部では「量子」を主題とする。これら3つの主題は、現代の物理的自然観の柱である。 ※本科目は「初歩からの物理 ('22)」でカバーされる内容の理解を前提とし、専門科目への接続を図る。また、学部基礎科目程度の微分積分と線形代数の知識を持っていることが望ましいが、数学的知識については各回・各章で適宜補強しながら進める。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1760181 かたちの化学ー 化学の考え方入門（'23） 〈２３０〉 橋本　健朗 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）22:30 ～ 23:15　（231ch） （金）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　78.7点 2026年度1学期　80.6点	分子やその集合体の構造がそれらの性質や機能と密接に関係することを、具体例を通じて示す。多様な構造の背景にある電子の振る舞い、化学結合、分子間相互作用のしくみを学習する。化学のしくみを巧みに利用して、材料や医薬など物質創製につなげる考え方とその実践を紹介する。分子やその集合系の構造を観察する測定法の原理と、得られる情報およびその解釈の具体例を示す。 ※大学化学の初歩的知識を定着させ、さらに踏み込んだ学びをすることで、物質観、化学観を深める。前提にはしないが「初歩からの化学（'18）」ないしその後継科目を学んでいるとよい。「現代を生きるための化学（'22）」とは互いの理解を深めるのに役立つ。暗記ではなく、実験、測定と論理的思考に基づいて、化学のしくみやそれを活用する基本的考え方を学ぶことを狙った科目。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては自然と環境コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
1760149 現代を生きるための 化学（'22） 〈２２０〉 橋本　健朗 （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （土）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　76.9点 2026年度1学期　81.3点	現代社会と繋がりの深い話題を取り上げながら化学を学ぶ。物理化学、有機化学、無機化学、生化学、分析化学、放射線化学、環境化学他、基礎的内容で広く化学を学ぶことで、化学の視点、問題意識、基盤とする概念や考え方の理解を深める。現代社会で化学がどのように活用され、どんな役割を果たしているか、さらに気候変動、エネルギー、医療など、化学と深く関わる社会的課題の本質と解決の試みを考察する。次々と登場する課題の本質を理解する基礎力を養成する。化学のフロンティアを想像し、高度な内容の科目に進む力をつける。 ※生活やサバイバルに役立つ知識の提供を目的とした科目ではない。化学式の暗記や計算技術の獲得を目指す科目でもない。「現代を生きるための化学（'18）」の既修者も履修できる。内容が大きく変わっている。化学を能動的に学習することにより、学問としての論理だて、社会との繋がりを含む知識の体系化、進んだ内容の化学を学ぶ準備として役立てる科目。「初歩からの化学（'18）」を履修済みであることが望ましい。
5760038 物理と化学のための 数学（'27） 〈２２０〉 橋本　健朗 （放送大学教授） 岸根　順一郎※ （放送大学教授） 安池　智一※ （放送大学教授） 飯田　圭※ （放送大学教授） **「物理と化学のための数学（'21）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2027年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（全4回、各15%、合計60%）により行います。小テストは繰り返し受けられます。	本科目は、大学レベルの物理や化学を学ぶのに必要な数学の力を、演習を通して身につけることを目的とします。以下のいずれかに該当する学生を対象としています：①本学の数理科学分野の導入科目をすでに履修した学生、②高校理系レベルの数学を習得済みで、本学の数学入門科目（220番以上）を終えた学生、③理系大学卒業レベルの学び直し学生。この科目は、数学の理論そのものより、手を動かして問題を解くことに重点を置いています。大学での物理や化学に必要な数学を、自分の力で学びたいという意欲のある学生にも開かれています。 ※事前学修資料・講義資料等を事前に学習し、その上で講義映像の学習を進めてください。事後学修として、講義資料の練習問題を復習し、事後学修資料等を活用して、学習を発展させてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※物質・エネルギー領域が提供する科目中、特に230番以上の導入科目、専門科目と関連します。210、220番の科目の発展的な内容を含みます。 ※受講前にオンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）の「物理と化学のための数学（'27）」のページを参照してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1760173 分子の変化からみた 世界（'23） 〈２３０〉 安池　智一 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）22:30 ～ 23:15　（231ch） （木）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　65.1点 2026年度1学期　83.4点	我々の身のまわりで起こる様々な現象は、分子をはじめとする物質の変化によって成立している。我々の存在自体も例外ではない。物質が示す多様な変化を熱力学・速度論の観点から整理し理解する方法について学ぶ。その方法に基づいて、物質の変化がどのように地球環境や生命、我々の生活に見られる広範な現象を支えているかを議論する。 ※「初歩からの化学（'18）」をすでに履修しているか、同時に履修することが望ましい。「ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）」を履修済であれば、本科目の理解は容易であろう。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては自然と環境コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
1760211 宮沢賢治と宇宙（'24） 〈２２０〉 大森　聡一 （放送大学教授） 谷口　義明 （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）22:30 ～ 23:15　（231ch） （日）14:15 ～ 15:00　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）6時限 2025年度2学期　65.9点 2026年度1学期　78.1点	宮沢賢治（1896年-1933年）は今から約百年前に活躍した作家である。わずか三十七年の生涯であったが、膨大な作品（童話、詩、短歌など）を遺した。自分の作品を心象スケッチと呼んだが、豊富な自然科学の知識が散りばめられているので科学の読み物としても高く評価できる。そこで、この講義では賢治の作品に基づいて、天文学の入門を試みる。 ※宮沢賢治の作品をいくつか読んでおくと理解が深まることが期待される。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては自然と環境コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**

自然と環境コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1760122 **ダイナミックな地球 ('21)** 〈２１０〉 **大森　聡一** （放送大学教授） **※この科目は「ダイナミックな地球 ('16)」の改訂科目です。** **「ダイナミックな地球('16)」の単位修得者は履修不可** 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 22:30 ～ 23:15　(231ch) (月) 14:15 ～ 15:00　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)6時限 2025年度2学期　81.6点 2026年度1学期　79.5点	地球科学への入門科目である。地球の様々な活動は、しばしば「地球は生きている」とたとえられるが、その本質はなんであろうか?　地球内部から表層環境, そして宇宙との関係まで、様々な時間・空間スケールへ視点を移動させながら、進化しダイナミックに変動する地球について学ぶ。 ※地球科学分野への入門科目であり、これまで履修した科目に関する制限はない。この科目を履修した後、さらに興味を持った学生は、「地球と環境の探究 ('25)」「初歩からの気象学 ('27)」「太陽と太陽系の科学 ('18)」などの宇宙地球領域の科目や、自然と環境コースの物理、化学、生物の科目も履修するとよい。 ※全15回を改訂しています。
1760114 **入門線型代数 ('19)** 〈２２０〉 **隈部　正博** （放送大学教授） **「入門線型代数 ('14)」の単位修得者は履修不可** 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 22:30 ～ 23:15　(231ch) (火) 14:15 ～ 15:00　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)3時限 2025年度2学期　85.0点 2026年度1学期　83.2点	線型代数を初めて学ぶ人向けの講義である。予備知識は特に仮定しない。平面や空間といった素朴な概念から始め、数ベクトル空間を定義する。その後行列の概念を導入する。このとき、連立方程式の解法といった親しみやすい事柄の復習を通して、行列の演算を解説する。そして行列式、逆行列の求め方を学ぶ。また空間から空間への線型写像、部分空間の種々の性質をみる。これらを通して、行列の階数、あるいは空間の基底、次元がどういうものか解説する。さらに固有値、固有ベクトルを定義し、基底の変換を解説する。いわゆる数ベクトル空間について講義し、抽象的、公理的な議論はなるべく避けるようにする。 ※この授業は初めて線型代数を学ぶ人向けの授業である。したがって予備知識は特に要求しない。しかし数学にいくらかの親しみをもっていればありがたい。より入門的な数学の講義、例えば「初歩からの数学 ('18)」を履修していればなおさらいい。
1760165 **入門微分積分 ('22)** 〈２２０〉 **石崎　克也** （放送大学教授） **※この科目は「入門微分積分 ('16)」の改訂科目です。** **「入門微分積分 ('16)」「微分と積分 ('10)」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 22:30 ～ 23:15　(231ch) (水) 14:15 ～ 15:00　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)4時限 2025年度2学期　77.5点 2026年度1学期　73.2点	微分積分学が自然科学・工学の発展において中心的な役割を果たしていることは言うまでも無い。2つの変量の間に関数の関係があれば、それらの変化量の割合を記述するものとして、導関数を考える。一般に導関数を求めることを微分するという。その逆演算として積分がある。積分法を理解するということは、面積・体積などへの応用手段を獲得するというだけでなく、関数方程式を取り扱う領域への入場券を手にすることなる。この授業科目では、微分積分についての知識を前提とせず、大学レベルの微分積分を展開する。 ※本科目は実1変数関数の微分積分に限っている。実多変数関数や複素変数関数へ勉強を進めたい学生へは学部開設科目「解析入門 ('24)」を履修することを推奨する。また、積分法の先にある微分方程式論については、学部開設科目「微分方程式 ('23)」を履修することをお勧めする。当該科目と学部開設科目「演習微分積分 ('19)」をセットで履修することが効果的であるが、同時でなくとも差し障りはない。履修の順も問わない。実際には、印刷教材・放送教材を参照しながらノートを作成し、演習問題などを自ら解答することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては自然と環境コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
5760011 **演習微分積分 ('19)** 〈２２０〉 **石崎　克也** （放送大学教授） 2019年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の最後に課す「小テスト」(80%)、「期末レポート」(20%)の評価により行う。	微分積分学が自然科学・工学の学習において重要であることは言うまでも無い。導関数や原始関数を求める微分積分演算は、独学では必ずしも容易ではない。この科目では、実際に手を動かして問題を解く作業を体験する。具体的には、関数の極限、微分法の基本公式、曲線の概形、平均値の定理の応用、不定形の極限、積分法の基本公式、定積分、面積と体積、広義積分、数列と級数、整級数と微分方程式などの問題演習を行う。 ※「入門微分積分 ('22)」を並行して履修しているか、「微分と積分 ('10)」または「入門微分積分 ('16)」を履修済みであることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1710249 **感染症と生体防御 ('24)** 〈２１０〉 **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **北村　聖** （放送大学客員教授 地域医療研究所シニアアドバイザー） **※この科目は「感染症と生体防御 ('18)」の改訂科目です。** **「感染症と生体防御 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ (水) 13:30 ～ 14:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)3時限 2025年度2学期　97.8点 2026年度1学期　95.3点	**[生活と福祉コースと共用]** 本講義は、人間の健康について広範に論ずる「健康科学」の中の講義の一つとして実施される。健康科学は人間生活に密接に関わる学問であることから、感染症関係では昨今の話題であるHIV、結核はもとよりSARS、新型インフルエンザなどの新興・再興感染症と医療現場での感染症問題に特に焦点を当てた。また、生体防御については、免疫システムの多様性と多型性、自然免疫と獲得免疫、自己免疫と免疫が関与する疾患などを中心に免疫学の最近の動向についてわかりやすく疾患との関係も踏まえながら講義を行う。 ※「公衆衛生 ('24)」、「疾病の成立と回復促進 ('25)」および「疾病の回復を促進する薬 ('25)」も履修することが望ましい。 ※全15回を改訂しています。 ※本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1710303 人体の構造と機能（'26） －人体の構造と機能及び疾病A－ 〈２１０〉 南沢　享 （放送大学客員教授 東京慈恵会医科大学名誉教授 ビューティ&ウェルネス専門職大学教授） 大久保　暢子 （放送大学客員教授 聖路加国際大学大学院教授） 「人体の構造と機能（'22）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2026年度1学期　89.3点	［生活と福祉コースと共用］ 人が日常生活するうえで、からだが目的を持って働くために、器官が備わっている。さらに各器官はお互いに密接に連携・協力して、からだの恒常性を維持している。からだの恒常性が乱れると疾病や障害が生じる。医療職を目指す学生ばかりでなく、自らの健康を維持してゆくためにも、各器官の構造と機能を学び、さらに器官相互の関係を理解しておくことは極めて重要である。本講義では人がからだの内部外部環境に応答して適切に働くための基本について概説する。 ※講義は総論2回のあとに、各器官についての各論を概説する。講義時間は限られているため、時間内で全てを講義することできないため、学生自ら、事前に教科書を予習しておくことが必須であ る。講義は予習をしてあることを前提として展開する。からだの仕組みについて不思議だなと思う事がとても大切で、疑問点やわからないことがあれば、積極的に講師に質問する学習態度が望まれる。 放送教材による学習の前に対応する回の印刷教材を通読しておくことが望ましい。事後学習としては放送教材で得られた知識を印刷教材を使って定着させ、練習問題等に取り組むこと。
1740210 博物館概論（'23） 〈２１０〉 鶴見　英成 （放送大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）15:00 ～ 15:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）4時限 2025年度2学期　76.1点 2026年度1学期　84.1点	［人間と文化コースと共用］ 国内外の多様な博物館の具体的な事例を通して、学芸員の仕事、多様な博物館とその歴史、博物館の展示、展示の資料とその保存、情報とメディア、博物館と教育、博物館の経営、今後の課題等について概説的、包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、博物館と関係する多様なジャンル（自然史、生物、科学、考古・歴史、文化、美術など）とその研究・実践、ディスプレイ等に関心のある学生、視聴者等、一般の受講者もターゲットとする。
5750059 プログラミング入門Python （'24） 〈２２０〉 辰己　丈夫 （放送大学教授） 2024年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、第8回で提出するレポート（30%）の評価により行う。	［情報コースと共用］ 初めてプログラミングを学ぶ人を対象に、プログラミングの基本的な手順と考え方を扱います。プログラミング言語にはPythonを利用しますが、学ぶ内容は、他の言語を学ぶ際にも役立つ概念です。プログラミング未経験の人を対象としている授業となりますが、他の言語のプログラミングを経験した人にとっては、「Python 言語の特徴」を知ることができる授業となります。プログラムを利用したグラフの書き方、プログラムを利用したデータサイエンス入門、コンピュータサイエンスの入門として学ぶことができるでしょう。 ※高校卒業程度（文科系）の数学の知識を有していることを前提とする。履修制限科目は存在しない。本科目単位取得後の発展科目は、次の科目（および、これらの後継科目）である。「ソフトウェア開発入門（'27）」「プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）」「Rで学ぶ確率統計（'27）」「C 言語基礎演習（'20）」「表計算プログラミング基礎 AI 版（'27）」「小学校プログラミング教育概論（'21）」「初歩からの情報科学（'25）」。 履修するには、インターネットに接続されたパソコン（現在サポートされているOS（Windows11、MacOS、ChromeOS のそれぞれの最新版）で動作するもの）が必要です。スマートフォン、タブレット、インターネットにつながってないパソコンでは履修できません。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※Google Colaboratory の使用方法については、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「プログラミング入門Python（'24）」のページを参照してください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1710273 疾病の回復を促進する薬 （'25） 〈２２０〉 櫻井　隆 （放送大学客員教授 順天堂大学大学院教授） 服部　信孝 （放送大学客員教授 順天堂大学大学院特任教授） 「疾病の回復を促進する薬（'21）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　84.3点 2026年度1学期　87.5点	［生活と福祉コースと共用］ 多くの病気には身体の機能が亢進または低下した状態が関連している。薬物の多くは、生体の機能分子に結合することで作用をあらわし、身体の機能を正常に近づけるように働く。しかしながら、身体に有害な作用をもたらすこともある。この講義では、代表的な薬の作用メカニズム、副作用（有害反応）、使用上の注意点を学んでいく。各論においては、臨床に携わる医師が薬物治療の経験をもとに講義を行うことを特徴としている。さらに、薬が有効かつ安全に使われるために、医師・看護師・薬剤師などがどのように協力していくべきかを理解する。 「人体の構造と機能（'26）」「疾病の成立と回復促進（'25）」とあわせて履修することが望ましい。 ※放送教材による学習前後に印刷教材による予習・復習を行うこと。事前学習としては、シラバス・印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、事前学習で把握した重要な用語について説明できるか確認すること。 ※本科目は「疾病の回復を促進する薬（'21）」をもとに新しく授業内容を作成しています。

自然と環境コース　導入科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
5750067 **表計算プログラミングの活用（'25） ―体系的・実践的な理解へ― 〈２３０〉** **辻　靖彦** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** 本科目では、表計算ソフトのプログラミングに対して、その基礎をより体系的に理解し、実践的に活用できるようになることを目的としている。 Microsoft Excel VBAを用いて学び、最終的に自身の業務における更なる効率化および自動化を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※コンピュータを用いて実習形式で行うことから、OSの基本操作やMicrosoft Excelにおける基本的な操作（セルやワークシートによる操作、グラフの作成、関数の使い方など）は習得されているものとする。また、OL科目「表計算プログラミングの基礎（'21）」を完了しているか、もしくは、他のプログラミング言語を経験し基礎を習得していることが望ましい。環境構築及び前提となりうる事項等については、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「表計算プログラミングの活用（'25）」のページを参照してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
5750075 **ゲーム理論入門（'25） 〈２２０〉** **大西　仁** （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（48%）、最終テスト（32%）、レポート（20%）の評価により行う。	**［情報コースと共用］** ゲーム理論は、複数の主体が関わる行動の相互依存的状況や意思決定を数理的に分析する手法である。ゲーム理論は、経済行動を説明するために誕生したが、経済学のみならず、政治学や心理学等における意思決定や生物進化を分析する方法となっている。また、社会システムのシミュレーション、人工知能、通信や機械の制御にも利用されている。本科目では、ゲーム理論の基礎を高度な数学を使うことなく説明し、ゲーム理論的な思考法の習得を目指す。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。

自然と環境コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
5560071 **分子と細胞の生物学（'27） 〈３１０〉** **二河　成男** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	生物の生命活動は、生物個体を構成する細胞、そして細胞を構成する分子の活動によって営まれている。細胞の活動はその内部に収納されているDNAが保持する遺伝情報に基づいており、細胞自身が遺伝情報をもとにその制御に必要なタンパク質を合成する。代謝、情報伝達、分裂、分化といった細胞の活動も、遺伝情報に基づいて合成されたタンパク質が制御している。本科目では、このような細胞が示す生命現象を、細胞内の分子、特にタンパク質とDNAの構造や機能から紹介する。また、遺伝情報や細胞を利用する新たな技術についても解説する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。 ※「初歩からの生物学（'24）」の分子や細胞に関わる内容を理解していることを前提とする。「生物の進化と多様化（'26）」、「植物の科学（'21）」、「感覚と応答の生物学（'23）」などを理解する基礎となる。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1569430 **生物の進化と多様化（'26） 〈３２０〉** **二河　成男** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　73.8点	地球上で誕生した生物は40億年近くかけて進化し、今日では大きな生物多様性が見られるようになった。この生物の変遷について、生命の誕生から、細胞の進化、多細胞化、体制の進化、様々な生物の繁栄や絶滅、そして人類の誕生に至るまでを紹介する。生物進化の仕組みについては、ダーウィンによる自然選択説や木村資生による分子進化の中立説の進化理論の基盤に加えて、地質学的あるいはゲノム情報学的手法や栽培植物などに見られる人為的な変化も解説する。進化生物学の入門として生物の進化と多様化について総合的にみていく。 ※各回の学習では，放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたテーマやキーワードを中心に用語を把握すること。事後学習としては教材で強調された内容を中心に復習し，理解を深めること。分からないことがあれば，種々の啓蒙書やインターネットを活用しよう。生物学辞典や国語辞典も用語の理解に活用しよう。 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、生活と福祉コース・心理と教育コースで共用科目となっています。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1569350 **植物の科学（'21）** 〈３３０〉 **塚谷　裕一** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 **荒木　崇** 〔放送大学客員教授 京都大学教授〕 **※この科目は「植物の科学（'15）」の改訂科目です。** **「植物の科学（'15）」の単位修得者は履修不可** 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）6:45 ～ 7:30　（231ch） （土）12:45 ～ 13:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　69.6点 2026年度1学期　75.2点	生物界の基礎生産を行い、酸素の供給源ともなっている植物に関して、その多様性、生理、発生、生化学、生殖、成長、他の生物との相互作用について説明する。さらに、合わせて医薬、食料や環境修復、園芸など暮らしとの関わりに関する応用植物科学の側面も講義する。 ※全15回を改訂しています。
1569392 **感覚と応答の生物学（'23）** 〈３３０〉 **二河　成男** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　76.4点 2026年度1学期　76.6点	生物に共通に見られる特徴の一つに環境への応答がある。これは、刺激の受容、その伝達、刺激に対する適切な応答の選択、実際の応答といった複数の段階を経るものである。動物であれば、受容は感覚器で行われ、その情報は神経系などを介して脳などの中枢神経系に伝達され、適切な情報処理が行われ、最終的に行動、生理的な変化、ホルモンの分泌などの応答となって現れる。異物に対する免疫応答も免疫系への刺激と応答と見ることもできる。また、植物や他の生物でも、刺激の受容と応答の仕組みを備えている。このような感覚と応答について、分子、細胞、組織、器官、個体、集団のレベルで解説する。 ※関連する科目名：「自然科学はじめの一歩（'22）」「初歩からの生物学（'24）」、「生物環境の科学（'25）」、「分子と細胞の生物学（'27）」、「植物の科学（'21）」、「生物の進化と多様化（'26）」、「人体の構造と機能（'26）」 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、生活と福祉コースで共用科目となっています。**
1569481 **力と運動の物理（'27）** 〈３２０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **飯田　圭** （放送大学教授） **「力と運動の物理（'19）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （月）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）1時限	物理学の基盤である古典力学を体系的に講義し、ニュートン力学の基礎から保存則、多粒子系や剛体の運動などを扱う。また、解析力学の考え方を通して古典力学の数理的整備と現代物理学への繋がりにも触れる。本科目は、「初歩からの物理（'22）」や「物理の世界（'24）」に続く専門科目として位置づけられる。 ※「物理の世界（'24）」の第1章～第7章で扱われている程度の知識を前提とする。放送教材による学習の前に、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを手がかりに重要な用語を把握するなど印刷教材による事前学修を行うこと。加えて、事後学修として印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1569449 **電気と磁気の物理（'26）** 〈３３０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **飯田　圭** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）6:45 ～ 7:30　（231ch） （日）12:45 ～ 13:30　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）6時限 2026年度1学期　62.9点	電磁気学の基礎を扱う静電場、定常電流による静磁場、時間変化する電磁場とマックスウェル方程式、物質中の電磁場、電磁波とその放射を扱う。電磁気学は、物理学の基礎理論としての重要性だけでなく、きわめて広範な工学的・産業的応用先を持つ分野であり、多様な背景を持つ本学学生への訴求効果は高いと思われる。 ※「物理の世界（'24）」の第4章～第7章で扱われている程度の知識を前提とする。放送教材による学習の前に、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを手がかりに重要な用語を把握するなど印刷教材による事前学習を行うこと。加えて、事後学習として印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
1569490 **量子の物理（'27）** 〈３３０〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **飯田　圭** （放送大学教授） **「量子物理学（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （水）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限	量子力学の成立に至る経緯に簡単に触れつつ、1次元のポテンシャル問題、3次元のポテンシャル問題を量子論的に扱う。ブラケットを用いた量子力学的な記述法に慣れ親しむとともに、第二量子化、さらにはコヒーレント状態を学ぶことにより古典極限との対応を考える。最後に、相対論的に電子を扱うディラック方程式を通じてスピンの起源を探る。量子物理学は、物理学の基礎理論としての重要性だけでなく、応用上も急速に発展中の分野であり、多様な背景を持つ本学学生への訴求効果は高いと思われる。 ※この科目は受講者が「物理の世界（'24）」の第11 ～ 14章で扱われている程度の知識は既にもっていることを前提として進める。従って事前学修として「物理の世界（'24）」の第11 ～ 14 回の内容が理解できることを確認しておくこと（インターネット配信や過去の単位認定試験問題の活用など）。事後学修として「量子の物理（'27）」の印刷教材の途中計算を自分自身で再現する形で学修を深めること。

自然と環境コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1562916 **量子化学 ('19)** 〈330〉 **橋本　健朗** （放送大学教授） **安池　智一** （放送大学教授） 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）6:45 ～ 7:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式（郵送試験） 提出期間　7月14日（水）～7月18日（日）《必着》 2025年度2学期　71.5点 2026年度1学期　81.7点	原子、分子の性質や反応を司る原理、それを記述する理論を体系的に解説し、多様な化学、物質科学の拠り所となる理論的基盤を提供する。実験結果と背景にある分子機構を理論を通して結びつける力を涵養する。近年産業界でも利用される量子化学計算を、ブラックボックスとしてでなく、意味と適切な手続きを理解して活用する基礎を提供する。 ※「かたちの化学−化学の考え方入門（'23）」「入門線形代数（'19）」「入門微分積分（'22）」を履修済みであることが望ましい。
1569457 **ミクロとマクロを繋ぐ** **熱統計力学 ('26)** 〈320〉 **安池　智一** （放送大学教授） **秋山　良** （放送大学客員准教授 九州大学准教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （木）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）4時限 2026年度1学期　78.7点	熱力学は、自然科学のほとんど全ての領域、そして日常生活や工学分野において、議論の出発点を与えるすぐれて堅牢かつ汎用性に富んだ理論体系である。一方で、抽象度の高さから多くの挫折者を生んできた。本科目では、統計力学に基づくミクロな視点の併用により、直感的な理解をサポートすると同時に、実際に使ってみることを通じて熱統計力学の入門を図る。 ※「初歩からの物理（'22）」「物理の世界（'24）」「初歩からの化学（'18）」「分子の変化からみた世界（'23）」などで初歩的な熱力学を学んだ方が、その成り立ちに関する理解を深めるのに適した科目となっている。これらの科目を履修済みの方に薦めたい。 【事前・事後学習について】事前学習として、印刷教材の該当範囲を通読して前提とされている知識を確認・復習し、放送授業の視聴に備えること。事後学習として、印刷教材の該当範囲を再度通読し、印刷教材に掲載された演習問題および通信指導問題を繰り返し解き、知識の定着をはかること。
5560055 **量子物理演習 ('24)** 〈330〉 **岸根　順一郎** （放送大学教授） **御領　潤※** （放送大学客員教授 弘前大学教授） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（30%）、 レポート（70%）により行う。	学部程度の標準的な量子力学の論理と方法を、典型的な演習問題を解きながら身に付ける。1次元ポテンシャル問題、角運動量と原子の構造、摂動論を主とする近似解法、電磁場中の電子状態に重点を置く。さらに場の量子化や量子情報理論の基礎にも踏み込む。学部教養レベルの微積分と線形代数および物理学（力学、電磁気学）の知識を前提とする。 ※学部教養レベルの微積分と線形代数および物理学（力学、電磁気学）の知識を前提とする。 ※「初歩からの物理（'22）」「物理の世界（'24）」「量子の物理（'27）」「電気と磁気の物理（'26）」が参考科目となる。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1562924 **宇宙の誕生と進化 ('19)** 〈320〉 **大森　聡一** （放送大学教授） **谷口　義明** （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2019年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　74.9点 2026年度1学期　69.0点	現代物理学と天文学が解き明かしつつある宇宙の誕生と進化について解説する。宇宙の観測は電磁波、重力波、および宇宙線と多岐に渡っている。そこで、まず宇宙の観測がどのように行われているかを概観し、これらの情報を読み解く方法について講義する。宇宙の理解には物理学の助けが必須である。物理学を使いながら、宇宙そのものと宇宙に存在する様々な天体（銀河、星、惑星、星雲など）の誕生と進化を理解する方法についてできるだけ平易に講義する。 ※宇宙分野のもう1つの専門科目である「太陽と太陽系の科学（'18）」は恒星としての太陽の性質と惑星を扱うので、合わせて履修することが望ましい。また、物理学の基礎的な知識の習得にも心がけることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
1562878 **太陽と太陽系の科学 ('18)** 〈320〉 **大森　聡一** （放送大学教授） **谷口　義明** （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2018年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （土）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　87.2点 2026年度1学期　80.5点	太陽を含めた太陽系の研究は、近年急速に進んできている。太陽についてはさまざまな太陽観測衛星による研究で、太陽表面の多様な活動性がわかってきた。また、太陽系全体についても惑星や小惑星の探査機が次々と新しい発見をもたらし、今や冥王星の姿も明瞭に観測されるようになってきた。これらの新しい知見に基づき、太陽と太陽系の最新の姿と太陽系の進化を体系的に講義する。 ※日頃から、宇宙や自然について幅広く知識を身につける姿勢で勉強していることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
5560063 **地球と環境の探究（'25）** 〈３３０〉 **大森　聡一** （放送大学教授） **「地球と環境の探求（'20）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（60%）の評価により行う。	現在の地球システムの成り立ちを、主に物理・化学の視点から学習する。取り上げる話題は、地球の内部、沈み込み帯の物質循環、表層のCO_2、および表層環境の物質とエネルギーの流れである。学習内容に対応した演習やPC計算実習を含む。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴して学習を進めて下さい。また、各回に設置されている学習活動の課題とその解説を参考に復習を行い、理解を深めて下さい。 ※数式を扱う演習・実習を含みます。自然と環境コースの、地球科学、物理、化学関連の導入科目相当の基礎知識、および数学の基盤科目相当の基礎知識（特に、微分・積分分野）を習得していることが望ましいです。表計算ソフトを用いた実習を行うので、エクセルが利用出来る環境である必要があります。互換ソフトを利用する場合は、文法や機能の違いについて各自で対応して下さい。履修登録に先立ち、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「地球と環境の探究（'25）」で、ソフトウェアが利用可能であることをご確認下さい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1569465 **初歩からの気象学（'27）** 〈３１０〉 **伊賀　啓太** （放送大学客員准教授 東京大学准教授） **吉森　正和** （放送大学客員准教授 東京大学准教授） **「はじめての気象学（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （木）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）5時限	気象学は、大気で起こる現象を扱う学問であり、その対象は、雲・雨・風などの身近なものや、低気圧・高気圧・前線・台風といった天気予報でおなじみの現象から、地球規模の大気の循環や構造、長周期･長期にわたる気候の変動まで含む。このような広い範囲にわたる気象学の対象とする諸現象について、その基礎から解説をする。 ※気象学を理解するのには、物理学・数学・化学などの知識が必要となる。特にこの講義では気象学の初歩から解説を行うので、そのような基礎科学の知識を用いる場面が多くなるが、極力、難解な数式・理論・専門用語を用いず、基本から平易な言葉を用いて丁寧に説明を行うようにする予定である。事前学修としてシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学修として印刷教材で内容を理解・確認するとともに、示された課題の中に興味深いものがあれば取り組むこと。
1569368 **正多面体と素数（'21）** 〈３２０〉 **橋本　義武** （放送大学客員教授 東京都市大学教授） 2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （金）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　記述式（ファイル添付） 単位認定試験　記述式（郵送試験） 提出期間　7月14日（水）～7月18日（日）《必着》 2025年度2学期　74.9点 2026年度1学期　77.6点	正多面体に対し、その頂点・辺・面の個数はすべて（素数）+1であり、そのうちの2つの和、3つの和も、すべて（素数）+1か（素数の2乗）+1である。これは偶然だろうか?　その謎を解くために、数学の世界の旅に出かけることにしよう。われわれは、そこで、群、複素数、行列、射影変換と射影直線、方程式とその根の置換、体とその拡大、有限体など、現代数学の基礎をなすいろいろな概念に出会うことになるだろう。 ※「入門線型代数（'19）」を履修していることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**
1569406 **微分方程式（'23）** 〈３２０〉 **石崎　克也** （放送大学教授） **「微分方程式（'17）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	テレビ ※〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　77.3点 2026年度1学期　79.6点	微分方程式は、解析学の中心的役割をはたし、理工科系研究の基礎学術領域には欠かせない存在である。実際に、微分方程式は、微分積分学の更なる理解を深めるためにも重要であるだけではなく、自然現象や社会現象を数理的に表現し研究するための手段として、あるいは工学研究に必要な道具としても存在している。この講義では入門微分積分に続く科目として、微分方程式の初歩から分かり易く解説する。講義では、微分方程式の解の意味の理解を促し、問題解決型と知識伝達型を併用する形で進めていく。基本的な線形微分方程式を主な題材に、線形代数学、積分変換論など、様々な数学的な角度から考察していく。 ※微分積分学を勉強した上でこの講義を履修することが望ましい。具体的には、「入門微分積分（'22）」（または、「入門微分積分（'16）」、「微分と積分（'10）」）が履修済みであることを期待する。また、講義の進行にともなって、学生自身が練習問題に取り組むことを推奨する。まず印刷教材を参照しながら解答し、放送授業によって正解と照らし合わせ理解の確認をすることが望ましい。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
1562959 **統計学（'19）** 〈３２０〉 **藤井　良宜** （放送大学客員教授 宮崎大学教授） **「統計学（'13）」の単位修得者は履修不可** 2019年度開設科目	2	ラジオ （金）17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限 2025年度2学期　84.4点 2026年度1学期　81.1点	データの特徴を表現する記述的な統計手法については、すでに学習していることを前提として、次のステップである確率的なバラツキを考慮した統計解析の基本的な概念を深く理解したり、これから統計解析を実際に行ったりすることを目指す人々をターゲットとする。内容としては、母集団と標本の関係をベースにして、信頼区間による推定方法や統計的検定などの統計的推測の基本的な概念について詳しく解説する。さらに、回帰分析や因子分析などの多変量解析の手法の基本的な考えについて、その手法の特徴に焦点を当てて説明をする。 ※あらかじめ「身近な統計（'24）」の内容を学習しておくことが望ましい。 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、心理と教育コース・情報コースで共用科目となっています。**

自然と環境コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1569422 **数学の歴史 ('25)** 〈３２０〉 **三村　太郎** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 11:15 ～ 12:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)2時限 2025年度2学期　90.3点 2026年度1学期　87.4点	科学の根幹を支える学問である数学は、古代から長い歴史を持っており、地域や時代によってさまざまな数学的活動が営まれた。本科目では、古代から近代科学成立にいたるまで、数学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。 ※放送教材による学習の前に、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを手がかりに重要な用語を把握するなど印刷教材による事前学習を行うこと。加えて、事後学習として印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。**
1569473 **線型代数学 ('27)** 〈３２０〉 **隈部　正博** (放送大学教授) **「線型代数学 ('17)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ (月) 17:15～18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月21日(水)4時限	初めに高等学校で学んだ平面や空間におけるベクトルの扱いを復習する。また、内積、外積を定義し、ベクトル空間に内積を取り入れることで、長さや角度が表せることをみる。こうして得られる計量ベクトル空間において、正規直交基底が構成できる。また、空間において形を変えない変換すなわち合同変換を例をあげながら解説し、その行列表示として直交行列を学ぶ。次に、ベクトルや行列の成分を複素数とすることで、複素ベクトル空間を考える。空間における基底の変換は本講義で重要な手法で復習を兼ねて講義する。その後、対称行列に基底の変換を施し対角化できることをみる。一般に、行列が対角化できるための条件や特徴付けを考える。与えられた行列はいつも対角化できるわけではないが、三角化と呼ばれる形、またジョルダンの標準形と呼ばれる形に変形する方法を学ぶ。次に、2次曲面を行列を用いて表すことを学ぶ。そしてこれまでの知識を応用して、2次曲面を標準形とよばれる形に変形し分類する。 ※「入門線型代数 ('19)」を履修あるいは理解していることが望ましい。しかし学習上の無理がないように、できるだけ復習を交えながら講義をすすめていきたい。事前学修として印刷教材の通読、また事後学修として放送授業の再視聴あるいは印刷教材の例題等の復習が望ましい。 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1569414 **解析入門 ('24)** 〈３２０〉 **河添　健** 〔放送大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授〕 **※この科目は「解析入門 ('18)」の改訂科目です。** **「解析入門 ('18)」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉※ テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)6時限 2025年度2学期　76.3点 2026年度1学期　78.6点	微積分を学んだ次のステップとして、多変数関数および複素関数の微積分について学習します。2変数の実関数を対象に、その可視化、微分、多式近似、極値問題、積分、面積・体積などを考えます。次にその発展として、実変数を複素数に変えて複素関数の微積分を扱います。複素関数は実関数にない不思議な性質をもっています。その応用として留数の原理を用いた定積分の計算を紹介します。1変数の微積分を復習しつつ講義を進め、歴史的な背景などを交えて分かり易く解説します。グラフを多用し、視覚的にも理解しやすい放送授業を展開します。 ※1変数の実関数の微積分にも多くの面白さや応用があります。それを多変数の実関数や複素関数に拡張することにより、さらなる面白さや応用が広がります。したがって「入門微分積分 ('22)」で学んだ1変数の実関数についての微積分の基礎があることが必要です。しかし完璧に覚えている必要はありません。講義ではそれらを復習しつつ進めます。 ※改訂回は15回です。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 **※この科目は、自然と環境コース開設科目ですが、情報コースで共用科目となっています。**
1519506 **食と健康 ('24)** 〈３１０〉 **朝倉　富子** (放送大学特任教授) **佐藤　隆一郎** 〔放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授〕 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (火) 17:15 ～ 18:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月17日(土)2時限 2025年度2学期　88.2点 2026年度1学期　85.8点	**[生活と福祉コースと共用]** ヒトをはじめとする生物は、食物からエネルギーを得、栄養素を獲得することによって生命を維持している。すなわち、「食」は生きるための根幹である。本講義では、栄養素がどのように体内で消化・吸収され、代謝を受けて利用されていくかを理解する。さらに、各種栄養素の特徴について学び、食生活が原因となる疾病やその予防など、食生活と健康に関わる問題の理解を深める。 ※本講義では、栄養学、食品学を基盤とする内容が多い。高校程度の生物と化学の基礎知識を身に付けていることが望ましい。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1579452 データ構造の基礎 ('24) 〈３２０〉 鈴木　一史 （放送大学教授） 「データ構造とプログラミング ('13)」 「データ構造とプログラミング ('18)」 の単位修得者は履修不可 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (月) 15:45 ～ 16:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)3時限 2025年度2学期　87.0点 2026年度1学期　87.9点	［情報コースと共用］ 計算機科学において重要な「データ構造」、「アルゴリズム」、「プログラミング」について学習する。基本的なデータ構造の例として、配列、スタック、キュー、連結リスト、双方向連結リスト、環状連結リスト、バイナリーサーチツリー、平衡木、ハッシュテーブル、ヒープ、グラフ等について学習する。また、これらのデータ構造を利用したデータの基礎的な操作（探索、挿入、削除）等について学び、再帰や整列アルゴリズムについても学習する。 ※計算機科学やプログラミングの入門的科目を履修しており、初歩的なプログラミング（変数、データ型、演算、条件分岐、繰り返し処理、関数、ファイル、クラス、オブジェクト等）について理解していることが望ましい。 ※Pythonのプログラミング開発環境を構築し利用できること。（Python公式、Anaconda、Google Colaboratory等の任意の環境でPythonコードの作成や実行ができればよい。）
1529404 錯覚の科学 ('20) 〈３２０〉 菊池　聡 （放送大学客員教授 信州大学教授） ※この科目は「錯覚の科学 ('14)」の改訂科目です。 「錯覚の科学 ('14)」 の単位修得者は履修不可 2020年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (金) 0:00 ～ 0:45　(231ch) (木) 15:45 ～ 16:30　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)3時限 2025年度2学期　85.3点 2026年度1学期　89.2点	［心理と教育コースと共用］ 私たちの脳が認識する世界と、客観的な世界の間にズレが生じること−それが「錯覚」である。この錯覚の性質や特徴を知ることは、私たちがどのように世界を認識しているのかを知ることにつながる。心理学の諸研究は、視覚や聴覚といった知覚研究を中心に、記憶や思考など広汎な心的過程で生じる錯覚のメカニズムを明らかにしてきた。これらの研究成果を概観することで、錯覚が私たちの日常生活や社会、文化、芸術に与える影響を検討し、人の認知が持つ独特の仕組みについて理解を深めていく。 ※全15回を改訂しています。
1579355 数値の処理と数値解析 ('22) 〈３３０〉 櫻井　鉄也 （放送大学客員教授 筑波大学教授） ※この科目は「数値の処理と数値解析 ('14)」の改訂科目です。 「数値の処理と数値解析 ('14)」 の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	ラジオ (水) 17:15 ～ 18:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)4時限 2025年度2学期　78.8点 2026年度1学期　85.4点	［情報コースと共用］ 数値解析は、データの分析や機械学習、自然現象のシミュレーション、製品の設計や開発、信号処理や画像解析など、幅広い分野で利用されている。本講では、コンピュータを用いて数値計算を行うときに必要となる数値の表現や処理について理解する。また、各種の問題に応じたアルゴリズムについて基本的な手法を修得する。計算方法を記述するためのアルゴリズムやそれをコンピュータに指示するためのプログラムについても概説する。 ※計算法の説明では線形代数や微積分が現れるため、これらの基礎知識があることが望ましい。講義中で扱う例は線形代数や微積分の応用例にもなっており、これらの理解にも役立つ。数値計算は実際にコンピュータ上で実行して結果を確認することがより深い理解につながるため、実際に数値計算を経験してみることを勧める。 ※改訂回は第1、2、9、10回です。
1539566 環境を可視化する 技術と応用 ('23) 〈３３０〉 中村　恭志 （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） 浅輪　貴史 （放送大学客員准教授 東京科学大学准教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 9:45 ～ 10:30　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月20日(火)2時限 2025年度2学期　84.1点 2026年度1学期　86.6点	［社会と産業コースと共用］ 我々の身近な環境から地球規模まで様々なスケールの環境について、環境問題を可視化する最先端の技術を紹介し、その可視化を利用した環境の保全や、より良い環境を創り出すための科学を解説する。可視化技術としてはコンピュータシミュレーションやリモートセンシング、CAD/GIS、情報技術などを取り上げる。可視化画像から環境の状態を正しく読み解くには、観測、解析、シミュレーションなど可視化されている環境のデータがどのように取得されたかを知っておくことが必要であり、可視化の技術に加え、データの取得方法についても丁寧に解説する。受講生は、環境の問題に興味がある方や、最先端の技術を用いた可視化画像の作成法、及びその活用法に関心のある方を対象とする。 ※環境を可視化し、可視化画像から環境を理解するには、環境で生じている物理現象に関する知識に加え、可視化されているデータの物理的意味や取得方法などを理解することも重要である。本講義では、必要な知識を平易に解説するように努めるが、数学と物理学の基礎的な知識があることが望ましい。 【関連科目】住まいの環境論 ('23)
1579401 データベース ('23) 〈３２０〉 辻　靖彦 （放送大学教授） 芝﨑　順司 （放送大学教授） 「データベース ('17)」の単位 修得者は履修不可 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (水) 21:45 ～ 22:30　(231ch) (水) 13:30 ～ 14:15　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月18日(日)5時限 2025年度2学期　82.7点 2026年度1学期　86.3点	［情報コースと共用］ 日常生活や仕事を進める上で重要なシステムではほとんど利用されているデータベースについて、その概念、歴史、仕組みと応用を、例を交えて基本から解説する。身近なデータベースの活用例から始まり、データベースを使うとどのような所が便利なのか、データベースの意義や役割を明らかにし、もっとも利用頻度の高いデータベースであるリレーショナルデータベースの設計・管理方法を解説する。さらに、データベース技術の応用として、大規模データに対して整合性よりも迅速な処理が必要となるNoSQLなど新しい技術についても扱う。

自然と環境コース　専門科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1539485 **環境と持続可能な経済発展（'24）** 〈３２０〉 **坂田　裕輔** （放送大学客員教授 近畿大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （土）21:00 ～ 21:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　70.7点 2026年度1学期　90.9点	**［社会と産業コースと共用］** 2015年に国連で採択された持続可能な開発目標は世界共通の目的となっている。 持続可能な開発目標は、自然環境や資源の持続可能性という観点で環境問題と強いつながりがある。 本講義では、同目標が環境問題や地域の経済発展に与える影響について経済学の視点から解説する。
1579428 **記号論理学（'24）** 〈３１０〉 **加藤　浩** （放送大学教授） **辰己　丈夫** （放送大学教授） **「記号論理学（'14）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉※ テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　69.5点 2026年度1学期　70.3点	**［情報コースと共用］** 記号論理学とは、論理を論理式という数式のような記号で表して、厳密なやりかたで処理する方法の体系です。推論、すなわち、ある事態が成り立っている（真である）とき、そこから別の確実に成り立っている事態を導き出したり、また、その推論の正しさを証明したりするのが記号論理学の役割です。記号論理学は、数学をはじめとして、哲学、計算機科学などの基礎となるほか、論文執筆や議論やプレゼンテーションなどのコミュニケーションの基礎として重要です。本科目では、命題論理、一階述語論理などの意味を理解して自然言語と対応付けられるようにし、さらに論理式の計算方法を学びます。 ※「記号論理学（'14）」を単位習得したものは、本科目を履修登録できない。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
1579460 **データの分析と知識発見（'24）** 〈３２０〉 **秋光　淳生** （放送大学准教授） **※この科目は「データの分析と知識発見（'20）」の改訂科目です。** **「データの分析と知識発見（'20）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （水）6:00 ～ 6:45　（231ch） （水）12:00 ～ 12:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　77.2点	**［情報コースと共用］** 現在、ICTの進歩に伴い、大量のデータが収集、蓄積され、それを元に大量の計算がなされ多くの情報・知識を得ることができるようになった。現在氾濫するデータや情報にどう接し、それとどう付き合っていくべきなのか、また、そういった情報を抽出するためにはどういった処理をすれば良いのか、といった事について、具体的に演習を通して身につけることを目指す。 ※データ分析の手法を説明するとともに、Rを用いて実際の分析の手順についても説明する。理解するには大学初年次程度の数学の知識や基本的なパソコン操作が行えることを前提として講義を行う。 ※全15回を改訂しています。
1579410 **画像処理（'24）** 〈３２０〉 **柳沼　良知** （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ （火）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）1時限 2025年度2学期　87.0点 2026年度1学期　87.4点	**［情報コースと共用］** 画像や映像は幅広い分野で利用されており、これらを有効に活用する技術は、様々な場面で必要とされる。本科目では、コンピュータ上でデジタル画像を扱うために必要となる、画像変換や空間フィルタリング等の画像処理技術について、実際のプログラム例なども示しながら概説する。また、文字認識等の画像認識がコンピュータ上でどのように行われているかについてもあわせて紹介する。
1519514 **食の安全（'25）** 〈３２０〉 **朝倉　富子** （放送大学特任教授） **関崎　勉** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （木）23:15 ～ 24:00　（231ch） （木）15:00 ～ 15:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　74.7点 2026年度1学期　67.0点	**［生活と福祉コースと共用］** 私達が口にする食品は、生産、加工、保存、流通、などの過程を経て届けられる。これらの過程で何らかの危害要因が含まれると、食中毒や健康被害の発生に繋がる。食品添加物や農薬のように本来食品には存在しない成分や、機能性表示食品、特定保健用食品、また、未利用の生物を利用した新規食品の登場など、食を取り巻く環境は変化し複雑化している。本講義では、食品に含まれる危害要因と、食の安全に関わる項目を系統立てて解説し、食の安全に関する法体制や行政組織についても取り上げる。 ※事前に化学と生物学の基礎を学んでおくことが望ましい。事前学習としては，シラバスや印刷教材に示されたキーワードを念頭に印刷教材を読んでおくこと。事後学習としては、印刷教材を再度読んだ後に，各章の終わりにある学習課題に取り組み理解を深めること。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1559400 博物館展示論（'25） 〈310〉 鶴見　英成 （放送大学准教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　86.9点 2026年度1学期　77.0点	**[人間と文化コースと共用]** この講義では人類史と自然史、およびそれらに向き合う科学や美術が、いかにして博物館の展示として表現されるのかを、事例を通じて理解するとともに、展示のもつメッセージ性について学ぶ。まず、博物館の種類、展示の手法、展示デザイン、展示によるコミュニケーションなどの概要を学ぶ。次に日本と世界の事例を通して、大学における研究公開、人類史・美術・自然史、および災害に見る自然と人間の関係が、どのようなコンセプトのもとに制作され、どのようなメッセージが発信されるのかを理解する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。
1559397 博物館情報・メディア論 （'25） 〈310〉 鶴見　英成 （放送大学准教授） 近藤　智嗣 （放送大学副学長） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月17日（土）4時限 2025年度2学期　85.0点 2026年度1学期　83.9点	**[人間と文化コースと共用]** 多様な博物館の具体的な事例を通して、「メディアとしての博物館」の観点から、まず博物館の情報とメディアとは何かを考え、急速な発展を視野に入れつつ、情報とメディアに関する手法、技術、理論、利点、問題点などを包括的に学ぶ。学芸員資格取得の希望者を対象とし、同時に、情報に関心のある学生等、一般の受講者もターゲットとする。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学習としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている事例等について確認しておくこと。事後学習としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。
1559435 博物館資料保存論（'25） 〈310〉 日髙　真吾 （放送大学客員教授 国立民族学博物館教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）2時限 2025年度2学期　91.2点 2026年度1学期　90.2点	**[人間と文化コースと共用]** 博物館は、文化の集積庫であり、博物館に収蔵される博物館資料は、人類共通の財産といえる。それらの博物館資料は、現代を生きる人びとがより健全で豊かな社会を構築するための重要な資源であり、教材である。そして、次世代の人びとが現在と同様に博物館資料を活用できるよう、しっかりと保存し、継承していくための環境を整えなければならない。博物館資料保存論では、こうした博物館資料の保存・活用・継承のプロセスについて、さまざまな博物館における資料保存の活動事例を通して、その理念を理解し、必要な知識や技術について学ぶ。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
5550068 博物館資料論（'25） 〈310〉 折茂　克哉 （放送大学客員准教授 東京大学駒場博物館助教） 2025年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は小テスト（30%）とレポート（70%）の評価より行う	**[人間と文化コースと共用]** 博物館の資料は、生き物資料を含め、極めて多様である。そのすべてを扱うことは不可能であるが、この講義では、多様な博物館の事例を取り上げ、さまざまな資料の特徴を把握し、資料の収集、研究、保管、飼育・管理、展示等に関する考え方、知識、技術等について学ぶ。第一義的には学芸員資格取得の希望者を対象とするが、同時に、幅広い教養として学習することができる。 ※シラバスの内容から判断して、様々な研究分野や学芸員資格に関係する各科目を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1579525 プログラムとアルゴリズムの基礎（'26） 〈310〉 鈴木　一史 （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （金）16:30 ～ 17:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月18日（日）2時限 2026年度1学期　93.0点	**[情報コースと共用]** 計算機科学で重要なプログラミングや基礎的なアルゴリズムについて学習する。変数、演算、条件分岐、繰り返し、関数、文字列について学ぶ。また、リスト、タプル、辞書、集合、その他の応用的なコンテナデータ型について学習する。データ分析、可視化、機械学習などを行うパッケージの利用例について学ぶ。プログラミングのコード例にはPythonを用いる。 ※Pythonのプログラミング開発環境（Google Colaboratory や Anaconda等）を準備でき、初歩的なプログラミングについて理解していることを前提とする。Pythonの基礎的な文法の事前学習を行い、学習を進めること。また、Pythonの外部ライブラリのチュートリアル等で事後学習を行うこと。

自然と環境コース　総合科目

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1960032 暮らしに役立つ バイオサイエンス（'27） 〈４２０〉 岩橋　均 （放送大学客員教授 岐阜大学名誉教授） 重松　亨 （放送大学客員教授 新潟薬科大学教授） 「暮らしに役立つバイオサイエンス（'21）」の単位修得者は履修不可 2027年度開設科目	2	テレビ （水）11:15～12:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限	“バイオサイエンス”は人類の歴史の中で、より豊かな暮らしを求めたときに始まった科学と考えられます。そして、“バイオサイエンス”の中で、重要な位置を占めるのが微生物学で、約6000年前から人類は微生物を利用してきたと言われています。本講義では、微生物の定義、姿、環境に占める位置を先ず学び、暮らしに貢献する微生物を人類はどのように利用し、どのように利用しようとしているのかを解説します。 ※放送前に印刷教材で「事前学修」し放送内容の理解に努めてください。受講後は疑問点や興味のある点を「事後学修」し理解を深めてください。さらに各章の課題研究等を通した「暮らしに役立つ学習」を通して学修することが必要です。
1960024 ジオストーリー（'25） 〈４１０〉 大森　聡一 （放送大学教授） 宮下　敦 （放送大学客員教授） 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （月）11:15 ～ 12:00　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月21日（水）3時限 2025年度2学期　86.5点 2026年度1学期　90.0点	地球の営みと私たちの暮らしを結ぶ物語である「ジオストーリー」について、豊かに安全に生きるための教養として学ぶ。自ら「ジオストーリー」を見いだし著述するための背景となる知識を提供する。 ※学部科目「ダイナミックな地球（'21）」を履修済み程度の基礎知識を前提とします。放送教材による学習の前後に印刷教材を通読し、事前学習としてシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
5940010 時間を究める（'23） 〈４１０〉 大橋　理枝 （放送大学教授） 佐藤　仁美※ （放送大学准教授） 岸根　順一郎※ （放送大学教授） ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終試験（48%）、及び第1回～第3回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいて評価する。	［人間と文化コースと共用］ 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から時間について話して頂く。時間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'13）」「音を追究する（'16）」「色と形を探究する（'17）」「色を探究する（'23）」に連なる、多分野横断的な総合科目として構想する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1920022 色を探究する（'23） 〈４１０〉 佐藤　仁美 （放送大学准教授） 二河　成男 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （火）9:00 ～ 9:45　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）4時限 2025年度2学期　81.9点 2026年度1学期　88.8点	［心理と教育コースと共用］ 人は、視覚的生き物とも言われている。視覚要素の代表の一つとして「色」がある。私たちは、色を通して、様々な表現をし、また、さまざまな影響を受けている。ヒトの言葉には、感情や状態を表す色を用いた言葉も少なくない。たとえば、「腹黒い」「赤っ恥」「黄色い声」など、その代表的に使われているものである。 本科目では、「色」というものに、文化的・物理的・生物的・精神的・芸術的・心理的視点など多角度からアプローチし、色の持つ意味を解き明かしていき、最終的に、私たちが住み心地・生き心地をよくする色の活用に結び付けていきたい。 ※以下が関連する科目である。 「初歩からの物理（'22）」「初歩からの化学（'18）」「住まいの環境論（'23）」「分子と細胞の生物学（'27）」「現代を生きるための化学（'22）」「宇宙の誕生と進化（'19）」「太陽と太陽系の科学（'18）」「コンピュータグラフィックス（'22）」「錯覚の科学（'20）」「神経・生理心理学（'26）」「知覚・認知心理学（'23）」「社会・集団・家族心理学（'26）」「臨床心理学概論（'20）」「多文化共生のコミュニケーション（'24）」「初歩からの生物学（'24）」「宮沢賢治と宇宙（'24）」
1910078 レジリエンスの科学（'24） 〈４２０〉 奈良　由美子 （放送大学教授） 鈴木　康弘 （放送大学客員教授 愛知大学教授 名古屋大学名誉教授） 2024年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）7:30 ～ 8:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　88.3点 2026年度1学期　88.4点	［生活と福祉コースと共用］ レジリエンスとは、危機や逆境に対して適応し回復し転換する能力や特性、または現象や過程のことである。この科目では、レジリエンスの概念を解説したうえで、心のストレス、経営危機、パンデミック、自然災害、経済危機、生態系劣化などの危機や逆境に対する、個人、集団・組織、社会、地球というレベルの異なるシステムにおけるレジリエンスの実際を提示する。全体として、レジリエンスの現代的意義とこれを実現する手立てを考える講義とする。 ※関連する科目として、「今日のメンタルヘルス（'27）」、「災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）」、「日本の家族問題を考える（'26）」、「生物環境の科学（'25）」の履修により、本科目の内容についての理解と考察が一層進むと思われる。

科目コード 科目名 ナンバリング 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
5940028 **空間を考究する（'26）** **〈４１０〉** **大橋　理枝** （放送大学教授） **佐藤　仁美※** （放送大学准教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2026年度第2学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、毎回の小テスト（計40%）、最終回受講後の最終テスト（48%）、及び第1回・第3回・第8回受講後に課す短いレポート（計12%）に基づいてにより行う。	**［人間と文化コースと共用］** 毎回ゲストを迎え、それぞれの専門分野の立場から空間について話して頂く。空間について様々な角度からアプローチすることを通して、複眼的な視点を提供する。「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」と共に、多分野横断的な総合科目として開講する。 ※事前学習として各回の分野での空間の考え方などをキーワードなどを参考にして学んだうえで講義映像を視聴し、練習問題を解いてください。各回の教材の学習が終わったのちには事後学習として参考文献を読んだり練習問題や小テストの問題を解きなおしたりなどして下さい。 ※他の総合科目である「色を探究する（'23）」「時間を究める（'23）」なども併せて受講すると、より幅広い視野が得られるであろう。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業の単位数」として取り扱います。
1950053 **情報技術が拓く** **人間理解（'27）** **〈４２０〉** **仁科　エミ** （放送大学教授） **芝﨑　順司** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	テレビ （水）10:30 ～ 11:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月20日（火）6時限	**［情報コースと共用］** 情報通信技術の進展は、私たちの社会生活を大きく変貌させ、そのなかで生きる人々の思考・行動にも大きな影響を及ぼしている。一方、情報通信技術がいかに発展しようとも、それを利用する人間の生命現象としての情報処理のあり方は変わらない。現代社会で必須の教養となりつつある情報学の知見、そしてそれを実現している情報技術のもつ有用性、可能性、リスクについて、技術の側からだけでなく人間・社会の側から捉え、現代社会必須の教養として平易に解説する。 ※放送授業の前後に印刷教材で学習すること。事前学修としては印刷教材に示されているキーワードを把握し、紹介されている概念や事例等について確認しておくこと。事後学修としては重要な用語や概念を理解できているか確認すること。

看護師資格取得に資する科目

准看護師の方が看護師国家試験の受験資格を得る際、看護師学校養成所２年課程（通信制）の学修の一部として利用することが可能です。
看護師学校養成所２年課程（通信制）の制度について、詳しくは、リーフレット『准看護師から看護師国家試験の受験を目指しませんか？』をご覧ください。
また、大学改革支援・学位授与機構において「学士（看護学）」を取得する際の単位として活用することもできます。詳しくは、放送大学ウェブサイトをご覧ください。
（注）看護師資格取得に資する科目（2009年度以降開設科目）の単位は、コース科目（うち他コース開設）の単位数として卒業要件に算入されます。

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式／単位認定試験 出題形式 試験期間／試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1887394 **成人看護学（'24）** **林　直子** （放送大学客員教授 聖路加国際大学大学院教授） **佐藤　まゆみ** （放送大学客員教授 順天堂大学大学院教授） **※この科目は「成人看護学（'18）」の改訂科目です。** **「成人看護学（'18）」の単位修得者は履修不可** 2024年度開設科目	2	ラジオ （金）8:15 ～ 9:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2025年度2学期　85.5点 2026年度1学期　87.3点	成人期にある人々を対象に、その人にとって最適な健康を維持、増進するための看護援助を学ぶ。本科目は全15回で構成する。第1回は成人期にある人の心身の特徴と健康問題について概説し、第2回、第3回では、周術期ケアやクリティカルケアを必要とする人、慢性的な経過をたどる健康障害を抱える人への看護援助方法について概説する。第4回以降は、成人期に生じる主要な健康障害をとりあげ、援助方法について概説する。第15回では、エンドオブライフケアの概念について解説し、死に直面した成人期にある人とその家族への援助方法について概説する。 ※理解を深め、効果的に学べるように、本学学部科目の「基礎看護学（'24）」「看護学概説（'22）」のいずれか、あるいはそれに該当する内容を事前に学んでおくことを推奨する。 ※全15回を改訂しています。
1887408 **老年看護学（'25）** **井出　訓** （放送大学教授） **「老年看護学（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （土）8:15 ～ 9:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2025年度2学期　88.6点 2026年度1学期　93.6点	本科目は、老年期を生きることの意味と価値との理解を深め、生物学的な老化から高齢者施策を含む社会的な視点に立ちつつ高齢者を捉えながら、老いを生きる人々への看護を考えていく授業である。授業の構成としては、老年看護学が対象とする高齢者の生活と健康を、高齢期に体験される「老い」という視点から理解したうえで、加齢に伴う心身の変化の特徴を、全人的な多角的観点から学習する。さらに、高齢者の権利擁護、老年期における生活機能の管理、老年期に特有の疾病・症候と看護支援、認知症高齢者へのケア、要介護高齢者へと家族への支援、最後に高齢者の終末期ケアについて学習する。 ※看護師国家試験の試験科目ともなる老年看護学の基本的事項に焦点を当てている。そのため、放送教材による学習の前後には、必ず印刷教材による学習を行うこと。また、事前学習としてシラバス や印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題に取り組むとともに、過去の看護師国家試験問題など、看護師国家試験学習支援ツール等を活用して取り組むこと。
1887386 **小児看護学（'22）** **江本　リナ** （放送大学客員教授 日本赤十字看護大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）12:45 ～ 13:30　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　94.6点 2026年度1学期　93.0点	近年の子どもと家族を取り巻く社会は、子どもの貧困、児童虐待、いじめや自殺、災害による子どもの生活変化などの厳しい局面にさらされている。また、小児医療においては、高度医療に伴い子どもの疾病は複雑で重症化し、医療依存度の高い子どもや成人期に持ち越される慢性疾患をわずらう子どもが増加するなどの課題も多い。このような状況にある子どもが、最善の利益が守られ健やかに成長・発達できるよう、個々の発達段階と健康レベルに応じた援助を学び、子どもと家族に対する看護の役割を考える。 ※社会状況は常に変化しているため、出生率、死亡率、死亡順位、受療率などの統計数値は、最新のものを各自確認すること。 また、予防接種、小児慢性特定疾患治療研究事業の対象となっている疾患群、児童虐待、障がいなどに関する法律は、最新情報を各自確認すること。
1887432 **母性看護学（'26）** **－母性からウィメンズヘルスへ．生涯にわたる女性への健康支援－** **岡山　久代** （放送大学客員教授 筑波大学教授） **「母性看護学（'20）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	テレビ〈字〉 （日）13:30 ～ 14:15　（231ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2026年度1学期　94.5点	女性の一生をウィメンズヘルスの視点からとらえ、広い視野から女性のライフステージの進行にそって各時期の特徴と必要とされる看護を学ぶ。性成熟期においては、周産期に焦点をあて妊娠・分娩・産褥期・新生児期の特徴と看護を深く学ぶ。ウィメンズヘルスの考え方、時代による変遷等についても、関連学問とも関連づけ多角的視野から学ぶ。また、女性のみならずパートナーや家族を含めた支援、性の多様性を尊重する支援、リプロダクティブヘルスに関する支援における看護職の役割について学ぶ。 ※本科目は、学部の開設科目である。妊娠・分娩・産褥・新生児の各期に関する基礎的知識の理解に立ち、さらに本教科書や視聴覚教材、参考書等で補完することにより、理解を深めること。それにより、ウィメンズヘルスやリプロダクティブヘルスに関する理解が深まり総合的な理解が可能となる。また受講生の皆様の居住する地域の自治体や、職場の母子保健制度、関連する制度を調べることにより、一層身近にとらえることが可能となる。また看護職以外の視聴者の皆様にも、役立ち楽しめる科目となることも念頭に置く。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後は放送教材を含めてテーマ毎の内容を復習すること。

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講　義　概　要
1887424 **精神看護学 ('25)** **山田　典子** 〔放送大学客員教授 横浜市立大学教授〕 **桐山　啓一郎** 〔放送大学客員准教授 名古屋市立大学准教授〕 **※この科目は「精神看護学 ('19) 」の改訂科目です。** **「精神看護学 ('19) 」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (日) 14:15 ～ 15:00　(231ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)2時限 2025年度2学期　86.4点 2026年度1学期　81.5点	看護学において人を生物学的・心理社会学的存在として捉える全人的観点は必須である。本科目は対象を、「精神活動の主体」、「成長し続ける主体」、「地域で生活する主体」として捉え、対象の自立支援を主軸に学習する。 ※基礎看護学 ('24)、地域・在宅看護論 ('23)、成人看護学 ('24)、老年看護学 ('25)、小児看護学 ('22)、母性看護学 ('26)、また脳神経系に関する解剖生理学および薬理学の基礎を事前に学習しておくこと。また、精神保健の基礎的な知識を身につけておくことが望ましい。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※全15回を改訂しています。

卒業研究（全科履修生のみ）

新コースの学生の方

科目名	単位	所属コース	科目コード 科目登録申請は履修可の決定後、第1学期のみ可
卒業研究	6	生活と福祉コース	1519301
		心理と教育コース	1529307
		社会と産業コース	1549308
		人間と文化コース	1579207
		情　報　コ　ー　ス	1579304
		自然と環境コース	1568701

概要

1．卒業研究は、各コースに所属している全科履修生が、教員から直接指導を受けることができる選択科目です（必修ではありません）。
2．履修を希望する場合は、学習センターの窓口にて配布（毎年６月初旬）の『卒業研究履修の手引』を入手し、履修前年度の所定の期間に卒業研究申請書を提出してください。
※履修にあたっては履修申請条件がありますので詳細については『卒業研究履修の手引』を参照してください。
3．提出された卒業研究申請書をもとに教員が審査を行った結果、履修可の通知を受けた方は、所属するコースの卒業研究の科目登録申請を行ってください。
審査の結果、履修が認められない場合は、履修申請条件を満たしていても科目登録申請・履修はできません。
（卒業研究の科目登録は、「科目登録申請票」の放送授業の欄に記入してください。）
4．他コースの卒業研究は履修できません。
5．既に卒業したコースの卒業研究は履修できません。
6．履修期間は、４月から１年間です。したがって、履修途中（第１学期末）で卒業要件を満たしても第１学期末での卒業はできません。
7．卒業研究の６単位は、放送授業、面接授業それぞれ３単位として認定されます。

（参　考）

○卒業研究の履修申請条件

卒業研究の履修申請条件は、「２年以上在学し、62単位以上修得していなければ履修申請できません。」とされています。
「２年以上在学」とは、全科履修生として休学期間および停学期間を除いて２年以上在学しなければならないことです。
「62単位以上修得」とは、修得した単位数（入学時または編入学時に認定された既修得単位数を含む）の合計が62単位以上必要（申請前年度第２学期末までに）、ということです（特例措置やその他詳細については『卒業研究履修の手引』を参照してください）。

※卒業研究は履修前年度から履修年度までに休学や卒業をすると履修資格を失いますので、ご注意ください。
※手続きについての質問は、大学本部入学・学修支援課卒業判定係までお問い合わせください。

2027年度第１学期教養学部
学習センター受験者用の単位認定試験
時間割・出題形式一覧

単位認定試験を学習センター等で受験する方のみ、ご確認ください。

※学習センター等での受験についてはp.13をご確認ください。
※「行政学講説（'24）」（記述式）、「正多面体と素数（'21）」（記述式）、「日本美術史の近代とその外部（'18）」（記述式）、「量子化学（'19）」（併用式）の４科目は郵送試験で実施するため、時間割一覧には記載がありません。郵送試験についてはp.13をご確認ください。
※今後、教養学部において、Webカメラによる本人確認を導入する予定です。導入時期は未定ですが、2027年度第1学期は実施いたしません。なお、学習センター等で受験する場合は、Webカメラによる本人確認は行わず、対面で本人確認を行います。

曜日 / 時限	2027年7月15日 木			2027年7月16日 金		
	科目コード	科目名	形式	科目コード	科目名	形式
1 9:45 〜 10:35	1140140	平和と安全保障('26)	択一	1519417	ソーシャルシティ('23)	択一
	1490036	初歩のトルコ語('26)	択一	1519476	基礎看護学('24)	択一
	1519450	社会政策の国際動向と日本の位置('23)	択一	1519565	災害を乗り越える防災基礎力入門('26)	択一
	1529617	社会教育経営実践論('22)	併用	1529595	学校リスク論('22)	択一
	1529625	生涯学習支援の理論と実践('22)	記述	1539787	サービスサイエンス('27)	択一
	1539752	現代のフードシステム('26)	択一	1559257	西洋音楽史('21)	択一
	1579533	ソフトウェア開発入門('27)	択一	1710273	疾病の回復を促進する薬('25)	択一
	1740202	哲学・思想を今考える('23)	併用	1910078	レジリエンスの科学('24)	択一
	1887408	老年看護学('25)	択一			
					[サービスサイエンス('23)]	択一
					[日常生活のデジタルメディア('22)]	択一
					[ＡＩシステムと人・社会との関係('20)]	択一
2 11:00 〜 11:50	1519387	地域福祉の課題と展望('22)	択一	1519468	看護管理と医療安全('24)	択一
	1519603	超高齢社会を生きる('27)	択一	1529510	心理学統計法('21)	択一
	1529684	日本の文化と教育('23)	記述	1539345	雇用社会と法('21)	択一
	1529811	今求められる学力と学び('26)	択一	1559400	博物館展示論('25)	択一
	1539655	西洋政治思想の文脈('25)	択一	1569350	植物の科学('21)	択一
	1559370	西洋の美学・美術史('24)	併用	1579428	記号論理学('24)	択一
	1740253	日本の近現代('27)	択一	1579517	情報デザイン('26)	択一
	1887424	精神看護学('25)	択一	1910060	地域生活を支える社会福祉と法('24)	択一
				1930133	モビリティとまちづくり('27)	択一
		[高齢期を支える('23)]	記述			
		[日本近現代史('21)]	択一		[エネルギーと社会('19)]	択一
3 12:45 〜 13:35	1140132	問題解決の進め方('25)	択一	1140078	社会と産業の倫理('21)	択一
	1529960	心理臨床における法・倫理・制度('27)	択一	1160036	身近な統計('24)	択一
	1539710	オペレーションズ・マネジメント('26)	択一	1170040	情報学へのとびら('22)	択一
	1555057	ヨーロッパ文学の読み方―近代篇('19)	記述	1559346	博物館経営論('23)	択一
	1559494	中近世ヨーロッパの歴史('27)	択一	1579339	教育のためのＩＣＴ活用('22)	択一
	1562878	太陽と太陽系の科学('18)	択一	1579452	データ構造の基礎('24)	択一
	1570390	ユーザ調査法('20)	択一	1720104	心理学概論('24)	択一
	1579460	データの分析と知識発見('24)	併用	1730185	社会統計学入門('24)	択一
	1760149	現代を生きるための化学('22)	択一			
	1887394	成人看護学('24)	択一			
		[心理臨床における法・倫理・制度('21)]	択一			
		[都市から見るヨーロッパ史('21)]	記述			
4 14:00 〜 14:50	1140086	市民自治の知識と実践('21)	記述	1420119	英語で読む大統領演説('20)	択一
	1539590	現代アメリカの政治と社会('24)	記述	1519379	社会福祉実践とは何か('22)	択一
	1539744	現代の国際政治('26)	択一	1519549	現代社会のなかの家族('26)	択一
	1559508	文学批評の現在('27)	択一	1529714	進化心理学('23)	択一
	1730215	政治学入門('26)	択一	1529773	世界の学校('24)	択一
	1760181	かたちの化学－化学の考え方入門('23)	択一	1539400	管理会計('22)	択一
	1887432	母性看護学('26)	択一	1539442	簿記入門('22)	択一
				1710230	貧困の諸相('23)	択一
				1760203	物理の世界('24)	択一
		[新時代の生徒指導('23)]	択一			
		[文学批評への招待('18)]	記述			
5 15:15 〜 16:05	1529862	神経・生理心理学('26)	択一	1519573	支える社会保障('26)	択一
	1529943	これからの生徒指導を考える('27)	択一	1529544	乳幼児の保育・教育('21)	択一
	1539663	日本政治外交史('25)	記述	1539485	環境と持続可能な経済発展('24)	択一
	1555030	文学・芸術・武道にみる日本文化('19)	併用	1539540	経営情報学入門('23)	択一
	1559478	史書から見る中国史('27)	記述	1569392	感覚と応答の生物学('23)	択一
	1740172	西洋哲学の根源('22)	併用	1579380	ヒューマンインタフェース('23)	択一
	1887386	小児看護学('22)	択一	1579487	Ｗｅｂのしくみと応用('25)	択一
				1710222	健康と社会('23)	択一
				1710257	健康長寿のためのスポートロジー('24)	択一
		[韓国朝鮮の歴史と文化('21)]	択一			
		[世界の中の日本外交('21)]	択一			
6 16:30 〜 17:20	1519360	看護学概説('22)	択一	1519646	認知症と生きる('27)	択一
	1529749	学校と法('24)	記述	1529870	心理職の専門性('26)	択一
	1529765	コミュニティと教育('24)	併用	1539698	企業経営の国際展開('25)	択一
	1555111	世界文学の古典を読む('20)	記述	1562924	宇宙の誕生と進化('19)	択一
	1559273	近現代ヨーロッパの歴史('22)	併用	1569414	解析入門('24)	択一
	1720090	現代教育入門('21)	択一	1569490	量子の物理('27)	択一
	1730223	日本国憲法('26)	択一	1710281	疾病の成立と回復促進('25)	択一
	1760173	分子の変化からみた世界('23)	択一	1740180	世界文学への招待('22)	択一
	1930095	空間と政治('22)	記述	1760157	初歩からの物理('22)	択一
					[認知症と生きる('21)]	択一
		[原初から／への思索('22)]	記述		[量子物理学('21)]	択一

※［　］は前年度閉講科目の再試験です。

曜日 / 時限	2027年7月17日 土			2027年7月18日 日		
	科目コード	科目名	形式	科目コード	科目名	形式
1 9:45 〜 10:35	1140116	より良い思考の技法('23)	択一	1420160	英語で発信する日本文化('26)	択一
	1529390	心理学研究法('20)	択一	1519522	人間・環境情報とDX('25)	択一
	1539329	刑法と生命('21)	択一	1539639	ヨーロッパ政治史('24)	択一
	1539574	会計学('24)	択一	1539701	これからの住まいと建築('25)	択一
	1559320	古代中世の日本('23)	択一	1569481	力と運動の物理('27)	択一
	1559354	アメリカ史：世界史の中で考える('24)	択一	1710192	社会福祉－新しい地平を拓く('22)	択一
	1559362	原典で読む日本の思想('24)	択一			
	1710320	健康への力の探究('27)	択一			
					[持続可能な社会と生活('23)]	択一
					[中高年の心理臨床('20)]	択一
		[健康への力の探究('19)]	択一		[力と運動の物理('19)]	択一
2 11:00 〜 11:50	1170074	地理空間情報の基礎と活用('27)	択一	1529900	ライフサイクルの心理臨床('26)	択一
	1519506	食と健康('24)	択一	1539507	人生100年時代の家族と法('23)	択一
	1569422	数学の歴史('25)	択一	1539604	新興アジアの政治と経済('24)	択一
	1570340	情報社会のユニバーサルデザイン('19)	択一	1539779	イノベーション・マネジメント('27)	択一
	1579444	情報化社会におけるメディア教育('24)	択一	1579525	プログラムとアルゴリズムの基礎('26)	択一
	1579479	生活を支えるコンピュータ技術('25)	択一	1579541	ネットワークとスマート社会('27)	択一
	1579495	映像コンテンツの制作技術('25)	択一	1710303	人体の構造と機能('26)	択一
				1950045	情報社会と国際ボランティア活動('24)	択一
					[イノベーション・マネジメント('23)]	択一
					[身近なネットワークサービス('20)]	択一
3 12:45 〜 13:35	1420151	シン・ビートルズ de 英文法('25)	択一	1529404	錯覚の科学('20)	択一
	1430050	ドイツ語Ⅰ('27)	択一	1559290	博物館教育論('22)	択一
	1460056	中国語Ⅰ('27)	択一	1559443	近世の日本と世界('26)	択一
	1480065	韓国語Ⅱ('25)	択一	1710249	感染症と生体防御('24)	択一
	1529935	教育政策と行財政('27)	択一	1750046	情報理論とデジタル表現('19)	択一
	1559419	フィールドワークと民族誌('24)	択一	1760114	入門線型代数('19)	択一
				1930052	環境と社会('21)	択一
		[ドイツ語Ⅰ('23)]	択一			
		[中国語Ⅰ('23)]	択一		[教育の行政・政治・経営('23)]	択一
4 14:00 〜 14:50	1529790	知的障害教育総論('25)	択一	1140124	心理と教育へのいざない('24)	択一
	1539477	民法('22)	択一	1519590	日本の家族問題を考える('26)	択一
	1559303	現代に生きる現象学('23)	択一	1569430	生物の進化と多様化('26)	択一
	1559397	博物館情報・メディア論('25)	択一	1569457	ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学('26)	択一
	1720082	教育・学校心理学('20)	択一	1579355	数値の処理と数値解析('22)	択一
	1730193	社会学概論('25)	択一	1710290	睡眠と健康('25)	択一
	1730240	社会調査の基礎('27)	択一			
	1740083	総合人類学としてのヒト学('18)	択一			
		[社会調査の基礎('19)]	択一		[コンピュータとソフトウェア('18)]	択一
5 15:15 〜 16:05	1150057	日本語リテラシー('26)	択一	1529706	知覚・認知心理学('23)	択一
	1529501	心理カウンセリング序説('21)	択一	1539558	ファイナンス入門('23)	択一
	1529781	特別支援教育総論('25)	択一	1539680	NPO・NGOの世界('25)	択一
	1539493	現代国際社会と有機農業('23)	択一	1559338	樋口一葉の世界('23)	択一
	1539620	日本経済の比較史('24)	択一	1569465	初歩からの気象学('27)	択一
	1548565	災害社会学('20)	択一	1579401	データベース('23)	択一
	1740164	人文地理学からみる世界('22)	択一	1760106	初歩からの化学('18)	択一
	1930125	平和学('27)	択一			
					[はじめての気象学('21)]	択一
6 16:30 〜 17:20	1160028	初歩からの数学('18)	択一	1170066	遠隔学習のためのパソコン活用('25)	択一
	1519620	高等教育と障害('27)	択一	1519638	持続可能な社会へのシステム思考('27)	択一
	1529838	肢体不自由児の教育('26)	択一	1529846	司法・犯罪心理学('26)	択一
	1559389	西アジアの歴史('24)	択一	1529978	多様な子どもの学びと公教育('27)	択一
	1559486	時間と存在('27)	択一	1539647	国際法('25)	択一
	1710311	豊かに暮らすための不動産学('26)	択一	1720112	テーマで学ぶ日本教育史('24)	択一
	1740229	多文化共生のコミュニケーション('24)	択一	1740130	日本語学入門('20)	択一
	1760211	宮沢賢治と宇宙('24)	択一	1750062	初歩からの情報科学('25)	択一

※［　］は前年度閉講科目の再試験です。

曜日／時限	2027年7月20日 火			2027年7月21日 水		
	科目コード	科目名	形式	科目コード	科目名	形式
1 9:45 〜 10:35	1529560	福祉心理学('21)	択一	1519425	地域・在宅看護論('23)	択一
	1529927	感情・人格心理学('27)	択一	1529145	教育課程の意義及び編成の方法('15)	択一
	1539337	現代の内部監査('22)	択一	1529889	心理的アセスメント('26)	択一
	1539671	マーケティング('25)	択一	1539418	行政法('22)	択一
	1569406	微分方程式('23)	択一	1579363	メディア論('22)	択一
	1579410	画像処理('24)	択一	1730231	会社法入門('27)	択一
	1740245	『枕草子』の世界('24)	択一			
		［感情・人格心理学('21)］	択一			
		［生命分子と細胞の科学('19)］	択一		［日本文学と和歌('21)］	択一
2 11:00 〜 11:50	1140094	運動と健康('22)	択一	1170082	デジタル時代の学びの技法('27)	択一
	1420178	続・教養で読む英語('27)	択一	1519581	精神疾患とその治療('26)	択一
	1430068	ドイツ語Ⅱ('27)	択一	1529668	幼児教育の指導法('22)	択一
	1440047	フランス語Ⅱ('24)	択一	1559427	映画芸術への招待('25)	択一
	1519557	災害看護学・国際看護学('26)	択一	1559460	ユーラシアのなかの中国史('26)	択一
	1539566	環境を可視化する技術と応用('23)	択一	1579436	コンピュータ通信概論('24)	択一
	1559435	博物館資料保存論('25)	択一	1930117	住まいの環境論('23)	択一
	1710265	生活経済学('25)	択一			
	1910051	グリーフサポートと死生学('24)	択一			
		［ドイツ語Ⅱ('23)］	択一			
3 12:45 〜 13:35	1519611	今日のメンタルヘルス('27)	択一	1519328	子どもの人権をどうまもるのか('21)	択一
	1529803	学習・言語心理学('25)	択一	1519409	リスクコミュニケーションの探究('23)	択一
	1539515	ＳＤＧｓ下のアジア産業論('23)	択一	1529722	精神分析とユング心理学('23)	択一
	1539612	都市と地域の社会学('24)	択一	1529820	産業・組織心理学('26)	択一
	1539736	現代経済理論('26)	択一	1760220	生物環境の科学('25)	択一
	1579509	情報セキュリティと倫理・心得('26)	択一	1960024	ジオストーリー('25)	択一
				1960032	暮らしに役立つバイオサイエンス('27)	択一
		［今日のメンタルヘルス('23)］	択一		［暮らしに役立つバイオサイエンス('21)］	択一
4 14:00 〜 14:50	1519484	公衆衛生('24)	択一	1420143	グローバル時代の英語('22)	択一
	1519514	食の安全('25)	択一	1440039	フランス語Ⅰ('24)	択一
	1539728	金融と社会('26)	択一	1480057	韓国語Ⅰ('25)	択一
	1730169	一般市民のための法学入門('23)	択一	1529951	障害者・障害児心理学('27)	択一
	1750089	情報法入門('27)	択一	1569473	線型代数学('27)	択一
	1920022	色を探究する('23)	択一	1740210	博物館概論('23)	択一
				1740237	日本語教育学入門('24)	択一
				1750070	英語で学ぶ情報学の歩み('27)	択一
				1760165	入門微分積分('22)	択一
		［地理空間情報の基礎と活用('22)］	択一			
		［思春期・青年期の心理臨床('19)］	択一		［障害者・障害児心理学('21)］	択一
		［情報と法('23)］	択一		［線型代数学('17)］	択一
5 15:15 〜 16:05	1140108	自然科学はじめの一歩('22)	択一	1460064	中国語Ⅱ('27)	択一
	1529854	社会・集団・家族心理学('26)	択一	1470027	初歩のスペイン語('25)	択一
	1529447	臨床心理学概論('20)	択一	1519492	障害者の自立と制度('24)	択一
	1539450	著作権法('22)	択一	1554999	『方丈記』と『徒然草』('18)	択一
	1555120	「人新世」時代の文化人類学('20)	択一	1559311	英米哲学の挑戦('23)	択一
	1579371	自然言語処理('23)	択一	1579550	問題解決の数理('27)	択一
	1720120	教育の社会学('25)	択一	1740199	歴史のなかの人間('22)	択一
	1730207	社会経済の基礎('25)	択一			
					［中国語Ⅱ('23)］	択一
					［道徳教育論('21)］	択一
					［問題解決の数理('21)］	択一
6 16:30 〜 17:20	1150049	日本語アカデミックライティング('22)	択一	1519530	リハビリテーション('25)	択一
	1529730	イメージの力('24)	択一	1529650	日本の教職論('22)	択一
	1529897	認知行動療法('26)	択一	1529919	家族と教育('27)	択一
	1559451	舞台芸術の世界('26)	択一	1539760	持続可能な社会のための財政学('26)	択一
	1562959	統計学('19)	択一	1569449	電気と磁気の物理('26)	択一
	1730177	経営学入門('24)	択一	1720139	発達心理学概論('27)	択一
	1760122	ダイナミックな地球('21)	択一	1930087	海からみた産業と日本('22)	択一
	1760190	初歩からの生物学('24)	択一			
	1950053	情報技術が拓く人間理解('27)	択一			
		［情報技術が拓く人間理解('20)］	択一		［発達心理学概論('17)］	択一

※［　］は前年度閉講科目の再試験です。

2027年度第1学期 教養学部
学習センター受験者用の単位認定試験時間割 五十音順索引

あ行

アメリカ史:世界史の中で考える('24) ……7/17(土)1限
一般市民のための法学入門('23)…7/20(火)4限
イノベーション・マネジメント('23)[閉講] …… 7/18(日)2限
イノベーション・マネジメント('27)…… 7/18(日)2限
今求められる学力と学び('26) ……7/15(木)2限
イメージの力('24) ……7/20(火)6限
色を探究する('23) ……7/20(火)4限
Webのしくみと応用('25) ……7/16(金)5限
宇宙の誕生と進化('19) ……7/16(金)6限
海からみた産業と日本('22) ……7/21(水)6限
運動と健康('22) ……7/20(火)2限
映画芸術への招待('25) ……7/21(水)2限
英語で発信する日本文化('26) …… 7/18(日)1限
英語で学ぶ情報学の歩み('27) …7/21(水)4限
英語で読む大統領演説('20) ……7/16(金)4限
映像コンテンツの制作技術('25) …7/17(土)2限
英米哲学の挑戦('23) ……7/21(水)5限
AIシステムと人・社会との関係('20)[閉講] ……7/16(金)1限
SDGs下のアジア産業論('23) ……7/20(火)3限
NPO・NGOの世界('25) …… 7/18(日)5限
エネルギーと社会('19)[閉講] ……7/16(金)2限
遠隔学習のためのパソコン活用('25) …… 7/18(日)6限
オペレーションズ・マネジメント('26) ……7/15(木)3限

か行

会計学('24) ……7/17(土)1限
会社法入門('27) ……7/21(水)1限
解析入門('24) ……7/16(金)6限
学習・言語心理学('25) ……7/20(火)3限
画像処理('24) ……7/20(火)1限
家族と教育('27) ……7/21(水)6限
かたちの化学ー化学の考え方入門('23) ……7/15(木)4限
学校と法('24) ……7/15(木)6限
学校リスク論('22) ……7/16(金)1限
感覚と応答の生物学('23) ……7/16(金)5限
環境と持続可能な経済発展('24)…7/16(金)5限
環境と社会('21) …… 7/18(日)3限
環境を可視化する技術と応用('23) 7/20(火)2限
看護学概説('22) ……7/15(木)6限
看護管理と医療安全('24) ……7/16(金)2限
韓国語I('25) ……7/21(水)4限
韓国語II('25) ……7/17(土)3限
韓国朝鮮の歴史と文化('21)[閉講] ……7/15(木)5限
感情・人格心理学('21)[閉講] ……7/20(火)1限
感情・人格心理学('27) ……7/20(火)1限
感染症と生体防御('24) …… 7/18(日)3限
管理会計('22) ……7/16(金)4限
企業経営の国際展開('25) ……7/16(金)6限
記号論理学('24) ……7/16(金)2限
基礎看護学('24) ……7/16(金)1限
教育・学校心理学('20) ……7/17(土)4限
教育課程の意義及び編成の方法('15) ……7/21(水)1限
教育政策と行財政('27) ……7/17(土)3限
教育の行政・政治・経営('23)[閉講] 7/18(日)3限
教育の社会学('25) ……7/20(火)5限
教育のためのICT活用('22) ……7/16(金)3限
行政学講説('24) ……郵送
行政法('22) ……7/21(水)1限
近現代ヨーロッパの歴史('22) ……7/15(木)6限
近世の日本と世界('26)…… 7/18(日)3限
金融と社会('26) ……7/20(火)4限
空間と政治('22) ……7/15(木)6限
暮らしに役立つバイオサイエンス('21)[閉講] ……7/21(水)3限
暮らしに役立つバイオサイエンス('27) ……7/21(水)3限
グリーフサポートと死生学('24) ……7/20(火)2限
グローバル時代の英語('22) ……7/21(水)4限
経営学入門('24) ……7/20(火)6限
経営情報学入門('23) ……7/16(金)5限
刑法と生命('21) ……7/17(土)1限
健康長寿のためのスポートロジー('24) ……7/16(金)5限
健康と社会('23) ……7/16(金)5限
健康への力の探究('19)[閉講] …7/17(土)1限
健康への力の探究('27) ……7/17(土)1限
原初から／への思索('22)[閉講]…7/15(木)6限
現代アメリカの政治と社会('24) …7/15(木)4限
現代教育入門('21) ……7/15(木)6限
現代経済理論('26) ……7/20(火)3限
現代国際社会と有機農業('23) …7/17(土)5限
現代社会のなかの家族('26)……7/16(金)4限
現代に生きる現象学('23)……7/17(土)4限
現代の国際政治('26) ……7/15(木)4限
現代の内部監査('22) ……7/20(火)1限
現代のフードシステム('26) ……7/15(木)1限
現代を生きるための化学('22) ……7/15(木)3限
原典で読む日本の思想('24)……7/17(土)1限
公衆衛生('24) ……7/20(火)4限
高等教育と障害('27) ……7/17(土)6限
高齢期を支える('23)[閉講] ……7/15(木)2限
国際法('25) …… 7/18(日)6限
古代中世の日本('23) ……7/17(土)1限
子どもの人権をどうまもるのか('21) 7/21(水)3限
コミュニティと教育('24)……7/15(木)6限
雇用社会と法('21) ……7/16(金)2限
これからの住まいと建築('25)…… 7/18(日)1限
これからの生徒指導を考える('27)…7/15(木)5限
今日のメンタルヘルス('23)[閉講] ……7/20(火)3限
今日のメンタルヘルス('27) ……7/20(火)3限
コンピュータ通信概論('24) ……7/21(水)2限
コンピュータとソフトウェア('18)[閉講] …… 7/18(日)4限

さ行

サービスサイエンス('23)[閉講]……7/16(金)1限
サービスサイエンス('27)……7/16(金)1限
災害看護学・国際看護学('26) ……7/20(火)2限
災害社会学('20) ……7/17(土)5限
災害を乗り越える防災基礎力入門('26) ……7/16(金)1限
支える社会保障('26)……7/16(金)5限
錯覚の科学('20) …… 7/18(日)3限
産業・組織心理学('26) ……7/21(水)3限
ジオストーリー('25)……7/21(水)3限
時間と存在('27) ……7/17(土)6限
思春期・青年期の心理臨床('19)[閉講] ……7/20(火)4限
史書から見る中国史('27) ……7/15(木)5限
自然科学はじめの一歩('22) ……7/20(火)5限
自然言語処理('23) ……7/20(火)5限
持続可能な社会と生活('23)[閉講] …… 7/18(日)1限
持続可能な社会のための財政学('26) ……7/21(水)6限
持続可能な社会へのシステム思考('27) …… 7/18(日)6限
肢体不自由児の教育('26) ……7/17(土)6限
疾病の回復を促進する薬('25) ……7/16(金)1限
疾病の成立と回復促進('25) ……7/16(金)6限
司法・犯罪心理学('26) …… 7/18(日)6限
市民自治の知識と実践('21)……7/15(木)4限
社会・集団・家族心理学('26) ……7/20(火)5限
社会学概論('25) ……7/17(土)4限
社会教育経営実践論('22) ……7/15(木)1限
社会経済の基礎('25) ……7/20(火)5限
社会政策の国際動向と日本の位置('23) ……7/15(木)1限
社会調査の基礎('19)[閉講] ……7/17(土)4限
社会調査の基礎('27) ……7/17(土)4限
社会統計学入門('24) ……7/16(金)3限
社会と産業の倫理('21) ……7/16(金)3限
社会福祉ー新しい地平を拓く('22) 7/18(日)1限
社会福祉実践とは何か('22)……7/16(金)4限
生涯学習支援の理論と実践('22) …7/15(木)1限
障害者・障害児心理学('21)[閉講] ……7/21(水)4限
障害者・障害児心理学('27) ……7/21(水)4限
障害者の自立と制度('24)……7/21(水)5限
小児看護学('22) ……7/15(木)5限
情報学へのとびら('22) ……7/16(金)3限
情報化社会におけるメディア教育('24) ……7/17(土)2限
情報技術が拓く人間理解('20)[閉講] ……7/20(火)6限
情報技術が拓く人間理解('27)……7/20(火)6限
情報社会と国際ボランティア活動('24) …… 7/18(日)2限
情報社会のユニバーサルデザイン('19) ……7/17(土)2限
情報セキュリティと倫理・心得('26)…7/20(火)3限
情報デザイン('26) ……7/16(金)2限
情報と法('23)[閉講] ……7/20(火)4限
情報法入門('27) ……7/20(火)4限
情報理論とデジタル表現('19) …… 7/18(日)3限
食と健康('24) ……7/17(土)2限
食の安全('25) ……7/20(火)4限
植物の科学('21) ……7/16(金)2限
初歩からの化学('18)…… 7/18(日)5限
初歩からの気象学('27)…… 7/18(日)5限
初歩からの情報科学('25)…… 7/18(日)6限
初歩からの数学('18)……7/17(土)6限
初歩からの生物学('24)……7/20(火)6限

※各科目の講義概要は p.172 ～ p.173 の索引から確認できます。([閉講] を除く)

初歩からの物理（'22）……7/16（金）6限
初歩のスペイン語（'25）……7/21（水）5限
初歩のトルコ語（'26）……7/15（木）1限
シン・ビートルズ de 英文法（'25）…7/17（土）3限
進化心理学（'23）……7/16（金）4限
神経・生理心理学（'26）……7/15（木）5限
新興アジアの政治と経済（'24）…… 7/18（日）2限
新時代の生徒指導（'23）［閉講］…7/15（木）4限
「人新世」時代の文化人類学（'20）
……7/20（火）5限
人生100年時代の家族と法（'23）… 7/18（日）2限
人体の構造と機能（'26）…… 7/18（日）2限
人文地理学からみる世界（'22）……7/17（土）5限
心理カウンセリング序説（'21）……7/17（土）5限
心理学概論（'24）……7/16（金）3限
心理学研究法（'20）……7/17（土）1限
心理学統計法（'21）……7/16（金）2限
心理職の専門性（'26）……7/16（金）6限
心理的アセスメント（'26）……7/21（水）1限
心理と教育へのいざない（'24）…… 7/18（日）4限
心理臨床における法・倫理・制度（'21）［閉講］
……7/15（木）3限
心理臨床における法・倫理・制度（'27）
……7/15（木）3限
睡眠と健康（'25）…… 7/18（日）4限
数学の歴史（'25）……7/17（土）2限
数値の処理と数値解析（'22）…… 7/18（日）4限
住まいの環境論（'23）……7/21（水）2限
生活経済学（'25）……7/20（火）2限
生活を支えるコンピュータ技術（'25）7/17（土）2限
政治学入門（'26）……7/15（木）4限
成人看護学（'24）……7/15（木）3限
精神看護学（'25）……7/15（木）2限
精神疾患とその治療（'26）……7/21（水）2限
精神分析とユング心理学（'23）……7/21（水）3限
正多面体と素数（'21）……郵送
生物環境の科学（'25）……7/21（水）3限
生物の進化と多様化（'26）…… 7/18（日）4限
生命分子と細胞の科学（'19）［閉講］
……7/20（火）1限
西洋音楽史（'21）……7/16（金）1限
西洋政治思想の文脈（'25）……7/15（木）2限
西洋哲学の根源（'22）……7/15（木）5限
西洋の美学・美術史（'24）……7/15（木）2限
世界の学校（'24）……7/16（金）4限
世界の中の日本外交（'21）［閉講］
……7/15（木）5限
世界文学の古典を読む（'20）……7/15（木）6限
世界文学への招待（'22）……7/16（金）6限
線型代数学（'17）［閉講］……7/21（水）4限
線型代数学（'27）……7/21（水）4限
総合人類学としてのヒト学（'18）……7/17（土）4限
ソーシャルシティ（'23）……7/16（金）1限
続・教養で読む英語（'27）……7/20（火）2限
ソフトウェア開発入門（'27）……7/15（木）1限

た行

ダイナミックな地球（'21）……7/20（火）6限
太陽と太陽系の科学（'18）……7/15（木）3限
多文化共生のコミュニケーション（'24）
……7/17（土）6限
多様な子どもの学びと公教育（'27）7/18（日）6限
地域・在宅看護論（'23）……7/21（水）1限
地域生活を支える社会福祉と法（'24）
……7/16（金）2限
地域福祉の課題と展望（'22）……7/15（木）2限
知覚・認知心理学（'23）…… 7/18（日）5限
力と運動の物理（'19）［閉講］…… 7/18（日）1限
力と運動の物理（'27）…… 7/18（日）1限
知的障害教育総論（'25）……7/17（土）4限
中近世ヨーロッパの歴史（'27）……7/15（木）3限
中高年の心理臨床（'20）［閉講］… 7/18（日）1限
中国語Ⅰ（'27）……7/17（土）3限
中国語Ⅱ（'27）……7/21（水）5限
中国語Ⅰ（'23）［閉講］……7/17（土）3限
中国語Ⅱ（'23）［閉講］……7/21（水）5限
超高齢社会を生きる（'27）……7/15（木）2限
著作権法（'22）……7/20（火）5限
地理空間情報の基礎と活用（'22）［閉講］
……7/20（火）4限
地理空間情報の基礎と活用（'27）
……7/17（土）2限
データ構造の基礎（'24）……7/16（金）3限
データの分析と知識発見（'24）……7/15（木）3限
データベース（'23）…… 7/18（日）5限
テーマで学ぶ日本教育史（'24）…… 7/18（日）6限
デジタル時代の学びの技法（'27）…7/21（水）2限
哲学・思想を今考える（'23）……7/15（木）1限
電気と磁気の物理（'26）……7/21（水）6限
ドイツ語Ⅰ（'27）……7/17（土）3限
ドイツ語Ⅱ（'27）……7/20（火）2限
ドイツ語Ⅰ（'23）［閉講］……7/17（土）3限
ドイツ語Ⅱ（'23）［閉講］……7/20（火）2限
統計学（'19）……7/20（火）6限
道徳教育論（'21）［閉講］……7/21（水）5限
特別支援教育総論（'25）……7/17（土）5限
都市から見るヨーロッパ史（'21）［閉講］
……7/15（木）3限
都市と地域の社会学（'24）……7/20（火）3限

な行

西アジアの歴史（'24）……7/17（土）6限
日常生活のデジタルメディア（'22）［閉講］
……7/16（金）1限
日本近現代史（'21）［閉講］……7/15（木）2限
日本経済の比較史（'24）……7/17（土）5限
日本語アカデミックライティング（'22）
……7/20（火）6限
日本語学入門（'20）…… 7/18（日）6限
日本語教育学入門（'24）……7/21（水）4限
日本国憲法（'26）……7/15（木）6限
日本語リテラシー（'26）……7/17（土）5限
日本政治外交史（'25）……7/15（木）5限
日本の家族問題を考える（'26）…… 7/18（日）4限
日本の教職論（'22）……7/21（水）6限
日本の近現代（'27）……7/15（木）2限
日本の文化と教育（'23）……7/15（木）2限
日本美術史の近代とその外部（'18）……郵送
日本文学と和歌（'21）［閉講］……7/21（水）1限
入門線型代数（'19）…… 7/18（日）3限
入門微分積分（'22）……7/21（水）4限
乳幼児の保育・教育（'21）……7/16（金）5限
人間・環境情報とDX（'25）…… 7/18（日）1限
認知行動療法（'26）……7/20（火）6限
認知症と生きる（'21）［閉講］……7/16（金）6限
認知症と生きる（'27）……7/16（金）6限
ネットワークとスマート社会（'27）…… 7/18（日）2限

は行

博物館概論（'23）……7/21（水）4限
博物館教育論（'22）…… 7/18（日）3限
博物館経営論（'23）……7/16（金）3限
博物館情報・メディア論（'25）……7/17（土）4限
博物館資料保存論（'25）……7/20（火）2限
博物館展示論（'25）……7/16（金）2限
はじめての気象学（'21）［閉講］…… 7/18（日）5限
発達心理学概論（'17）［閉講］……7/21（水）6限
発達心理学概論（'27）……7/21（水）6限
樋口一葉の世界（'23）…… 7/18（日）5限
微分方程式（'23）……7/20（火）1限
ヒューマンインタフェース（'23）……7/16（金）5限
貧困の諸相（'23）……7/16（金）4限
ファイナンス入門（'23）…… 7/18（日）5限
フィールドワークと民族誌（'24）……7/17（土）3限
福祉心理学（'21）……7/20（火）1限
舞台芸術の世界（'26）……7/20（火）6限
物理の世界（'24）……7/16（金）4限
フランス語Ⅰ（'24）……7/21（水）4限
フランス語Ⅱ（'24）……7/20（火）2限
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）
…… 7/18（日）2限
文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）
……7/15（木）5限
文学批評の現在（'27）……7/15（木）4限
文学批評への招待（'18）［閉講］…7/15（木）4限
分子の変化からみた世界（'23）……7/15（木）6限
平和学（'27）……7/17（土）5限
平和と安全保障（'26）……7/15（木）1限
『方丈記』と『徒然草』（'18）……7/21（水）5限
簿記入門（'22）……7/16（金）4限
母性看護学（'26）……7/15（木）4限

ま行

マーケティング（'25）……7/20（火）1限
『枕草子』の世界（'24）……7/20（火）1限
ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）
…… 7/18（日）4限
身近な統計（'24）……7/16（金）3限
身近なネットワークサービス（'20）［閉講］
…… 7/18（日）2限
宮沢賢治と宇宙（'24）……7/17（土）6限
民法（'22）……7/17（土）4限
メディア論（'22）……7/21（水）1限
モビリティとまちづくり（'27）……7/16（金）2限
問題解決の数理（'21）［閉講］……7/21（水）5限
問題解決の数理（'27）……7/21（水）5限
問題解決の進め方（'25）……7/15（木）3限

や行

ユーザ調査法（'20）……7/15（木）3限
ユーラシアのなかの中国史（'26）…7/21（水）2限
豊かに暮らすための不動産学（'26）7/17（土）6限
幼児教育の指導法（'22）……7/21（水）2限
ヨーロッパ政治史（'24）…… 7/18（日）1限
ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19）
……7/15（木）3限
より良い思考の技法（'23）……7/17（土）1限

ら行

ライフサイクルの心理臨床（'26）… 7/18（日）2限
リスクコミュニケーションの探究（'23）7/21（水）3限
リハビリテーション（'25）……7/21（水）6限
量子化学（'19）……郵送
量子の物理（'27）……7/16（金）6限
量子物理学（'21）［閉講］……7/16（金）6限
臨床心理学概論（'20）……7/20（火）5限
歴史のなかの人間（'22）……7/21（水）5限
レジリエンスの科学（'24）……7/16（金）1限
老年看護学（'25）……7/15（木）1限

※各科目の講義概要は p.172 ～ p.173 の索引から確認できます。（［閉講］を除く）

2027年度第１学期
放送授業番組表

「2027 年度第 1 学期　放送授業番組表」は BS テレビ、BS ラジオで放送番組を視聴する場合の番組表です。

1. 学期区分

学期	区分	期間
第1学期	授業期間	2027年4月1日(木)～7月14日(水)
	夏期学習期間	2027年7月15日(木)～9月30日(木)

2. 授業期間の放送番組

授業番組を原則として毎週 1 回、全 15 回放送します。
このほか、生涯学習支援番組、告知番組などを放送します。

3. 夏期学習期間の放送番組

復習や、次学期の科目選びの参考となるよう、一部の科目を再放送します。

4. 各種番組案内

通常の授業番組のほかに、次のような番組を放送します。

［生涯学習支援番組］

従来の大学教育の枠組みから離れて、社会人の多様な学びなおしや生涯学習のニーズに応える番組です。

［告知番組］

放送大学からの各種お知らせや、学習に役立つ情報などを提供する番組です。

生涯学習支援番組および夏期学習期間の放送番組などについては、放送大学ウェブサイトにも掲載しています。

本学ウェブサイト →　番組表　https://www.ouj.ac.jp/bangumi/

［生涯学習支援番組］

［年間番組表］

テレビ 〔2027年度第1学期　授業期間〕（BS 231ch）　●2027年4月1日（木）～2027年7月14日（水）

時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6	00	映像コンテンツの制作技術（'25）〈字〉	情報デザイン（'26）〈字〉	情報社会と国際ボランティア活動（'24）〈字〉	データの分析と知識発見（'24）〈字〉	情報社会のユニバーサルデザイン（'19）〈字〉	メディア論（'22）〈字〉	ユーザ調査法（'20）〈字〉
	45	電気と磁気の物理（'26）〈字〉	力と運動の物理（'27）	量子化学（'19）〈字〉	量子の物理（'27）	感覚と応答の生物学（'23）〈字〉	生物の進化と多様化（'26）〈字〉	植物の科学（'21）〈字〉
7	30	レジリエンスの科学（'24）〈字〉	障害者の自立と制度（'24）〈字〉	住まいの環境論（'23）〈字〉	平和学（'27）	地域福祉の課題と展望（'22）〈字〉	社会政策の国際動向と日本の位置（'23）〈字〉	子どもの人権をどうまもるのか（'21）〈字〉
8	15	ドイツ語I（'27）	フランス語I（'24）〈字〉	中国語I（'27）	英語で発信する日本文化（'26）〈字〉	身近な統計（'24）〈字〉	韓国語I（'25）	英語で読む大統領演説（'20）〈字〉
9	00	イメージの力（'24）〈字〉	臨床心理学概論（'20）〈字〉	色を探究する（'23）〈字〉	認知行動療法（'26）〈字〉	社会・集団・家族心理学（'26）〈字〉	ライフサイクルの心理臨床（'26）〈字〉	心理カウンセリング序説（'21）〈字〉
	45	現代の内部監査（'22）〈字〉	モビリティとまちづくり（'27）	これからの住まいと建築（'25）〈字〉	環境を可視化する技術と応用（'23）〈字〉	ファイナンス入門（'23）〈字〉	経営情報学入門（'23）〈字〉	会計学（'24）〈字〉
10	30	博物館資料保存論（'25）〈字〉	博物館情報・メディア論（'25）〈字〉	博物館展示論（'25）〈字〉	情報技術が拓く人間理解（'27）	『方丈記』と『徒然草』（'18）〈字〉	フィールドワークと民族誌（'24）〈字〉	「人新世」時代の文化人類学（'20）〈字〉
11	15	数学の歴史（'25）〈字〉	ジオストーリー（'25）〈字〉	宇宙の誕生と進化（'19）〈字〉	暮らしに役立つバイオサイエンス（'27）	初歩からの気象学（'27）	正多面体と素数（'21）〈字〉	太陽と太陽系の科学（'18）〈字〉
12	00	告知番組						
	45	小児看護学（'22）〈字〉	疾病の成立と回復促進（'25）〈字〉	運動と健康（'22）〈字〉	人体の構造と機能（'26）〈字〉	疾病の回復を促進する薬（'25）〈字〉	豊かに暮らすための不動産学（'26）〈字〉	健康長寿のためのスポートロジー（'24）〈字〉
13	30	母性看護学（'26）〈字〉	コミュニティと教育（'24）〈字〉	学校リスク論（'22）〈字〉	問題解決の進め方（'25）〈字〉	教育・学校心理学（'20）〈字〉	心理学概論（'24）〈字〉	教育の社会学（'25）〈字〉
14	15	精神看護学（'25）〈字〉	日本国憲法（'26）〈字〉	災害社会学（'20）〈字〉	会社法入門（'27）	社会調査の基礎（'27）	自然科学はじめの一歩（'22）〈字〉	社会学概論（'25）〈字〉
15	00	生涯学習支援番組	より良い思考の技法（'23）〈字〉	人文地理学からみる世界（'22）〈字〉	博物館概論（'23）〈字〉	日本語学入門（'20）〈字〉	歴史のなかの人間（'22）〈字〉	世界文学への招待（'22）〈字〉
	45		データ構造の基礎（'24）〈字〉	初歩からの情報科学（'25）〈字〉	情報理論とデジタル表現（'19）〈字〉	情報セキュリティと倫理・心得（'26）〈字〉	英語で学ぶ情報学の歩み（'27）	日本語リテラシー（'26）〈字〉
16	30		生物環境の科学（'25）〈字〉	物理の世界（'24）〈字〉	初歩からの化学（'18）〈字〉	デジタル時代の学びの技法（'27）	初歩からの物理（'22）〈字〉	初歩からの生物学（'24）〈字〉
17	15		遠隔学習のためのパソコン活用（'25）〈字〉	食と健康（'24）〈字〉	ソーシャルシティ（'23）〈字〉	持続可能な社会へのシステム思考（'27）	社会福祉ー新しい地平を拓く（'22）〈字〉	人間・環境情報とDX（'25）〈字〉
18	00		多様な子どもの学びと公教育（'27）	地理空間情報の基礎と活用（'27）	心理学研究法（'20）〈字〉	今求められる学力と学び（'26）〈字〉	これからの生徒指導を考える（'27）	肢体不自由児の教育（'26）〈字〉
	45		金融と社会（'26）〈字〉	日本経済の比較史（'24）〈字〉	初歩からの数学（'18）〈字〉	現代経済理論（'26）〈字〉	持続可能な社会のための財政学（'26）〈字〉	生涯学習支援番組
19	30	生涯学習支援番組						
20	15	告知番組						
21	00	生涯学習支援番組	西洋の美学・美術史（'24）〈字〉	日本美術史の近代とその外部（'18）〈字〉	舞台芸術の世界（'26）〈字〉	文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）〈字〉	情報学へのとびら（'22）〈字〉	生涯学習支援番組
	45	Webのしくみと応用（'25）〈字〉	ネットワークとスマート社会（'27）	教育のためのICT活用（'22）〈字〉	データベース（'23）〈字〉	ソフトウェア開発入門（'27）	生活を支えるコンピュータ技術（'25）〈字〉	
22	30	宮沢賢治と宇宙（'24）〈字〉	ダイナミックな地球（'21）〈字〉	入門線型代数（'19）〈字〉	入門微分積分（'22）〈字〉	分子の変化からみた世界（'23）〈字〉	かたちの化学ー化学の考え方入門（'23）〈字〉	
23	15	今日のメンタルヘルス（'27）	基礎看護学（'24）〈字〉	地域・在宅看護論（'23）〈字〉	災害看護学・国際看護学（'26）〈字〉	食の安全（'25）〈字〉	災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）〈字〉	認知症と生きる（'27）
翌0	00	放送大学イメージソング・学歌	知覚・認知心理学（'23）〈字〉	学習・言語心理学（'25）〈字〉	神経・生理心理学（'26）〈字〉	錯覚の科学（'20）〈字〉	心理学統計法（'21）〈字〉	進化心理学（'23）〈字〉
	15							
	45		現代の国際政治（'26）〈字〉	現代アメリカの政治と社会（'24）〈字〉	マーケティング（'25）〈字〉	人生100年時代の家族と法（'23）〈字〉	雇用社会と法（'21）〈字〉	日本政治外交史（'25）〈字〉
翌1	30		中近世ヨーロッパの歴史（'27）	近現代ヨーロッパの歴史（'22）〈字〉	アメリカ史：世界史の中で考える（'24）〈字〉	映画芸術への招待（'25）〈字〉	古代中世の日本（'23）〈字〉	ユーラシアのなかの中国史（'26）〈字〉
翌2	15					空間と政治（'22）〈字〉	保健医療心理学特論（'22）〈字〉	発達心理学特論（'27）
翌3	00							
時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

（注）各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の授業科目講義概要をご覧ください。
（注）〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

ラジオ 〔2027年度第1学期　授業期間〕（BS 531ch）　●2027年4月1日（木）～2027年7月14日（水）

時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6	00	障害児・障害者心理学特論（'27）	臨床心理学研究法特論（'23）	司法矯正・犯罪心理学特論（'26）	学校臨床心理学特論（'27）	臨床心理学特論（'23）（奇数回）	臨床心理面接特論Ⅰ（'25）	臨床心理面接特論Ⅱ（'25）
	45	公共政策（'26）	環境と社会思想（'26）	食農産業の新たな展開（'26）	現実と向き合う政治理論（'22）	臨床心理学特論（'23）（偶数回）	臨床心理地域援助特論（'21）	経済政策（'22）
7	30	韓国語Ⅱ（'25）	ドイツ語Ⅱ（'27）	フランス語Ⅱ（'24）	中国語Ⅱ（'27）	初歩のトルコ語（'26）	初歩のスペイン語（'25）	グローバル時代の英語（'22）
8	15	平和と安全保障（'26）	社会と産業の倫理（'21）	心理と教育へのいざない（'24）	市民自治の知識と実践（'21）	授業科目案内など	成人看護学（'24）	老年看護学（'25）
9	00	NPO・NGOの世界（'25）	現代のフードシステム（'26）	SDGs下のアジア産業論（'23）	オペレーションズ・マネジメント（'26）	西洋政治思想の文脈（'25）	行政学講説（'24）	新興アジアの政治と経済（'24）
	45	博物館教育論（'22）	博物館経営論（'23）	世界文学の古典を読む（'20）	ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇（'19）	樋口一葉の世界（'23）	文学批評の現在（'27）	西アジアの歴史（'24）
10	30	心理的アセスメント（'26）	司法・犯罪心理学（'26）	障害者・障害児心理学（'27）	心理臨床における法・倫理・制度（'27）	精神分析とユング心理学（'23）	心理職の専門性（'26）	福祉心理学（'21）
11	15	簿記入門（'22）	管理会計（'22）	環境と社会（'21）	海からみた産業と日本（'22）	イノベーション・マネジメント（'27）	サービスサイエンス（'27）	企業経営の国際展開（'25）
12	00	日本史の基本史料を読む（'27）	韓国朝鮮史研究の論点（'26）	西洋中近世史（'27）	日本文学の研究史（'21）	日本の人的資源管理（'27）	西洋美術史学の歴史と方法（'26）	日本文化と思想の展開ー内と外と（'22）
	45	シン・ビートルズde英文法（'25）	音楽・情報・脳（'23）	ソフトウェア工学（'25）	計算と自然（'25）	モダニズムの文学と文化（'21）	異文化との出会い（'22）	続・教養で読む英語（'27）
13	30	生活経済学（'25）	貧困の諸相（'23）	睡眠と健康（'25）	感染症と生体防御（'24）	健康と社会（'23）	健康への力の探究（'27）	授業科目案内など
14	15	乳幼児の保育・教育（'21）	日本の文化と教育（'23）	幼児教育の指導法（'22）	学校と法（'24）	テーマで学ぶ日本教育史（'24）	発達心理学概論（'27）	現代教育入門（'21）
15	00	経営学入門（'24）	都市と地域の社会学（'24）	政治学入門（'26）	刑法と生命（'21）	社会統計学入門（'24）	一般市民のための法学入門（'23）	社会経済の基礎（'25）
	45	多文化共生のコミュニケーション（'24）	総合人類学としてのヒト学（'18）	『枕草子』の世界（'24）	授業科目案内など	西洋哲学の根源（'22）	日本の近現代（'27）	哲学・思想を今考える（'23）
16	30	情報化社会におけるメディア教育（'24）	自然言語処理（'23）	画像処理（'24）	問題解決の数理（'27）	情報法入門（'27）	プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）	コンピュータ通信概論（'24）
17	15	授業科目案内など	線型代数学（'27）	授業科目案内など	数値の処理と数値解析（'22）	ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）	統計学（'19）	現代を生きるための化学（'22）
18	00	現代社会のなかの家族（'26）	日本の家族問題を考える（'26）	リハビリテーション（'25）	看護管理と医療安全（'24）	公衆衛生（'24）	看護学概説（'22）	リスクコミュニケーションの探究（'23）
	45	家族と教育（'27）	教育政策と行財政（'27）	産業・組織心理学（'26）	感情・人格心理学（'27）	知的障害教育総論（'25）	世界の学校（'24）	特別支援教育総論（'25）
19	30	言語と計算（'26）	家族政策研究（'21）	生活リスク論（'25）	精神医学特論（'22）	ICTを活用した学習デザイン（'27）	要求工学（'24）	現代物理の展望（'19）
20	15	福祉政策と人権（'22）	教育老年学（'22）	教育行政と学校経営（'24）	グローバル時代の教育文化（'25）	看護・保健系調査方法論（'25）	健康・スポーツ科学研究（'27）	スポーツ社会学（'25）
21	00	著作権法（'22）	行政法（'22）	国際法（'25）	ヨーロッパ政治史（'24）	民法（'22）	現代国際社会と有機農業（'23）	環境と持続可能な経済発展（'24）
	45	近世の日本と世界（'26）	英米哲学の挑戦（'23）	西洋音楽史（'21）	史書から見る中国史（'27）	現代に生きる現象学（'23）	時間と存在（'27）	原典で読む日本の思想（'24）
22	30	社会福祉実践とは何か（'22）	支える社会保障（'26）	グリーフサポートと死生学（'24）	地域生活を支える社会福祉と法（'24）	精神疾患とその治療（'26）	超高齢社会を生きる（'27）	高等教育と障害（'27）
23	15	心理統計法特論（'27）	専門的職業と継続的職能開発（'26）	社会心理学特論（'25）	教育心理学特論（'24）	成人の発達と学習（'25）	シティズンシップ教育（'26）	教師教育の国際比較（'26）
翌0	00 15	放送大学イメージソング・学歌						
時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

（注）各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の授業科目講義概要をご覧ください。

2027年度第1学期 教養学部授業科目五十音順索引

あ行

Rで学ぶ確率統計('27)…… 48, 64, 131
アメリカ史:世界史の中で考える('24) 105, 120
一般市民のための法学入門('23)…… 91
イノベーション・マネジメント('27)…… 84, 101
今求められる学力と学び('26) …… 66
イメージの力('24) …… 75
色を探究する('23) …… 88, 127, 158
Webのしくみと応用('25) …… 135
宇宙の誕生と進化('19) …… 152
海からみた産業と日本('22) …… 110
運動と健康('22) …… 34
映画芸術への招待('25) …… 119
英語で発信する日本文化('26) …… 40
英語で学ぶ情報学の歩み('27)…… 131
英語で読む大統領演説('20) …… 40
映像コンテンツの制作技術('25) …… 139
英米哲学の挑戦('23) …… 118
AI技術を人と社会へとつなぐ('27)
…… 84, 113, 144
SDGs下のアジア産業論('23) …… 99
NPO・NGOの世界('25) ……83, 99
遠隔学習のためのパソコン活用('25) …… 37
演習初歩からの数学('20)…… 39
演習微分積分('19) …… 148
オペレーションズ・マネジメント('26)… 100, 143

か行

会計学('24) …… 102
会社法入門('27) …… 91
解析入門('24) …… 141, 154
開発経済学:アジア社会の変容('24) …… 110
学習・言語心理学('25)…… 74
学習指導と学校図書館('22) ……
画像処理('24) …… 140, 156
家族と教育('27) …… 55, 68, 108
かたちの化学ー化学の考え方入門('23)
…… 47, 147
学校経営と学校図書館('23) ……
学校事務の新潮流('26) …… 70
学校図書館サービス論('26)…… 71
学校図書館メディアの構成('22) ……
学校と法('24) …… 67, 105
学校リスク論('22) …… 66
感覚と応答の生物学('23) …… 55, 151
環境と持続可能な経済発展('24)…… 95, 156
環境と社会('21) …… 110
環境を可視化する技術と応用('23)
…… 55, 103, 143, 155
看護・医療の英語('19) …… 40
看護学概説('22) …… 51
看護管理と医療安全('24) …… 52
韓国語I('25)…… 42
韓国語II('25) …… 42
感情・人格心理学('27)…… 74
感染症と生体防御('24) …… 46, 148
がんとともに生きる('18)…… 46
官民の人的資源論('24) …… 100
管理会計('22) …… 102
がんを知る('26) …… 45
企業経営の国際展開('25) …… 101
記号論理学('24) …… 126, 141, 156
基礎看護学('24) …… 52
教育・学校心理学('20) …… 58
教育課程の意義及び編成の方法('15) … 69
教育政策と行財政('27) …… 68
教育政策のデザイン('25) ……58, 93
教育の社会学('25) ……58, 92
教育のためのICT活用('22) …… 78, 137
行政学講説('24) ……82, 98
共生のための技術者倫理('24)… 63, 92, 133
行政法('22) …… 96
近現代ヨーロッパの歴史('22) …… 104, 120
近世の日本と世界('26)…… 104, 119
金融と社会('26) …… 95
空間と政治('22) …… 111
空間を考究する('26)…… 89, 112, 159
暮らしに役立つバイオサイエンス('27) …… 158
グリーフサポートと死生学('24) ……56, 88
グローバル時代の英語('22) …… 40
経営学入門('24) ……61, 91
経営情報学入門('23) …… 100, 142
刑法と生命('21) …… 96
ゲーム理論入門('25)……63, 94, 132, 150
健康長寿のためのスポートロジー('24) …… 46
健康と社会('23) ……44, 93
健康への力の探究('27) …… 44, 62, 92
言語研究法('19) …… 122
現代アメリカの政治と社会('24) …… 99, 126
現代教育入門('21) …… 58
現代経済理論('26) …… 94
現代国際社会と有機農業('23) …… 95
現代社会のなかの家族('26)…… 50, 84, 103
現代に生きる現象学('23)…… 82, 118
現代のキャリアコンサルティング('25) 70, 107
現代の国際政治('26) …… 98, 125
現代の内部監査('22) …… 102
現代のフードシステム('26)…… 99
現代を生きるための化学('22) …… 147
原典で読む日本の思想('24)…… 106, 117
公衆衛生('24) …… 50
高等教育と障害('27) ……54, 84
国際法('25) …… 97
古代中世の日本('23) …… 119
子どもの人権をどうまもるのか('21) ……54, 77
コミュニティと教育('24)…… 66, 103
雇用社会と法('21) …… 97
これからの住まいと建築('25)…… 102
これからの生徒指導を考える('27)…… 66
今日のメンタルヘルス('27) ……51, 81
コンピュータグラフィックス('22)…… 138
コンピュータ通信概論('24) …… 136
コンピュータビジョン('22) …… 140

さ行

サービスサイエンス('27)…… 85, 101
災害看護学・国際看護学('26) …… 52
災害社会学('20) …… 94
災害を乗り越える防災基礎力入門('26)
…… 49, 103
支える社会保障('26)…… 54, 84, 103
錯覚の科学('20) …… 73, 155
サプライチェーン・マネジメント('25)… 101, 143
産業・組織心理学('26)…… 74, 104
GISで理解する自然とくらし('27) …… 36
C言語基礎演習('20) …… 134
ジオストーリー('25)…… 158
時間と存在('27) …… 117
時間を究める('23) …… 88, 111, 127, 158
史書から見る中国史('27)…… 119
自然科学はじめの一歩('22) …… 35
自然言語処理('23) …… 139
持続可能な社会と教育(ESD)('27)…… 72
持続可能な社会のための財政学('26)…80, 94
持続可能な社会へのシステム思考('27)
…… 49, 81, 108
肢体不自由児の教育('26) …… 66
疾病の回復を促進する薬('25)… 45, 60, 149
疾病の成立と回復促進('25) ……44, 59
司法・犯罪心理学('26)…… 76, 107
市民自治の知識と実践('21)…… 34
市民生活と裁判('26) ……87, 96
社会・集団・家族心理学('26) …… 74
社会科学で綴る伝記('25)…… 86, 95, 126
社会科学の研究計画作成法('26) 64, 90, 133
社会学概論('25) ……60, 90
社会教育経営実践論('22) …… 72
社会経済の基礎('25) …… 90
社会政策の国際動向と日本の位置('23)
…… 53, 105
社会調査の基礎('27) …… 47, 61, 90, 132
社会統計学入門('24) …… 47, 61, 90, 132
社会と産業の倫理('21) …… 34
社会福祉ー新しい地平を拓く('22) ……47, 59
社会福祉実践とは何か('22)…… 53
循環器の健康科学('20) …… 47
生涯学習支援の理論と実践('22) …… 72
生涯学習を考える('27)…… 72
障害者・障害児心理学('27)…… 76
障害者の自立と制度('24)…… 54, 78, 105
小学校プログラミング教育概論('21)… 85, 138
少子化時代の子育て―法と政策('25)…… 35
小児看護学('22) …… 160
情報学へのとびら('22) …… 37
情報化社会におけるメディア教育('24) 82, 138
情報技術が拓く人間理解('27)
…… 88, 112, 145, 159
情報社会と国際ボランティア活動('24)
…… 111, 144
情報社会のユニバーサルデザイン('19) 77, 137
情報セキュリティと倫理・心得('26)
…… 60, 117, 130
情報セキュリティの現状と展望('23) … 86, 136
情報セキュリティの理論と基盤('23) … 85, 136
情報デザイン('26) …… 80, 139
情報ネットワーク('26)…… 130
情報法入門('27) …… 93, 131
情報メディアの活用('22) ……
情報理論とデジタル表現('19) …… 131
食と健康('24) …… 49, 105, 154
食の安全('25) …… 50, 106, 156
植物の科学('21) …… 151
初歩からの化学('18)…… 146

※ 2013 ～ 2015 年度のカリキュラムの方は p.28 の注意書きもご覧ください。

初歩からの気象学（'27）…… 153
初歩からの情報科学（'25）…… 48, 129
初歩からの数学（'18）…… 38
初歩からの生物学（'24）…… 146
初歩からの物理（'22）…… 146
初歩のスペイン語（'25）…… 43
初歩のトルコ語（'26）…… 43
シン・ビートルズ de 英文法（'25）…… 40
進化心理学（'23）…… 74
神経・生理心理学（'26）…… 74
新興アジアの政治と経済（'24）…… 99, 125
「人新世」時代の文化人類学（'20）…… 122
人生100年時代の家族と法（'23）…… 96
人体の構造と機能（'26）…… 45, 60, 149
人文地理学からみる世界（'22）…… 115
心理カウンセリング序説（'21）…… 75
心理学概論（'24）…… 59, 116
心理学研究法（'20）…… 73
心理学統計法（'21）…… 73, 142
心理職の専門性（'26）…… 76
心理的アセスメント（'26）…… 76
心理と教育へのいざない（'24）…… 35
心理臨床における法・倫理・制度（'27）77, 108
睡眠と健康（'25）……45, 62
数学の歴史（'25）…… 126, 154
数値の処理と数値解析（'22）…… 141, 155
数理最適化法演習（'20）…… 141
住まいの環境論（'23）…… 56, 111
生活経済学（'25）……44, 92
生活を支えるコンピュータ技術（'25）… 80, 134
政治学入門（'26）…… 62, 91, 116
成人看護学（'24）…… 160
精神看護学（'25）…… 161
精神疾患とその治療（'26）……53, 83
精神分析とユング心理学（'23）…… 76
正多面体と素数（'21）…… 153
生物環境の科学（'25）…… 146
生物の進化と多様化（'26）…… 54, 80, 150
西洋音楽史（'21）…… 118
西洋政治思想の文脈（'25）…… 83, 97, 124
西洋哲学の根源（'22）…… 92, 114
西洋の美学・美術史（'24）…… 118
世界の学校（'24）…… 68, 125
世界文学の古典を読む（'20）…… 121
世界文学への招待（'22）…… 115
線型代数学（'27）…… 144, 154
全体主義と新自由主義のあいだ（'23）97, 124
総合人類学としてのヒト学（'18）…… 61, 116
ソーシャルシティ（'23）……49, 78, 105, 142
続・教養で読む英語（'27）…… 40
続・C言語基礎演習（'23）…… 134
卒業研究…… 162
ソフトウェア開発入門（'27）…… 134
ソフトウェア開発のデータ分析（'26）…… 135

た行

ダイナミックな地球（'21）…… 148
太陽と太陽系の科学（'18）…… 152
多文化共生のコミュニケーション（'24）62, 115
多様な子どもの学びと公教育（'27）…… 67
地域・在宅看護論（'23）…… 52
地域生活を支える社会福祉と法（'24）56, 111
地域福祉の課題と展望（'22）…… 53
地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）… 56
知覚・認知心理学（'23）…… 73
力と運動の物理（'27）…… 151
地球と環境の探究（'25）…… 153
知的障害教育総論（'25）…… 68
中近世ヨーロッパの歴史（'27）…… 120
中国からジェンダー史を考える（'26）… 112, 127
中国語Ⅰ（'27）…… 42
中国語Ⅱ（'27）…… 42
超高齢社会を生きる（'27）…… 53, 84, 108
著作権法（'22）…… 97, 142
地理空間情報の基礎と活用（'27）…… 37
データ構造の基礎（'24）…… 133, 155
データサイエンス・リテラシ基礎（'22）…… 38
データサイエンス・リテラシ心得（'22）…… 38
データサイエンス・リテラシ導入（'22）…… 38
データの分析と知識発見（'24）
…… 79, 104, 140, 156
データベース（'23）…… 135, 155
テーマで学ぶ日本教育史（'24）…… 58
デジタル時代の学びの技法（'27）…… 37
デジタル情報の処理と認識（'22）…… 139
哲学・思想を今考える（'23）…… 93, 114
電気と磁気の物理（'26）…… 151
ドイツ語Ⅰ（'27）…… 41
ドイツ語Ⅱ（'27）…… 41
統計学（'19）…… 81, 142, 153
特別支援教育基礎論（'24）…… 69
特別支援教育総論（'25）…… 68
都市と地域の社会学（'24）……55, 94

な行

西アジアの歴史（'24）…… 106, 120
日本経済の比較史（'24）…… 95
日本語アカデミックライティング（'22）…… 36
日本語学入門（'20）…… 115
日本語教育学入門（'24）…… 65, 115
日本国憲法（'26）…… 91
「日本語らしさ」とは何か（'25）…… 86, 122
日本語リテラシー（'26）…… 36
日本語リテラシー演習（'27）…… 36
日本政治外交史（'25）…… 98, 124
日本の家族問題を考える（'26）… 50, 83, 107
日本の教職論（'22）…… 73
日本の近現代（'27）…… 63, 114
日本の文化と教育（'23）…… 67, 124
日本美術史の近代とその外部（'18）…… 118
入門線型代数（'19）…… 148
入門微分積分（'22）…… 132, 148
乳幼児の保育・教育（'21）…… 67
人間・環境情報とDX（'25）…48, 79, 106, 143
認知行動療法（'26）…… 75
認知症と生きる（'27）……51, 81
ネットワークとスマート社会（'27）…… 109, 135

は行

博物館概論（'23）…… 59, 116, 149
博物館教育論（'22）…… 81, 123
博物館経営論（'23）…… 82, 124
博物館情報・メディア論（'25）
…… 79, 123, 143, 157
博物館資料保存論（'25）…… 80, 123, 157
博物館資料論（'25）…… 87, 123, 157
博物館展示論（'25）…… 79, 123, 157
発達心理学概論（'27）…… 59
樋口一葉の世界（'23）…… 121
微分方程式（'23）…… 153
ヒューマンインタフェース（'23）…… 55, 87, 138
表計算プログラミング基礎AI版（'27）… 65, 130
表計算プログラミングの活用（'25）
…… 63, 129, 150
貧困の諸相（'23）……47, 61, 93
ファイナンス入門（'23）…… 100
フィールドワークと民族誌（'24）78, 106, 122
福祉心理学（'21）…… 75
舞台芸術の世界（'26）…… 119
物理と化学のための数学（'27）…… 147
物理の世界（'24）…… 146
フランス語Ⅰ（'24）…… 41
フランス語Ⅱ（'24）…… 41
プログラミング入門Python（'24）… 129, 149
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）136, 157
文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）…… 117
文学批評の現在（'27）…… 121
分子と細胞の生物学（'27）…… 150
分子の変化からみた世界（'23）…… 48, 147
平和学（'27）…… 110, 128
平和と安全保障（'26）…… 34
『方丈記』と『徒然草』（'18）…… 121
簿記入門（'22）…… 102
母性看護学（'26）…… 160

ま行

マーケティング（'25）…… 79, 100
『枕草子』の世界（'24）…… 114
ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）…… 152
身近な統計（'24）…… 39
宮沢賢治と宇宙（'24）…… 116, 147
民法（'22）…… 96
メディア論（'22）…… 78, 104, 125, 137
モビリティとまちづくり（'27）…… 57, 110
問題解決の数理（'27）…… 85, 109, 140
問題解決の進め方（'25）…… 34

や行

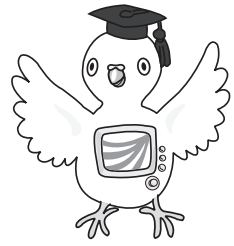
ユーザ調査法（'20）…… 77, 137
ユーラシアのなかの中国史（'26）… 108, 120
豊かに暮らすための不動産学（'26）…… 44
幼児教育の指導法（'22）…… 67
幼児理解の理論及び方法（'26）…… 71
ヨーロッパ政治史（'24）…… 98, 125
ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19）… 121
より良い思考の技法（'23）…… 35

ら行

ライフサイクルの心理臨床（'26）…… 75
リスクコミュニケーションの探究（'23）……49, 82
リハビリテーション（'25）……51, 83
量子化学（'19）…… 152
量子の物理（'27）…… 151
量子物理演習（'24）…… 152
臨床心理学概論（'20）…… 75
歴史のなかの人間（'22）…… 114
レジリエンスの科学（'24）…56, 88, 112, 158
老年看護学（'25）…… 160

※ 2013 ～ 2015 年度のカリキュラムの方は p.28 の注意書きもご覧ください。

メモ（ご自由にお使いください）



メモ（ご自由にお使いください）

放送大学　教養学部
〒261-8586　千葉県千葉市美浜区若葉2-11